岐阜県教育文化財団文化財保護センター
調査報告書　第110集

# 有坂薬師堂遺跡

２００９
財団法人岐阜県教育文化財団文化財保護センター

調査区遠景（南東から）

ＳＺ４土器出土状況（北東から）

巻頭カラー２

出土土器

出土石器類

# 序

郡上市八幡町は岐阜県のほぼ中央部に位置し、夏は鮎釣りや川遊び、秋は紅葉と豊かな自然を利用した観光資源に恵まれた町です。有坂薬師堂遺跡は東に清流長良川が流れ、背後には緑深き山々が控える美しい環境の中にあります。最近では、東海北陸自動車道や郡上市クリーンセンターの建設等により、遺跡周辺の交通量が増加しており、県道大和美並線が整備されることになりました。それに伴い、以前から知られていた有坂薬師堂遺跡の一部を発掘調査することになりました。

今回の発掘調査では、縄文時代中期から晩期にかけての遺構、遺物を数多く発見することができました。この調査によって得られた資料は、地域の歴史を知るために、また私たちの未来を考えるために、様々な示唆を与えてくれるものと思います。本報告書が埋蔵文化財に対する認識を深めるとともに、当地の歴史研究の一助となれば幸いです。

最後になりましたが、発掘調査及び出土遺物の整理・報告書作成に当たりまして、御理解と御協力をいただいた関係諸機関並びに関係者各位、郡上市教育委員会、地元地区の皆様に深く感謝申し上げます。

平成21年３月

財団法人岐阜県教育文化財団
文化財保護センター
所長　梅村　恒男

# 例　言

1　本書は、岐阜県郡上市八幡町有坂地内に所在する「有坂薬師堂遺跡」（岐阜県遺跡番号21218-06768）の発掘調査報告書である。

2　本調査は、県単地方特定道路整備工事に伴うもので、岐阜県郡上土木事務所から岐阜県教育委員会が委託を受けた。発掘調査及び整理作業は、財団法人岐阜県教育文化財団文化財保護センターが実施した。

3　調査は、京都大学大学院泉拓良教授の指導のもと、発掘調査と整理作業を平成19年度に実施した。

4　発掘調査及び整理作業の担当は、本書第１章第２節に一括掲載した。

5　本書の執筆及び編集は、吉田靖が行った。

6　発掘調査における作業員雇用、現場管理、掘削、測量、景観撮影などの業務は、株式会社アーキジオ飛騨に委託して行った。

7　遺物の写真撮影は、アートフォト右文に委託して行った。

8　発掘調査及び報告書の作成にあたって、次の方々や諸機関から御指導・御協力をいただいた。記して感謝の意を表する次第である。（敬称略・五十音順）

伊藤正人、大塚達朗、長田友也、木下哲夫、纐纈茂、佐藤とき子、白川綾、高橋健太郎、
長屋幸二、山本孝一
郡上市教育委員会

9　本文中の方位は、世界測地系の座標北を示し、座標は国土交通省告示の平面直角座標系第Ⅶ系で表している。

10　土層及び土器類の色調は、小山正忠・竹原秀雄2006『新版　標準土色帖』（日本色研事業株式会社）による。

11　調査記録及び出土遺物は、財団法人岐阜県教育文化財団文化財保護センターで保管している。

# 目　次

序
例言
目次
第１章　調査の経緯
　第１節　調査に至る経緯…… 1
　第２節　調査の方法と経過…… 1
第２章　遺跡の環境
　第１節　地理的環境…… 3
　第２節　歴史的環境…… 4
第３章　基本層序…… 5
第４章　遺構と遺物
　第１節　遺構と遺物の概要…… 6
　第２節　検出した遺構と遺物…… 11
　第３節　遺物包含層出土の遺物…… 46
第５章　総括…… 67
参考文献…… 70
写真図版
報告書抄録

# 挿図目次


第１図　有坂薬師堂遺跡位置図……1
第２図　試掘確認調査坑位置図・グリッド設定図……2
第３図　周辺地形図……3
第４図　周辺遺跡位置図……4
第５図　基本層序模式図……5
第６図　土坑分類模式図…… 10
第７図　配石遺構位置図…… 11
第８図　配石遺構（１）…… 14
第９図　配石遺構（２）…… 15
第10図　配石遺構出土遺物（１）…… 16
第11図　配石遺構出土遺物（２）…… 17
第12図　炉跡・炉跡出土遺物 …… 19
第13図　柱穴跡分布図 …… 20
第14図　柱穴跡（１）…… 22
第15図　柱穴跡（２）…… 23
第16図　柱穴跡（３）…… 24
第17図　柱穴跡（４）…… 25
第18図　柱穴跡（５）・柱穴跡出土遺物（１） …… 26
第19図　柱穴跡出土遺物（２）…… 27
第20図　柱穴跡出土遺物（３）…… 28
第21図　土器埋設遺構 …… 30
第22図　土器埋設遺構出土遺物（１）…… 31
第23図　土器埋設遺構出土遺物（２）…… 32
第24図　土器埋設遺構出土遺物（３）…… 33
第25図　土坑（１）…… 36
第26図　土坑（２）…… 37
第27図　土坑（３）…… 38
第28図　土坑（４）…… 39
第29図　土坑出土遺物（１）…… 40
第30図　土坑出土遺物（２）…… 41
第31図　その他の土坑出土遺物（１）…… 42
第32図　その他の土坑出土遺物（２）…… 43
第33図　不明遺構 …… 44
第34図　不明遺構出土遺物 …… 45
第35図　遺物包含層出土遺物（１）…… 48
第36図　遺物包含層出土遺物（２）…… 49
第37図　遺物包含層出土遺物（３）…… 50
第38図　遺物包含層出土遺物（４）…… 51
第39図　遺物包含層出土遺物（５）…… 52
第40図　遺構全体図割付図 …… 53
第41図　遺構全体図分割図①…… 54
第42図　遺構全体図分割図②…… 55
第43図　遺構全体図分割図③…… 56
第44図　遺構全体図分割図④…… 57
第45図　石錘計測部位 …… 65
第46図　磨・敲・凹石類　長幅相関図 …… 66
第47図　L２－３・M２－３グリッド遺構平面図・主要遺物出土状況図 … 67
第48図　石棒類出土状況比較図 …… 69


# 表目次


第１表　周辺遺跡一覧……4
第２表　土器分類別出土量……8
第３表　石材別石器類出土量……9
第４表　遺構一覧表（１）…… 58
第５表　遺構一覧表（２）…… 59
第６表　遺構一覧表（３）…… 60
第７表　縄文土器観察表（１）…… 61
第８表　縄文土器観察表（２）…… 62
第９表　縄文土器観察表（３）…… 63
第10表　縄文土器観察表（４）…… 64
第11表　石鏃観察表 …… 64
第12表　石錐観察表 …… 64
第13表　楔形石器観察表 …… 64
第14表　スクレイパー観察表 …… 65
第15表　石核観察表 …… 65
第16表　石錘観察表 …… 65
第17表　打製石斧観察表 …… 65
第18表　磨製石斧観察表 …… 65
第19表　粗製石器観察表 …… 65
第20表　石皿・台石類観察表 …… 66
第21表　磨・敲・凹石類観察表 …… 66
第22表　砥石観察表 …… 66
第23表　石製品観察表 …… 66
第24表　調査区画別石器類出土点数 …… 68


# 写真目次


写真１　切目石錘（150）の敲打痕拡大 …… 44
写真２　石刀（218）出土状況 …… 67

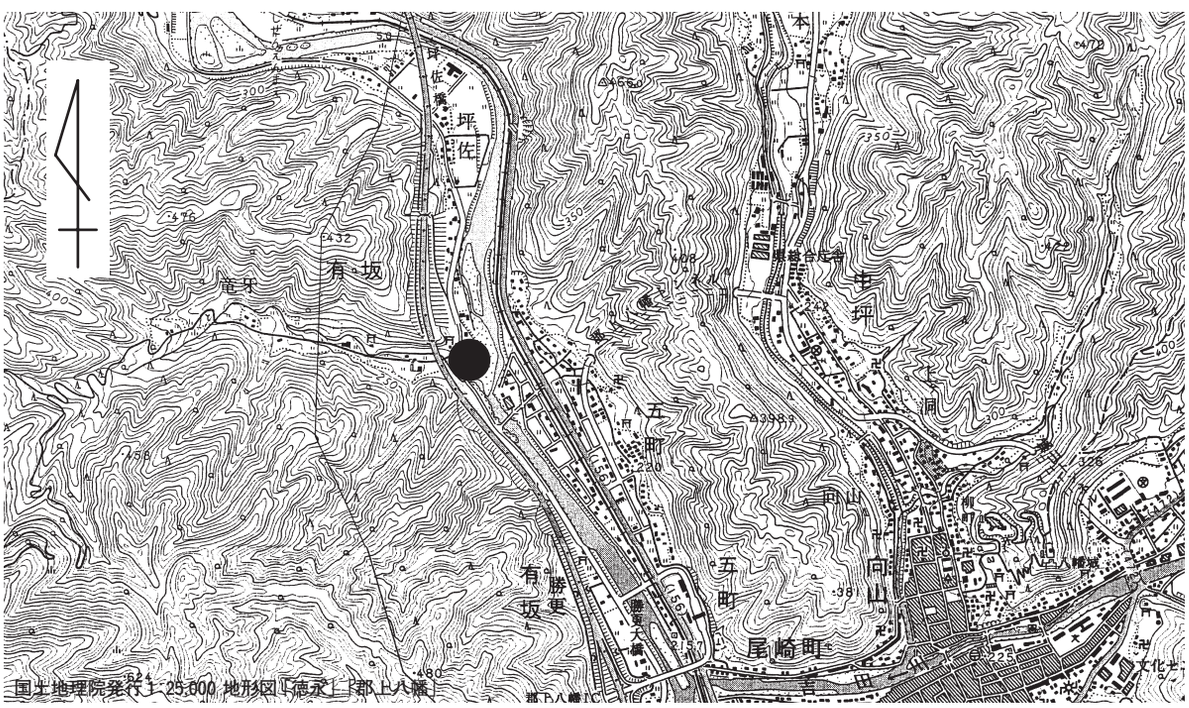

# 写真図版目次


巻頭カラー１　調査区遠景・ＳＺ４土器出土状況
巻頭カラー２　出土土器・出土石器類
写真図版１　北地区近景・南地区近景・配石遺構検出状況
写真図版２
写真図版３
写真図版４
写真図版５
写真図版６
写真図版７
写真図版８
写真図版９
写真図版10
写真図版11

# 第１章　調査の経緯

## 第１節　調査に至る経緯

有坂薬師堂遺跡は、岐阜県郡上市八幡町有坂に所在する。当遺跡は標高約220ｍの河岸段丘上に位置する。当遺跡が発掘調査の対象となったのは、県単地方特定道路整備工事によるものである。この工事により拡幅される部分が､周知の埋蔵文化財包蔵地である有坂薬師堂遺跡の範囲に含まれるため、岐阜県教育委員会が平成16年８月10日及び平成17年８月22日・23日に試掘確認調査を実施し、土坑10基、竪穴状の遺構１基、縄文時代の土器片69点、縄文時代の石器14点を確認した。これらの調査結果に基づき、平成17年度第１回岐阜県埋蔵文化財発掘調査検討委員会において検討し、455㎡を本発掘調査の対象とすることになった。本発掘調査は、平成19年度に岐阜県郡上土木事務所から岐阜県教育委員会が委託を受け、財団法人岐阜県教育文化財団文化財保護センターが実施した。




第１図　有坂薬師堂遺跡位置図（S=１/25,000）

## 第２節　調査の方法と経過

調査区画は、世界測地系座標を基に、５ｍ×５ｍのグリッドを設定し、北から南へＡからＱ、西から東へ１から３とし、調査区画の呼称は北西角の杭番号を用いた（第２図)。また、調査区は市道を挟んで南北２箇所に分かれており、それぞれ南地区・北地区と名付けて調査を行った。

表土掘削は重機で行い、遺物包含層掘削、遺構検出作業、遺構掘削作業はすべて人力で行った。遺物包含層から出土した遺物は、調査区画による一括取り上げとし、遺構内から出土した遺物について

は、原則として深さ５㎝ごとにまとめて取り上げた。

遺構調査に当たっては、原則としてすべて平面図及び土層断面図を作成した。また、遺物出土状況図や、礫出土状況図などを必要に応じて作成した。発掘調査地の景観写真はラジコンヘリコプターにより撮影した。現地での調査経過は、以下のとおりである。

第１週（４/23～４/27）表土掘削開始。Ｍ３グリッドで石棒２点出土。

第２週（５/７～５/11）遺物包含層掘削、遺構検出作業開始。Ｍ３グリッドで石刀１点出土。

第３～４週（５/14～５/25）遺構掘削開始。18日郡上市立川合小学校６年生見学（17名参加）。

第５週（５/28～６/１）ＳＩ６～８、ＳＦ１、ＳＺ３を検出。

第６週（６/４～６/８）７日泉拓良指導調査員による現場指導。

第７週（６/11～６/15）南地区Ⅳ層上面にて遺構を多数検出。北地区にて大型柱穴跡を多数検出。

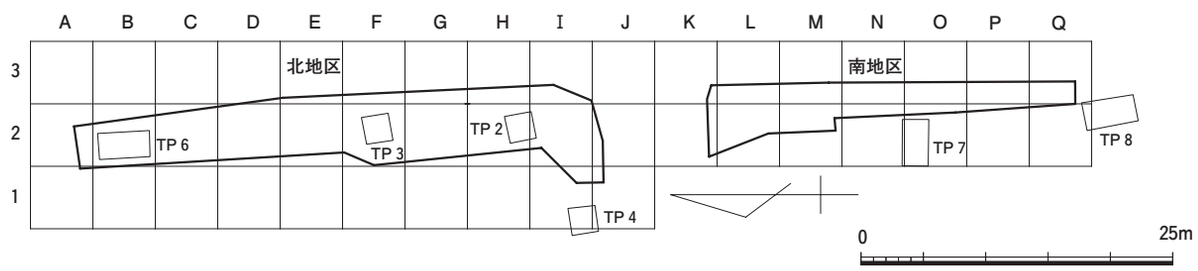
第８週（６/18～６/22）北地区Ⅳ層上面にて遺構を多数検出。

第９週（６/25～６/30）27日景観写真撮影。30日現地説明会（103名参加）。

第10週（７/２～７/６）補足調査。６日調査終了。現場撤収。

なお、出土遺物の一次整理・二次整理作業及び報告書作成作業は、平成19年度に財団法人岐阜県教育文化財団文化財保護センター三田洞事務所において行った。発掘調査から整理作業までの体制は、以下のとおりである。

| | |
|---|---|
| 理事長職務代理者　副理事長 | 伊藤克己 |
| 副理事長 | 岩田重信 |
| 常務理事兼文化財保護センター所長 | 田口久之 |
| 経営課長 | 加藤美好 |
| 調査部長 | 北村厚史 |
| 調査第二課長 | 谷村和男 |
| 担当調査員 | 吉田　靖 |
| 整理作業員 | 小澤真紀子、原幸子、村瀬俊哉、山田弘子 |




**第２図　試掘確認調査坑位置図・グリッド設定図（S=１/600）**

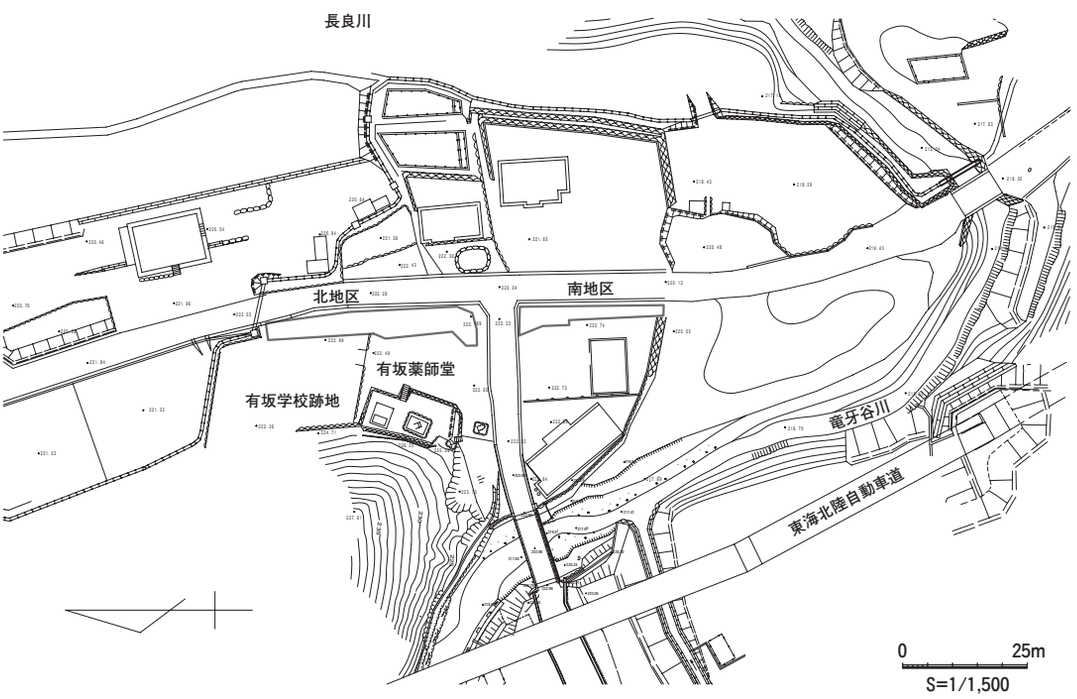
# 第２章　遺跡の環境

## 第１節　地理的環境

郡上市八幡町は、岐阜県美濃地方の中央部を縦断して南流する長良川の上流域に当たり、奥美濃地方と呼ばれる山紫水明の地である。当遺跡は、八幡町市街地から北東に約２㎞離れた長良川右岸に位置する。長良川は、谷底部を緩やかに曲流し、その左右に河岸段丘を形成する。この河岸段丘上に支流の竜牙谷川からの扇状地性堆積物が堆積し、南東に向かって微高地が舌状に張り出す。当遺跡は、この微高地及び低位段丘に立地し、調査地中央付近の微高地と長良川との比高差は約10ｍである。

当遺跡周辺は、明治時代に設立された有坂学校の跡地が調査地の北にあり、建設時に低位段丘を造成して用地を確保している。また、調査地西の丘陵裾には有坂薬師堂が置かれ、その東側は駐車場・道路･宅地などの造成により平坦地となっている。低位段丘面は、水田や畑として利用されていたが、現在は道路面と同じ高さまで盛土されており、遺跡周辺の地形はこれまでの土地利用によって改変が加えられている。

周辺の交通路は、長良川左岸には越前街道、右岸には上保西側街道が知られる。上保西側街道は八幡町調練河原から勝皿村へ渡し船で渡り、小駄良村（現在の郡上市白鳥町）で越前街道に合流する街道で、対岸の越前街道に連絡する橋や渡し船の数が少なかったこともあり、西側の交通路として重要な街道であった（大和村史編纂委員会1984）。また、竜牙谷川を遡上し、さらに山の尾根伝いを通る八幡街道があり、内ヶ谷村、板取村、福井方面への交通路として昭和25年くらいまで利用されていた。当遺跡は上保西側街道と八幡街道の分岐点に位置し、有坂薬師堂は八幡街道の峠越えの安全を祈願する人々が立ち寄る場所であった。




**第３図　周辺地形図（縮尺１/1,500）**

# 第２節　歴史的環境

郡上市八幡町には、長良川やその支流の流域に多くの遺跡が立地し、特に縄文時代、中世の遺跡が多い(第１表､第４図)。ここでは発掘調査等により詳細が明らかになっている遺跡を中心に概観する。なお、文中に続く括弧内の番号は第１表、第４図と一致する。

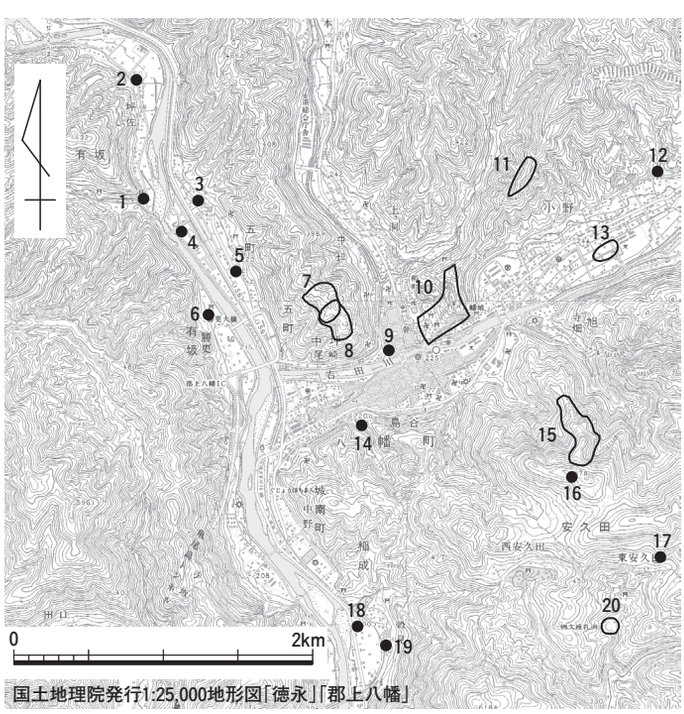
縄文時代の遺跡は、長良川本流及びその支流の段丘上に展開する。当遺跡１㎞以内には、北に坪佐遺跡（２)、対岸にドウマン遺跡（３)、南東に五町遺跡（４)、勝更白山神社周辺遺跡（６）などがある。当センターが調査した勝更白山神社周辺遺跡の調査では打製石斧集積、埋設土器、焼土などの遺構を確認し、縄文時代中期末から晩期の土器片や多数の打製石斧を確認している。多数の打製石斧の出土から、縄文時代中期末以降長期間にわたって根茎類の採集場として利用していた可能性を指摘している（財団法人岐阜県文化財保護センター1995)。

弥生時代から古代の遺跡は縄文時代や中世に比べ少ないが、弥生時代の遺物が出土している遺跡としては五町遺跡や小野遺跡（13）が長良川、吉田川の河岸段丘上に、古墳時代の小野古墳（12)、塚前古墳（19）が川沿いの山裾に、安久田平切古墳（17）が山間に散見できる。

中世・近世の遺跡は、八幡城跡（10）をはじめとするような城館跡などがある。前述の勝更白山神社周辺遺跡では、井戸跡や溝状遺構、土坑なども確認している。遺物は10世紀初頭以降のものが比較的まとまって出土しており、13～14世紀のものが特に多い。器種組成は供膳具が主体で祭祀的な性格が強いことから、白山美濃馬場における中宮三社成立時期が10世紀まで遡る可能性を指摘している（財団法人岐阜県文化財保護センター1995)。

**第１表　周辺遺跡一覧**

| 番号 | 遺跡名 | 時代 |
|---|---|---|
| 1 | 有坂薬師堂遺跡 | 縄文 |
| 2 | 坪佐遺跡 | 縄文 |
| 3 | ドウマン遺跡 | 縄文 |
| 4 | 五町遺跡 | 縄文　弥生 |
| 5 | 伊田長者屋敷跡 | 中世 |
| 6 | 勝更白山神社周辺遺跡 | 縄文　中世　近世 |
| 7 | 尾壺城跡 | 中世 |
| 8 | 愛宕山の陣跡 | 中世 |
| 9 | 宗祇水 | 中世 |
| 10 | 八幡城跡 | 中世　近世 |
| 11 | 滝山の陣跡 | 中世 |
| 12 | 小野古墳 | 古墳 |
| 13 | 小野遺跡 | 縄文～中世 |
| 14 | 井山窯跡 | 近世 |
| 15 | 東殿山城跡 | 中世 |
| 16 | 赤谷山城跡 | 中世 |
| 17 | 安久田平切古墳 | 古墳 |
| 18 | 塚前遺跡 | 縄文　弥生　古代　中世 |
| 19 | 塚前古墳 | 古墳 |
| 20 | 地獄穴洞窟遺跡 | 縄文 |




**第４図　周辺遺跡位置図（S=１/50,000）**

# 第３章　基本層序

当遺跡は、扇状地性緩斜面が広がる微高地に立地し、調査地北地区と南地区を分断するＴ字路を境にして北側と南側へ緩やかに傾斜する。これは、本・支流の合流地点に扇状地が形成される段階で、合流部から堆積が始まり、北と東と南へ堆積が広がっていったためと思われる。

基本層序は、試掘確認調査の結果をもとにⅠ層からⅣ層を設定した（第５図）。調査面は１面で、遺構検出面はⅢａ層、Ⅲｂ層、Ⅳａ層、Ⅳｂ層のいずれかの上面である。これは、調査地点によって基盤層の堆積が異なることによるものである。なお、Ⅲ層上面では土色の類似により検出作業が困難なため、多くの遺構はⅣ層上面で検出した。以下に基本層序のⅠ層から順に概述する。

**Ⅰ層**（表土層）

近・現代の整地土で調査区全域に堆積する。Ⅰａ層は駐車場造成時、Ⅰｂ層は宅地造成時の盛土であり、転圧のため硬化している。Ⅰｃ層は宅地造成前の水田耕作土で、下部に鉄分の沈着が見られる。

**Ⅱ層**（黒色土層）

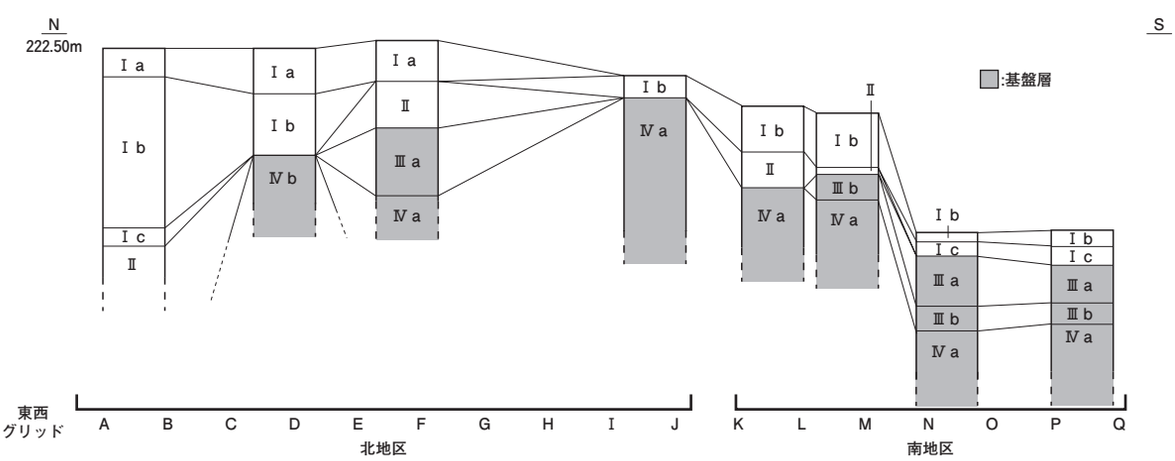
縄文時代の遺物包含層である。宅地造成による削平を受けているため、部分的に残存する。

**Ⅲ層**（黒色土～黒褐色土～黒褐色砂質土層、亜円礫・亜角礫を含む）

支流から運ばれた多量の土砂が堆積する。この上面が遺構面となる。礫の混入の度合いでⅢａ層、Ⅲｂ層に分けた。Ⅲａ層は黒色土層で、径の大きい礫を多く含む。南地区南部、北地区中央部で確認できる。Ⅲｂ層は黒色土～黒褐色土～黒褐色砂質土層で、Ⅲａ層と比較すると径の小さな礫を多く含む。南地区中央部から南部にかけて確認できる。

**Ⅳ層**（暗褐色砂礫～褐色砂質土層）

河岸段丘を形成する層である。Ⅲ層の堆積がないところでは、この上面が遺構面となる。Ⅳａ層は暗褐色砂礫層で、調査区の北地区北部を除くほぼ全域に堆積する段丘礫層である。Ⅳｂ層は褐色砂質土層で、調査区の北地区北部の低位段丘面に見られる河川堆積層である。




**第５図　基本層序模式図（横：S=１/600，縦：S=１/50）**

# 第４章　遺構と遺物

## 第１節　遺構と遺物の概要

### １　遺構の概要

当遺跡の調査で、縄文時代の遺構を検出した。遺構は北地区北端部を除く平坦地や傾斜地に密に分布する（第40図）。検出面はⅢ層上面だが、大半の遺構をⅣ層上面で検出している。これはⅢ層上面で土色の違いを認識できたもののプランの確定ができず、Ⅳ層上面まで掘り下げて検出したためである。また、狭小な調査区であるため、本来の規模や形状が不明の遺構が多い。遺構の種類と数量は、配石遺構11基、炉跡２基、柱穴跡18基、土器埋設遺構４基、土坑179基、不明遺構１基である。

遺構の時期は、出土遺物及び重複関係から判断した。今回の調査で時期が判明した遺構は、すべて縄文時代に属する。また、弥生時代以降の遺物が出土していないことから、時期不明としていた遺構は縄文時代に属する可能性が高い。出土遺物は縄文時代中期後半から晩期前半に及ぶ。遺構の重複関係が複雑で出土遺物の混在があった。そのため、土器埋設遺構以外は、埋土出土遺物の内で最も新しいものをもって廃絶あるいは成立に近い時期とした。

（１）遺構の分類

① **配石遺構（ＳＩ）**　下部土坑の有無を問わず、複数の礫が面的に集中する遺構を「配石遺構」とした。

② **炉跡（ＳＦ）**　被熱の痕跡（底面や壁面、又は均質で面的に焼土が分布する）がある遺構を「炉跡」と認定できるものとした。当遺跡では、炉の周囲を礫で囲む「石囲炉」を確認している。

③ **柱穴跡（ＳＰ）**　柱痕跡を持つものを「柱穴跡」とした。規模は上端長軸90㎝を超える大型のものが約４分の３を占める。規模や形状から次のように分類した。

Ａ類：上端長軸90㎝以上の大型のもの。断面形状が逆台形や２段の掘り込みになるものがある。

Ｂ類：その他。Ａ類に含まれないもの。

④ **土器埋設遺構（ＳＺ）**　完形土器（欠損部があっても、その形態を留めるものを含む）を土坑内に埋設した遺構で、埋甕や土器棺墓の可能性があるものを「土器埋設遺構」とした。

⑤ **土坑（ＳＫ）**　地面に掘った穴を総称する。多くは性格不明のものである。埋土中に含まれる礫の出土状況から次のように分類し、Ｂ類については遺構の規模や形状を基に細分した。

Ａ類：埋土中に礫が伴うもの。石皿や石棒が出土した大型の竪穴状遺構をＡ１類とし、径約10～50㎝の礫を主体とするものＡ２類とした。Ａ２類では川原石を含むものが多い。径10㎝以下の小礫を主体とするものをＡ３類とした。

Ｂ類：礫を伴わないもの。柱痕跡が確認できないが、規模や形状がＳＰ－Ａ類に類似しており、柱穴跡の可能性があるものをＢ１類とし、その他のものをＢ２類とした。さらに上端長軸90㎝を超える大型のものをＢ１ａ類、上端長軸90㎝以下の小型のものをＢ１ｂ類に細分した。

⑥ **不明遺構（ＳＸ）**　北地区の北端部で検出した、多数の礫や土器片を含む窪地状の遺構である。調査区の制約上、形状や規模の全容が確認できないため「不明遺構」として扱う。

## ２　遺物の概要

縄文土器が5,009点、石器が1,164点、その他（骨片など）112点の計6,285点が出土した。実測図は、遺構出土遺物は遺構の性格を反映する遺物、遺構の時期決定資料となる遺物のものを中心に掲載した。包含層出土遺物の実測図は、遺跡の性格を反映するもの、資料的価値が高いもの、分類別の代表的なものを重視して掲載した。

（１）縄文土器

出土点数は、接合前の破片数である。口縁部破片数は294片で、口縁部残存率から算出できる個体数は9.9個体である[1)]。出土した器種は大半が深鉢であり、他に浅鉢、注口土器、小型双耳壺がある。分類別出土量は第２表のとおりである[2)]。時期の分かる土器片は少なく、大半は摩滅した小破片である。無文の土器片が約４分の３を占める。中期の土器は北地点に多い傾向がある。後晩期の土器は全域で見られるが、微高地にやや集中する傾向がある。全体として中期後半から後期中葉にかけてのものが中心であり、後晩期のものも少量含まれる。その中でも後期前葉のものが比較的多く、柱穴跡などの遺構が密集する地点で多く出土した。また、南地点の遺物包含層出土遺物はⅢ層内で取り上げたものが大半を占めるが、調査時には部分的に堆積するⅡ層とⅢ層との土色判別が困難で、Ⅲ層内で取り上げたものの中に、Ⅱ層内若しくは遺構に伴う遺物を含む可能性がある。東海・近畿・中部高地・北陸・飛騨などの各地の土器型式が混在するが、在地色の強い土器が主体を占めるため、具体的な型式細分は行わなかった。

**１群　中期後半及びそれに類似する土器**　縄文を地文とするものが多く、主に隆帯や沈線の施文で分類した。綾杉文を施す信州系土器や、里木Ⅱ式などの近畿系に類似する土器、取組式、島崎Ⅲ式、山の神式などの東海系に類似する土器、加曾利Ｅ式の影響を受けた土器などがある。

**２群　１・３・４群に該当しない中期から後期の土器**　中期後半若しくは中期末葉から後期前葉の特徴を持つが、時期や型式を特定できないものを一括した。主に刺突文、押し引き沈線文などを施すものの中には、中期後半から後期前葉の近畿系や北陸系が在地化したものが見られる。

**３群　後期初頭の土器**　磨消縄文を施すものが多く、中津式若しくは中津式併行のものが主体である。オオバコ原体による擬縄文を施すものも見られる。

**４群　後期前葉の土器**　出土量は最も多く、当遺跡の中心となる時期を示す。堀之内式の影響を受けるものや縁帯文系の土器が多いが、気屋式に類似するものもある。

**５群　後期中葉の土器**　北白川上層式３期から一乗寺Ｋ式に比定できるものが主体である。刻み隆帯を持つものは、堀之内２式に比定できる。注口土器も５群に含めた。

**６群　後期後葉の土器**　元住吉山Ⅱ式に比定できるものが２点出土した。

**７群　３～６・８群に該当しない後期から晩期の土器**　後期の初頭か前葉かが判断し難いものや、後晩期と見られるものを一括した。微隆起線文を持つ飛騨の在地系土器、粗製土器、条線文土器がある。

**８群　晩期の土器**　御経塚式新段階若しくは中屋式に比定できるものが３点出土した。

**９群　時期が不明確な土器**　無文土器をＡ類、縄文を施すものをＢ類、底部片をＣ類、その他をＤ類に細分した。Ａ類が主体をなすが、後期から晩期に属する可能性が高いと考えられる。また、Ｄ類には胴部片が多く、沈線文・隆帯・縄文・刻み・刺突のいずれかの文様が複合するものや、摩滅により文様が不明瞭なものを一括した。

**第２表　土器分類別出土量（接合後点数）**

| 調査区 | 区画（南北） | 出土位置 | １群 | ２群 | ３群 | ４群 | ５群 | ６群 | ７群 | ８群 | ９群A類 | ９群B類 | ９群C類 | ９群D類 | 区画別合計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 北地区 | A | 遺構 | 2 | 2 | 3 | 4 | | | 1 | | 187 | 26 | 5 | 47 | 277 |
| | | 包含層 | | | | | | | | | 3 | | | | 3 |
| | B | 遺構 | 4 | | 1 | | 1 | | | | 48 | 7 | 2 | 15 | 78 |
| | | 包含層 | | | | | | | | | 21 | 7 | 1 | 2 | 32 |
| | C | 遺構 | 1 | | | | | | | | 29 | 5 | | 4 | 39 |
| | | 包含層 | | | | | | | | | 2 | 1 | | | 3 |
| | D | 遺構 | 5 | 1 | 1 | 5 | 1 | | 2 | | 110 | 19 | 1 | 15 | 160 |
| | | 包含層 | | | | | | | | | 59 | 7 | | | 66 |
| | E | 遺構 | 1 | | | 2 | 3 | | | | 62 | 12 | 4 | 11 | 95 |
| | | 包含層 | | | | 1 | 2 | 2 | | 1 | 249 | 40 | 6 | 19 | 326 |
| | F | 遺構 | 7 | 2 | 1 | 17 | 6 | | 3 | | 225 | 40 | 8 | 81 | 390 |
| | | 包含層 | 3 | | | | | | | | 241 | 33 | 9 | 35 | 328 |
| | G | 遺構 | 8 | | 1 | 5 | 1 | | | | 224 | 60 | 5 | 67 | 371 |
| | | 包含層 | | | | | | | | | 73 | 10 | 1 | 15 | 101 |
| | H | 遺構 | 1 | | 2 | 2 | 2 | | | | 78 | 13 | 2 | 13 | 113 |
| | | 包含層 | 1 | | | | 1 | | | | 21 | 4 | 2 | | 30 |
| | I | 遺構 | | | | | | | | | 9 | | | 3 | 12 |
| | | 包含層 | | | | | | | | | 6 | | | | 6 |
| 南地区 | L | 遺構 | 1 | | | 1 | | | 1 | 1 | 15 | 2 | | 1 | 22 |
| | | 包含層 | | | | | | | | | 28 | 3 | | 2 | 33 |
| | M | 遺構 | | | | 2 | 3 | | 1 | | 90 | 12 | 3 | 14 | 125 |
| | | 包含層 | | | | 1 | | | | | 88 | 4 | 3 | | 99 |
| | N | 遺構 | 2 | | 1 | 6 | | | | | 29 | 5 | | 6 | 49 |
| | | 包含層 | 1 | | | | | | | | 253 | 30 | 11 | 18 | 330 |
| | O | 遺構 | | | | 1 | | | | | 77 | 8 | 3 | 17 | 106 |
| | | 包含層 | | | | 1 | | | | | 522 | 54 | 14 | 3 | 632 |
| | P | 遺構 | | | | | | | | 1 | 54 | 4 | | 12 | 71 |
| | | 包含層 | | | 1 | | 1 | | 3 | | 279 | 26 | 4 | 3 | 326 |
| | Q | 遺構 | | | | | | | | | 14 | 8 | 1 | 5 | 28 |
| | | 包含層 | | | 1 | 1 | | | | | 100 | 25 | 2 | 2 | 146 |
| その他（排土置場等） | | | | | | | | | | | 2 | 2 | | 2 | 6 |
| 分類別合計 | | 遺構 | 32 | 5 | 10 | 45 | 17 | 0 | 8 | 2 | 1251 | 221 | 34 | 311 | 1936 |
| | | 包含層 | 5 | 0 | 2 | 4 | 4 | 2 | 3 | 1 | 1947 | 246 | 53 | 101 | 2467 |
| | | 総計 | 37 | 5 | 12 | 49 | 21 | 2 | 11 | 3 | 3198 | 467 | 87 | 412 | 4403 |

（２）石器類

石器・石製品及び石核・剥片類の器種別出土量は第３表にまとめた[3)]。磨石・敲石・凹石類の出土点数が多い。また、祭祀･儀礼的な用途が考えられる石製品が17点含まれる。礫石器の石材は安山岩、剥片石器では下呂石やチャートが比較的多く使用されている[4)]。磨製石斧は遠隔地からの搬入品と見られる蛇紋岩を利用しているものが主体であるが、下呂石や蛇紋岩を除くと、大半は近場で採取できる石材を利用している。

以下に、本文で用いた石器類の種類と分類の基準について述べる。

**石鏃**　鋭利な先端部と柄に装着するための基部を作出した小型の石器。分類は基部と側縁部の平面形を基に行い、分類項目１・２を組み合わせて表記した。

〈分類項目１〉基部の平面形

Ａ類：抉りがあるもの

Ｂ類：茎部を持つもの

〈分類項目２〉側縁部の平面形

１類：直線的になるもの

２類：外彎するもの

３類：内彎するもの

**石錐**　鋭利で細い先端部を作出した石器。

**楔形石器**　素材剥片の相対する二縁辺に、潰れ状あるいは階段状の剥離痕が発達する石器。

**スクレイパー**　素材剥片の縁辺部に連続した剥離を施して、一辺の１/２以上の範囲に刃部を作出した石器や、抉り状の刃部をもつ石器。連続した剥離が認められても、１/２以上の欠損があると想定されたものは、便宜的にＲＦに含めた。

**石核**　素材剥片を剥離した残骸の総称。素材剥片を利用した石核石器も含めた。

**ＲＦ・ＭＦ**　素材剥片の縁辺部に二次加工を施すが、刃部として機能していないと思われるものをＲＦとした。また、刃部として使用した結果、刃こぼれ状の微細な剥離痕が生じたものと、偶発的に生じたものがあり、これらを明確に区別することはできなかったため、両者を合わせてＭＦとした。

**石錘**　礫の長軸又は短軸に切り目・打ち欠き・溝を入れることにより紐掛かりの部分を作出した石器。切目石錘・打欠石錘・有溝石錘がある。

**打製石斧**　円礫及び円礫素材の剥片や板状の剥片を利用し、長軸の一端に刃部を作出した石器。

**磨製石斧**　敲打・剥離により成形し、長軸の一端に研磨により作出した刃部を持つ石器。

**粗製石器**　川原石円礫を素材とする大型剥片の側縁に、刃部を作出した石器。打製石斧と異なる刃部や使用痕の位置を持つものを一括した。

**石冠**　楕円形の川原石を敲打・研磨によって成形した小型の石製品。

**石刀・石棒**　素材を敲打・研磨によって棒状に成形した石製品。断面形が扁平なものを石刀とした。また、加工痕は確認できなくても、その出土状況や被熱痕から石棒としての使用が考えられるものは、「石棒状自然石」として扱う。

**石皿・台石類**　川原石の平坦面又は凹面に磨痕・擦痕が認められる石器。

**砥石**　礫の表面に溝状や帯状の磨痕・擦痕・線状痕が認められる石器。

**磨石・敲石・凹石類**　主に拳大の川原石（楕円礫）を用い、表面に磨痕・敲打痕・凹みなどが観察できる石器を一括した。一般的には細別されるが、当遺跡では１つの石器の表面に複数の使用痕が認められるものが多いことから磨・敲・凹石類とした。ただし、本文中では、磨痕のみを確認したものは、

**第３表　石材別石器類出土量**

| 石材 | 石鏃 | 石錐 | 楔形石器 | スクレイパー | 石核 | ＲＦ | ＭＦ | 石錘 | 打製石斧 | 磨製石斧 | 粗製石器 | 石製品 | 石皿・台石類 | 砥石 | 磨・敲・凹石類 | 剥片 | その他 | 合計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 安山岩 | | | | | | | | | 7 | 1 | 39 | 2 | 28 | | 154 | 28 | | 259 |
| 黒曜石 | 1 | | 1 | | | | | | | | | | | | | 1 | | 3 |
| 結晶片岩 | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | 1 |
| 緑泥片岩 | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | |
| 下呂石 | 13 | 1 | 18 | 8 | 1 | 8 | 4 | | | | | | | | | 123 | | 176 |
| 砂岩 | | | | | | | | 19 | 5 | 1 | 4 | 4 | 3 | 2 | 14 | 4 | | 56 |
| サヌカイト | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | 1 |
| 蛇紋岩 | | | | | | | | | | 11 | | | | | | | | 11 |
| チャート | 24 | 6 | 29 | 11 | 2 | 14 | 31 | | | | | | | | | 452 | 1 | 570 |
| 泥岩 | | | | | | | | 2 | | | 1 | 2 | | | | 28 | | 33 |
| はんれい岩 | | | | | | | | 2 | | | | | | | | | | 2 |
| 流紋岩 | | | | | 7 | | | | 4 | | 4 | 6 | 10 | | 4 | 12 | | 47 |
| 流紋岩質凝灰岩 | | | | | | | | 3 | | | | | | | | | | 3 |
| その他（珪化木） | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | 1 |
| 合計 | 38 | 7 | 48 | 19 | 10 | 22 | 36 | 26 | 16 | 13 | 48 | 17 | 41 | 2 | 172 | 648 | 1 | 1,164 |

磨石というように記載した。磨痕・敲痕・凹みの組み合わせ関係から見ると、磨痕のみのものは他と異なり、礫の大きさにばらつきが見られ、比較的大きな礫も使用していることが分かる（第46図）。

（３）その他の遺物

骨片、炭化物などが出土した。土器埋設遺構や炉跡からの出土である。

## ３　遺構一覧表・遺物観察表・実測図について

○遺構一覧表のグリッドは、遺構を検出したグリッドで、複数のグリッドにまたがる場合は「-」で結んだ。また、遺物観察表の地区は、グリッド内を均等に４分割し、北西区を①区、北東区を②区、南西区を③区､南東区を④区のように細分した。例えば､Ｆ２グリッドの①区から出土した場合は「Ｆ２①」、①区と②区の境界から出土した場合は「Ｆ２①②」、区が不明の場合は「Ｆ２」と表記した。

○遺構の検出層位は基本層序と検出面で表し、Ⅲ層上面で検出した遺構の場合「Ⅲ上」と表記した。

○遺構の大きさの単位はメートルである。全形が確認できなかったものは､残存長を（　）で示した。

○遺構の平面形状・底面形状は、掘形の上端・下端における形状とした。

○遺物観察表の層位は、遺物包含層出土の場合は基本層序番号（Ⅰ・Ⅱ・Ⅲなど）を、遺構出土の場合は上層から５㎝ずつを人工的に分け、それぞれ「１」「２」・・・と記入した。また、調査期間の都合上、埋土一括で取り上げた遺物は、「－」と記入した。

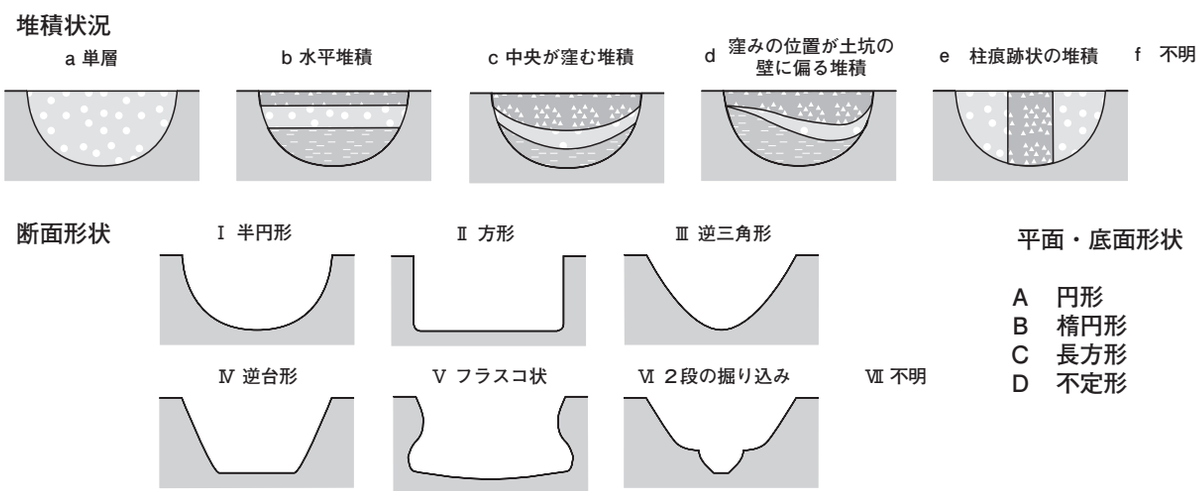
○遺物実測図のスクリーントーンは、赤彩範囲は赤で表し、石器の磨面・被熱痕・付着物の分布範囲は黒の濃度調整をして表した。また、石器の自然面はドットで表した。

1）　個体数の計測方法は、口縁部計測法（宇野1992）を用いた。

2）　縄文土器については、泉拓良氏、大塚達朗氏、伊藤正人氏、長田友也氏、木下哲夫氏、纐纈茂氏、白川綾氏、高橋健太郎氏、山本孝一氏の指導を得た。

3）　石器については、長屋幸二氏、長田友也氏の指導を得た。

4）　石材名の中には、正式名では同材となるものがあるが、器種による石材の違いをより明確にするため通称名で表記した。




**第６図　土坑分類模式図**

# 第２節　　検出した遺構と遺物

## １　配石遺構

配石遺構は、主に調査区の微高地に分布するが、Ⅱ層が比較的厚く堆積するＬ２－３・Ｍ２－３グリッドにおいて、配石遺構を数基まとまって検出した。出土遺物は、石器が主体で、少量出土した土器はいずれも無文の小破片である。そのため、遺構の時期は判断できなかったものが多い。ただし、下部土坑を持つ配石遺構は、下部土坑から出土した遺物の時期に属すると判断した。Ｌ２－３・Ｍ２－３グリッドの配石遺構の時期は、遺物包含層出土遺物との関連性が考えられるため、詳細は、第５章で述べることとする。遺構の位置は第７図を参照されたい。

全体的に径約10～25㎝の亜角礫や亜円礫を不定形に配置するものが多いが、ＳＩ１・ＳＩ４を除いて、全て下部土坑を持つ。ＳＩ１～３、ＳＩ９の４基は、大型の柱穴跡の直上若しくはその周辺で重複している。

**ＳＩ１（遺構：第８図）**

**検出状況**　Ｆ２グリッドの緩斜面で検出した。

**概要**　ＳＰ５の直上に長辺17～27cm の亜角礫３点を列状に配置する。遺物は出土しなかった。

**時期**　ＳＰ５を切ることから、縄文時代後期前葉以降と判断した。

**ＳＩ２・ＳＫ61（遺構：第８図）**

**検出状況**　Ｇ２グリッドの平坦面で検出した。ＳＰ８の直上で重複する。

**概要**　平面は方形である。ＳＫ61はＢ２類の土坑で、その直上に、長辺57㎝の柱状の亜角礫１点を横位に配置し、その西側に長辺５～20cmの亜角礫や亜円礫を寄せて配置する。遺物は出土しなかった。

**時期**　ＳＫ61がＳＰ８を切ることから、縄文時代後期中葉以降と判断した。

**ＳＩ３・ＳＫ65（遺構：第８図）**

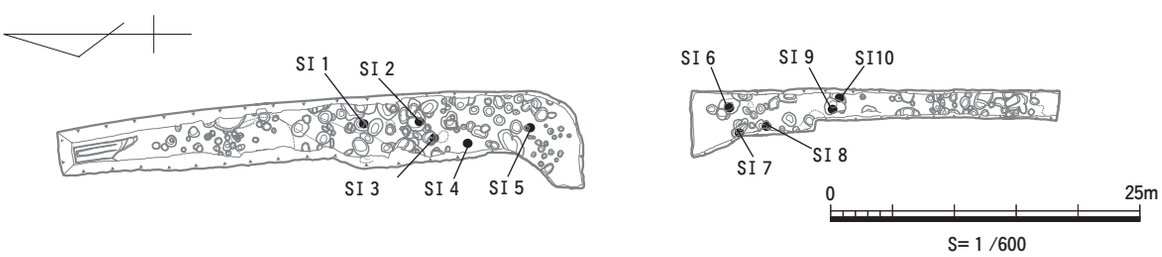
**検出状況**　Ｇ２グリッドの平坦面で検出した。ＳＰ10の直上で重複する。

**概要**　ＳＫ65はＢ２類の土坑で、その直上の、ほぼ中央付近に、長辺27㎝の亜角礫１点を配置する。遺物は出土しなかった。

**時期**　ＳＫ65がＳＰ10を切ることから、縄文時代後期前葉以降と判断した。

**ＳＩ４（遺構：第８図、遺物：第10図）**

**検出状況**　Ｈ２グリッド平坦面、西壁際で検出した。




**第７図　配石遺構位置図**

**概要**　南西部は調査区外へわずかに展開するが、平面は長楕円形と見られる。当遺跡の中では比較的規模が大きく下部土坑は確認できなかった。北東端に長辺58㎝の石棒状自然石を横位に配置する。その南西側に長辺15～23㎝以下の亜角礫を寄せて置く。石棒状自然石には被熱痕が認められる。

**出土遺物**　１は濃飛流紋岩製の柱状節理原石で、稜線や自然面のほぼ全面が摩耗する。支流の竜牙谷川において摩耗の激しい濃飛流紋岩が確認できるため、水で運ばれた原石をそのまま石棒として利用した可能性が高い。

**時期**　不明

**ＳＩ５・ＳＫ96（遺構：第８図）**

**検出状況**　Ｉ２グリッドの平坦面で検出した。

**概要**　ＳＫ96はＢ２類の土坑で、その直上で小礫が散在し、上端に沿って長辺12～20㎝の亜角礫を配置する。遺物は出土しなかった。

**時期**　不明

**ＳＩ６・ＳＫ124（遺構：第９図、遺物：第10図）**

**検出状況**　Ｌ２－３グリッドの平坦面で検出した。下部土坑の東側が造成により削平される。

**概要**　平面は不定形で、長辺19㎝の五角形の扁平角礫を東部に平置きし、その脇に長径12～13㎝の円礫３点と長辺16㎝の亜角礫を寄せて配置する。さらに北へ約0.15ｍ離れた所で打製石斧（５）を含む亜角礫が散在する。ＳＫ124はＡ２類の土坑で、上面配石ＳＩ６の位置から約0.2ｍ掘り下げた壁面において、石皿（２）が立位で出土した。

**出土遺物**　２は石皿・台石類で、扁平な川原石の片面を剥離調整し磨面を作出する。３は４群の土器片円盤で、擦痕はなく打ち欠きが認められる。斜格子文を施す。４は１群の土器片で、キャリパー形波状口縁の波頂部付近に当たり、２条の平行沈線沿いに円形の押引連続刺突文を施す。５は撥型の打製石斧である。川原石の横長剥片を利用し、刃部を折損するが着柄部に抉りを作出し、基部を狭く調整する。大型で自然面を残し、柄の大きさに合わせて基部を絞るように調整することから後晩期の様相を呈する。

**時期**　縄文時代後期初頭の土器片（３）が出土したことから、遺構の所属時期は縄文時代後期初頭以降と判断したが、ＳＩ６で出土した打製石斧から、遺構の所属時期は下る可能性がある。

**ＳＩ７・ＳＫ125（遺構：第９図）**

**検出状況**　Ｌ２グリッドの平坦面、西壁際で検出した。

**概要**　平面は不定形で、長辺15～32㎝の亜角礫と、折損した石皿・台石類２点が主軸をほぼ同じにして配置される。ＳＫ125はＢ２類の土坑で、平面形は上面配石の範囲と一致しており、ＳＩ７の下部土坑と判断した。

**出土遺物**　石皿・台石類２点が出土した。

**時期**　不明

**ＳＩ８・ＳＫ133・ＳＫ134（遺構：第９・26図、遺物：第10・11・29図）**

**検出状況**　Ｍ２グリッドの平坦面、西壁際で検出した。

**概要**　平面は円形で、長径40～50㎝の扁平円礫を南北端に配置する。南西側は長辺20～30㎝の亜角礫を弧状に配置し、北側は長辺10～15㎝の亜角礫を弧状に配置する。東端の扁平円礫は上面及び側

面に被熱の痕跡が認められる。検出面では下部土坑が確認できず、検出面から0.4ｍ掘り下げたⅣａ層上面でＳＫ133･134を検出した。この土坑は、土層断面状況からＳＩ８との関連性が確認できなかったが、平面形がＳＩ８とほぼ一致することから下部土坑の可能性が高い。弧状に配置された礫の内側や周囲では、石器が多数出土した。

**出土遺物**　６・７は４群の土器である。６は土器片円盤で、擦痕はなく打ち欠きが認められる。幅の違う２条の沈線を施し、沈線内刺突とＬＲ縦回転の磨消縄文を施した深鉢の胴部片である。７は鉢で内彎する器形をもち、口縁部から頸部にかけて沈線を施す。堀之内Ⅰ併行の飛騨の在地系土器である。８は撥型の打製石斧である。川原石の横長剥片を利用し、着柄部に抉りを作出する。刃部に摩耗痕や線状痕が残る。大型で自然面を残し、柄の大きさに合わせて基部を絞る調整を施すことから後晩期の様相を呈する。９はＡ１類の石鏃で脚部の一方と先端部を折損する。10はＢ２類の石鏃で、下呂石製の縦長剥片を調整し、全体を敲打した後に基部を丸く棒状に整形する。尖頭部は左右非対称の形態となり、より鋭い調整を施す。11は濃飛流紋岩製の石核で、主に表裏面を打面として剥片剥離作業を行う。縁辺の一部につぶれ痕が見られ、直線的な稜が確認できることから、大型の横刃型石器の可能性もある。12～14は磨製石斧である。12は蛇紋岩製で、ほぼ全面を研磨する。13は蛇紋岩製で、ほぼ全面を研磨するが、基部と刃部に敲打痕と剥離痕が見られることから、敲き石に転用した可能性がある。14は刃部を折損し、研磨痕は顕著ではないが、乳棒型である。基部を敲打により整形し、研磨により丸く調整している。15は石皿・台石類で、約２分の１を折損する。扁平な川原石の片面に滑らかな磨面を作出する。16～18は、磨・敲・凹石類である。

**時期**　出土土器は摩滅した無文の土器片が大半をしめる。礫の直下で縄文時代後期前葉の土器片（６・７）が出土したが、下部土坑の可能性があるＳＫ133では縄文時代晩期前半の土器片（102）が出土したことから、遺構の所属時期は縄文時代晩期前半以降と判断した。

**ＳＩ９・ＳＫ144（遺構：第９図）**

**検出状況**　Ｎ２－３グリッドの緩斜面で検出した。ＳＰ15を切る。

**概要**　平面は不定形である。ＳＫ144はＢ２類の土坑で、その直上で、長辺約40㎝の棒状の亜角礫を横位で配置し、その南側に長辺５～20㎝の亜角礫や亜円礫を寄せて配置する。遺物は出土しなかった。

**時期**　ＳＫ144がＳＰ15を切ることから、縄文時代後期前葉以降と判断した。

**ＳＩ10・ＳＫ146（遺構：第９図、遺物：第11図）**

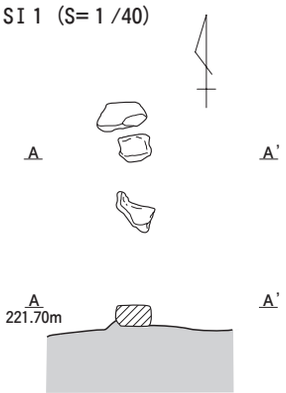
**検出状況**　Ｎ３グリッドの緩斜面、東壁際で検出した。

**概要**　平面は西側の一部をⅡ層と誤認して除去しているため、本来は円形であった可能性がある。ＳＫ146はＢ２類の土坑で、その直上の、中央西寄りに長辺25㎝の亜角礫１点を平置きし、その東側に長辺２～10㎝の亜角礫を寄せて配置する。

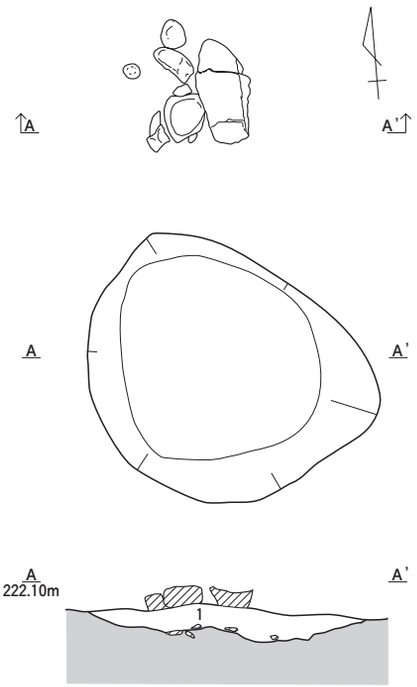
**出土遺物**　土器片４点、磨・敲・凹石類１点が出土した。19は４群の土器片で、口縁端部を内外にやや肥厚させた菱形の断面を呈し、内外面の対象な位置に横位の１条沈線を施す。

**時期**　出土遺物から縄文時代後期前葉以降と判断した。

SI 1 (S=1/40)

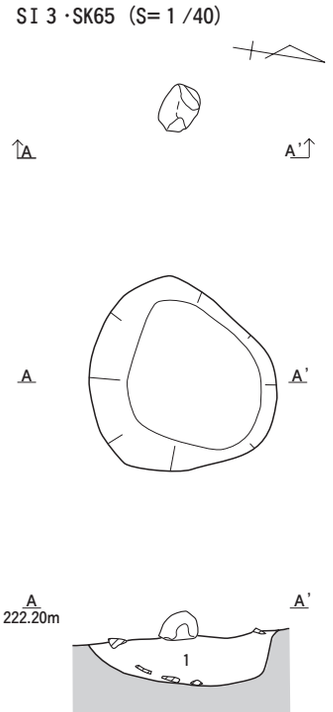



SI 2・SK61 (S=1/40)




1　10YR1.7/1 黒色土　やや茶色　ややしまりあり
やや粘性あり　径5～20cmの亜角礫・亜円礫を50％以上含む

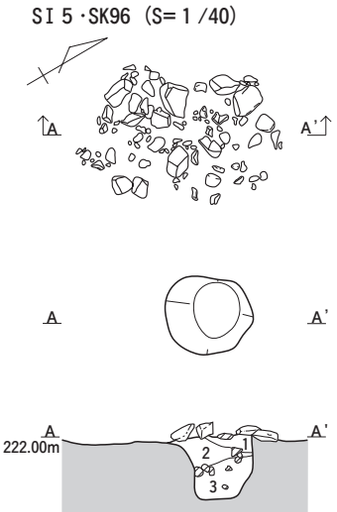
SI 3・SK65 (S=1/40)



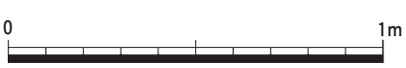

1　10YR1.7/1　黒色土　やや暗色　ややしまりあり
やや粘性あり　径5～10cmの亜角礫を2％含む

SI 4 (S=1/20)

SI 5・SK96 (S=1/40)

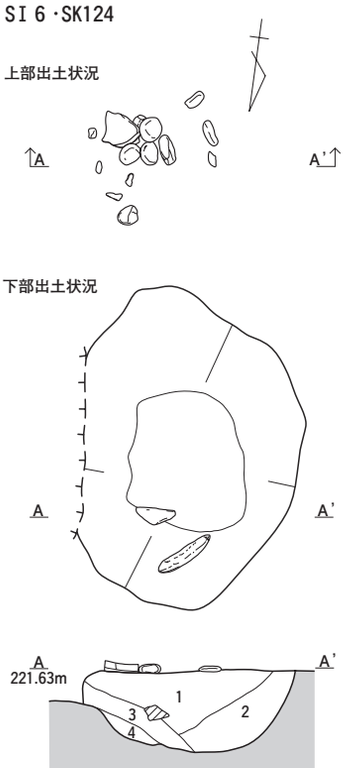



1 10YR1.7/1　黒色土　ややしまりあり やや粘性あり
炭化物混じる　径1～2cmの亜円礫を50%以上含む
2 10YR2/1 黒色土　やや砂質　ややしまりあり
やや粘性あり　径1～2cmの亜円礫を50%以上含む
3 10YR3/1　黒褐色砂礫　しまりなし　粘性なし
径2～4cmの亜円礫・亜角礫を50%以上含む



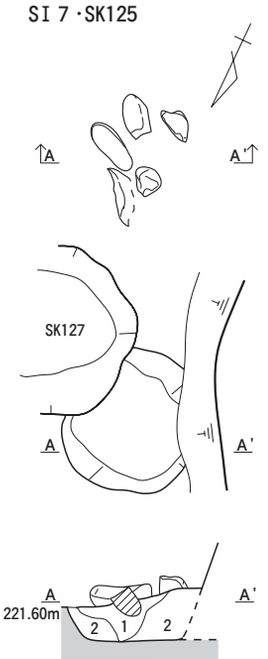
第８図　配石遺構（１）（S=1/20,1/40）

SI 6・SK124



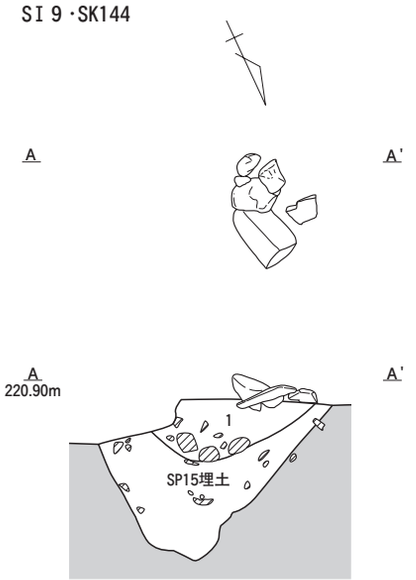

1　10YR2/1　黒色土　しまりあり　やや粘性あり　礫含む
2　10YR3/1　黒褐色土　しまりあり　やや粘性あり　礫含む
3　2層に4層（10YR3/4暗褐色砂礫）が混じる
4　10YR3/4　暗褐色砂礫　やや暗色　しまりなし　粘性なし
（Ⅳ層か?）

SI 7・SK125



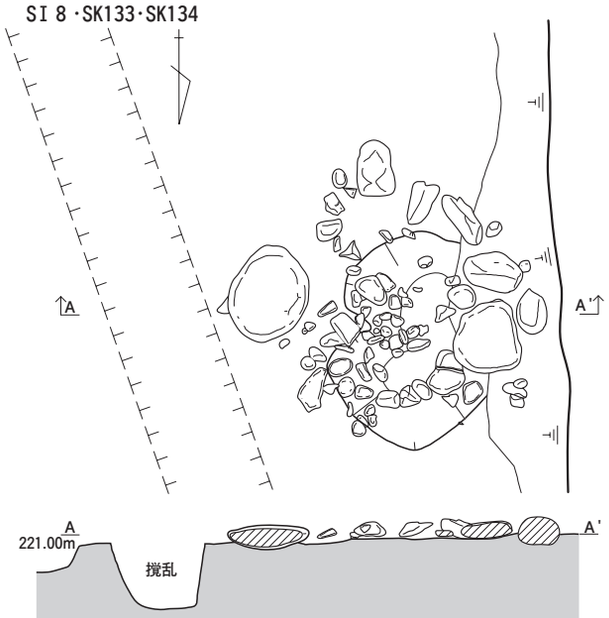

1　10YR2/1　黒色土　ややしまりあり
やや粘性あり　礫少ない
2　10YR3/4　暗褐色砂礫　ややしまりあり
やや粘性あり　1層のブロックが混じる

SI 9・SK144

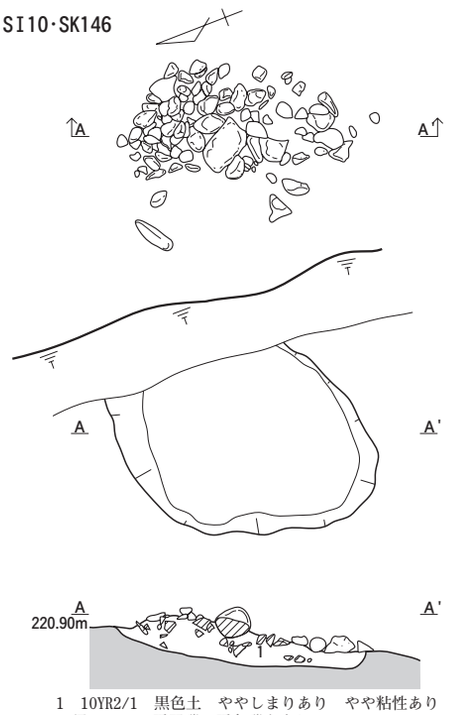



1　10YR2/2　黒褐色土　ややしまりあり　やや粘性あり
径5～15㎝の亜円礫・亜角礫を5％含む

SI 8・SK133・SK134



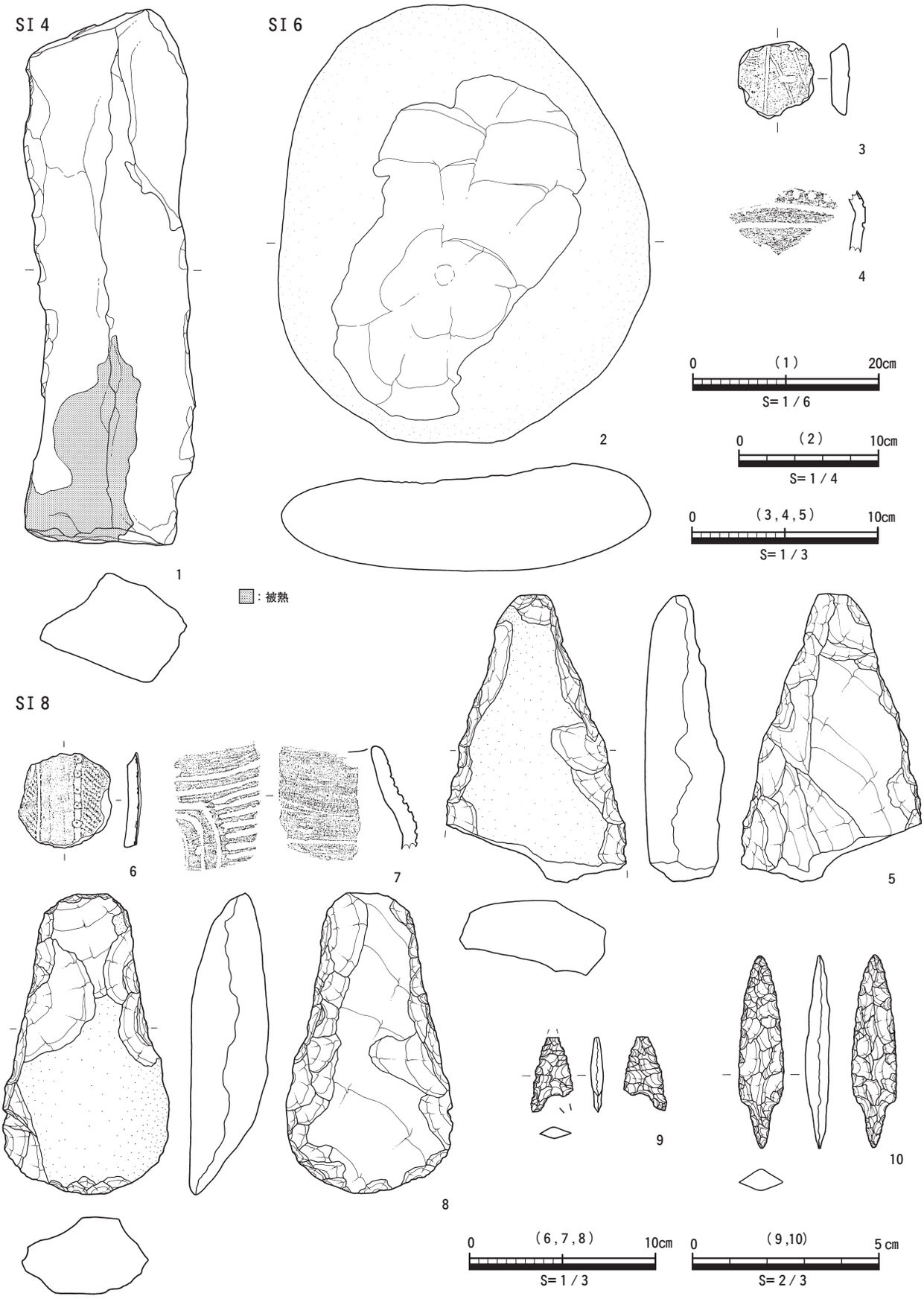

SI10・SK146



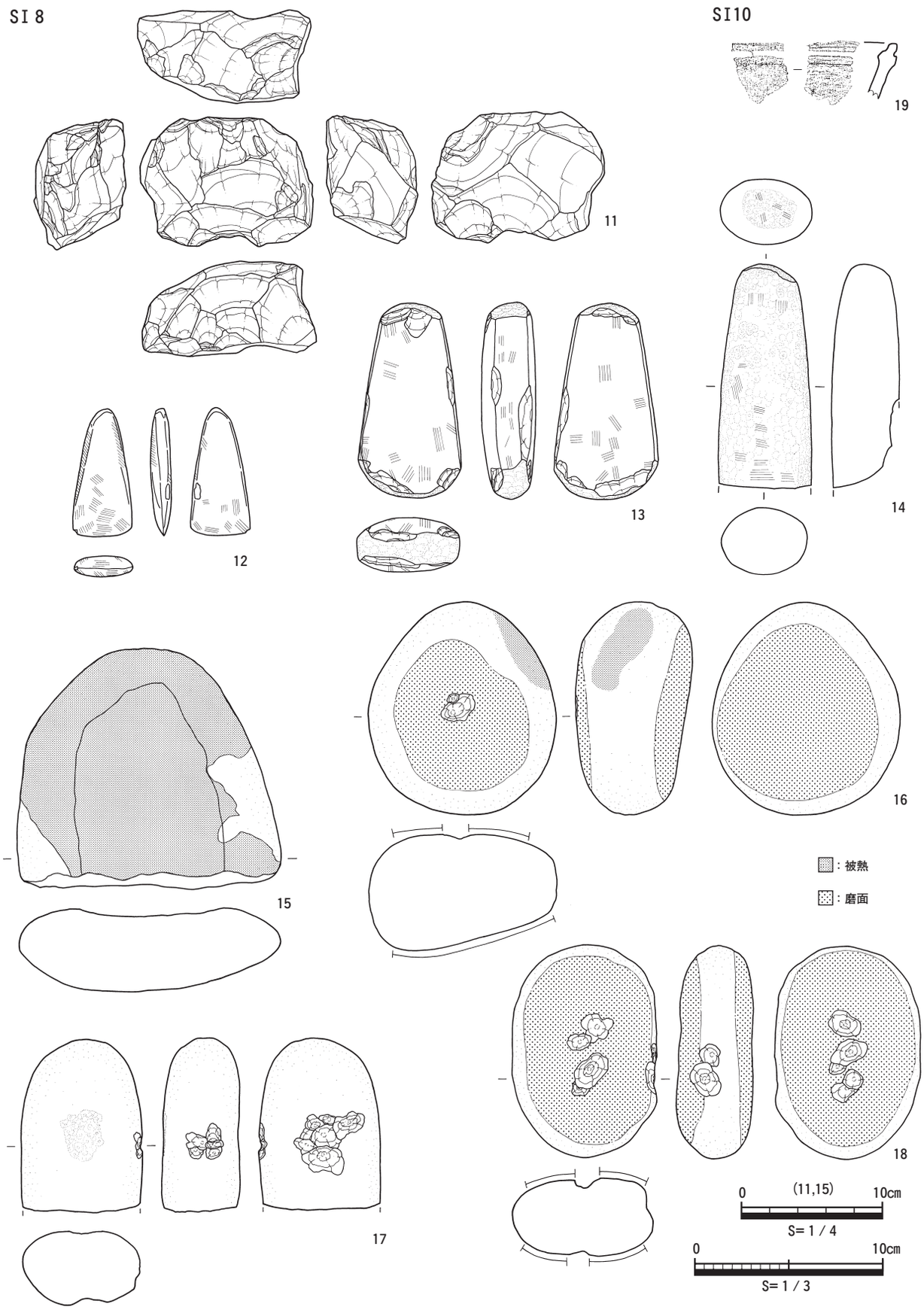

1　10YR2/1　黒色土　ややしまりあり　やや粘性あり
径4～7㎝の亜円礫・亜角礫を含む
（上部に径5～15㎝の礫が集まる）

0　2m

第９図　配石遺構（２）（S=１/40）




**第10図　配石遺構出土遺物（１）**




**第11図　配石遺構出土遺物（２）**

## ２　炉跡

２基の炉跡を検出した。この２基は接近した位置にあり、いずれも一部に撹乱を受けた状態で検出した。周辺に竪穴住居の掘形や柱穴状の遺構は確認できなかったが、検出面が黒色土であり、遺構埋土と基盤層の土色が類似しているため、平面上でプランを確認できず掘り下げてしまった可能性がある。

### ＳＦ１（遺構：第12図、遺物：第12図）

**検出状況**　Ｅ２グリッドに位置する。部分的に残存するⅡ層を除去し検出した。北部は崩積性堆積物が多く、Ⅲａ層及び遺構埋土をⅡ層と誤認したため掘り過ぎている。南東部は旧用水路造成による撹乱を受けている。ＳＦ２と近接し、標高もほぼ同じである。

**概要**　炉石は４辺とも遺存するが西辺を除く３辺は上面が削平され、南辺は東半分が割れて炉内に落ち込んでいたが長方形の石囲炉で、長軸0.75ｍ、短軸0.68ｍと推定できる。西辺は他の３辺とは異なり、長辺35㎝の板状に割れた濃飛流紋岩を短軸を立てて配置する。また、北辺は長径67㎝の扁平な川原石を用いており、表面には明瞭な磨面が確認できるため、台石を転用した可能性もある。炉跡の内部では西側にわずかな焼土層を検出したが範囲は特定できなかった。

**出土遺物**　土器片44点、石皿・台石類１点、磨・敲・凹石類４点、石錐１点、剥片２点が出土した。20～22は５群の土器片で、20は口縁部の外面に２条以上の沈線、内面に１条の沈線を施す。21は内彎する口縁部の側面に横走する３条の沈線を施し、一部に縄文の痕跡が残る。22は口縁端部を内側に拡張させ、その上に沈線を巡らし、沈線の両側にＲＬ縄文を施す。23は石錐で、素材となる剥片のほぼ全周に調整を加えて、細身の棒状になる。24は磨石で、被熱痕がある。

**時期**　出土遺物から、縄文時代後期中葉以降と考えられる。

### ＳＦ２（遺構：第12図、遺物：第12図）

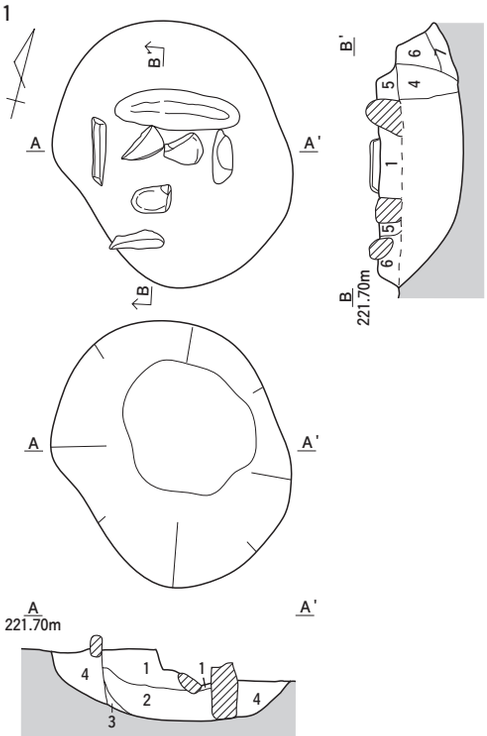
**検出状況**　Ｄ２－Ｅ２グリッドに位置する。上面の崩積性堆積物を除去し、Ⅲ層中で検出した。南西部は旧用水路造成による撹乱を受けている。

**概要**　炉石は２辺が遺存し、いずれも長径67～68㎝の扁平な川原石を用いる。土層断面で南辺と西辺の炉石抜き取り痕跡を確認したことから、方形の石囲炉と考えられ、長軸0.9ｍ、短軸0.84ｍと推定できる。また、北辺と東辺の接する部分の下部では、炉石を固定するために込められたと思われる礫が出土した。炉石には明瞭な被熱痕跡は認められなかったが、表面上部の多くのひび割れや剥離痕は、被熱による影響と考えられる。炉跡の内部では焼土層を検出した。

**出土遺物**　土器片18点、最下層焼土から炭化物が付着した石皿・台石類１点、磨・敲・凹石類１点が出土した。その他に打製石斧１点、石核１点、被熱痕のある磨・敲・凹石類１点、剥片４点が出土した。26は３群の土器片で、渦巻文とＬＲ磨消縄文を施す。25は１群の土器片で、籠状の把手か突起の一部である。大きな波状の波長部にあたり、渦巻文を施す。焼土層から出土しており、炉内で二次焼成を受ける。27は短冊形の打製石斧である。流紋岩の横長剥片を利用し、基部を折損するが、両側縁がほぼ平行する。小型で、自然面を残さず、スクレイパー状であることから中期的な様相を呈する。

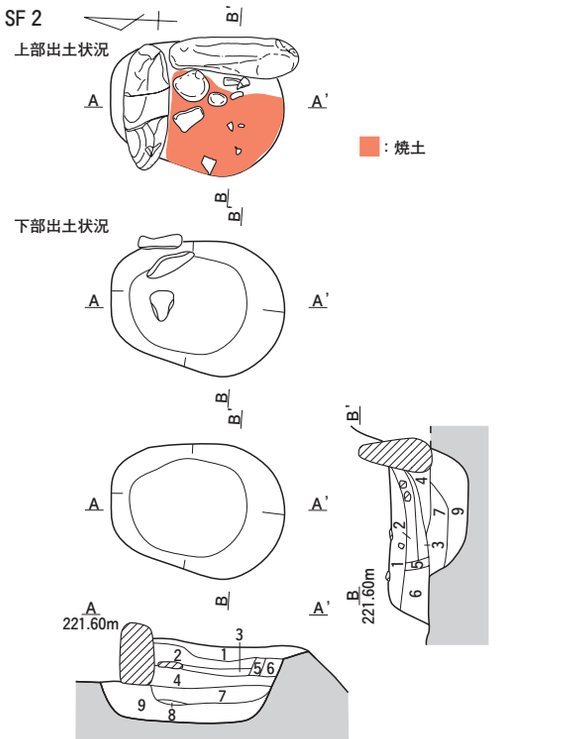
**時期**　出土遺物から、縄文時代後期初頭以降と考えられる

SF 1




1　10YR1.7/1　黒色土　やや暗色　ややしまりあり　やや粘性あり
　土器片、炭が50%以上混じる
2　7.5YR1.7/1　黒色土　やや砂質　ややしまりあり　やや粘性あり
　炭が50%以上混じる
3　7.5YR2/3　極暗褐色土（焼土）　ややしまりあり　やや粘性あり
　小円礫を50%以上含む
4　10YR3/1　黒褐色土　やや灰色みを帯びる　しまりあり　やや粘性あり
　炉石の掘形埋土　径3～5㎝の小礫を50%以上含む
5　10YR1.7/1　黒色土　やや砂質　ややしまりあり　やや粘性あり
6　10YR3/1　黒褐色土　ややしまりあり　やや粘性あり
　炭化物・焼土粒が混じる
7　10YR3/1　黒褐色砂質土　ややしまりあり　やや粘性あり
　Ⅳ層（10YR4/1褐色砂質土）のブロックが混じる

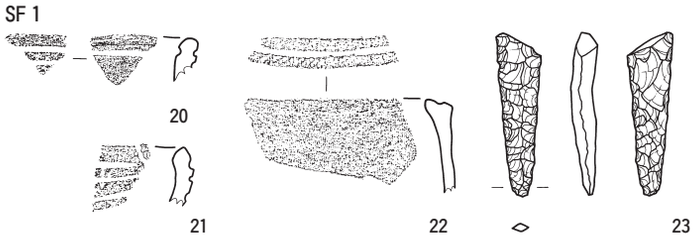
SF 2



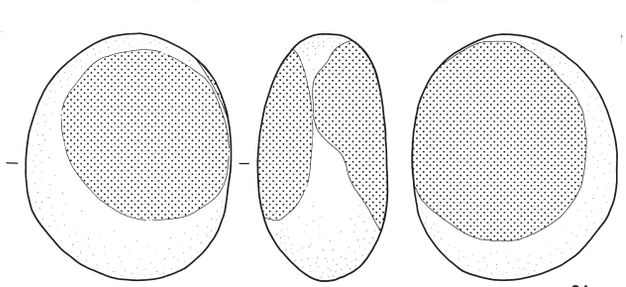

1　10YR3/1　黒褐色土　やや茶色　ややしまりあり　やや粘性あり
　径2～5㎝の亜円礫・亜角礫を含む
2　10YR3/1　黒褐色土　やや淡色　ややしまりあり　やや粘性あり　礫含まず
3　10YR1.7/1　黒色土　ややしまりあり　やや粘性あり　炭化物・土器片含む
4　3層に10YR3/4　暗褐色砂質土のブロックが混じる
5　10YR2/1　黒色土　ややしまりあり　やや粘性あり　礫含まず（炉石抜取痕）
6　10YR2/1　黒色土　やや暗色　ややしまりあり　やや粘性あり　礫含まず
　（炉石抜取痕）
7　10YR4/1　褐灰色土　やや暗色　しまりなし　やや粘性あり　礫含まず（焼土層）
8　10YR6/3　にぶい黄褐色土　しまりなし　やや粘性あり　礫含まず（焼土層）
9　10YR4/4　ややしまり　やや粘性あり　径2～4㎝の亜円礫・亜角礫を5％含む
　10YR3/2 黒褐色土のブロックが混じる

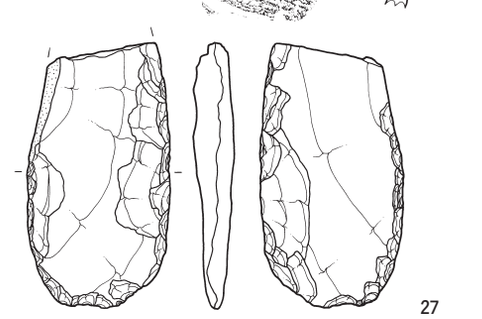
0　2 m

SF 1




SF 2




**第12図　炉跡・炉跡出土遺物（S= 1 /40, 1 / 3 , 2 / 3 ）**

### ３　柱穴跡（第13図、第14～18図）

ここでは、Ａ類14基とＢ類４基を報告する。

Ａ類の分布状況は、大きく分けて次の３つの地点に分けることができた（第13図）。

①地点：北地区の北東側へ緩やかに下る斜面から低位段丘面の平坦地

②地点：北地区の微高地上と北へ緩やかに下る傾斜地

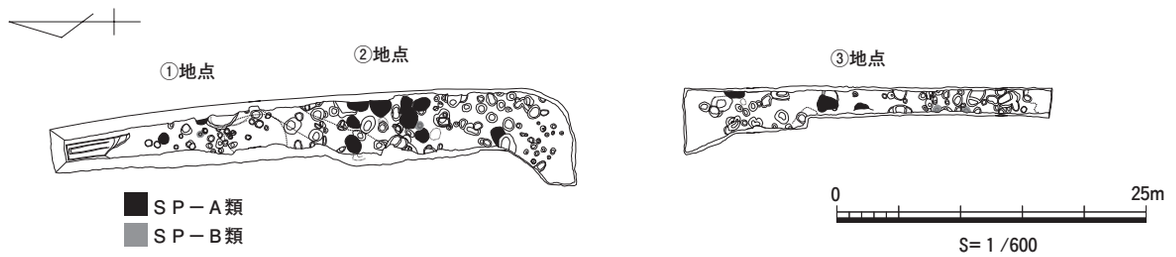
③地点：南地区の南東側へ緩やかに下る斜面から低位段丘面の平坦地

Ａ類は、その多くが②地点に密集することや、①、③地点のように、南側と北側の低位段丘面に、②地点を境にしてほぼ対象な位置に分布することが特徴的である。断面は大半が逆台形状で、ＳＰ１のように、２段の掘り込みを持つものもある。逆台形状のものは、柱痕跡の左右に裏込め状の堆積が見られ、２段の掘り込みを持つものは裏込め状の堆積は確認できなかった。特に、ＳＰ１は、柱痕跡と考えられる下部の小土坑の直上に、石皿・台石類（29）や磨石・敲石・凹石類（30）が出土した点が他と異なる。これらの石器の出土状況は、柱穴の廃絶に伴う儀礼の可能性もある[1)]。ＳＰ５・ＳＰ６・ＳＰ８・ＳＰ10・ＳＰ14・ＳＰ15のように、上部に土坑Ａ類や配石遺構が重複するものが多いが、関連性はないと考えられる。また、ＳＰ10のように、下部に小土坑が重複するものがあるが、柱痕跡とずれた位置にあり、関連性はないと考えられる。遺構の時期は、ＳＰ６・ＳＰ９・ＳＰ12・ＳＰ14の４遺構は、出土した土器片が５点以下で、いずれも時期不明であるが、その他は縄文時代後期前葉以降と考えられる。ただし、ＳＰ１の出土遺物には、縄文時代中期末以降と考えられる土器片が１点含まれることから、他と異なる時期の柱穴跡の可能性がある。なお、柱穴跡の可能性があるＳＫ－Ｂ１ａ類も②地点に集中する。しかし、狭小な調査区であるため、柱穴列跡や掘立柱建物跡などの可能性はあるものの、特定できなかった。

Ｂ類は基数が少なく、また狭小な調査区であるため、まとまりを捉えることはできなかった（第13図）。ＳＰ２・ＳＰ11は、二段の掘り込みを持つが、ＳＰ２は、しまりや粘性のない砂質土に柱を立てるため、周囲を亜角礫で固定した可能性がある。ＳＰ17・ＳＰ18は調査区外へ展開するため平面形は不明である。いずれもⅣ層上面で検出したが、西壁でⅢ層上面からの掘り込みを確認した。ＳＰ２・ＳＰ18からは土器が出土せず、ＳＰ17から出土した土器片は摩滅した無文土器であるため、この３基は時期不明である。ＳＰ11は縄文時代後期前葉以降と考えられる。

#### 出土遺物（第18～20図）

28～30はＳＰ１から出土した。28は１群の土器片で、短沈線を施す。29は砂岩製の石皿･台石類で、被熱させることで剥片をとり、割れ面を砥石として使用する。30は磨石である。31はＳＰ２から出土した磨･敲･凹石類で、表裏面に磨痕と凹み、側面に敲打痕がある。32～35はＳＰ３から出土した。

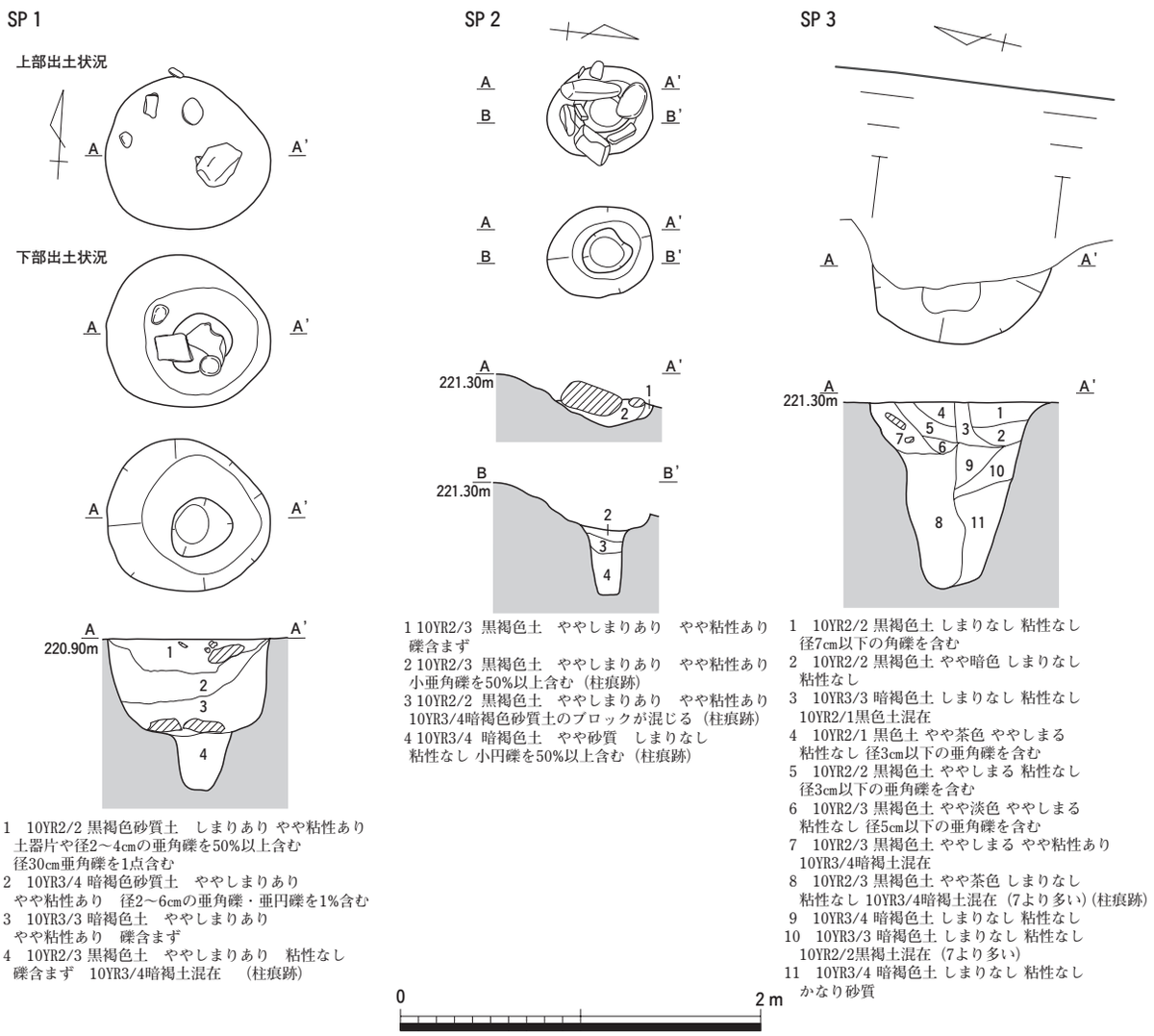



第13図　柱穴跡分布図

32は５群の土器片で、内面に稜をもち、口縁端部は尖る。33は４群の粗製土器で、口縁端部を面取りする。34は１群の土器片で、口縁端部に２列の連続刺突文を施し、その直下に縦位の短沈線を施す。隆帯の剥がれ痕がある。35は粗製石器で、側辺から末端部に片面調整により刃部を作出するが、もう一方の辺では刃こぼれと思われる剥離が見られる。36～38はＳＰ４から出土した。36・37は４群の土器片で、36は口縁がやや緩やかに内彎し、末端刺突を持つ沈線を口縁端部に施す。口縁端部から側面にかけて横走する沈線を施し、沈線間には刺突文を充填する。37は横走する沈線の下側から斜位の連続刺突文を施す。38は２群の土器片で、口縁部内面を拡張させ口縁端部を面取りする。口縁部側面には押し引き沈線を施す。39～47はＳＰ５から出土した。39～45は４群の土器片である。39は粗製土器で、口縁端部を面取り若しくは丸く撫でる。40・41は縁帯文土器に類似する。40は口縁端部を拡張させ、その上に沈線を施し、ＬＲ縄文を施す。41は口縁波頂部を肥厚させ、口縁端部は指撫でにより面取りをする。42は波状口縁の波底部で、２条の平行する押し引き沈線を施す。肥厚した口縁部にＲＬ縄文を施し、頸部にはＲＬ縄文を縦走させる。気屋式に比定できる。43は口縁端部をやや肥厚させ、口縁部外面に２条の沈線を施し、沈線間には斜位の刻みを充填する。44は堀之内Ⅰ式古段階併行の在地系土器で、口縁部がわずかに逆くの字になり、口縁端部に鍵状の刺突文を施す。45は胴部外面に半裁竹管による条線を垂下させる。46は１群の土器片で、垂下する沈線の区画内に「ハ」の字状の沈線を充填する。47は扁平な円形の自然石を利用した切目石錘である。48～53はＳＰ７から出土した。48は７群の土器片で、縁帯部の主文様として粘土粒を貼り付け、中央を押捺し縁辺を刻む。元住吉山Ⅰ・Ⅱ式併行の中部高地系の土器と思われる。49・50は４群の土器で、49は隆帯の剥がれ痕があり、隆帯の区画内に沈線とＬＲ磨消縄文を充填する。50はキャリパー型の器形で、口縁部外面に横走する沈線を施し、右斜め下から刺突文を施す。堀之内Ⅰ式併行の気屋式に比定できる。51は口縁端部に１条の沈線を巡らし､その外側を刻む。52は３群の小型双耳壺の把手で、蒲鉾形の貫通孔を施し、外面に刺突文を施す。中津式併行の53は２群の土器片で、胴括れ部に櫛描線文を縦位に施す。54～56はＳＰ８から出土した。55は５群の土器片で、波状口縁の口縁部を肥厚させることで段を成し、その上に３条の沈線を施す。口縁端部から口縁部外面にかけて貝殻原体による文様を施す。54は４群の土器片で、屈曲部に縦位の刻みを施し、上下を区画する。上部は曲線文とその縁辺にＬＲ縄文を施し、下部は無文である。56は磨石で、断面が長方形状を呈する。57～60はＳＰ10から出土した。57は４群の土器片で、ＬＲ縄文を地文とし、横位に貼り付けた隆帯上に刻みを施す。内面に貝殻条痕を施す。58は１群の土器片で、垂下沈線を施し、沈線間にＬＲ縄文を施す。59は９群Ｄ類の土器で、外反する口縁をもち、口縁端部に縦位の刻みを施す。60はＡ３類の石鏃で、脚部を丸く収める。61・62はＳＰ11から出土した４群の土器片で、61は半截竹管による条線が多条に垂下する。62は斜行する櫛描線文を施す。63～68はＳＰ13から出土した。当初は重複するＳＫ91と同一遺構と判断して掘り下げたため、遺物は混在している可能性がある。63は５群の土器片で、隆帯に刻みを施し、器面に竹管状工具による刺突文を施す。64は４群の土器片で、胴部外面に縦位の櫛描線文を施す。65～67は３群の土器で､65は波状口縁で突起状の波頂部を持つ。縄文を地文とし、Ｊ字状渦巻文の区画内にＲＬ磨消縄文を施す。66は口縁部外面に横走する２条の沈線を施し、沈線間にＬＲ磨消縄文を施す。67は沈線の区画内にオオバコ原体による擬縄文を充填する。68はスクレイパーで、方形状剥片の側辺に、片面調整による曲線的な刃部を作出するが、もう一方の側辺にも微

細な剥離痕が確認できる。69～71はＳＰ15から出土した。69・70は４群の土器片で、69は口縁波頂部付近に斜行する２条の沈線を施す。70は口縁部以下に、斜行する沈線を施す。71は１群の土器片円盤で､形状は円形で被熱痕がある。縄磨れ痕はなく打ち欠きが認められる。ＲＬ縄文を地文とする。72～74はＳＰ16から出土した。72は４群の土器片で、オオバコ原体による擬縄文を施した後に、沈線を施す。沈線の結合部における崩れを修正する。73は３群の土器片で、内彎する口縁波頂部の直下に弧状沈線文を施す。その中央に指頭圧痕を施し、その圧痕から放射線状に沈線を施し、ＲＬ縄文を充填する。74は１群の土器片で、口縁部文様を区画する隆帯を貼り付け、その上下に沈線を施す。

1）　泉拓良氏の御教示を得た。




1　10YR2/2 黒褐色砂質土　しまりあり やや粘性あり
土器片や径2～4㎝の亜角礫を50%以上含む
径30㎝亜角礫を1点含む
2　10YR3/4 暗褐色砂質土　ややしまりあり
やや粘性あり　径2～6㎝の亜角礫・亜円礫を1%含む
3　10YR3/3 暗褐色土　ややしまりあり
やや粘性あり　礫含まず
4　10YR2/3 黒褐色土　ややしまりあり　粘性なし
礫含まず　10YR3/4暗褐土混在　（柱痕跡）

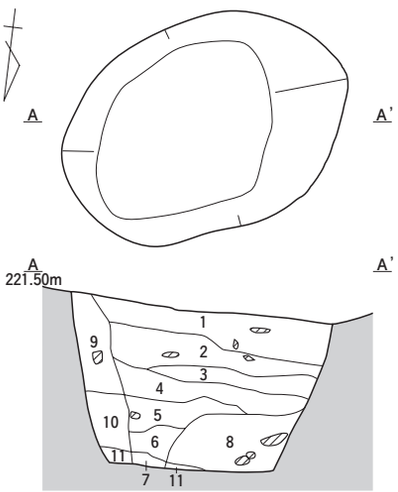
1 10YR2/3 黒褐色土　ややしまりあり　やや粘性あり
礫含まず
2 10YR2/3 黒褐色土　ややしまりあり　やや粘性あり
小亜角礫を50%以上含む（柱痕跡）
3 10YR2/2 黒褐色土　ややしまりあり　やや粘性あり
10YR3/4暗褐色砂質土のブロックが混じる（柱痕跡）
4 10YR3/4 暗褐色土　やや砂質　しまりなし
粘性なし 小円礫を50%以上含む（柱痕跡）

1　10YR2/2 黒褐色土 しまりなし 粘性なし
径7㎝以下の角礫を含む
2　10YR2/2 黒褐色土 やや暗色 しまりなし
粘性なし
3　10YR3/3 暗褐色土 しまりなし 粘性なし
10YR2/1黒色土混在
4　10YR2/1 黒色土 やや茶色 ややしまる
粘性なし 径3㎝以下の亜角礫を含む
5　10YR2/2 黒褐色土 ややしまる 粘性なし
径3㎝以下の亜角礫を含む
6　10YR2/3 黒褐色土 やや淡色 ややしまる
粘性なし 径5㎝以下の亜角礫を含む
7　10YR2/3 黒褐色土 ややしまる やや粘性あり
10YR3/4暗褐土混在
8　10YR2/3 黒褐色土 やや茶色 しまりなし
粘性なし 10YR3/4暗褐土混在（7より多い）(柱痕跡)
9　10YR3/4 暗褐色土 しまりなし 粘性なし
10　10YR3/3 暗褐色土 しまりなし 粘性なし
10YR2/2黒褐土混在（7より多い）
11　10YR3/4 暗褐色土 しまりなし 粘性なし
かなり砂質

0　2 m

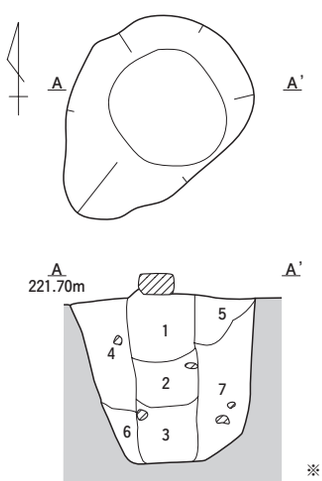
**第14図　柱穴跡（１）（S=１/40）**

SP 4




1　10YR1.7/1　黒色土　ややしまりあり　やや粘性あり
径5～10cmの亜円礫・亜角礫を含む
2　10YR2/2　黒褐色土　ややしまりあり　やや粘性あり
径5～10cmの亜円礫・亜角礫を含む
3　10YR2/2　黒褐色土　やや茶色　ややしまりあり　やや粘性あり
径5～10cmの亜円礫・亜角礫を含む　10YR4/6　褐色砂質土混じる
4　10YR2/1　黒色土　やや茶色　ややしまりあり　やや粘性あり
径5～10cmの亜円礫・亜角礫を含む　10YR4/6　褐色砂質土混じる
5　10YR2/1　黒褐色土　ややしまりあり　やや粘性あり
径5～10cmの亜円礫・亜角礫を含む　10YR4/6　褐色砂質土少し混じる
6　10YR2/1　黒色土　ややしまりあり　やや粘性あり
径5～10cmの亜円礫・亜角礫を含む　10YR4/6　褐色砂質土多く混じる（柱痕跡）
7　10YR3/1　黒褐色土　ややしまりあり　やや粘性あり
径5～10cmの亜円礫・亜角礫を含む　10YR4/6　褐色砂質土多く混じる（柱痕跡）
8　10YR3/3　暗褐色土　ややしまりあり　やや粘性あり
径5～10cmの亜円礫・亜角礫を含む　10YR4/6　褐色砂質土多く混じる
9　10YR3/4　暗褐色土　ややしまりあり　やや粘性あり
径2～10cmの亜円礫・亜角礫を1％含む　10YR4/6　褐色砂質土多く混じる
10　10YR2/1　黒色土　ややしまりあり　やや粘性あり
径2～10cmの亜円礫・亜角礫を1％含む
11　10YR2/1　黒色土と10YR4/6褐色土の混合土　しまりあり　粘性あり
径2～5cmの亜角礫・亜円礫を含む

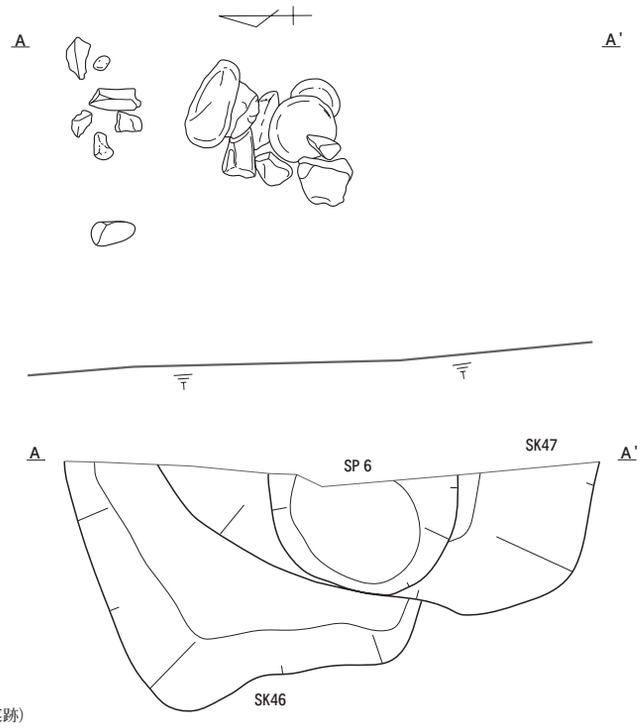
SP 5

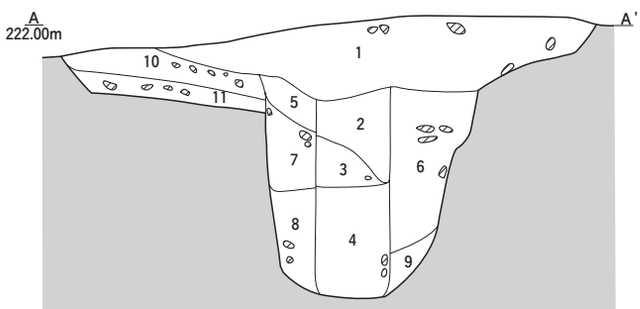



※1～3は柱痕跡

1　10YR1.7/1　黒色土　ややしまりあり　やや粘性あり　土器片少し含む
2　10YR2/1　黒色土　やや砂質　ややしまりあり　やや粘性あり
3　10YR2/1　黒色土　やや砂質　やや淡色　ややしまりあり　やや粘性あり
4　10YR3/1　黒褐色土　ややしまりあり　やや粘性あり
径7～10cmの亜円礫･亜角礫を20％含む
5　10YR3/1　黒褐色土　ややしまりあり　やや粘性あり
径2～4cmの亜円礫･亜角礫を50％含む
6　10YR3/1　黒褐色砂質土　ややしまりあり　粘性なし
径7～10cmの亜円礫･亜角礫を25％含む
7　10YR3/1　黒褐色土　やや淡色　ややしまりあり
径10～15cmの亜円礫･亜角礫を50％含む

SP 6 ･SK46･SK47

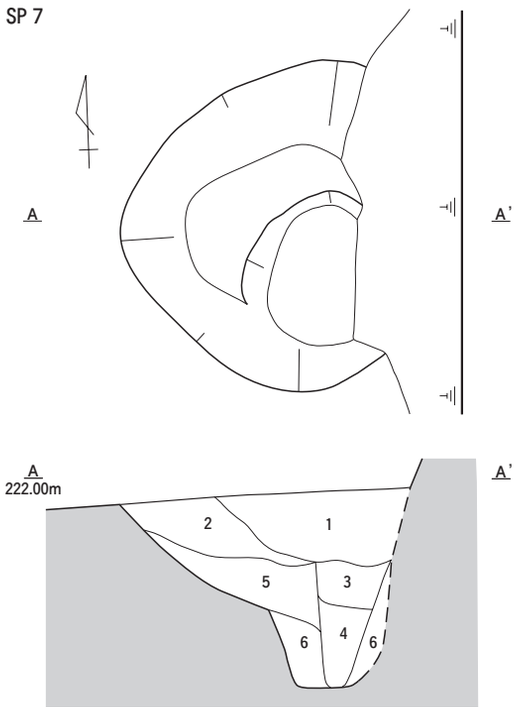



1　10YR2/2　黒褐色土　しまりあり　粘性あり
10YR3/3暗褐色土と径2～4cmの角礫50％混じる（SK47埋土）
2　10YR1.7/1　黒色土　やや暗色　ややしまりあり　やや粘性あり
土器片少し混じる（柱痕跡）
3　10YR2/1　黒色土　やや暗色　ややしまりあり　やや粘性あり
径2～4cmの亜角礫を20％含む（柱痕跡）
4　10YR2/1　黒色土　やや茶色　しまりなし　やや粘性あり
径2～4cmの亜円礫・亜角礫を50％以上含む（柱痕跡）
5　2層に10YR4/3　にぶい黄褐色土が混じる
6　10YR2/1　黒色土　やや茶色　しまりなし　やや粘性あり
径4～10cmの亜円礫・亜角礫を25％含む
7　10YR3/1　黒褐色土　ややしまりあり　やや粘性あり　3層のブロックが混じる
8　10YR4/3　黄褐色土　やや砂質　しまりなし　粘性なし
径4～10cmの亜円礫・亜角礫を25％含む
9　10YR4/3　黄褐色土　やや砂質　しまりなし　粘性なし
径4～10cmの亜円礫・亜角礫を25％含む　6層のブロックが混じる
10　10YR4/4　褐色土　やや砂質　ややしまりあり　やや粘性あり
径4～10cmの亜円礫・亜角礫を25％含む　5層のブロックが混じる（SK46埋土）
11　10YR4/3　にぶい黄褐色土　やや砂質　しまりなし　粘性なし
径2～4cmの亜円礫・亜角礫を50％含む（SK46埋土）

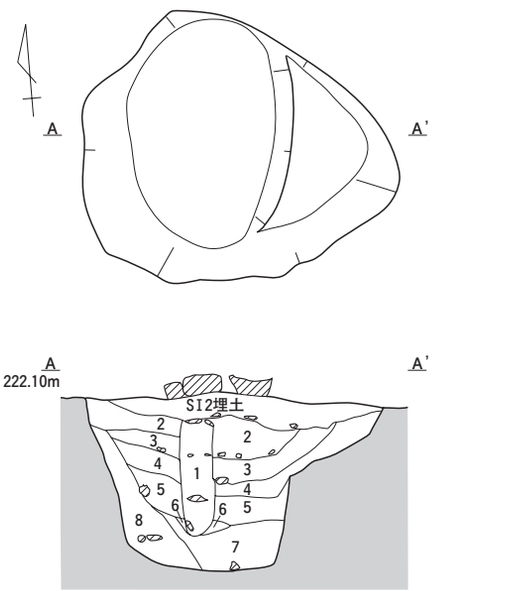
第15図　柱穴跡（２）（S=１/40）

SP 7



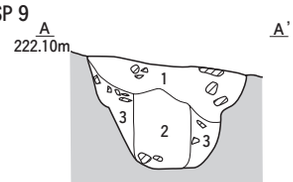

1　10YR2/1　黒色土　ややしまりあり　やや粘性あり
　径2cmの亜円礫・亜角礫を1％含む
2　10YR2/2　黒褐色土　やや砂質　ややしまりあり　やや粘性あり
　径2cmの亜円礫・亜角礫を1％含む
3　10YR2/2　黒褐色土　やや暗色　ややしまりあり　やや粘性あり
　径2cmの亜円礫・亜角礫を1％含む（柱痕跡）
4　10YR3/1　黒褐色土　やや暗色　ややしまりあり　やや粘性あり
　径2cmの亜円礫・亜角礫を1％含む（柱痕跡）
5　10YR3/2　黒褐色土　やや砂質　ややしまりあり　やや粘性あり
　径2～7cmの亜円礫・亜角礫を50％含む
6　10YR3/2　黒褐色土　やや砂質　ややしまりあり　やや粘性あり
　径2～7cmの亜円礫・亜角礫を50％含む
　IV層（10YR4/4褐色砂礫）のブロックが混じる

SP 8



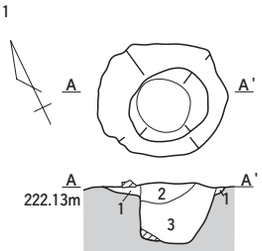

1　10YR1.7/1 黒色土　やや淡色　ややしまりあり　やや粘性あり
　径5～20cmの亜角礫・亜円礫を50％以上含む（柱痕跡）
2　10YR2/1 黒色土　やや淡色　ややしまりあり　やや粘性あり
　径5～20cmの亜角礫・亜円礫を50％以上含む
3　10YR2/2 黒褐色土　やや暗色　ややしまりあり　やや粘性あり
　径5～20cmの亜角礫・亜円礫を50％以上含む
4　10YR2/2 黒褐色土　やや暗色　ややしまりあり　やや粘性あり
　径2～10cmの亜角礫・亜円礫を50％以上含む
5　10YR2/3 黒褐色土　やや暗色　ややしまりあり　やや粘性あり
　径2～10cmの亜角礫・亜円礫を50％以上含む　10YR4/6褐粘質土が混じる
6　10YR2/3 黒色土　やや暗色　ややしまりあり　やや粘性あり
　径2～10cmの亜角礫・亜円礫を50％以上含む　10YR4/6褐粘質土が混じる
7　10YR2/2 黒褐色土と10YR4/6褐色土の混在　ややしまりあり
　やや粘性あり　径2～10cmの亜角礫・亜円礫を50％以上含む
8　10YR3/3 暗褐色砂質土　ややしまりあり　やや粘性あり
　径2～10cmの亜角礫・亜円礫を50％以上含む

SP 9



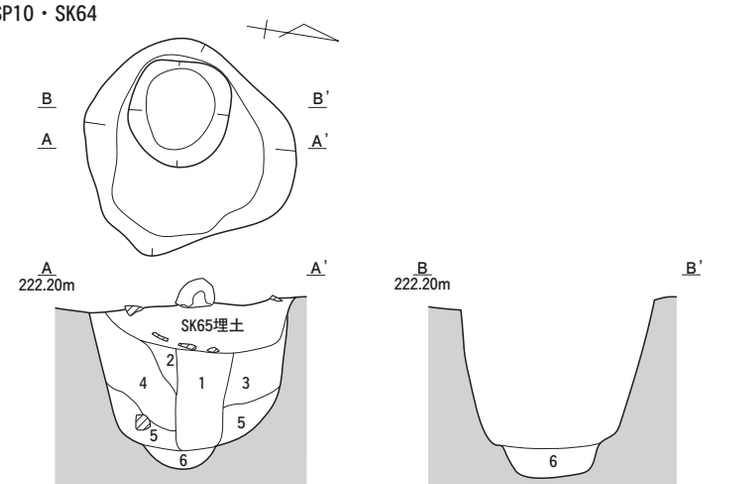

1　10YR2/1　黒色土　やや砂質　ややしまりあり
　やや粘性あり　径7～10cmの亜円礫・亜角礫を20％含む
2　10YR3/2　黒褐色土　ややしまりあり　やや粘性あり
　径2～10cmの亜円礫・亜角礫を5％含む（柱痕跡）
3　10YR3/4　暗褐色砂質土　ややしまりあり　やや粘性あり
　径4～7cmの亜円礫・亜角礫を50％含む

SP11

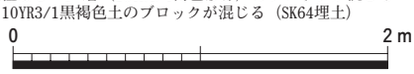



1　10YR2/2 黒褐色土　やや砂質　しまりなし　やや粘性あり
　10Y4/4褐色砂質土のブロックが 50%以上混じる
2　10YR2/2 黒褐色土　ややしまりあり　やや粘性あり
3　10YR2/1 黒色土　ややしまりあり　やや粘性あり
　小円礫を50%以上含む（柱痕跡）

SP10・SK64

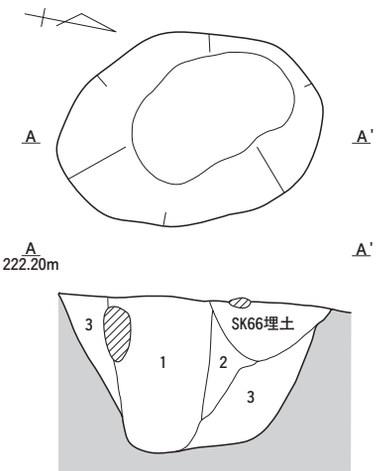



1　10YR1.7/1　黒色土　下部は淡色　ややしまりあり　やや粘性あり　径2cmの亜円礫・亜角礫を1％含む
　土器片含む（柱痕跡）
2　10YR1.7/1　黒色土　やや砂質　ややしまりあり　やや粘性あり　径2cmの亜円礫・亜角礫を1％含む
3　10YR2/1　黒色土　やや茶色　ややしまりあり　やや粘性あり　径4～7cmの亜円礫・角礫を20％含む
4　10YR2/1　黒色土　やや茶色　ややしまりあり　やや粘性あり
　径4～7cmの亜円礫・亜角礫を50％以上含む
5　10YR2/1　黒色土　やや茶色　しまりなし　粘性なし　IV層（10YR4/4褐色砂礫）のブロックが混じる
6　10YR4/4　褐色砂礫　しまりなし　粘性なし　10YR3/1黒褐色土のブロックが混じる（SK64埋土）



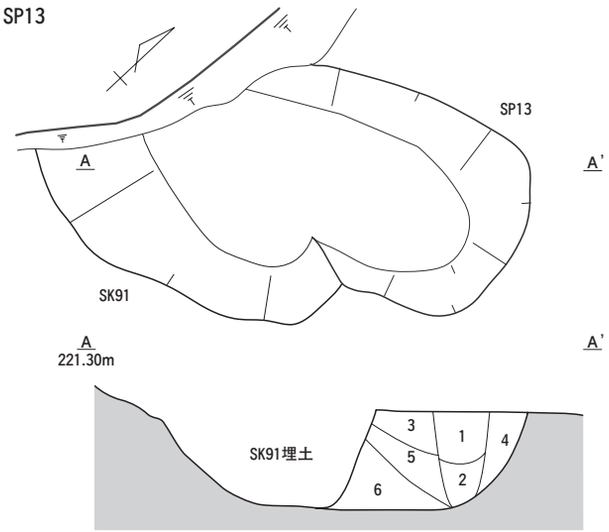

**第16図　柱穴跡（３）（S=１/40）**

SP12



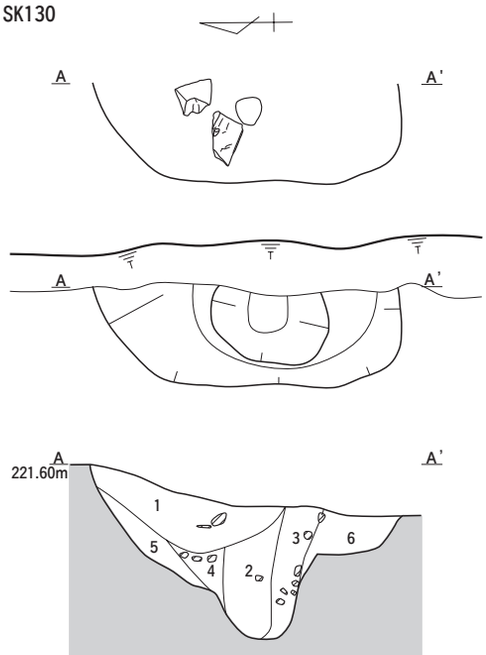

1　10YR2/1　黒色土　ややしまりあり　やや粘性あり
径7～10cmの亜角礫を含む（柱痕跡）
2　10YR3/3　暗褐色砂質土　ややしまりあり　粘性なし
Ⅳ層（10YR3/4暗褐色砂礫）のブロックが2％混じる
3　10YR3/3　暗褐色砂質土　しまりなし　粘性なし
Ⅳ層（10YR3/4暗褐色砂礫）のブロックが50％混じる

SP13



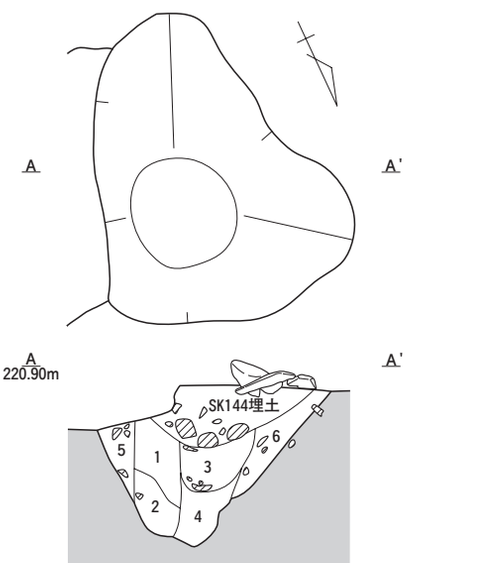

1 10YR2/1　黒色砂質土　ややしまりあり　粘性なし
径2～4cmの亜円礫・亜角礫を50％含む（柱痕跡）
2 10YR2/1　黒色砂質土　やや淡色　ややしまりあり　粘性なし
径2～4cmの亜円礫・亜角礫を50％含む（柱痕跡）
3 10YR2/1　黒色砂質土　やや淡色　ややしまりあり　粘性なし
径2～10cmの亜円礫・亜角礫を25％含む
4 10YR3/1　黒色褐砂質土　ややしまりあり　粘性なし
径2～10cmの亜円礫・亜角礫を50％含む
5 10YR3/1　黒色褐砂質土　やや暗色　ややしまりあり　粘性なし
径2～4cmの亜円礫・亜角礫を50％含む
6 10YR3/2　黒色褐砂質土　やや暗色　ややしまりあり　粘性なし
径2～4cmの亜円礫・亜角礫を50％含む

SP14･SK130

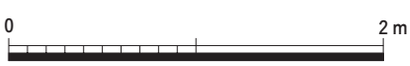



1　10YR1.7/1　黒色土　ややしまりあり　やや粘性あり
径10～15cmの亜円礫・亜角礫を20％含む（SK130埋土）
2　10YR2/1　黒色土　やや砂質　ややしまりあり　やや粘性あり
径2～4mの亜円礫・亜角礫を2％含む（柱痕跡）
3　10YR2/1　黒色土　やや砂質　ややしまりあり　やや粘性あり
径4～7mの亜円礫・亜角礫を50％含む
4　10YR3/1　黒褐色土　やや砂質　ややしまりあり　やや粘性あり
径4～7mの亜円礫・亜角礫を50％含む
5　10YR3/4　暗褐色砂質土　しまりなし　粘性なし
径2～4mの亜円礫・亜角礫を50％含む
IV層（10YR4/4暗褐色砂質土）のブロックが混じる

SP15

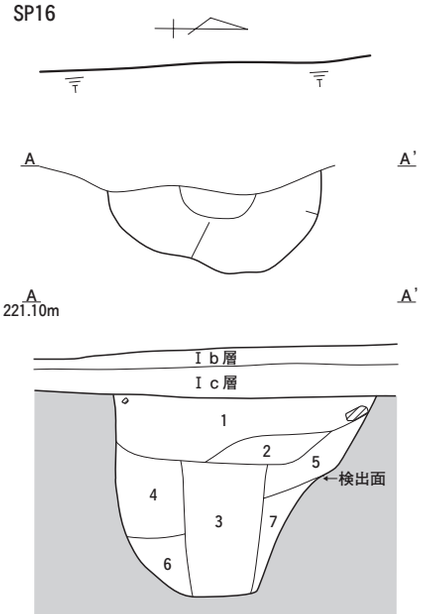



1　10YR2/1　黒色土　ややしまりあり　やや粘性あり
径2cmの亜円礫・亜角礫を1％含む（柱痕跡）
2　10YR2/1　黒色土　ややしまりあり　やや粘性あり
径2mの亜円礫・亜角礫を50％含む（柱痕跡）
3　10YR3/1　黒褐色砂質土　ややしまりあり　やや粘性あり
径2cmの亜円礫・亜角礫を50％含む　2層のブロックが混じる
4　10YR3/1　黒褐色砂質土　ややしまりあり　やや粘性あり
径2cmの亜円礫・亜角礫を50％含む
5　10YR3/1　黒褐色砂質土　ややしまりあり　やや粘性あり
径2～10cmの亜円礫・亜角礫を50％含む
6　10YR3/3　暗褐色砂質土　ややしまりあり　やや粘性あり
径2～4cmの亜円礫・亜角礫を50％含む
IV層（10YR4/4褐色砂礫）のブロックが混じる



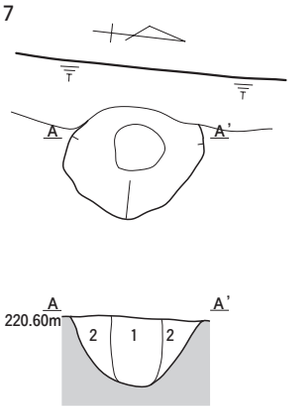

**第17図　柱穴跡（４）（S=１/40）**

SP16



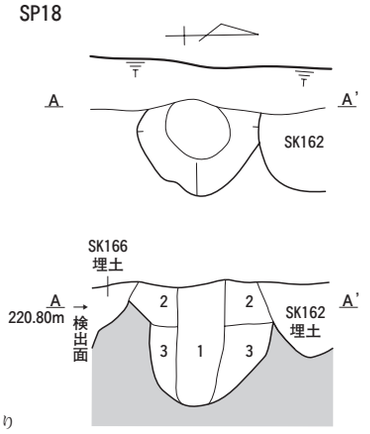

1　10YR2/1　黒色土　やや茶色　ややしまりあり　やや粘性あり
　径7～30㎝の亜円礫・亜角礫を50％含む　土器片少量混じる
2　10YR3/4　暗褐色砂質土　やや暗色　ややしまりあり
　やや粘性あり　径2㎝の亜円礫・亜角礫を50％以上含む
3　7.5YR1.7/1　黒色土　やや暗色　ややしまりあり　粘性あり
　径1～2㎝の亜円礫・亜角礫を20％含む（柱痕跡）
4　10YR3/1　黒褐色土　ややしまりあり　やや粘性あり
　径5～10㎝の亜円礫・亜角礫を50％含む
5　10YR2/1　黒色土　ややしまりあり　やや粘性あり
　径2㎝の亜円礫・亜角礫を25％含む
6　10YR2/1　黒色砂質土　ややしまりあり　やや粘性あり
　径2㎝の亜円礫・亜角礫を50％含む
7　10YR3/1　黒褐色砂質土　ややしまりあり　やや粘性あり
　Ⅳ層（10YR3/4暗褐色砂礫）のブロックが混じる

SP17




1　10YR2/1 黒色土　ややしまりあり　やや粘性あり
　礫含まず（柱痕跡）
2　10YR4/4 褐色砂礫　しまりなし　粘性なし
　10YR3/2黒褐色土のブロックが混じる

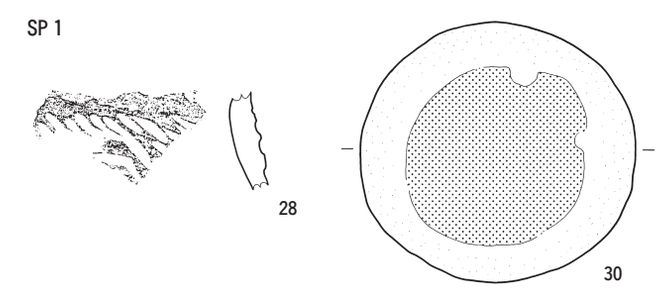
SP18

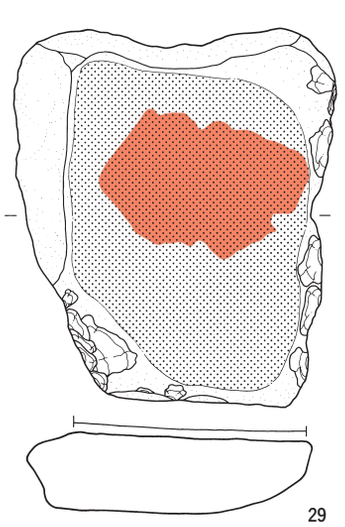



1　10YR1.7/1　黒色土　やや暗色　ややしまりあり
　やや粘性あり　径2㎝の亜円礫・亜角礫を25％含む
　（柱痕跡）
2　10YR2/1　黒色土　やや暗色　ややしまりあり
　やや粘性あり
　径2～4㎝の亜円礫・亜角礫を25％含む
3　10YR4/3　にぶい黄褐色砂質土　ややしまりあり
　やや粘性あり
　径2～4㎝の亜円礫・亜角礫を50％含む

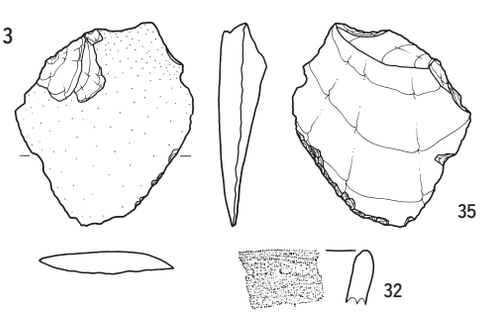
0　2 m

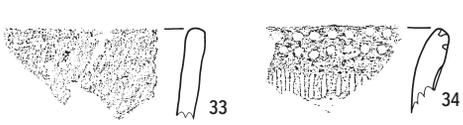
SP 1



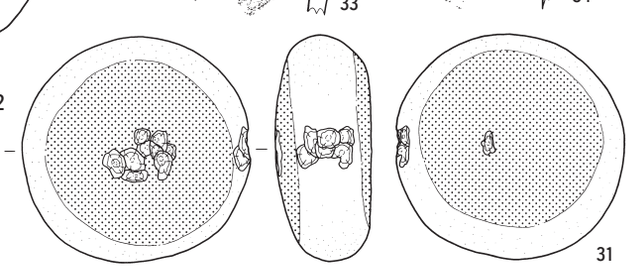




SP 3




SP 2

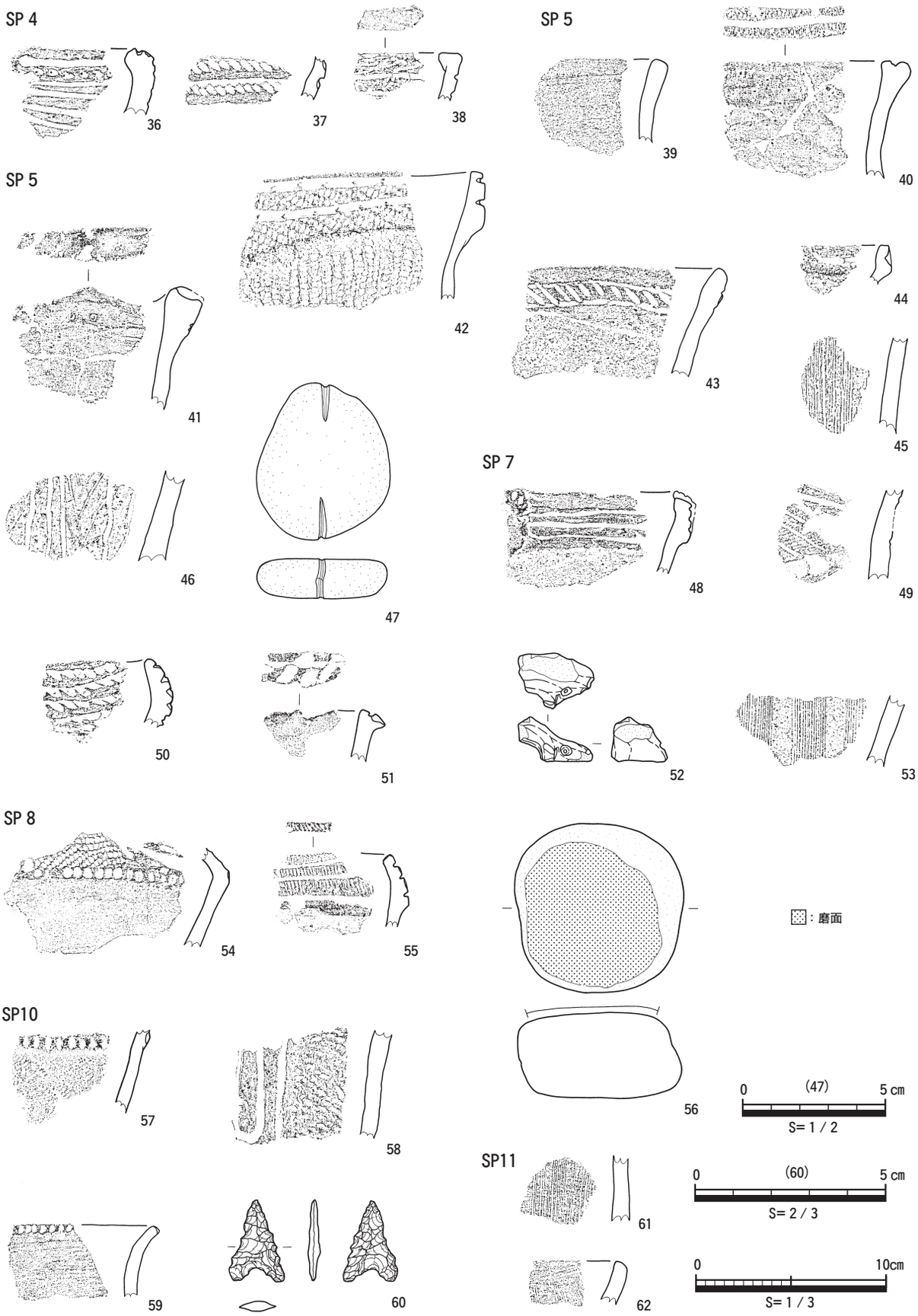


■：赤彩
▨：磨面

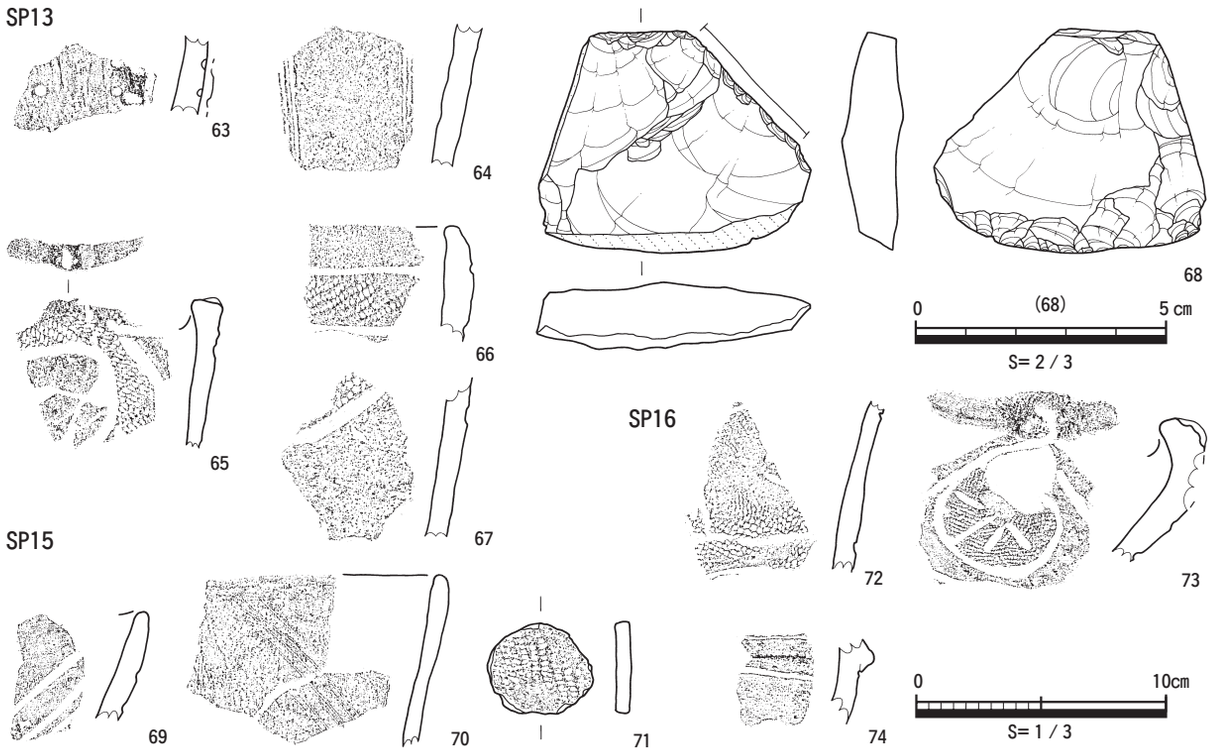
0　(29)　10㎝
S＝1／4

0　10㎝
S＝1／3

第18図　柱穴跡（５）・柱穴跡出土遺物（１）（S＝1／40,1／3,1／4）




第19図　柱穴跡出土遺物（２）




**第20図　柱穴跡出土遺物（３）**

### ４　土器埋設遺構

#### ＳＺ１（遺構：第21図、遺物：第22図）

**検出状況**　Ｆ２グリッド西壁際に位置し、撹乱坑埋土を除去後、Ⅲｂ層上面で検出した。

**概要**　撹乱により南東部を欠損するため平面形は不明である。やや傾斜のある底面を平坦に整えた後に土器（75）を埋設している。土器は斜位で出土した。胴部上半を欠損するが、割れ面が新しいことから撹乱による欠損と見られる。土器と同一の検出面で長径35㎝の川原石１点が土器の南側で出土した。

**出土遺物**　土器１個体、土器片58点、楔形石器１点、剥片１点が出土した。75は７群の深鉢で、底部が小さく、上げ底である。器厚は薄く、内面は丁寧なナデが施される。２本越え・２本潜り・１本送りの網代痕を持つ。76～78は１群の深鉢で、土層図の２・３層から出土しているが、埋め戻しによる混入の可能性がある。76は、横送する２条の隆帯の上下に羽状沈線を施す。77は、胴部に区画隆帯を巡らせ、垂下する１条の沈線の区画内に、羽状沈線を充填した長方形区画文を施す。78は橋状の把手部で、外面に沈線を施す。

**時期**　出土遺物から、縄文時代後期後葉から晩期前半と考えられる[1)]。

#### ＳＺ２（遺構：第21図、遺物：第22図）

**検出状況**　Ｆ２グリッドに位置し、撹乱坑埋土を除去後、Ⅳａ層上面で検出した。

**概要**　撹乱により上面が削平される。平面は不整円形で、断面形は南側がわずかに凹む２段の掘り込み状である。その凹みから深鉢（80）が正位で出土した。胴部３分の１程度が残存し、底部はなく、口縁部は撹乱により欠損したと見られる。土器の北東側では土器よりも0.2m ほど高い位置から石皿・台石類（81）を含む亜角礫が出土したが、土器との関連性は不明である。

**出土遺物**　土器片22点、石皿･台石類１点、楔形石器１点、剥片１点が出土した。79は４群の深鉢で、

やや幅の広い口縁部を緩やかに内彎させ、その上に縦位や横位の連続する沈線文を施し、ＬＲ縄文を充填する。頸部は無文である。80は１群の深鉢で、胴部下半に平行する２条の隆帯でＶ字型に区画し、渦巻文でつなぐ。さらに２条の隆帯で弧状文を施す。いずれも区画内は綾杉文を充填する。唐草文系の深鉢に類似する。81は石皿・台石類で、断面が逆三角形状を呈する。

**時期**　出土遺物から、縄文時代中期後半と考えられる。

**ＳＺ３（遺構：第21図、遺物：第23図）**

**検出状況**　Ｇ２グリッドに位置し、ＴＰ３埋土と撹乱坑埋土を除去後Ⅳａ層上面で検出した。

**概要**　北部はＳＫ50に切られ、上面は削平を受けるため平面形や断面形は不明である。口縁部を欠損する土器（82）が正位で出土した。埋土は単層で、土器の周囲に小石を多数充填する。

**出土遺物**　土器１個体、土器片36点、楔形石器２点、剥片４点が出土した。82は１群の深鉢で、厚手で底部が大きい。胴部に垂下する平行沈線文と蛇行沈線文を施す。

**時期**　出土遺物から、縄文時代中期後半と考えられる。

**ＳＺ４・ＳＫ54（遺構：第21図、遺物：第23・24図）**

**検出状況**　Ｇ２グリッド西壁際に位置し、ＴＰ３埋土と撹乱坑埋土を除去後、Ⅳａ層上面で検出した。当初は長楕円形の大型土坑と判断して掘り下げたが、北側がＳＫ54に切られることを確認した。

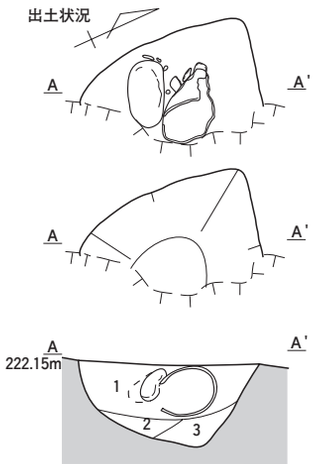
**概要**　西部が調査区外へと展開するため平面形は不明である。ＳＺ４からは口縁部を欠損する唐草文系の土器（88）が正位で出土し、その中から、長さ約30㎝の石棒状の自然石（91）が斜位で出土した。土器の遺存状況は良好で、底部付近にわずかな欠損が見られる。調査区の制約上、遺構の全容は不明であるが、出土状況からは竪穴住居に伴う埋甕の可能性がある。また、土器内の11層から少量の骨片が出土した。人骨か獣骨か判断できないが、ＳＺ４は墓坑の可能性も考えられる。ＳＫ54はＢ１ａ類の土坑で、２段の掘り込みを持つ。ＳＺ３に切られる。埋土の堆積状況から複数の遺構が重複している可能性があるが、平面精査ではプランを確認できなかった。

**出土遺物**　土器１個体、土器片53点、石棒状自然石１点、打欠石錘１点、石錐１点、粗質安山岩製石器２点、ＭＦ１点、剥片11点が出土した。83は３群の深鉢で、口縁端部のＬＲ縄文と横位の沈線を施す。84～88は１群の深鉢である。84は口縁部の沈線区画内に斜行沈線を施す。85は微隆起線文による区画内及び隆帯上にＬＲ磨消縄文を施す。86・87は同一個体で、ＲＬ縄文を地文とし、口縁部から胴部にかけて、横位に重複する渦巻文と蛇行する垂下沈線文を施す。ともに２層にて出土したが、埋設土器（88）との関連性は不明である。88は胴部上半に突起を持つ隆帯を周回させ、その直下に渦巻文と楕円文が結びついた区画文を施す。楕円形の区画内には縦位の沈線文を充填し、区画外には短沈線を充填する。さらに、胴部下半には渦巻文でつながれた２帯の隆帯が平行して垂下し、その区画内には綾杉文を充填する。２本越え・１本潜り・１本送りの網代痕を持つ。曾利Ⅱ式併行の信州系土器に類似する。91は石棒状自然石で、端部に被熱痕が見られ、側面にタール状の付着物が認められる。89は石錐で、上端部に潰れ状剥離が見られることから、楔形石器を転用した可能性がある。90は円礫を用いた打欠石錘で、長軸の両端を打ち欠いて紐掛け部とする。

**時期**　出土遺物から、ＳＺ４は縄文時代中期後半と考えられる。ＳＫ54はＳＺ３に切られることからから、縄文時代中期後半の所産と考えられる。

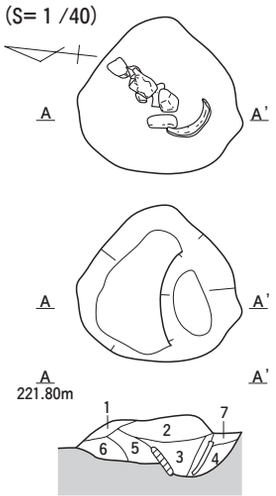
1）　埋設土器（75）の時期については、泉拓良氏・山本孝一氏の御教示を得た。

SZ 1 （S= 1 /40）



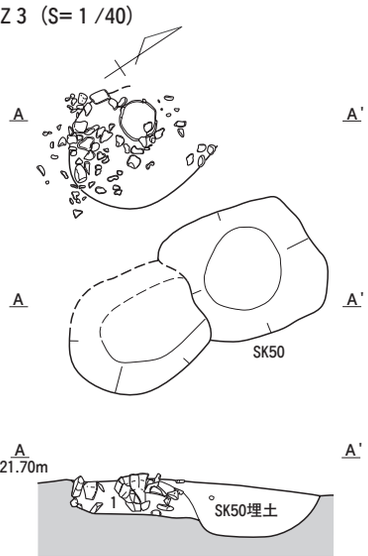

1　10YR1.7/1黒色土　ややしまりあり　やや粘性あり
亜円礫・亜角礫を50％以上含む
2　10YR1.7/1黒色土　ややしまりあり　やや粘性あり
亜円礫・亜角礫を20％以上含む
3　10YR2/1黒色土　ややしまりあり　やや粘性あり
亜円礫・亜角礫を20％以上含む

SZ 2 （S= 1 /40）



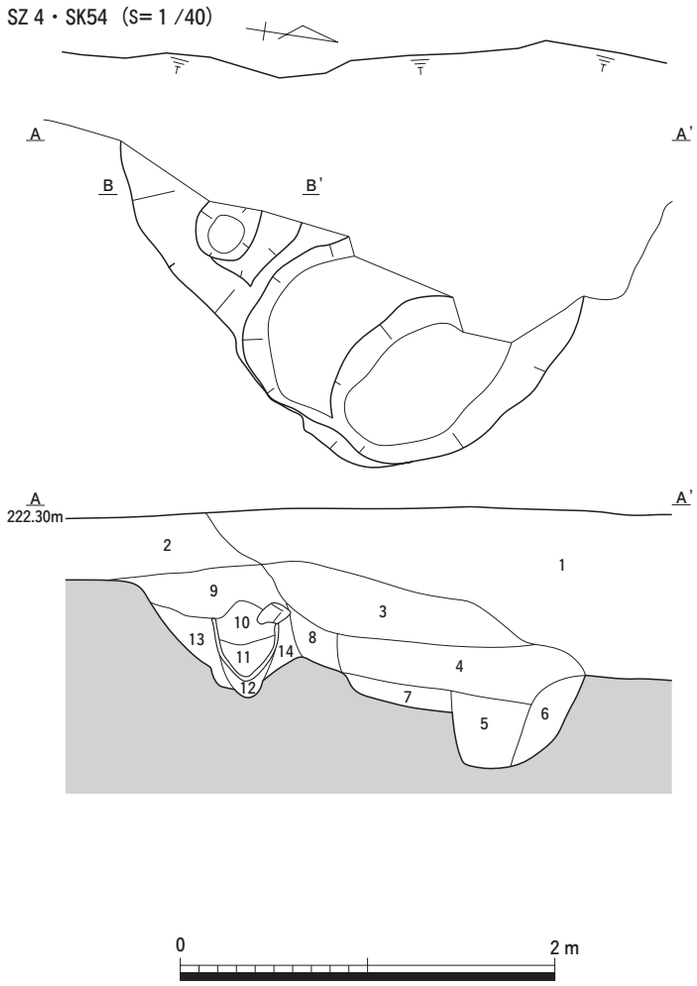

1　10YR5/1　褐灰色土　ややしまりあり やや粘性あり（撹乱土）
2　10YR3/1　黒褐色土　しまりなし やや粘性あり　礫を50％以上含む
3　10YR2/1　黒色土　しまりあり　やや粘性あり　礫を50％以上含む
4　10YR5/2　灰色褐色土　ややしまりあり やや粘性あり　礫を1％含む
Ⅳ層（10YR4/4褐色砂質土）のブロックが混じる
5　10YR3/2　黒褐色土　ややしまりあり　やや粘性あり　礫を1％含む
6　10YR3/3　暗褐色土　ややしまりあり　やや粘性あり　礫を1％含む
7　10YR3/1　黒褐色土　ややしまりあり　やや粘性あり　礫を1％含む

SZ 3 （S= 1 /40）

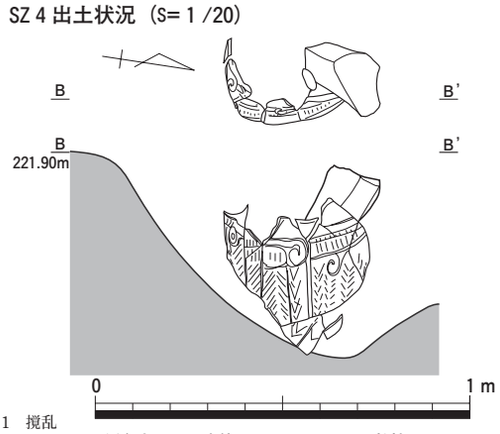



1　10YR4/4 褐色砂質土　しまりなし
やや粘性あり
径2～5㎝の亜角礫・亜円礫を25％含む
10YR3/1黒褐色土のブロックが混じる

SZ 4・SK54 （S= 1 /40）

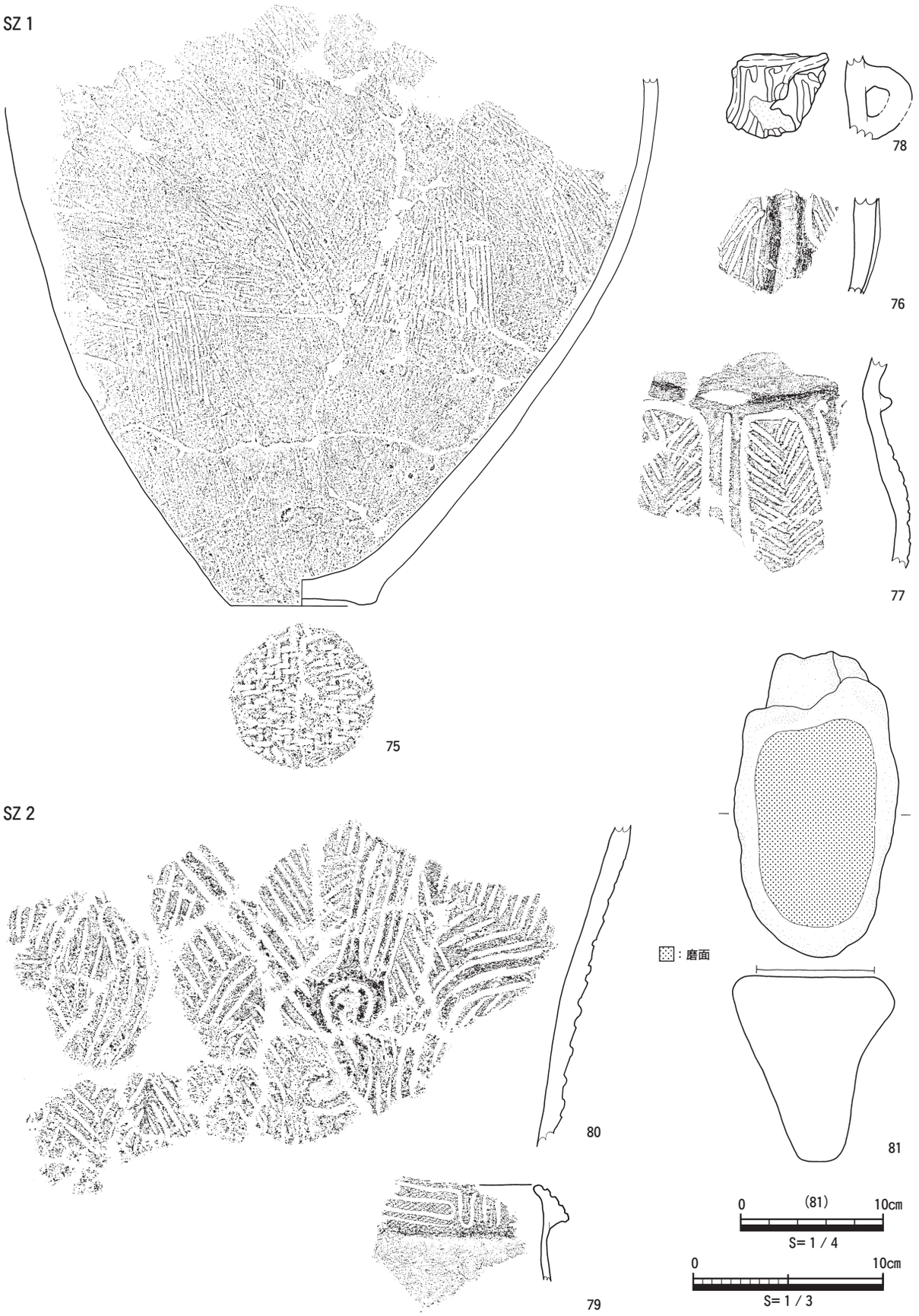



SZ 4 出土状況 （S= 1 /20）

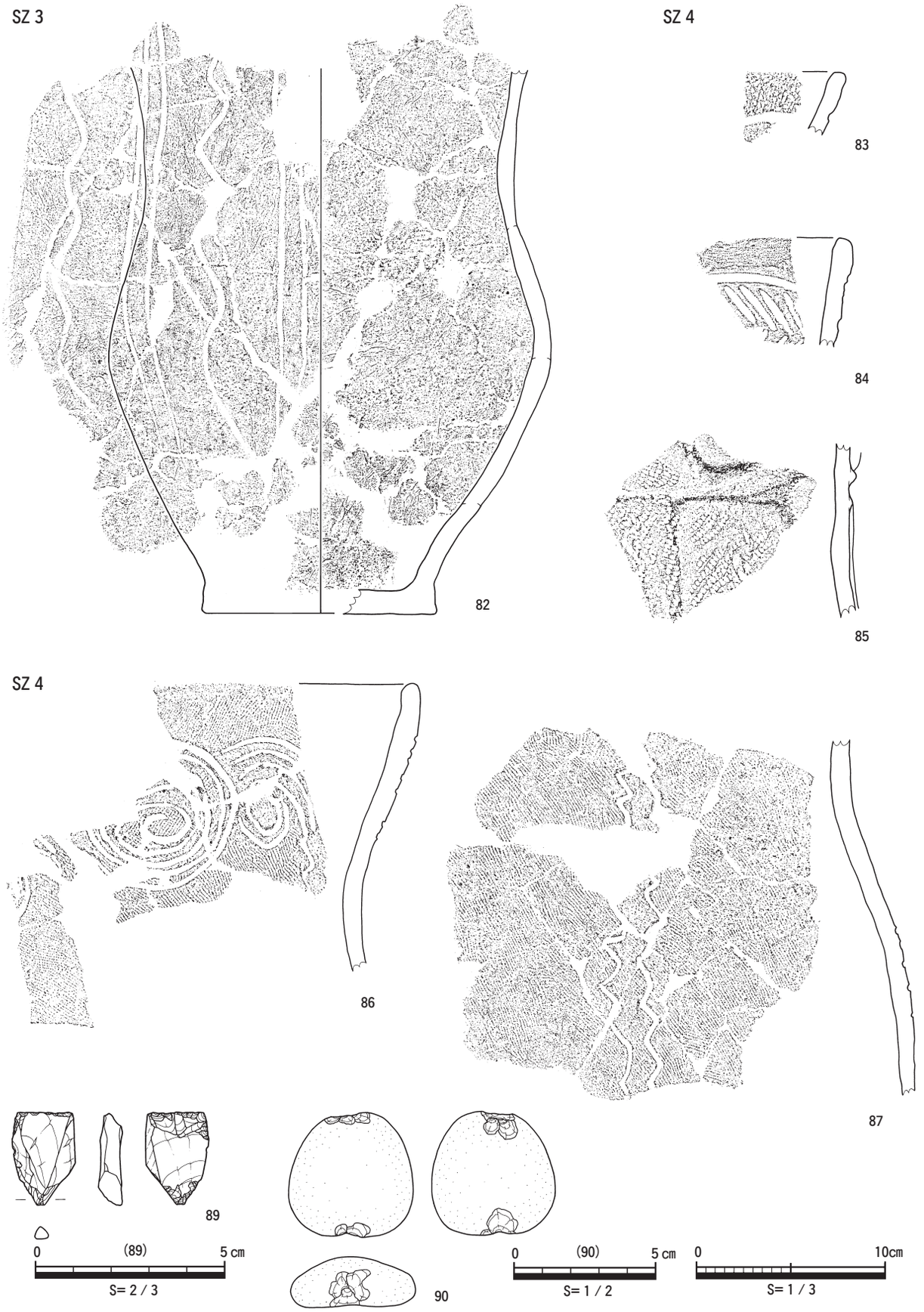



1　撹乱
2　10YR2/1　黒色土　やや砂質　しまりあり　やや粘性あり
径4～7cmの亜円礫・亜角礫を25％含む（駐車場造成のため硬化）
3　10YR2/1　黒色土　しまりあり　やや粘性あり
径2～4cmの亜円礫・亜角礫を25％含む　（SK54埋土）
4　10YR2/2　黒褐色土　やや暗色　しまりあり　やや粘性あり
径2～4cmの亜円礫・亜角礫を30％含む　（SK54埋土）
5　10YR2/1　黒色土　しまりなし　粘性なし
径2～7cmの亜円礫・亜角礫を5％含む　（SK54埋土）
6　10YR4/4　褐色砂質土　ややしまる　やや粘性あり
径2～7cmの亜円礫・亜角礫を20％含む　（SK54埋土）
10YR2/1黒色土のブロックが50％混じる
7　10YR4/4　褐色土　ややしまる　やや粘性あり
径2～4cmの亜円礫・亜角礫を1％含む　（SK54埋土）
10YR2/1黒色土のブロックが50％混じる
8　10YR4/4　褐色砂質土　やや暗色　しまりなし　粘性なし
径2～7cmの亜円礫・亜角礫を25％含む　（SK54埋土）
10YR2/1黒色土のブロックが25％混じる
9　10YR2/1　黒色土　ややしまる　やや粘性あり
径2～10cmの亜円礫・亜角礫を50％含む
10　10YR2/1　黒色土　やや茶色　ややしまる　やや粘性あり
径2～10cmの亜円礫・亜角礫を25％含む　土器片含む
11　10YR2/1　黒色土　ややしまる　やや粘性あり
径2～4cmの亜円礫・亜角礫を10％含む　骨片少量含む
12　10YR4/4　褐色砂質土　やや暗色　しまりなし　粘性なし
径2～4cmの亜円礫・亜角礫を5％含む
10YR2/1黒色土のブロック混じる
1310YR4/4　褐色砂質土　しまりなし　粘性なし
径2～10cmの亜円礫・亜角礫を50％含む
14　10YR4/4　褐色砂質土　やや暗色　しまりなし　粘性なし
径2～10cmの亜円礫・亜角礫を50％含む

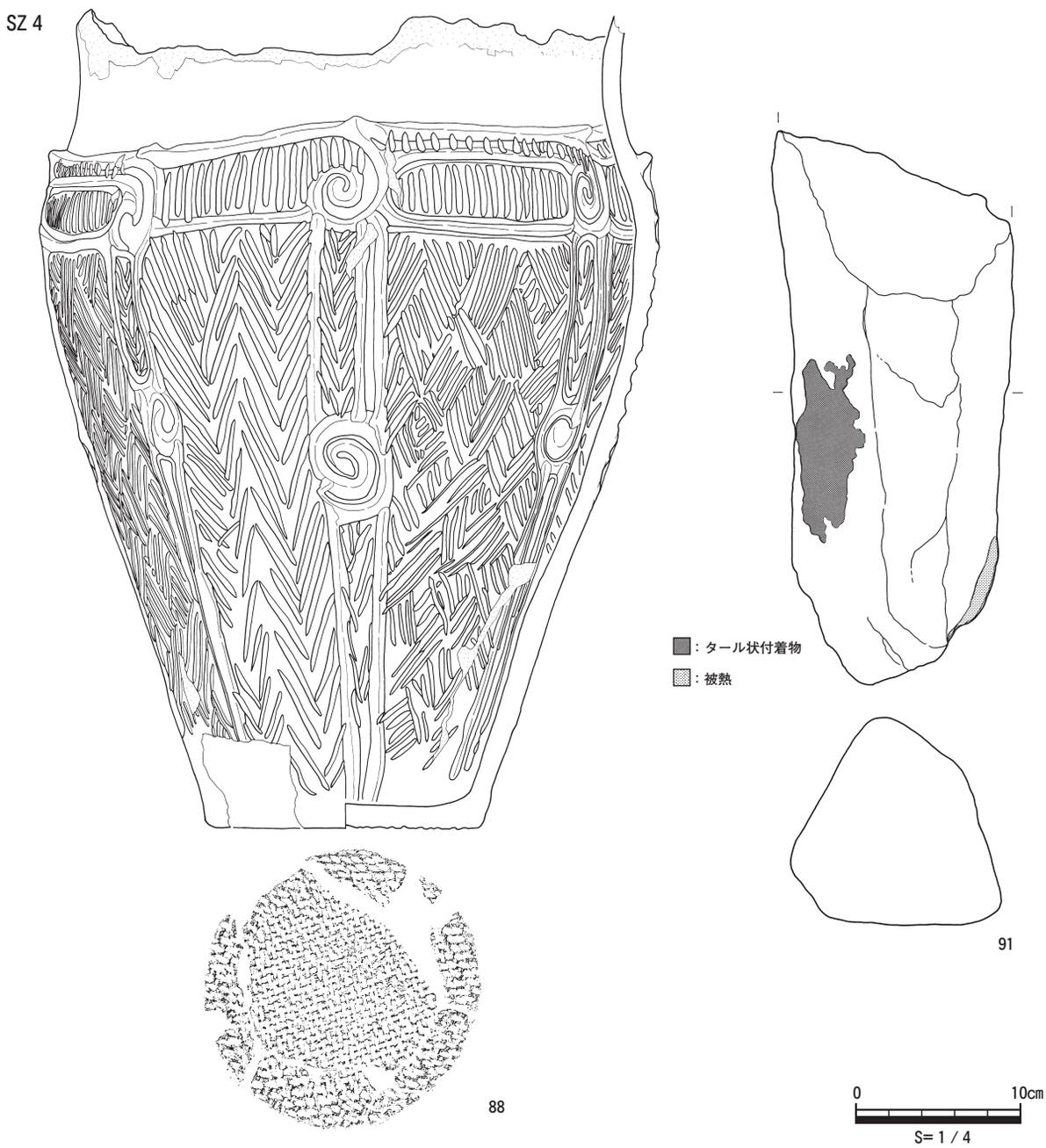
**第21図　土器埋設遺構（S=1/40,1/20）**




**第22図　土器埋設遺構出土遺物（１）**




**第23図　土器埋設遺構出土遺物（２）**




**第24図　土器埋設遺構出土遺物（３）**

## ５　土坑

土坑は、Ａ１類が１基、Ａ２類が12基、Ａ３類が５基、Ｂ１ａ類が５基、Ｂ１ｂ類が10基、Ｂ２類が145基である。以下、分類ごとに検出状況、概要、出土遺物、時期を記載する。

### （１）土坑Ａ１類（遺構：第25図、遺物：第29図）

**検出状況**　土坑Ａ１類はＳＫ21のみで、Ｄ２グリッドの緩斜面で検出した。

**概要**　ＳＫ21は大型の竪穴状遺構である。土坑の上面から、石皿（98）や石棒（100）がいずれも破損した状態で散在して出土し、上面から下面にかけて径約30㎝の大きな川原石や大量の礫が出土した。これらの礫は南壁際から底部中央にかけて傾斜して流入する状況であり、このような礫の出土状況は、高山市の堂之上（どうのそら）遺跡（戸田1997）における縄文時代中期最終末の竪穴住居内に礫を廃棄する

事例に類似する。ＳＫ21は竪穴住居跡の可能性もあるが、貼床や柱穴等は確認できなかった。

**出土遺物**　94は７群の深鉢で、口縁端部を肥厚させ、１条の沈線を巡らす。92・93は４群の土器片である。92は口縁端部に沈線を巡らし、その両側を刻む。93は内彎する波状口縁の側面に横走する３条の沈線を施し、沈線間にＬＲ磨消縄文を施す。95は楔形石器で、上端と下端に一対のつぶれ痕と樋状剥離が見られる。96は粗製石器で、両側辺に両面調整を施すが、刃部とは考えにくい。97は切目石錘で、縦長の自然石を利用している。98は石皿・台石類で、約半分を折損する。99は磨・敲・凹石類である。100は石棒で、棒状の川原石の両端部に敲打痕が残る。長軸方向の半面のみ被熱痕が広がる。石棒の前面若しくは背面で火を焚いた可能性があるが、隣接グリッドの炉跡に使われている炉石と規模や形状が類似することや、敲打後に被熱していることから、炉石に転用した可能性も考えられる。

**時期**　ＳＫ21は出土した土器片から縄文時代後期前葉以降と考えられるが、有縁の石皿は縄文時代中期の遺構で出土する事例が多いことから[1)]、時期は遡る可能性がある。

**（２）土坑Ａ２類（遺構：第25・26図、遺物：第29図）**

**検出状況**　土坑Ａ２類は調査区の微高地や微高地からやや下った平坦地に位置する。Ⅲ層中若しくはⅣ層上面で検出したが、ＳＫ29・ＳＫ156・ＳＫ158・ＳＫ166のように、調査区壁面にてⅢ層上面からの掘り込みを確認したものもある。

**概要**　ＳＫ29は土坑の東、西、南に長径30～40㎝の川原石を立石状に配置する。その内側に平板な角礫と川原石を重ねて配置する。ＳＫ156・ＳＫ155は、ともに石棒状自然石が立てられた状況で出土した。ＳＫ155の埋土からは石冠（101）が出土した。ＳＫ158・ＳＫ91・ＳＫ48・ＳＫ133・ＳＫ166は平板な亜円礫・亜角礫を平置き若しくは立て置きする。ＳＫ91のみ円摩度の高い川原石を主体とする。ＳＫ133はＳＫ134と切り合うが、上面のＳＩ８の検出面から約0.4ｍ掘り下げて検出した。平面形がＳＩ８の縁石の配置とほぼ一致するため、ＳＩ８の下部土坑の可能性が高い。ＳＫ５では、礫がⅣｂ層から出土した。

**出土遺物**　101は石冠で、ＳＫ155から出土した。頭部はやや丸みを帯びた斧刃型に近い形状で、頭頂部と底部を平坦に研磨する。両側面に面を持ち、頭頂部にはわずかな自然面が残る。このような形状や調整は縄文時代後晩期の石冠に見られる特徴である。全体に赤錆状の付着物が見られる。102はＳＫ133から出土した８群の土器片で、横方向の短沈線を施す。中屋２式に比定できる。

**時期**　土坑Ａ２類からの出土遺物は、大半が摩滅した土器小片であり、遺構の時期は判断しがたい。ＳＫ91はＳＰ13より新しいが、ＳＰ13と同一遺構と誤認して掘削した。そのため、遺物の出土位置がどちらに属するか不明であるが、縄文時代後期中葉以降と考えられる。ＳＫ155は、石冠から縄文時代後期後葉以降と考えられる。ＳＫ156は、無文の土器小片が４点出土しており、縄文時代後期以降の可能性が高いと考えられる。ＳＫ133は、土器片から縄文時代晩期前半以降と考えられる。

**（２）土坑Ａ３類（遺構：第26・27図、遺物：第29図）**

**検出状況**　土坑Ａ３類はすべてⅣ層上面で検出したが、調査区壁面にてⅢ層上面からの掘り込みを確認したものもある。

**概要**　土坑Ａ３類は深さに違いがあるが、礫が凝集する状況からは人為か自然かは不明である。しかし、埋土中に含まれる礫の密度は高く、土坑Ｂ２類とは明らかに異なる様相を示すため、土坑Ａ３類

とした。ＳＫ135は埋土上層に長辺４～31㎝の亜角礫が多数凝集するが、すべて底面から浮いた状態である。ＳＫ139は４層に分層した。中央が窪む堆積で、埋土の中層に長径４～30㎝の亜角礫・亜円礫が多数凝集する。ＳＫ１・ＳＫ２は、ともにＣ２グリッドの平坦面で検出した。埋土上層に長径３～５㎝の小礫が出土したが、礫の凝集度は低い。ＳＫ178は南地区の低位段丘面で検出した。長径21㎝の角礫が横位に配置され、その西側に多数の小礫が凝集する。

**出土遺物**　103はＳＫ135から出土した７群の土器片で、やや肥厚した口縁端部に１条の沈線を巡らし、頸部は無文である。104・105はＳＫ139から出土した。104は５群の土器片で、横位の刻み隆帯とその上下に沈線を施す。105は４群の土器片で、末端刺突を持つ沈線を施すことから、気屋式の在地系土器と思われる。

**時期**　出土遺物は、大半は摩滅した土器小片が４点以下である。出土遺物から、ＳＫ135は縄文時代後期前葉以降、ＳＫ139は縄文時代後期中葉以降と判断した。

**（３）土坑Ｂ１ａ類（遺構：第27・28図、遺物：第30図）**

**検出状況**　土坑Ｂ１ａ類は、Ｅ～Ｈグリッドに位置し、Ⅳａ層上面で検出した。

**概要**　ＳＫ32・ＳＫ70は自然堆積である。ＳＫ37は北側に凹みが偏るが、柱痕跡と判断しがたいことから土坑Ｂ１ａ類とした。ＳＫ49は、４層中央の凹みは柱痕跡の可能性があるが、堆積状況からは判断しがたい。ＳＫ70は底部東寄りに浅い小土坑を検出したが、上部の埋土と同じ土であるため、２段の掘り込みを持つ土坑と考えられる。

**出土遺物**　106・107はＳＫ32から出土した４群の土器片で、106は口縁部以下に条線を斜位に施す。107はやや外反して直立する縁帯文式土器に類似した口縁部を持ち、口縁部に横走する沈線と隆帯を施し、隆帯上に刺突文を施す。108は１群の土器片で、口縁部直下から括れた頸部にかけて、沈線による楕円形区画文を施す。沈線内刺突を持つ横走する沈線により頸部と胴部を区画し、胴部は円形沈線文を施す。109はＳＫ37から出土した短冊型の打製石斧で、川原石の横長剥片を利用し、両側縁が基部に向かって収束する。110は、ＳＫ39～42から出土した打欠石錘で、泥岩製の板状礫を用いる。下端部の紐掛部に切目があるため石錘としたが、他の器種である可能性もある。111はＳＫ70から出土したＡ１類の石鏃で、両脚部を折損する。

**時期**　各遺構から石器が出土したが、土器の出土はＳＫ32のみであった。出土遺物から、ＳＫ32の時期は縄文時代後期前葉以降と考えられる。

**（４）土坑Ｂ１ｂ類（遺構：第28図）**

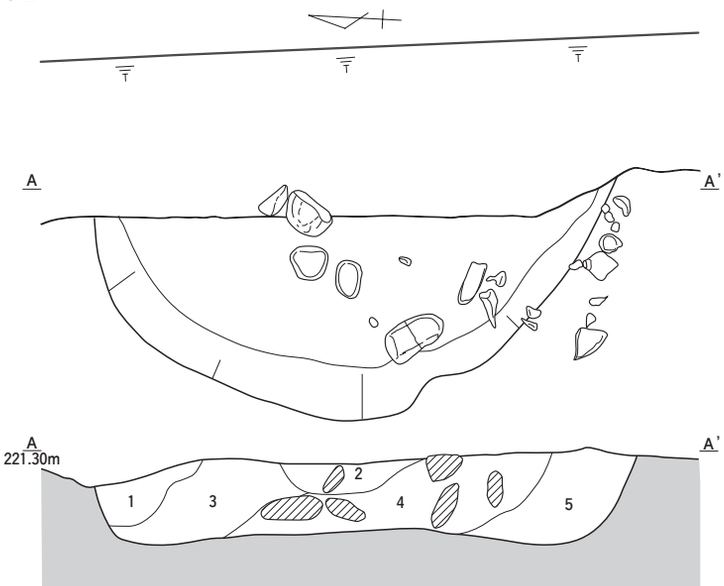
**検出状況**　土坑Ｂ１ｂ類は、Ⅳａ層上面で検出した。ＤグリッドとＩグリッドに多い傾向があるが、建物跡と推定できるような明確なまとまりは確認できなかった。

**概要**　ＳＫ８はＳＰ２に切られる。南東側に凹みが偏り、北西側はテラス状であるため、柱の抜き取り痕の可能性もある。ＳＫ24は、調査区東壁面にて、Ⅲ層上面からの掘り込みを確認したため、断面形状から柱穴の可能性がある土坑と判断した。ＳＫ40・ＳＫ42は、ＳＫ39～42までを同一遺構と誤認して掘り下げたため、調査区東壁面にて遺構の切り合い関係及び断面形状を確認した。

**出土遺物**　ＳＫ169から摩滅した土器小片が２点出土した。他の遺構からは遺物が出土しなかった。

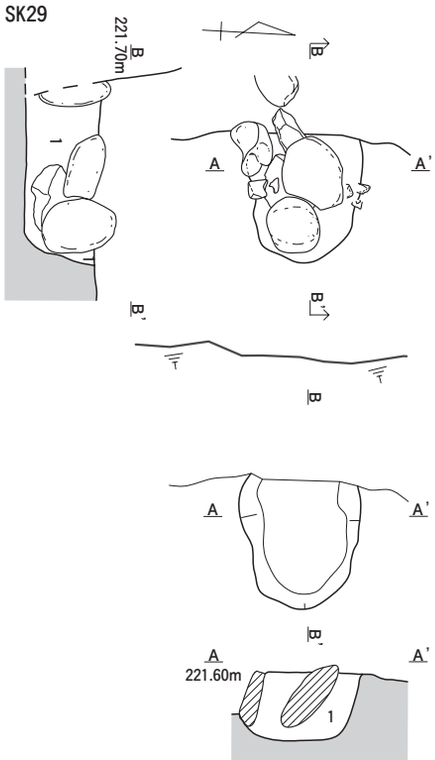
**時期**　各遺構の時期は不明である。

## SK21



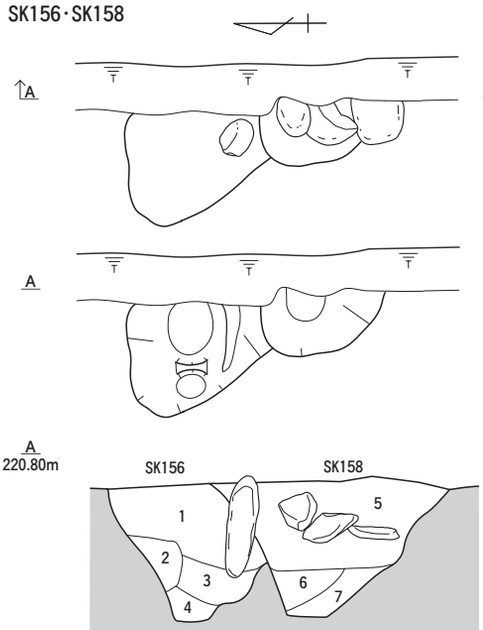

1　10YR1.7/1　黒色土　やや茶色　ややしまりあり　やや粘性あり　径2cmの亜円礫・亜角礫を25％含む
径2～4cmの角礫を7％含む
2　10YR2/1　黒色土　ややしまりあり　粘性あり　径2cmの亜円礫・亜角礫を2％含む
径20m以上の円礫を1％含む
3　10YR3/4　暗褐色土　しまりなし　やや粘性あり　径2～4cmの亜円礫・亜角礫を50％含む
粗砂が50％混じる
4　10YR3/4　暗褐色土　やや暗色　しまりなし　やや粘性あり　径2～4cmの亜円礫・亜角礫を50％含む
径30cmの扁平な円礫を2％含む
5　10YR2/2　黒褐色土　やや茶色　ややしまりあり　やや粘性あり
径2～4cmの亜円礫・亜角礫を25％含む　土器片や炭が2％混じる

## SK29



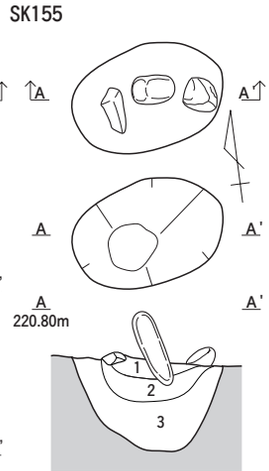

1　10YR1.7/1 黒色土　やや茶色　ややしまりあり
やや粘性あり　径2～3cmの亜円礫・亜角礫を20％含む

## SK156・SK158



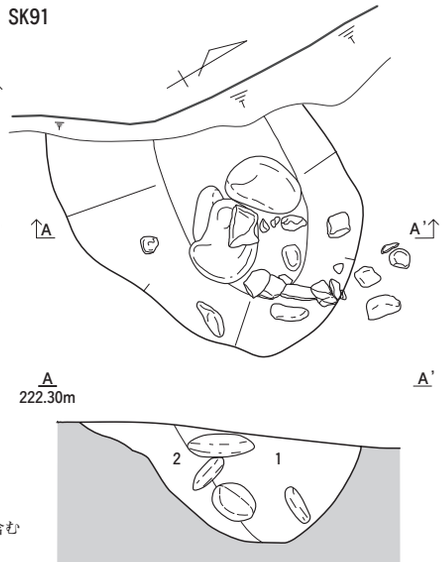

1　10YR2/1　黒色土　ややしまりあり　やや粘性あり　径2～10cmの亜円礫・亜角礫を2％含む
2　10YR3/1　暗褐色土　ややしまりあり　やや粘性あり　径2cmの亜円礫・亜角礫を50％含む
Ⅳ層（10YR4/4褐色砂礫）のブロックが混じる
3　10YR1.7/1　黒色土　ややしまりあり　やや粘性あり　径1～2cmの亜円礫・亜角礫を1％含む
4　10YR3/1　黒褐色砂質土 Ⅳ層（10YR3/4暗褐色砂礫）のブロックが混じる
5　10YR2/1　黒色土　やや暗色　ややしまりあり　やや粘性あり　径2～15cmの亜円礫・亜角礫を上部に25％含む
6　10YR4/2　灰横褐色砂質土　ややしまりあり　やや粘性あり　径2cmの亜円礫・亜角礫を50％含む
7　10YR3/3　暗褐色土　やや砂質　ややしまりあり　やや粘性あり
径5～10cmの亜円礫・亜角礫を50％含む　1層のブロック混じる

## SK155




1　10YR1.7/1　黒色土
ややしまりあり　やや粘性あり
径1～2cmの亜円礫・亜角礫を1％含む
2　10YR2/2　黒褐色土　やや砂質
しまりなし　やや粘性あり
径2cmの亜円礫・亜角礫を1％含む
3　2層にⅣ層（10YR3/4暗褐色砂礫）
のブロックが混じる

## SK91

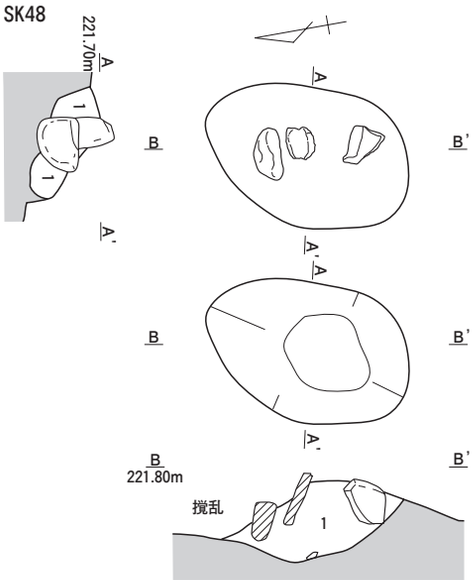



1　10YR1.7/1　黒色土　ややしまりあり　やや粘性あり
径2cmの亜円礫・亜角礫を25％含む
2　10YR2/1　黒色土　やや砂質　ややしまりあり
やや粘性あり　径4～7cmの亜円礫・亜角礫を50％含む

0　2 m

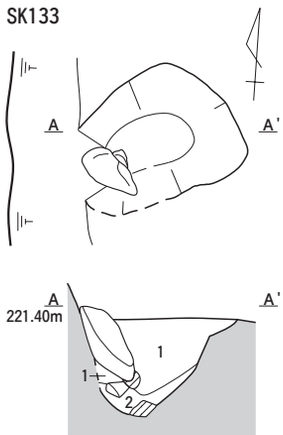
第25図　土坑（１）（S=１/40）

SK48



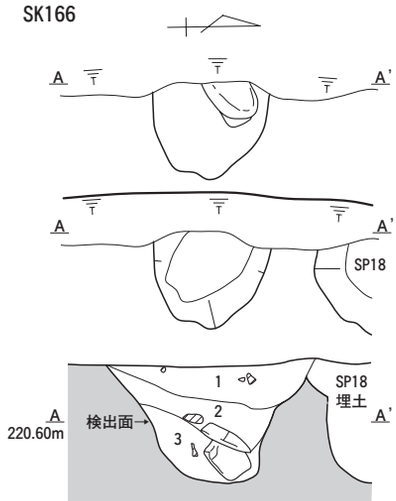

1　10YR2/1　黒色土　やや暗色　やや粘質あり　ややしまりあり
径4～7cmの亜円礫・亜角礫を20％含む

SK133



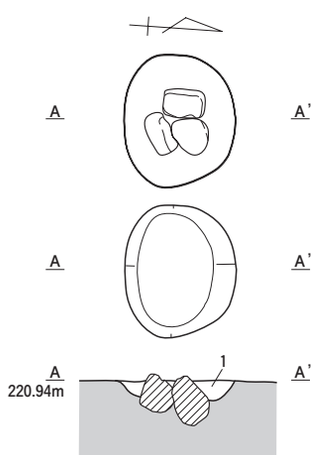

1　10YR2/1　黒色土　ややしまりあり
やや粘性あり　小円礫を1％含む
2　10YR3/1　黒色土　やや砂質
径10～12cmの亜角礫を20％含む

SK166



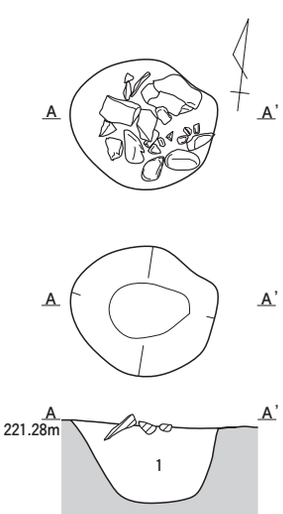

1　10YR2/1　黒色土　ややしまりあり　やや粘性あり
径2～10cmの亜円礫・亜角礫を20％含む
4層のブロックが少し混じる
2　10YR3/1　黒褐色土　ややしまりあり　やや粘性あり
径2～4cmの亜円礫・亜角礫を20％含む
3　10YR3/1　黒褐色土　やや茶色　ややしまりあり
やや粘性あり
径2～4cmの亜円礫・亜角礫を20％以上含む
1層のブロック が少し混じる

SK 5 （S= 1 /20）



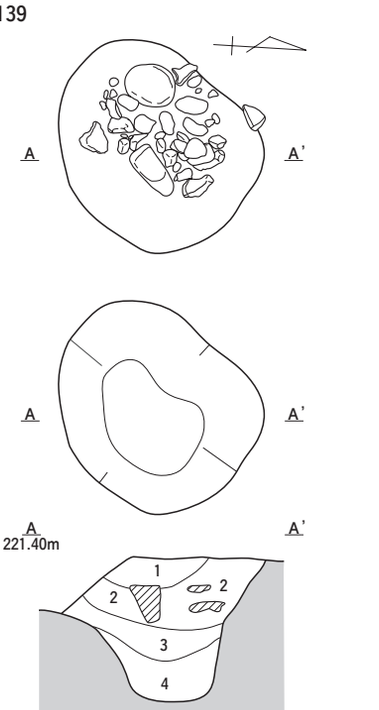

1　10YR2/3 黒褐色砂質土　ややしまりあり
やや粘性あり
径2～7cmの亜角礫・亜円礫を3点含む

SK135




1　10YR2/1　黒色土　ややしまりあり
やや粘性あり
径2cmの亜円礫・亜角礫を1％含む

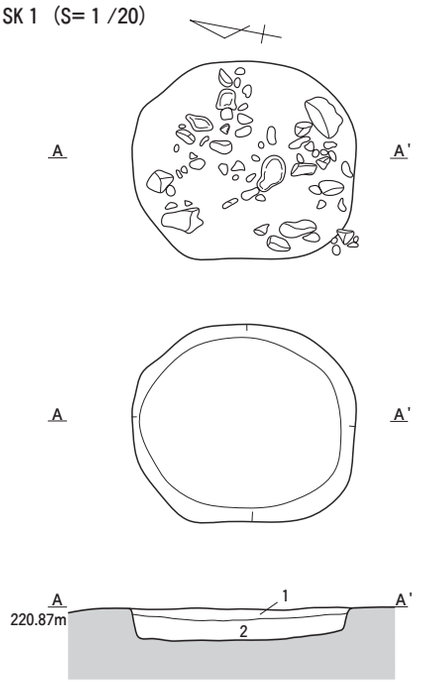
SK139




1　10YR1.7/1　黒色土　やや暗色　ややしまりあり
やや粘性あり
2　10YR2/1　黒色土　やや茶色　ややしまりあり
やや粘性あり　径15～20cmの亜円礫・亜角礫を2％含む
3　10YR2/1　黒色土　ややしまりあり　やや粘性あり
礫を少量含む
4　10YR3/1　黒褐色粘質土　ややしまりあり
やや粘性あり
径7～20cmの亜円礫・亜角礫を30％含む

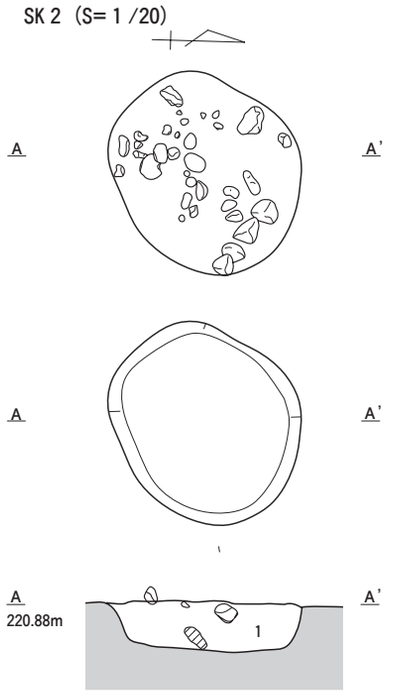
第26図　土坑（２）（S= 1 /40, 1 /20）

SK１（S=１/20）



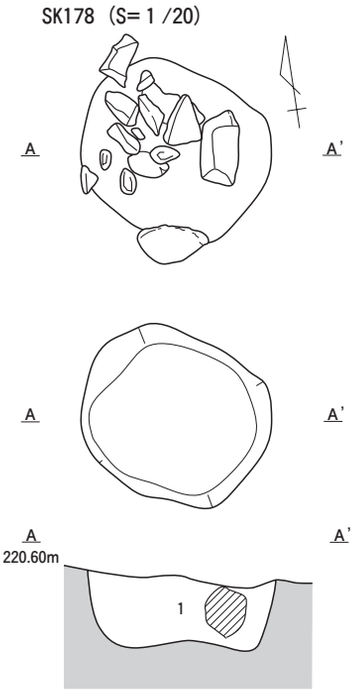

1　10YR2/3 黒褐色砂質土　ややしまりあり やや粘性あり
径3～5㎝の亜円礫・亜角礫を50％以上含む
2　10YR2/3 黒褐色砂質土　やや暗色　ややしまりあり
やや粘性あり 礫含まず

SK２（S=１/20）



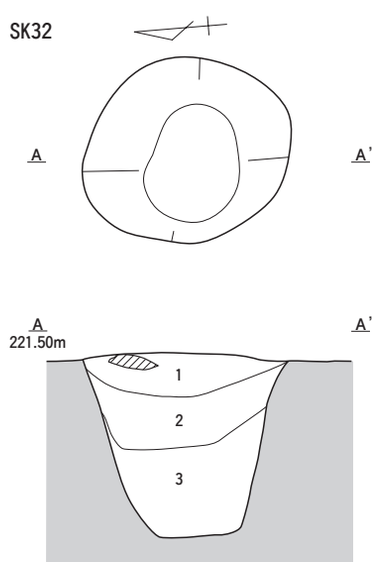

1　10YR2/3 黒褐色砂質土
ややしまりあり　やや粘性あり
径3～5cmの亜円礫・亜角礫を50％含む

SK178（S=１/20）



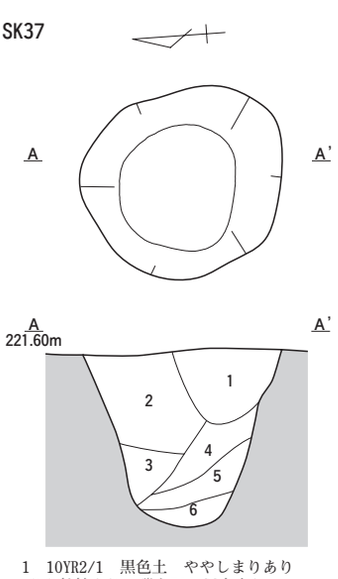

1　10YR2/2　黒褐色土　ややしまりあり
やや粘性あり　礫含まず

SK32



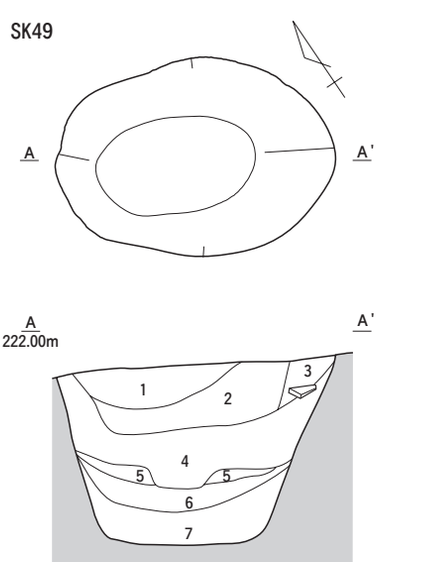

1　10YR2/1　黒色土　やや暗色　ややしまりあり
やや粘性あり　径2～7cm亜円礫・亜角礫を20％含む
2　10YR3/1　黒褐色砂質土　ややしまりあり
やや粘性あり　径2cmの亜円礫・亜角礫を１％含む
3　10YR3/2　黒褐色砂質土　しまりなし　粘性なし
径2～4cm亜円礫・亜角礫を1％含む

SK37

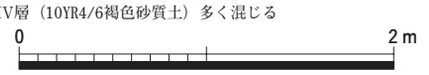



1　10YR2/1　黒色土　ややしまりあり
やや粘性あり　礫を50％以上含む
2　10YR4/1　褐灰色土　ややしまりあり
やや粘性あり　礫を50％以上含む
3　10YR3/1　黒褐色土　ややしまりなし
やや粘性あり　礫を50％以上含む
4　10YR5/2　灰黄褐色土　ややしまりあり
やや粘性あり　礫を50％以上含む
黒色土ブロックを含む（崩落土）
5　10YR3/2　黒褐色土　ややしまりあり
やや粘性あり　礫を50％以上含む
6　10YR3/2　黒褐色土　ややしまりあり
やや粘性あり　礫を1％含む

SK49

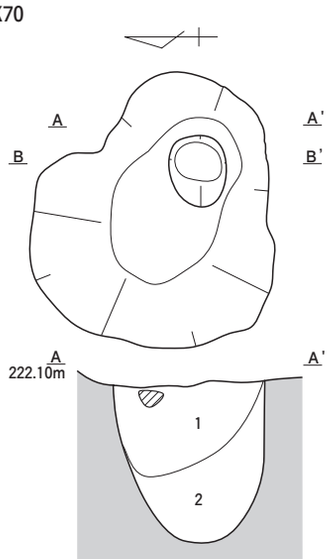



1　10YR1.7/1　黒色土　ややしまりあり　やや粘性あり
2　10YR2/2　黒褐色土　やや砂質　ややしまりあり
やや粘性あり　径2～4cmの亜円礫・亜角礫50％含む
3　2層に径7～10cmの角礫を50％含む
4　10YR2/1　黒色土　ややしまりあり　やや粘性あり
径5～20cmの亜円礫・亜角礫50％含む
5　10YR2/2　黒褐色土　ややしまりあり　やや粘性あり
径5～20cmの亜円礫・亜角礫50％含む
IV層（10YR4/6褐色砂質土）混じる
6　10YR2/3　黒褐色土　ややしまりあり　やや粘性あり
径5～20cmの亜円礫・亜角礫50％含む
IV層（10YR4/6褐色砂質土）多く混じる
7　10YR3/1　黒褐色土　ややしまりあり　やや粘性あり
径5～20cmの亜円礫・亜角礫50％含む
IV層（10YR4/6褐色砂質土）多く混じる



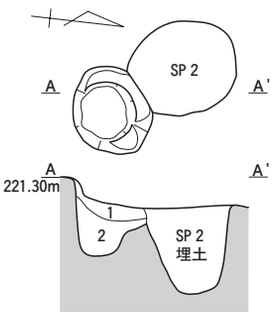

第27図　土坑（３）（S=１/20,１/40）

### SK70



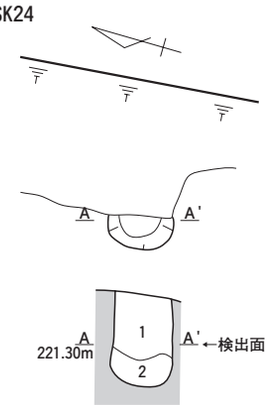

1　10YR1.7/1　黒色土　ややしまりあり
やや粘性あり
径2～15cmの亜円礫・亜角礫を25％含む
2　10YR3/1　黒褐色土　ややしまりあり
やや粘性あり
径2～7cmの亜円礫・亜角礫を20％含む

### SK 8



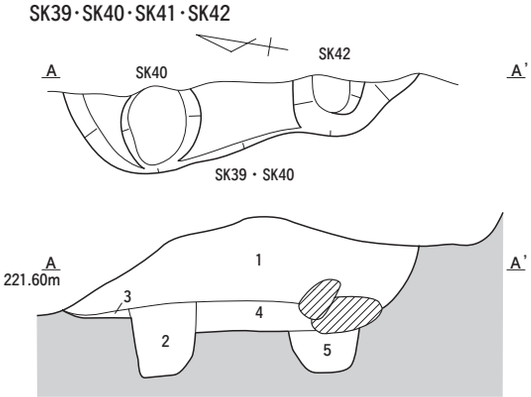

1　10Y2/3 黒褐色土　ややしまりあり　やや粘性あり
10Y3/4暗褐色砂質土のブロックが混じる　径4～7cmの亜角礫を25％含む
2　10Y2/3 黒褐色土　ややしまりあり　やや粘性あり
径1～2cmの円礫を１％含む

### SK24



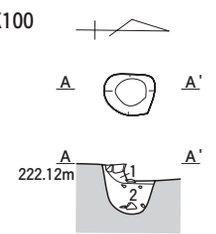

1　10YR2/1　黒色土　下部淡色
ややしまりあり　やや粘性あり
径2～4cmの亜円礫・亜角礫を5％含む
2　10YR2/1　黒色土　やや砂質
しまりなし　やや粘性あり
径2～4cmの亜円礫・亜角礫を5％含む
IV層（10YR4/4褐色砂質土）のブロック
が50％混じる

### SK39･SK40･SK41･SK42



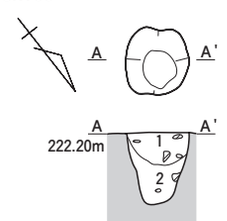

1　10YR2/1　黒色土　ややしまりあり　やや粘性あり
径2～7cmの亜円礫・亜角礫を2％含む（SK39埋土）
2　10YR2/1　黒色土　やや淡色　しまりなし　やや粘性あり
径2～4cmの亜円礫・亜角礫を7％含む（SK40埋土）
3　10YR3/1　黒褐色土　ややしまりあり　やや粘性あり
径2cmの亜円礫・亜角礫を2％含む
IV層（10YR4/4褐色砂質土）のブロックが混じる（SK41埋土）
4　10YR3/1　黒褐色土　やや暗色　ややしまりあり　やや粘性あり
径2cmの亜円礫・亜角礫を25％含む
IV層（10YR4/4褐色砂質土）のブロックが少し混じる（SK41埋土）
5　10YR2/1　黒色土　やや淡色　しまりなし　粘性なし
径2～4cmの亜円礫・亜角礫を7％含む（SK42埋土）

### SK100



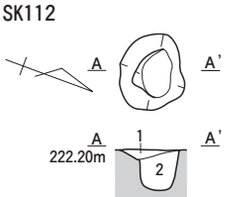

1　10YR2/1　黒色土　しまりなし
やや粘性あり
径1～7cmの亜角礫・亜円礫を50%以上含む
2　1層にIV層（10YR3/4暗褐色砂礫）
のブロックが混じる

### SK103



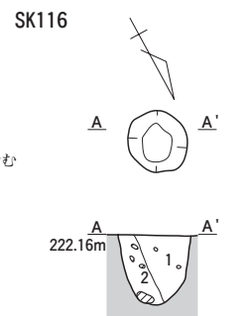

1　10YR2/1 黒色土　しまりなし
やや粘性あり
径1～2cmの亜角礫・亜円礫を50%以上含む
2　1層にIV層（10YR3/4暗褐色砂礫）
のブロックが混じる

### SK112



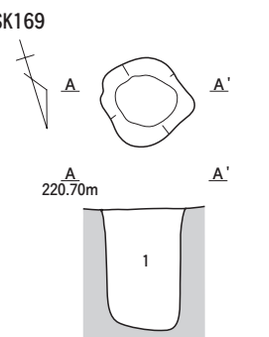

1　10YR2/3 黒褐色砂質土 しまりなし
粘性なし
径2～4cmの亜円礫・亜角礫を2％含む
2　10YR1.7/1 黒色土 ややしまりあり
やや粘性あり
径2～4cmの亜円礫・亜角礫を25％含む

### SK116



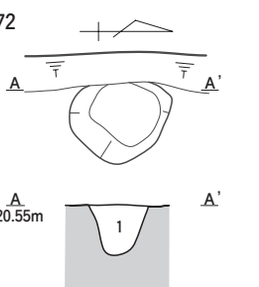

1　10YR2/1 黒色土 しまりなし
やや粘性あり
径1～2cmの亜角礫・亜円礫を50%以上含む
2　1層にIV層（10YR3/4暗褐色砂礫）
のブロックが混じる

### SK169

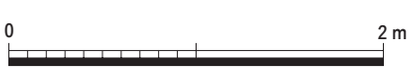



1　10YR2/1黒色土　ややしまりあり
やや粘性あり
径2～4cmの亜円礫・亜角礫を2％含む

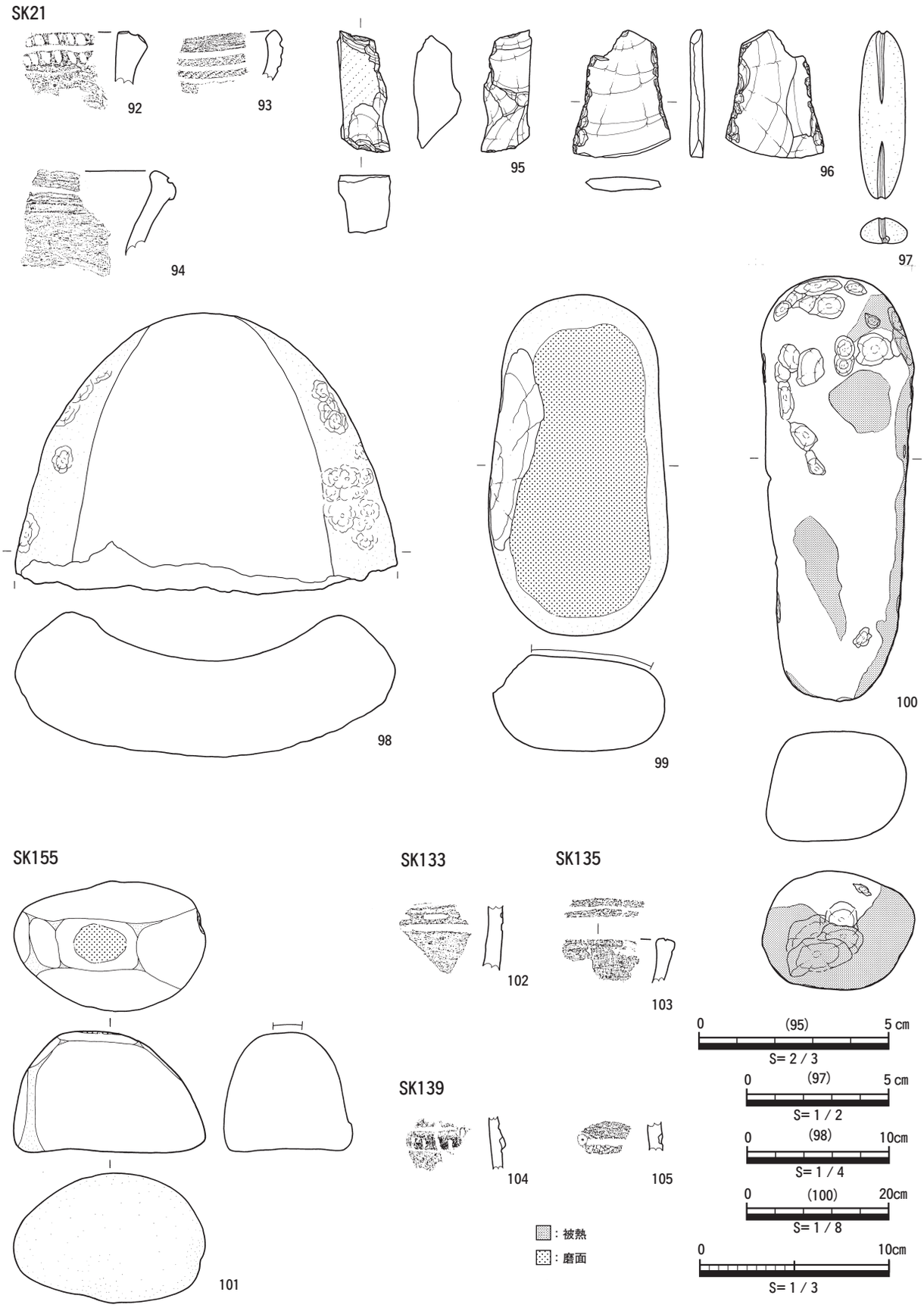
### SK172



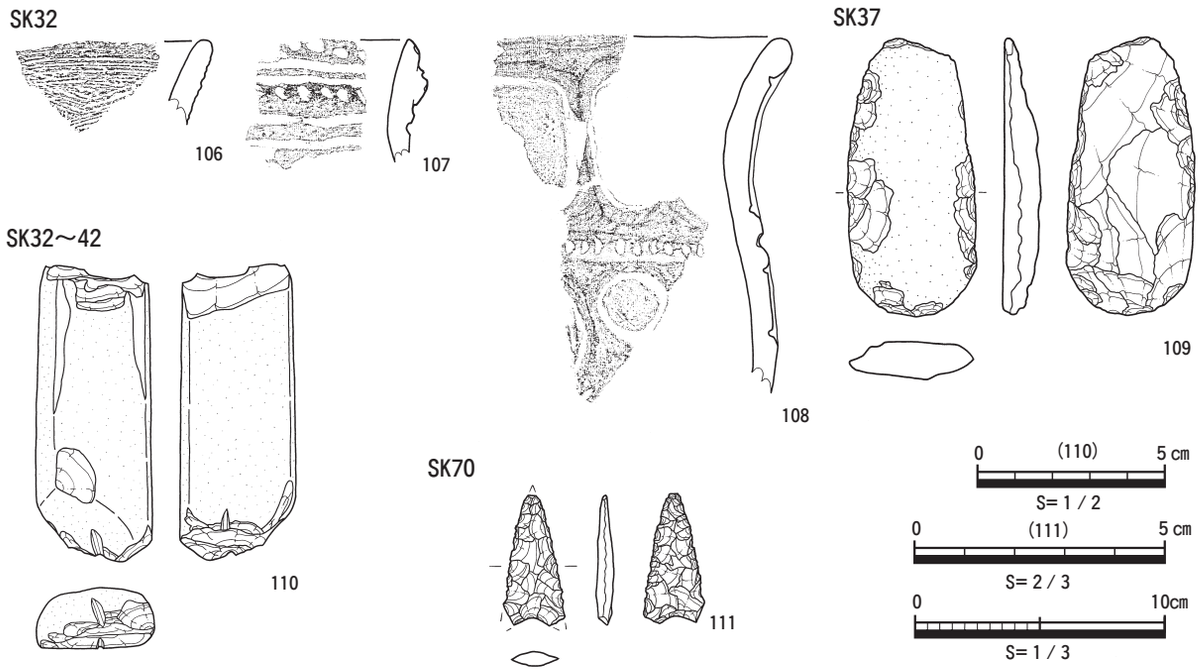

1　10YR4/3 にぶい黄褐色砂質土
しまりなし　やや粘性あり
径2～4cmの亜円礫・亜角礫を50％以上含む




**第28図　土坑（４）（S=１/40）**




第29図　土坑出土遺物（１）




**第30図　土坑出土遺物（２）**

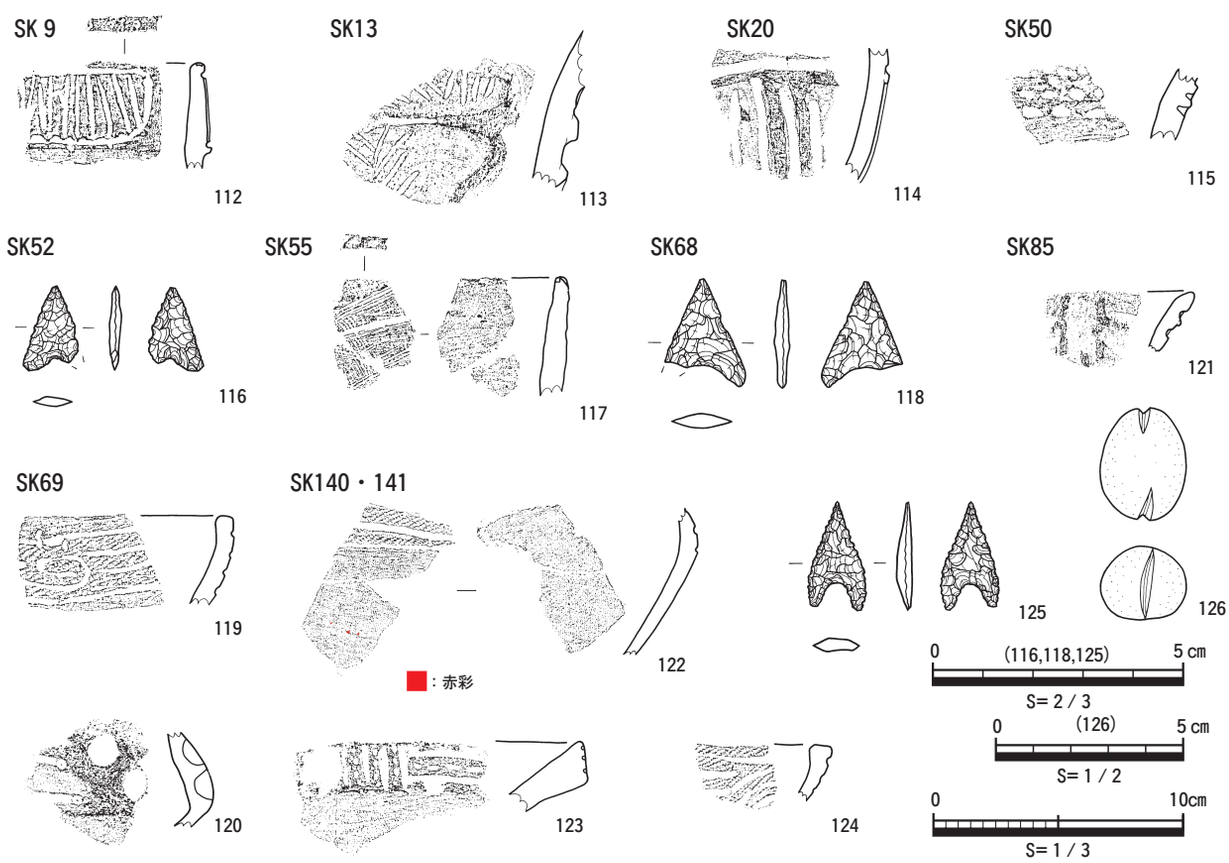
### （５）土坑Ｂ２類（遺構：第41～44図、遺物：第31・32図）

**概要**　土坑Ｂ２類の約７割は、Ⅳ層上面で検出した。平面は円形若しくは楕円形のものが多い。全体的に規模が小さく浅いものが多いが、南地区では、ＳＫ151のように、上端径が２ｍを超える規模の大きいものも見られる。Ⅲ層上面若しくはⅢ層中で検出したものは約２割で、ＳＫ18・20・26・56・147のように浅いものは、重複遺構の精査段階で消滅しているため、第41～44図には破線で表示した。その他はＳＫ53やＳＫ69のように、重複する遺構埋土の直上で検出したものや、ＳＫ64のように重複する遺構埋土の底面で検出したものがある。北地区ではＤ２グリッド、南地区ではＯ３－Ｑ３グリッドに上端長軸0.3～0.5ｍの浅い小土坑が分布しており、市道を挟んでほぼ対称的な位置にあるこれらのグリッドは比較的遺構密度が高い。特にＯ３－Ｑ３グリッドでは遺物包含層出土遺物も多く、多量の礫と共に石皿や炭化物なども出土している。出土した土器は後期のものが主体であり、晩期のものが少量出土している。また、Ｉグリッドでは、上端長軸が0.4ｍ以下の小土坑が多く分布するが、Ｄ２グリッドやＯ３－Ｑ３グリッドに比べて遺構密度は低い。このグリッドはⅢ層が薄く、遺構の大半はⅣ層上面で検出した。遺物は少なく、時期不明とした遺構が多い。

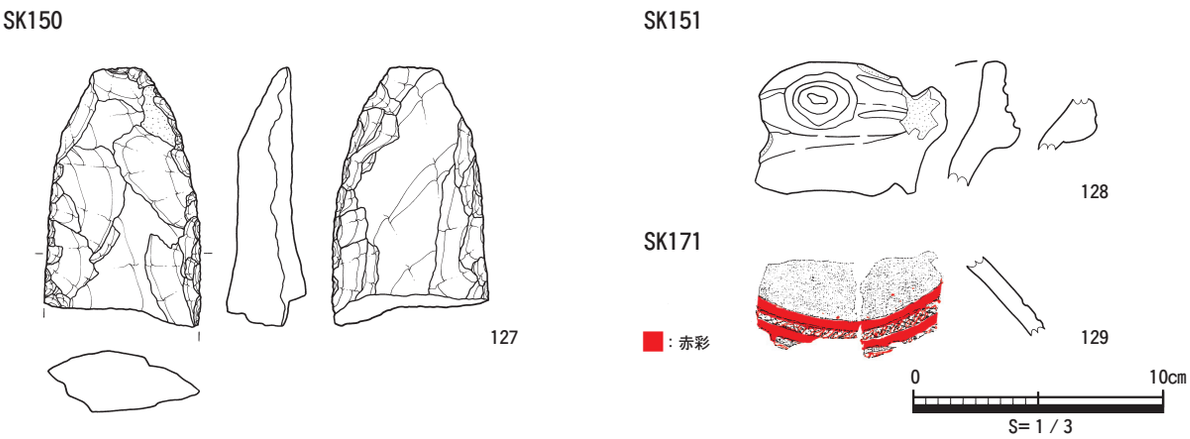
**出土遺物**　112はＳＫ９から出土した２群の土器片で、口縁直下の楕円形区画内に縦位の沈線を充填し、沈線下部において竹管状の工具で半円形の刺突文を施す。口縁端部に刺突文を施す。113はＳＫ13から出土した１群の土器片で、隆帯による区画内に羽状沈線を充填する。114はＳＫ20から出土した７群の土器片で、微隆起線文を施す。飛騨地方の在地系土器で縄文時代後期前半と考えられる。115はＳＫ50から出土した４群の土器片で、三角刺突文を頸部に施し、その下部は無文である。116はＳＫ52から出土したＡ１類の石鏃で、先端部折損後、再利用したため刃部の角度が変化している。117はＳＫ55から出土した４群の土器片で、口縁端部に刺突文を施し、側面に櫛描線文を施す。118はＳＫ68から出土したＡ１類の石鏃で、脚部片側を折損する。119・120はＳＫ69から出土した。119は５群の土器片で、丸底の碗形土器の口縁部である。口縁直下にＬＲ縄文を施し、４条の平行沈線と

渦巻文を施す。120は４群の土器片で、口縁部がくの字状の鉢である。口縁部に末端刺突文を持つ沈線を施し、突起部には大きめの刺突文を施す。121はＳＫ85から出土した１群の土器片で、微隆起線文と押し引き沈線を施す。122～126はＳＫ140・ＳＫ141から出土した。122は７群の土器片で、小型の浅鉢である。胴部に磨きが施され下部にはわずかに赤彩が残る。屈曲部に横走する３条以上の細い沈線を施し､沈線間にＬＲ縄文を施す。内面は磨き痕が残る。123は５群の土器片で､口縁部を肥厚･拡張させ、縦に区画した沈線とその両脇に長方形区画文を施し、沈線間に刺突文を施す。124は５群の土器片で、波状口縁の波頂部に渦巻文を配す。その両側に２～３条の横走する沈線を施し、ＬＲ縄文を施す。125はＡ２類の石鏃で、側縁部が鋸歯状を呈する。 126は切目石錘で、円形の自然石を利用している。127はＳＫ150から出土した打製石斧で、刃部を欠損するため形状は不明である。川原石の横長剥片を利用し、両側辺が基部に向かって収束する。大型で自然面を残し、柄の大きさに合わせて基部を絞る調整を施すことから後晩期の様相を呈する。128はＳＫ151から出土した４群の注口土器で、口縁部の断面をＴ字状に拡張し、縁帯部に沈線で文様を描く。129はＳＫ171から出土した８群の土器片で、赤彩を施した蓋である。２条の沈線を巡らし、沈線間にＬＲ縄文を充填する。中屋式に比定できる。

1）高山市の堂之上遺跡（戸田1997）では、中期最末期の20号敷石住居址土坑Ｂに石皿が流入する事例が報告されている。




**第31図　その他の土坑出土遺物（１）**




第32図　その他の土坑出土遺物（２）

## ６　不明遺構

### ＳＸ１（遺構：第33図、遺物：第34図）

**検出状況**　Ａ２－Ｂ２グリッドに位置し、低位段丘面で検出した。

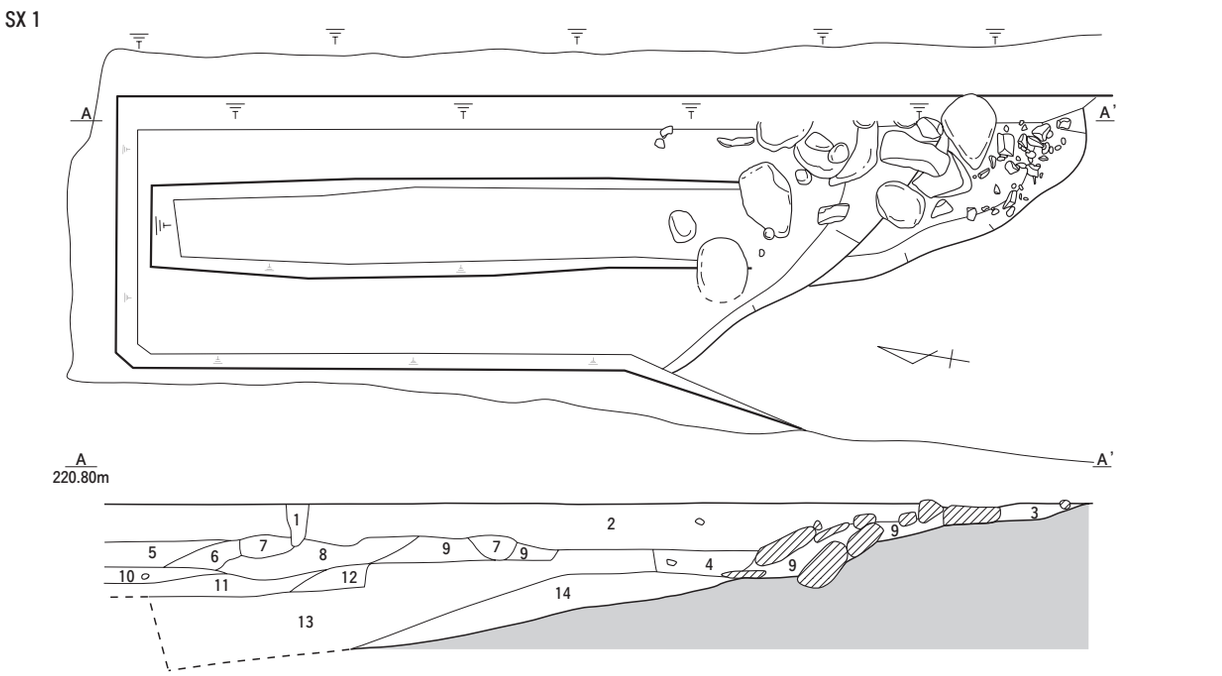
**概要**　南側以外が調査区外へ展開するため形状や規模は不明である。また、調査区の制約上、法面保護のために最深部まで調査できなかった。Ⅳｂ層上面で黒色土の広がりを確認したため、当初は大型の竪穴状遺構と判断して掘り下げたが、断面観察により南側から北側へ緩やかに傾斜することが判明した。北部の埋土上層では、径20～50㎝の亜円礫や遺物が散在して出土したが、断面観察により複数面からの掘り込みを確認したため、重複する遺構に伴うものと考えられる。しかし、その出土状況から流れ込みと誤認して掘り下げたため、図化できなかった。また、南部では、径40㎝以上の大きな川原石が南から北へ崩落する状況で出土した。南部でまとまって出土した川原石には、配石遺構や土坑Ａ１類に使用されているものと類似したものが含まれているため、石材を廃棄、または保管する場所であった可能性も考えられる。

**出土遺物**　土器片120点、石鏃１点、石錐１点、楔形石器６点、粗製石器６点、切目石錘１点、石皿・台石類１点、磨・敲・凹石類８点、ＲＦ２点、ＭＦ１点、剥片37点が出土した。130は７群の土器片で微隆起線文を渦巻文状に施す。131は５群の土器片で、外面は口縁波頂部から垂下する隆帯を貼り付け、隆帯上に二枚貝による刻みを施す。内面にＬＲ縄文と刺突文を施す。132～134は４群の土器片で、132は口縁部に連続した刻みを施す。133は口縁波頂部にＪ字状貼付文のような特徴的な突起が付き、突起部中央に穿孔を持つ。穿孔の周囲に１条の沈線を施す。突起下には垂下する３条の沈線を施し、帯状部にＲＬ磨消縄文を施す。134は口縁波頂部を突起状に拡張させ、緩やかに内彎させる。その上に連続刺突文を施す。突起部の脇に沈線を施し、ＲＬ磨消縄文を施す。北陸地方の在地系土器である。135～138は３群の土器片で、135はやや内彎する口縁を持ち、横走する沈線の区画内にＬＲ縄文を施す。136は口縁部下に２条の沈線による平行線文を施し、ＬＲ磨消縄文を施す。137は口縁直下に沈線を施し、その区画内にＬＲ縄文を充填する。138は口唇部に平坦面を持ち、内側にやや肥厚する。側面に幅４㎜の比較的幅広な沈線を施し、ＬＲ磨消縄文を充填する。139・140は２群の土器片で、139は竹管文による連続刺突を施し、沈線直下にＬＲ縄文を充填する。140は沈線を多条に施す。141～145は１群の土器片で、141が台付深鉢の脚台部でその他は深鉢である。141は胴下半部と穿孔を持つ脚部を幅６～10㎜の比較的幅広な隆帯で区画する。垂下する隆帯の区画内に長方形状

沈線を施し、その内部に羽状沈線を充填する。142は隆帯による渦巻文を施し、沈線で縁取る。沈線内には刺突文を施し、沈線間の一部にＬＲ磨消縄文を施す。隆帯は低く、なだらかである。143はＬＲ撚糸文を施し、その上に素麺状隆帯を横位に貼付ける。144は微隆起線文と沈線文を施す。145は撚糸文を施し、横走する沈線で切る。146は９群Ｄ類の土器片で、把手に上から刻みを施す。147は石錐で、素材となる剥片の側辺に調整を加えて錐部を作出することにより、平面形が概ね三角形となる。錐部と基部との境が不明瞭である。148・149は楔形石器で、上端と下端に一対の潰れ痕が見られる。150は切目石錘で、縦長の自然石を利用する。中央部の両側面に対称的な敲打痕がわずかに確認できる。151は粗製石器で、大きな剥離により刃部を作出する。

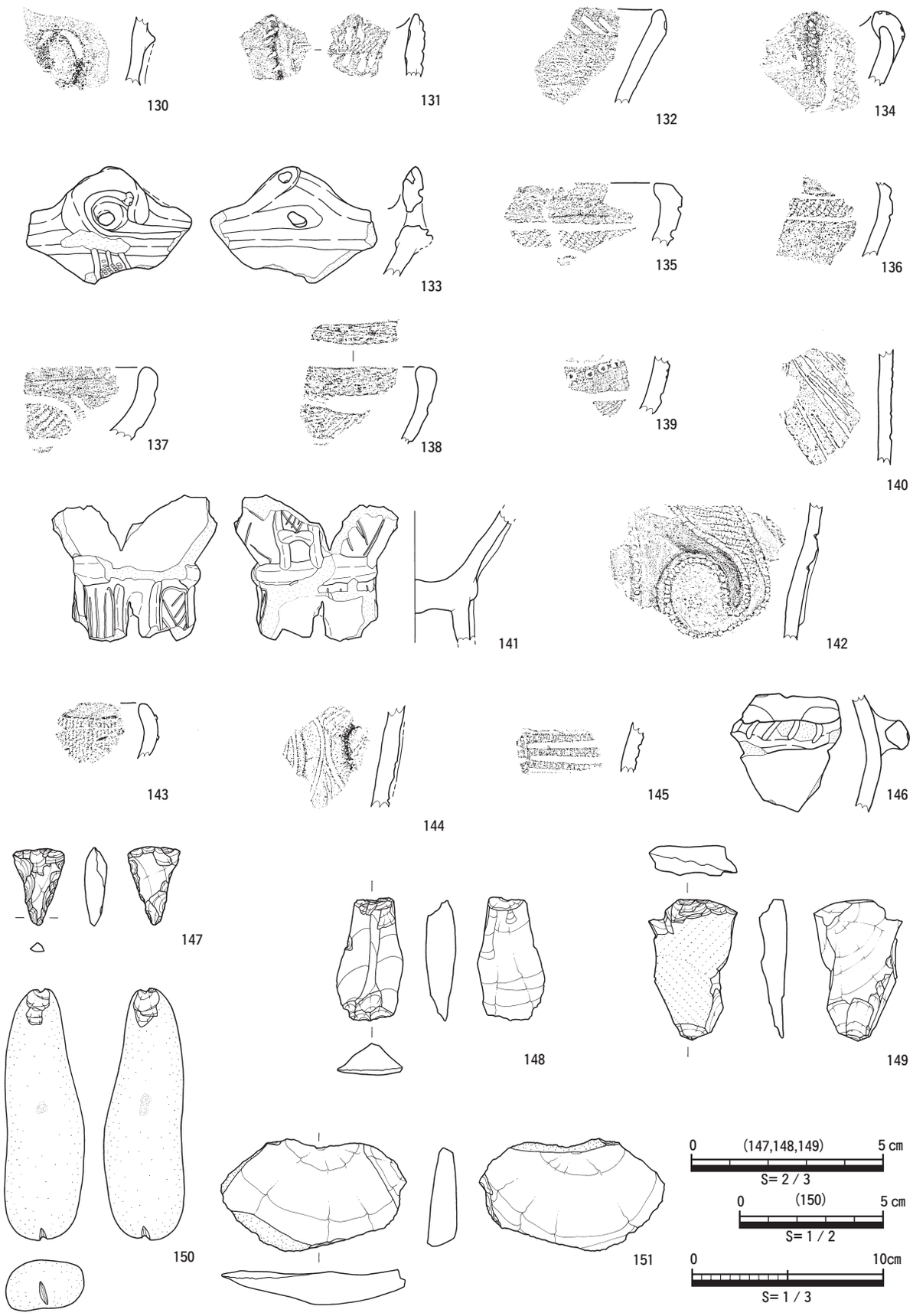
**写真１　切目石錘（150）の敲打痕拡大**

**時期**　出土遺物から、縄文時代後期前葉以降と考えられる。




1　撹乱
2　10YR1.7/1　黒色土　やや茶色　ややしまりあり　やや粘性あり　径2～4cmの亜円礫を1％含む
3　10YR1.7/1　黒色土　やや淡色　ややしまりあり　やや粘性あり　径3～7cmの亜円礫を1％含む
4　10YR2/3　黒褐砂質土　ややしまりあり　やや粘性あり　炭混じる　径2cmの円礫を25％含む
5　10YR1.7/1　黒色土　ややしまりあり　やや粘性あり　炭混じる　礫含まず
6　10YR1.7/1　黒色土　ややしまりあり　やや粘性あり　炭混じる　径2cmの亜円礫を25％含む
7　10YR4/4　黒褐色土　ややしまりあり　粘性なし　径2～4cmの亜角礫を50％含む　6層が混じる
8　10YR2/3　黒褐色土　ややしまりあり　やや粘性あり　土器含む　礫含まず
9　10YR2/3　黒褐色土　やや茶色　ややしまりあり　やや粘性あり　径20～50cmの亜円礫を50％以上含む
10　10YR1.7/1　黒色土　ややしまりあり　やや粘性あり　径4～7cmの亜円礫・亜角礫を25％含む
11　10YR1.7/1　黒色土　やや淡色　ややしまりあり　やや粘性あり　径2cmの亜円礫・亜角礫を2％含む
12　10YR1.7/1　黒色土　やや淡色　ややしまりあり　やや粘性あり　径4～7cmの亜円礫・亜角礫を10％含む
13　10YR3/3　暗褐色土　やや淡色　ややしまりあり　やや粘性あり　径5～10cmの亜円礫・亜角礫を25％含む
14　10YR3/4　暗褐色土　やや茶色　やや砂質　ややしまりあり　やや粘性あり　径2～4cmの亜円礫・亜角礫を25％含む

**第33図　不明遺構（S=１/40）**




**第34図　不明遺構出土遺物**

# 第３節　遺物包含層出土の遺物

## １　遺物包含層出土土器（第35・36図）

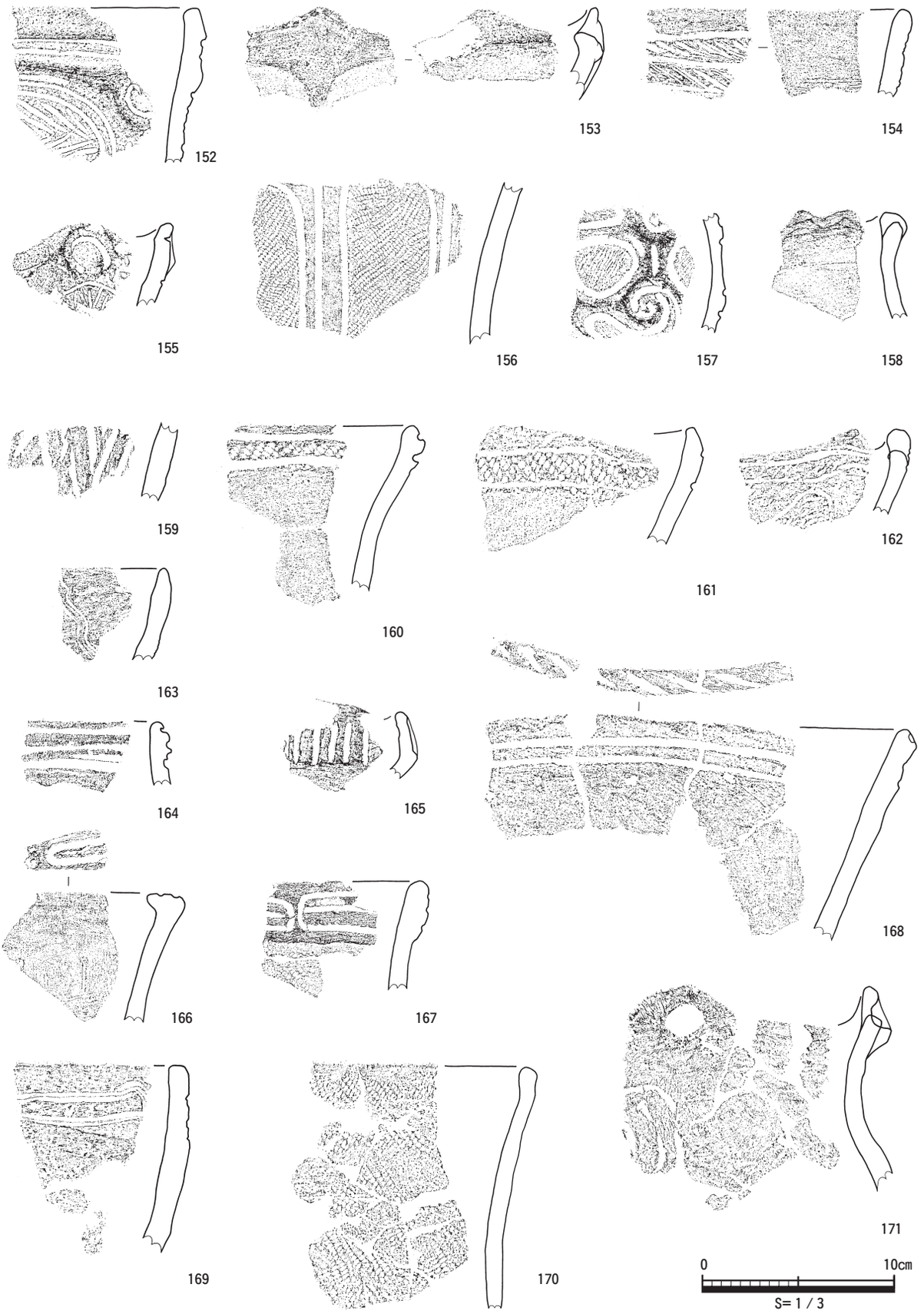
152～159は１群の深鉢で、152は口縁部に楕円形の区画文を施し、羽状沈線文や渦巻文を充填する。153は口縁波頂部が尖り、口縁端部が拡張し、その上に隆帯を貼り付ける。154は口縁部直下に無文帯があり、口縁部外面には横走する３条の沈線を施し、沈線間には斜位の短沈線を充填する。内面に横位の条線を施す。155は口縁波頂部に円形沈線文を施す。156は垂下沈線の区画内にＲＬ縄文を施す。157は隆帯による渦巻文を施し、円形区画文内に櫛描線文を充填する。158・159は２群の深鉢で、158はラクダの瘤状の口縁波頂部を持ち、やや外反する口縁部の外面は無文である。159は綾杉文に類似した多条の沈線文を施す。160～162は３群の深鉢で、160はわずかに内彎する口縁部に横位の２条の沈線文を施し、沈線間にＬＲ縄文を充填する。161は波状口縁端部直下に無文帯があり、口縁部外面には２本の平行沈線を施し、沈線間にＲＬ縄文を充填する。162は口縁端部に三角状の突起を持つ。口縁部外面に沈線文を施し、沈線間に撚り戻しの磨消縄文を施す。163～171は４群の深鉢で、163は口縁端部から蛇行する櫛描線文が斜行する。164は口縁端部から外面にかけて横走する３条の沈線を施す。165は口縁部が逆くの字になり、外面に縦位の短沈線文を施す。166は口縁部が内側に拡張し、その上に長楕円形状の区画文を施す。口縁部から頸部は無文である。167はやや肥厚した口縁部外面に長楕円形区画文を施し、区画内に１条の沈線を施す。頸部はＲＬ縄文を施す。縁帯文系であるが、頸部に縄文を施すことから、在地化したものと見られる。168は口縁端部に斜位の刻みを施し、口縁部側面に２条の平行沈線を巡らせる。胴部にかけては無文である。169は粗製土器で、口縁部外面に横走する２条の沈線を施す。170は口縁端部直下は無文帯で、器面の凹凸により無文部があるが、口縁部から胴部下半にかけてＲＬ縄文を施す。171は頸部が括れる器形で、波頂部に円形刺突文を施す。頸部に２条の沈線による隅丸方形状の区画文を施す。172～177は５群である。172は注口土器で、胴部上半に２条の沈線を巡らし、その区画内に羽状沈線を充填する。173は深鉢で、口縁部は緩やかに内彎し、端部はやや尖る。外面に横走する沈線を施す。174は注口土器で、沈線による区画帯にＬＲ縄文とＲＬ縄文を施し、円形刺突文を列状に斜行させる。175は深鉢で、口縁波底部はやや内彎し、口縁部外面に横走する沈線と波状沈線を施す。176は深鉢で、口縁部は屈曲し、その上に沈線と刺突文を施す。177は注口土器で、注口と胴部の接合痕が残る。178・179は６群で、178は拡張した波状口縁の波頂部に、長方形区画文を施す。その内側に末端刺突文を持つ１条の沈線を施す。179は注口土器で、側面圧痕文があり、沈線に末端刺突文を施す。180～184は７群の深鉢で、180は口縁端部に円形刺突文を施し、その横に刻みを施す。口縁部外面には横走する３条の沈線を施す。181は口縁端部がやや外側に拡張し、その上に１条の沈線を巡らし、口縁部外面に横走する沈線を施す。182は口縁波頂部をつまんで三角状に整形する。口縁部外面は無文である。183は寸胴な粗製土器で、器面の摩滅が激しく、文様の有無や調整方法は不明である。184は胴部外面に垂下する櫛描線文を施す。185は８群の深鉢で、口縁部外面に三叉状の沈線文がわずかに残る。口縁部の器厚は薄く、口唇部は軽く内彎する。口縁端部直下に無文帯があり、４本の平行沈線間にＬＲ縄文を充填する。186～190は９群Ｃ類である。186は、２本越え・２本潜り・１本送りの網代痕を持つ。187は底部が大きく、２本越え・

１本潜り・１本送りの網代痕を持つ。188は底部圧痕があり、２本越え・２本潜り・１本送りの網代痕を持つ。189は底部が比較的小振りで、その割に器厚である。縄文を地文とするが撚りは不明である。摩滅が激しく、網代痕の状況は看取できない。190は底部が小さく、１本越え・１本潜り・１本送りの網代痕を持つ。

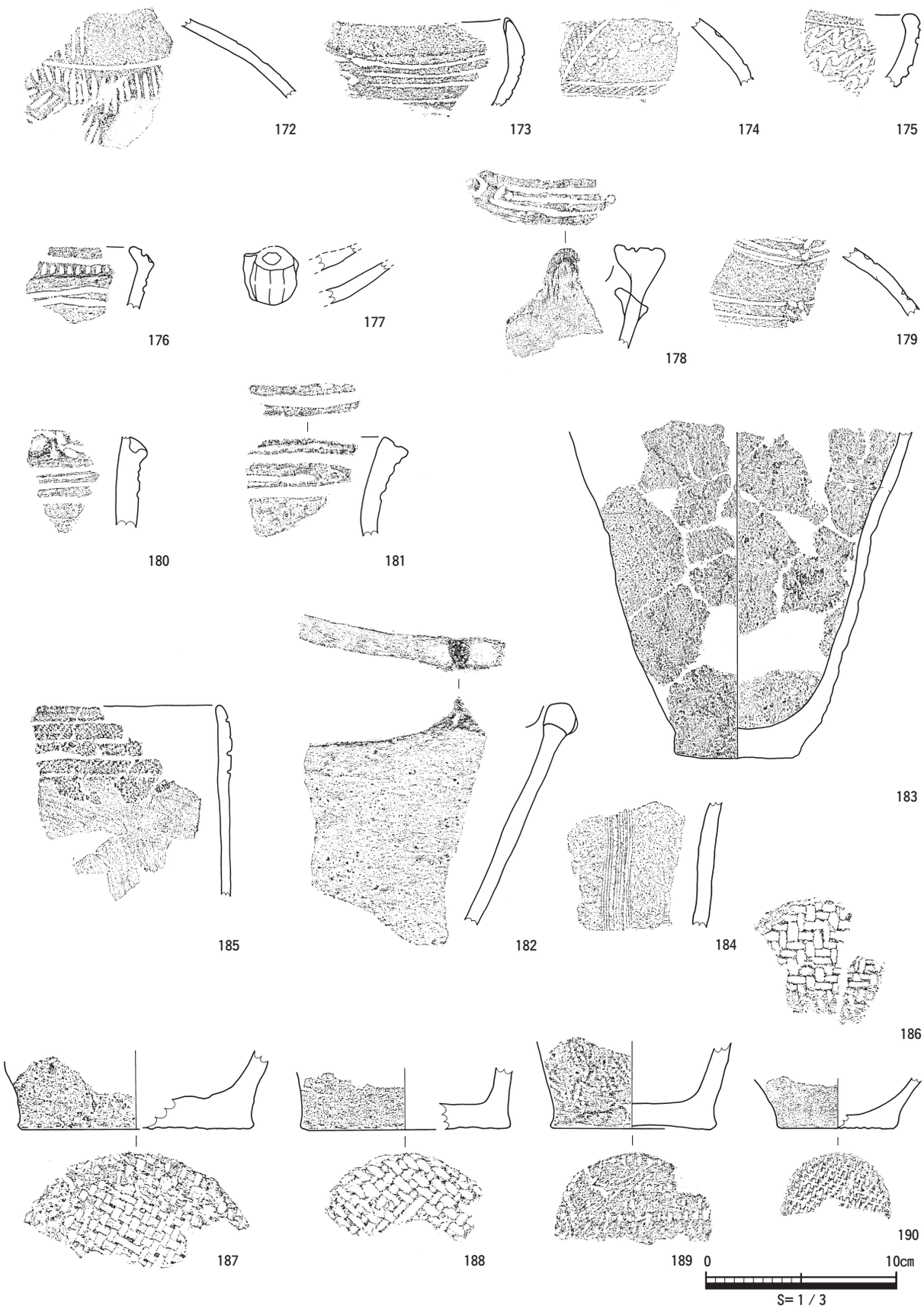
**２　遺物包含層出土石器（第37～39図）**

191～196は石鏃である。191・192はＡ１類で、191は全体調整段階と思われる。192は部分磨製石鏃で、柄の装着部分に擦痕があり、先端部を丸めている。193・194はＡ１類で、ともに先端部折損後、再利用したため刃部の角度が変化している。195はＡ３類で、基部に浅い弧状の抉りを施す。196はＢ２類で、有肩で頸部を折損する。197・198は石錐で、197は基部との境が明瞭である。198は細身の錐部を作出し、錐部に比べて基部が幅広である。199は楔形石器で、四辺の縁辺部に２対の潰れ状剥離がある。200～202はスクレイパーで、200は片面調整による直線的な刃部を作出する。201は側辺に抉り状の刃部を作出する。202は両面調整による外彎した刃部を作出する。203は打製石斧で、流紋岩製の横長剥片を利用し、両側辺がほぼ併行する。204～207は石錘である。204は打欠石錘で、上端部に抉りのない加工痕が見られるため楔形石器若しくは敲石の可能性もある。205は切目石錘である。206は有溝石錘で、溝は途中で途切れるが、長軸の側面をほぼ一周する。幅広の側面が曲面になることから、平坦面を持つ幅狭の側面に溝を作出し、紐掛け部の安定性を高めようとした可能性がある。207は有溝石錘で、長軸の側面に溝を巡らせて紐掛け部を作出する。208～211は定角式の磨製石斧である。208は蛇紋岩製で、ほぼ全面を研磨している。209は蛇紋岩製で、縁辺部にわずかな剥離が見られるが、ほぼ全面を研磨している。側辺片側に陵があり、磨り切りの可能性がある。刃部の片面には、側面側に偏った位置に刃こぼれと思われる剥離がある。210は蛇紋岩製で、ほぼ全面を研磨している。211は蛇紋岩製で比較的大型である。表面は３分の２以上が剥離面であるが、ほぼ全面を研磨していると思われる。210・211は側辺部に陵があり、擦り切りの可能性がある[1)]。212は磨・敲・凹石類で、端部に敲打痕が残る。213・214は粗製石器で、213は側辺から末端部にかけて両面調整し、鋭利な刃部を作出する。214は両側辺に片面調整を施して刃部を作出する。215は砥石である。砥面には多条に線状痕が残るが、時期は下る可能性もある。216・217は石棒である。216は珪化木製で、原石の稜線や自然面が多く残る。断面形は円形で、両端部を平坦に調整する。217は濃飛流紋岩製の柱状節理原石を利用している。稜線や自然面が多く残るため、露頭していたものを持ち込んだ可能性が高い。断面形は六角形で、縁辺の一部に敲打痕が見られる。218～220は石刀である。218は緑泥片岩製の石刀で、ＳＩ８の東端に位置する大きな川原石の約0.4ｍ東側で出土した。この石刀は、Ｍ２－３グリッドの遺構検出時に発見し、遺物包含層出土遺物として取り上げたが、ＳＫ136に属する可能性が考えられる。高山市の荒城神社遺跡出土の石刀と類似し（渡辺ほか1993）、柄頭には赤彩がわずかに残る。頭部の文様は、北陸晩期土器のそれに似る。刻文入りの石刀は土器の時期より下ることもあることから、縄文時代後期末から晩期前半のものと考えられる。219は先端部に研磨を施し、鋭くする。峰部中央に沈線を施す。
220は石刀の刀身部で、関が残る。221は石冠で、側面を研磨により整形し、底面を平坦に研磨する。中央部に敲打による凹みが見られ、縄文時代晩期の特徴を持つ。

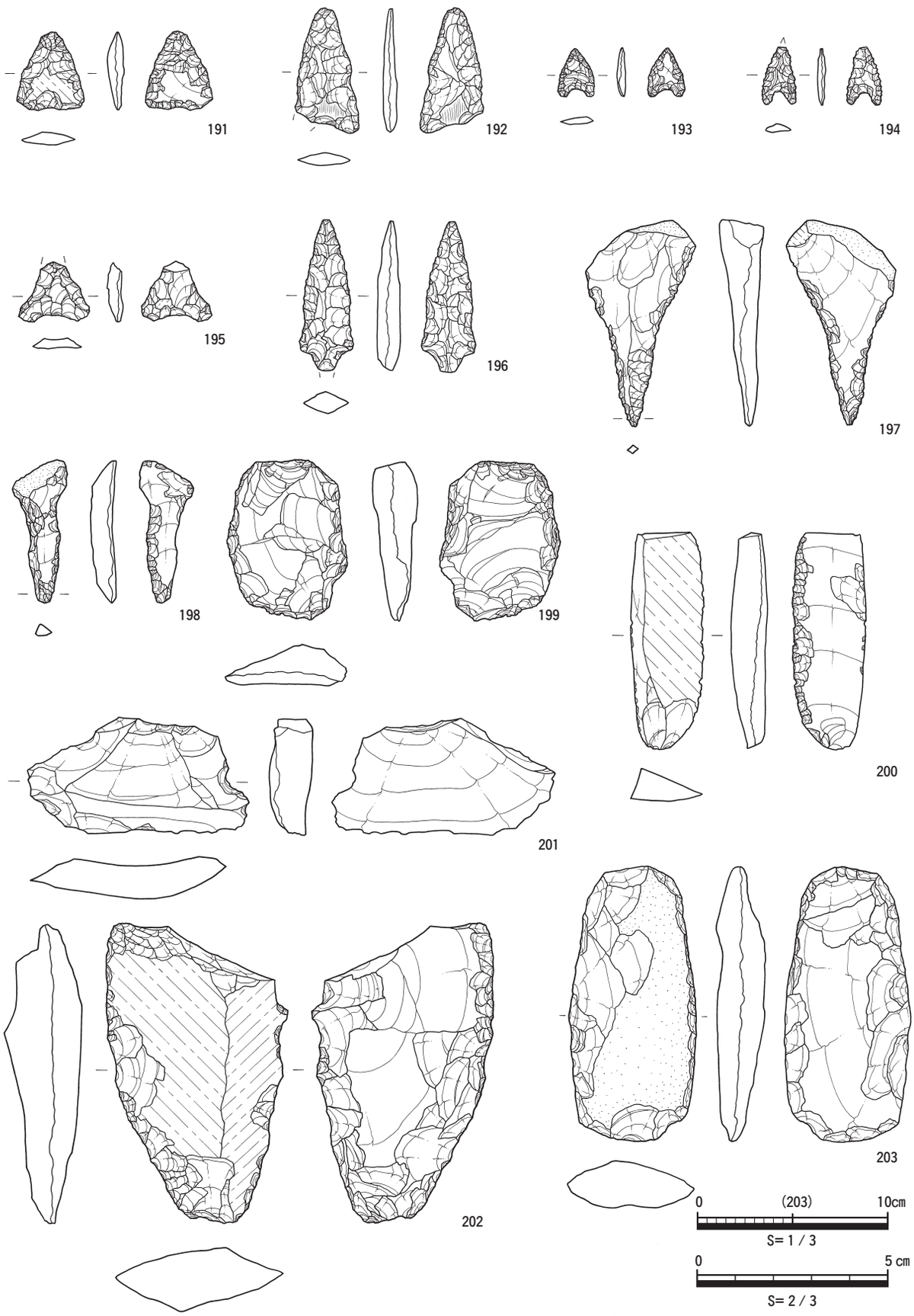
1）　長田友也氏の御教示を得た。



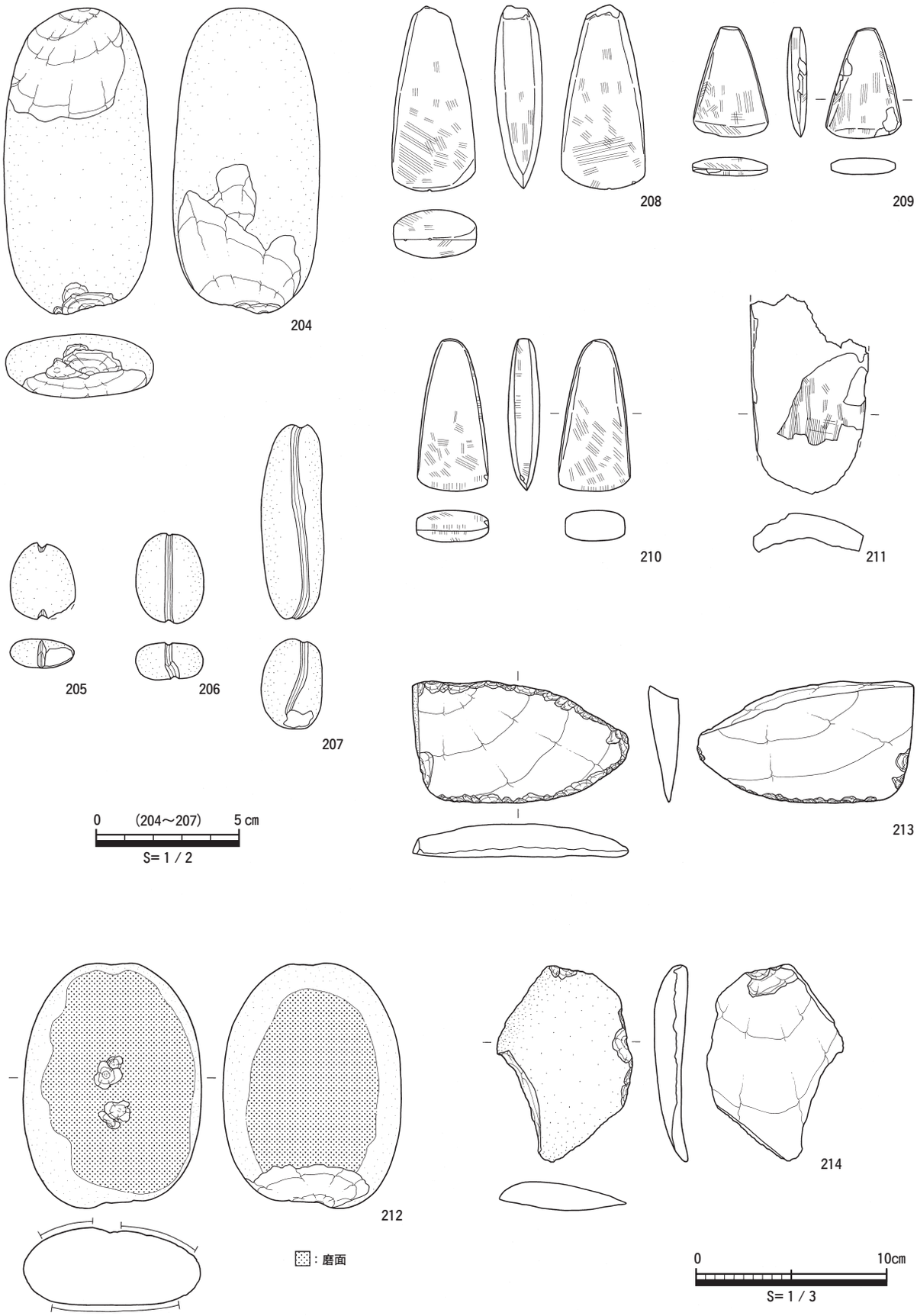

**第35図　遺物包含層出土遺物（１）**



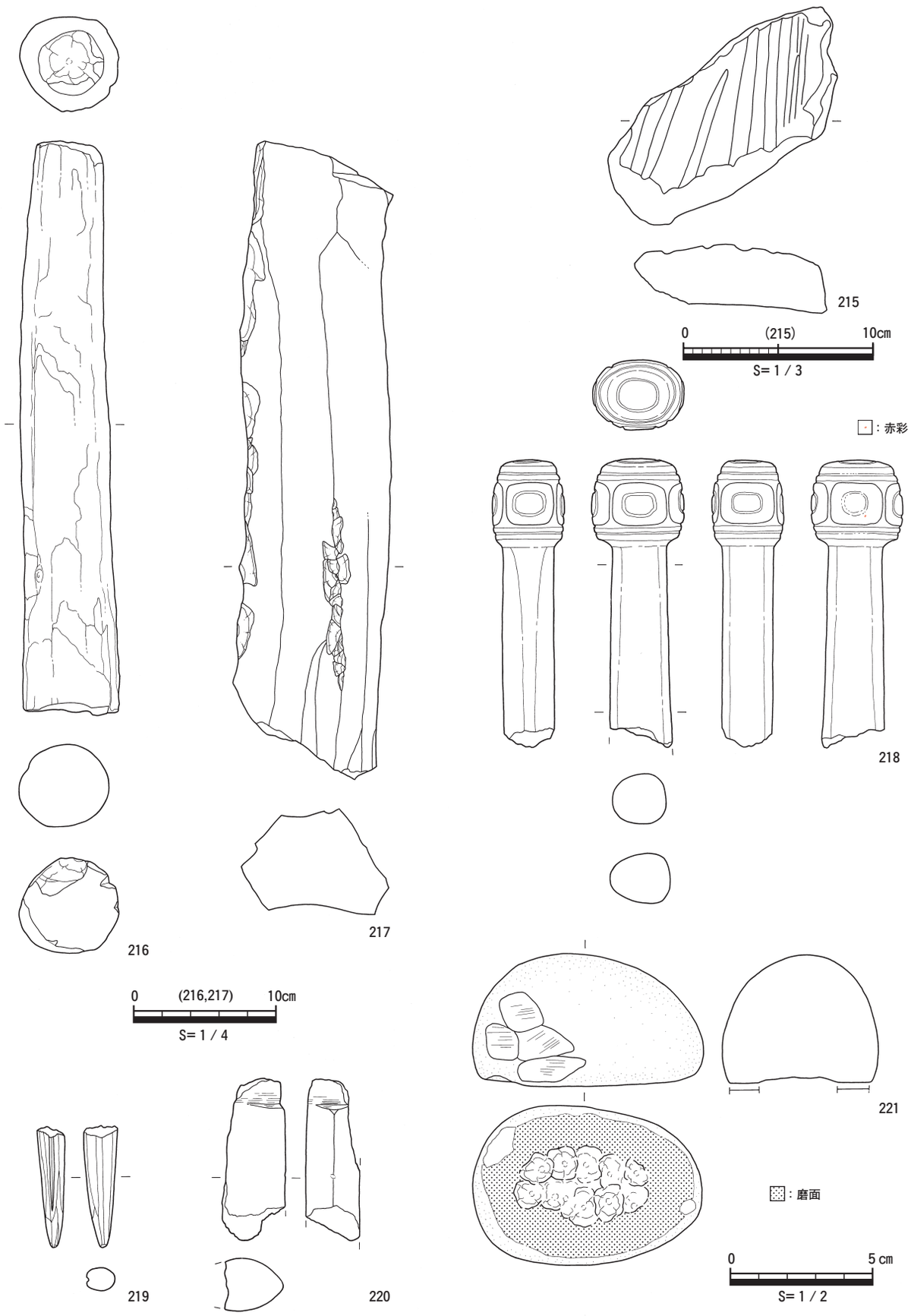

第36図　遺物包含層出土遺物（２）



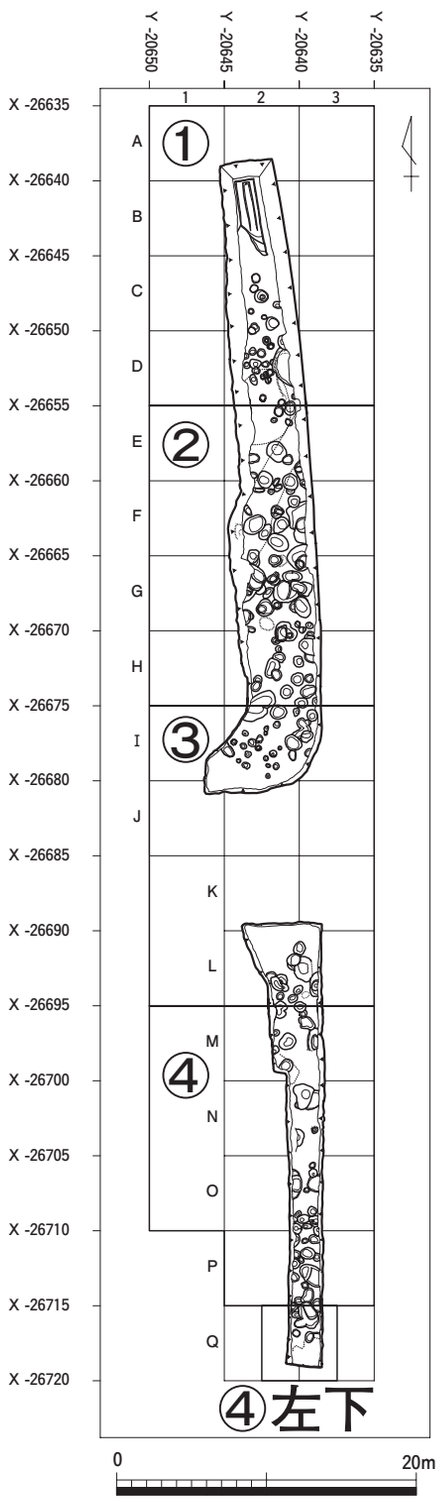

**第37図　遺物包含層出土遺物（３）**




**第38図　遺物包含層出土遺物（４）**



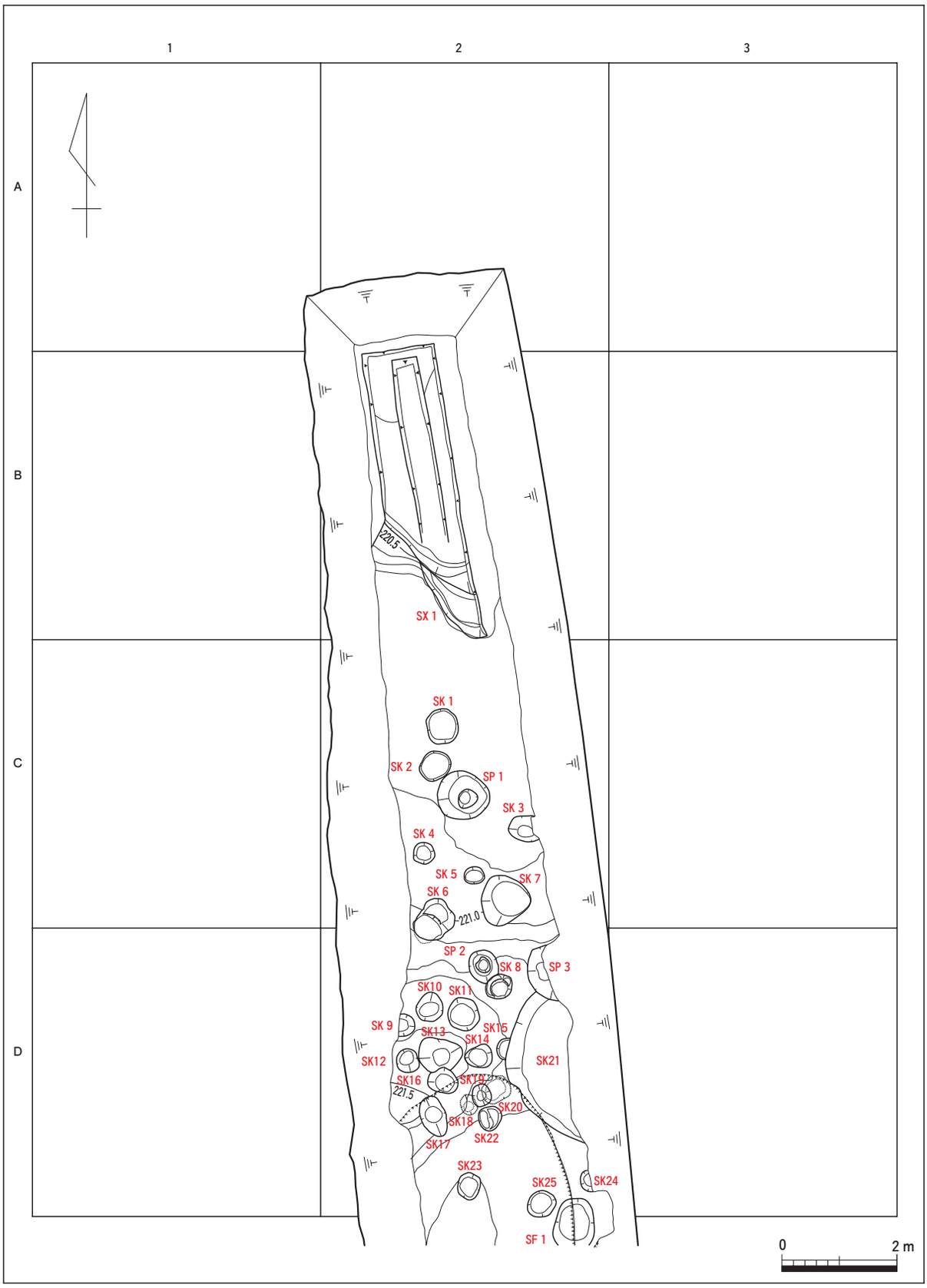

**第39図　遺物包含層出土遺物（５）**



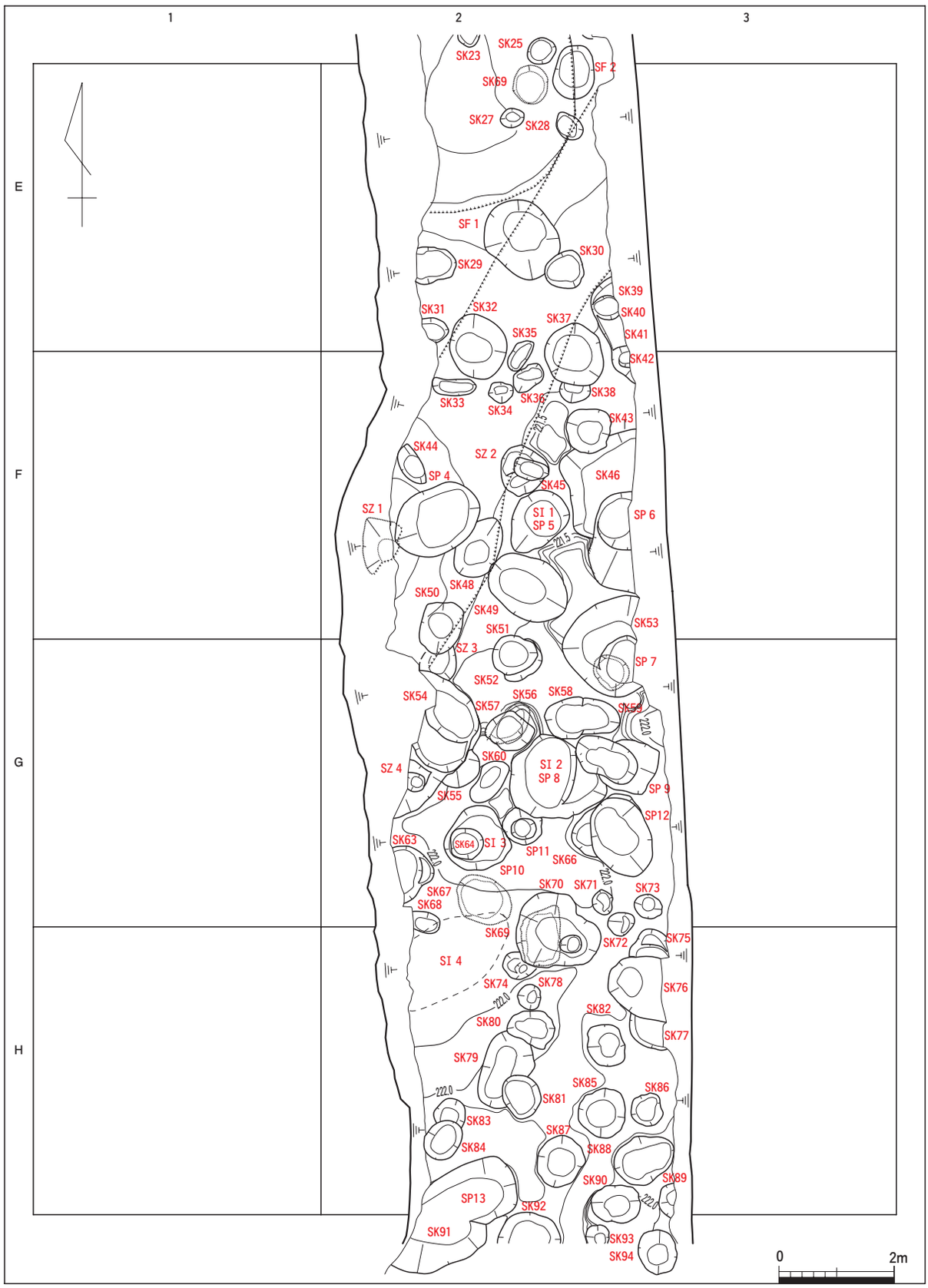

（凡例）

| | |
|---|---|
| 遺構上端 | |
| 遺構下端 | |
| 消滅遺構上端 | |
| 消滅遺構下端 | |
| オーバーハング | |
| 撹乱上端 | |
| 調査区上端 | |
| 調査区下端 | |
| 試掘坑（ＴＰ）上端 | |
| 試掘坑（ＴＰ）下端 | |
| サブトレンチ上端 | |
| サブトレンチ下端 | |
| 計曲線 | 60.0 |
| 主曲線 | |

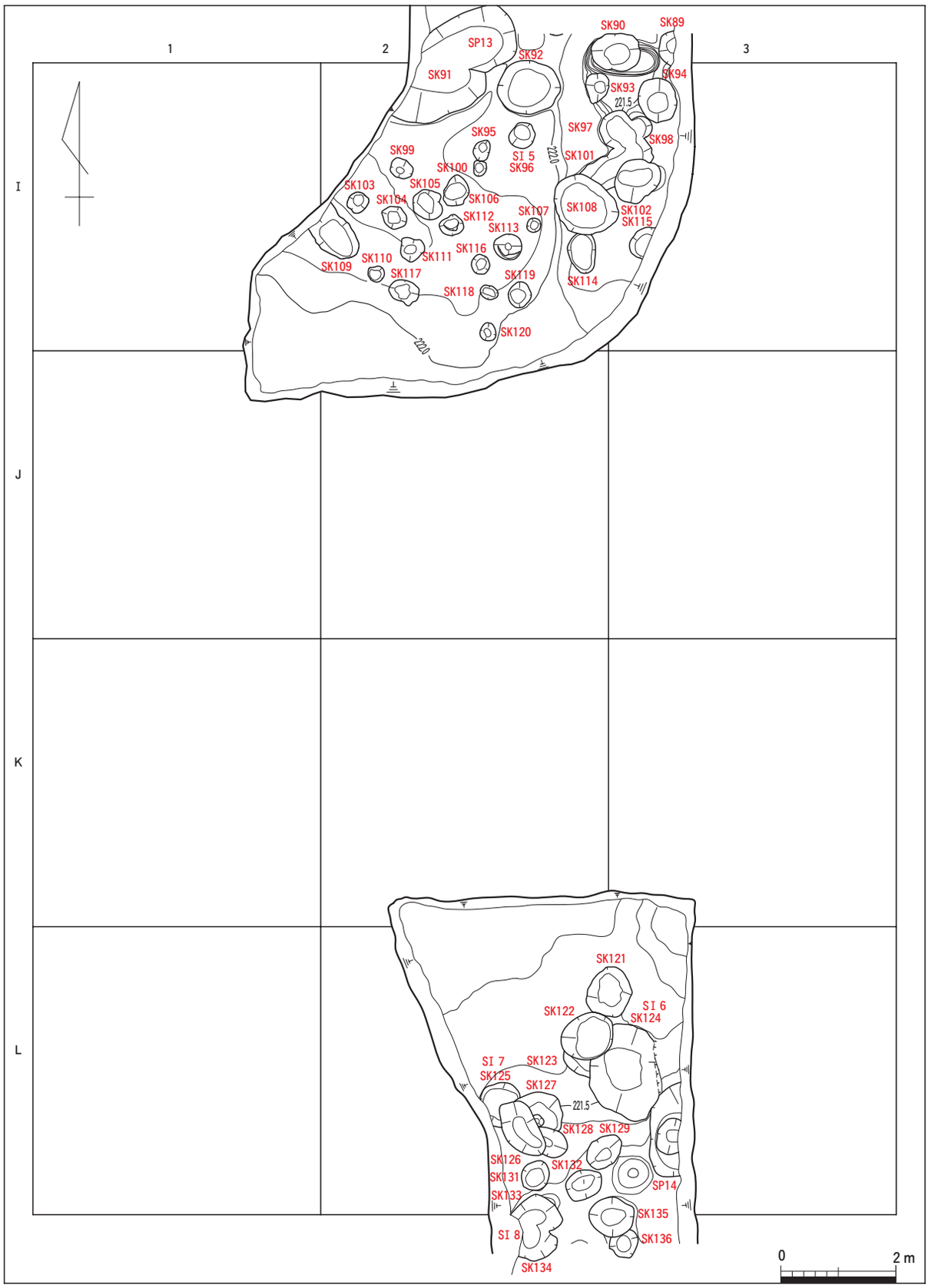
第40図　遺構全体図割付図（S=１/500）



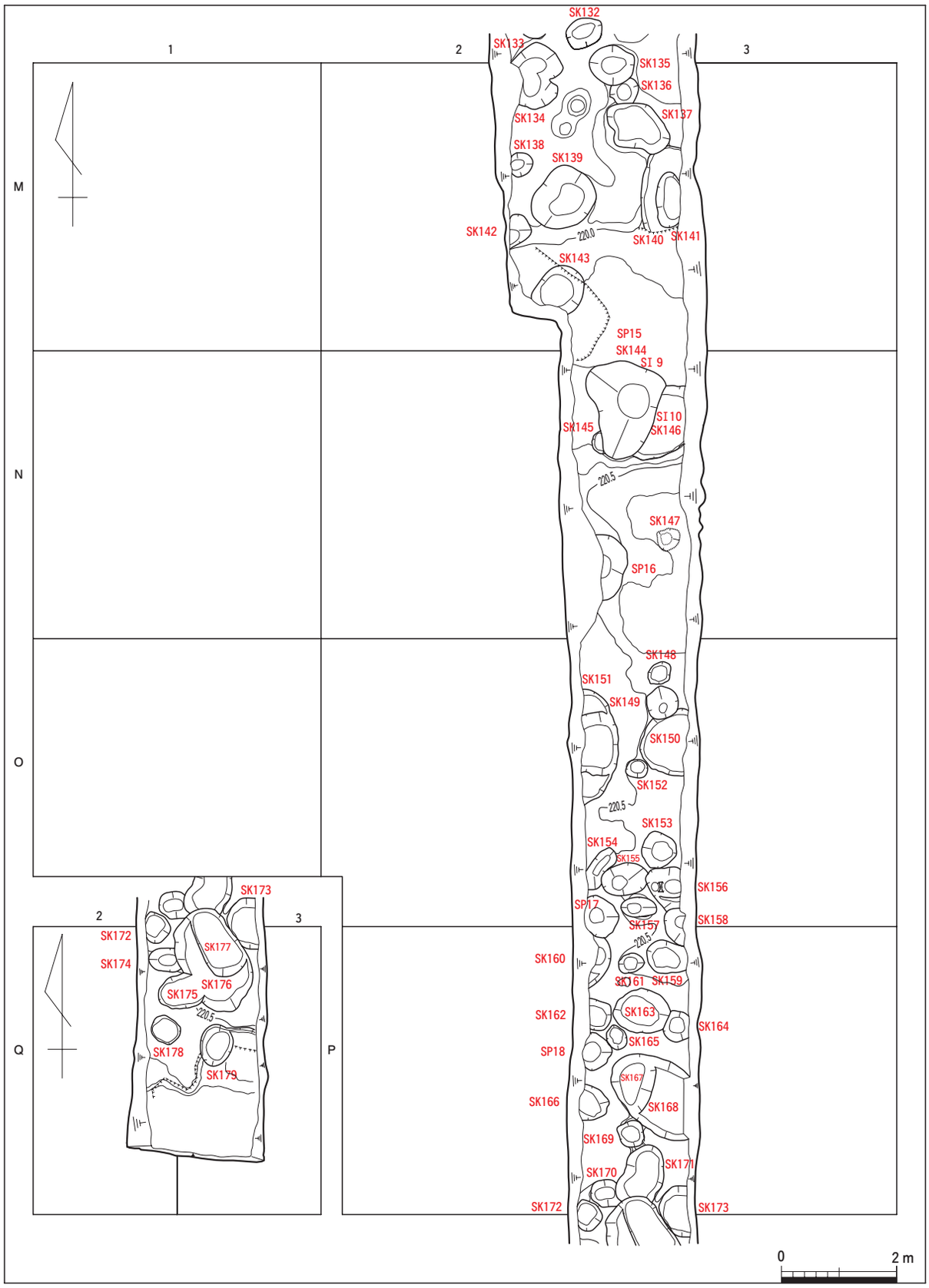

第41図　遺構全体図分割図①（S= 1 /100)




第42図　遺構全体図分割図②（S= 1 /100）




第43図　遺構全体図分割図③（S= 1 /100）




第44図　遺構全体図分割図④（S= 1 /100）

## 第４表　遺構一覧表（１）

| 遺構№ | 分類 | グリッド | | 検出面 | 埋土 | 平面形状 | 底面形状 | 堆積状況 | 断面形状 | 大きさ（m） | | | | | 重複関係 | | 所属時期 | 備考 | 調査№ |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 南北 | 東西 | | | | | | | 上端 | | 下端 | | 深さ | ＜（切られる） | ＞（切る） | | | |
| | | | | | | | | | | 長軸 | 短軸 | 長軸 | 短軸 | | | | | | |
| SI1 | － | F | 2 | Ⅳａ上 | － | － | － | － | － | － | － | － | － | － | | | 後期前葉以降 | SP5上面配石 | S0238 |
| SI2 | － | G | 3 | Ⅲｂ下 | － | D | D | － | － | 0.78 | 0.63 | － | － | － | | | 後期前葉以降 | SK61上面配石 | S0221 |
| SI3 | － | G | 2 | Ⅲｂ下 | － | E | E | － | － | － | － | － | － | － | | SK65 | 後期中葉以降 | SK65上面配石 | S0218 |
| SI4 | － | H | 2 | Ⅳａ上 | － | B | B | － | － | 1.76 | 1.02 | － | － | － | | | 不明 | | S0127 |
| SI5 | － | I | 2 | Ⅳａ | － | C | C | － | － | 1.10 | 0.71 | － | － | － | | | 不明 | SK96上面配石 | S0027 |
| SI6 | － | L | 3 | Ⅲｂ上 | － | C | C | － | － | 0.40 | 0.31 | － | － | － | | | 後期初頭以降 | SK124上面配石 | S0081 |
| SI7 | － | L | 2 | Ⅲｂ上 | － | D | D | － | － | 0.71 | 0.52 | － | － | － | | | 不明 | SK125上面配石 | S0083 |
| SI8 | － | M | 2-3 | Ⅲａ | － | A | A | － | － | (1.71) | 1.58 | － | － | － | | | 晩期前半以降 | | S0035 |
| SI9 | － | N | 2 | Ⅲａ下 | － | D | D | － | － | 0.62 | 0.45 | － | － | － | | | 後期前葉以降 | SK144上面配石 | S0130 |
| SI10 | － | N | 3 | Ⅲａ下 | － | B | B | － | － | 1.25 | 0.64 | － | － | － | | | 後期前葉以降 | SK146上面配石 | S0128 |
| SF1 | － | E | 2 | Ⅲａ下 | 7 | B | D | b | Ⅰ | (1.40) | 1.13 | (0.77) | 0.67 | 0.34 | | SK30 | 後期中葉以降 | | S0101 |
| SF2 | － | D-E | 2 | Ⅲａ上 | 9 | B | B | b | Ⅳ | (0.94) | 0.82 | (0.64) | 0.53 | 0.41 | | | 後期初頭以降 | | S0095 |
| SP1 | A | C | 2 | Ⅳｂ上 | 4 | A | A | d | Ⅵ | 0.91 | 0.83 | 0.22 | 0.18 | 0.90 | | | 後期前葉以降 | 中期末以降か | S0003 |
| SP2 | B | D | 2 | Ⅲａ上 | 4 | B | B | d | Ⅶ | 0.60 | 0.49 | 0.19 | 0.16 | 0.55 | | SK8 | 不明 | | S0094 |
| SP3 | A | D | 2 | Ⅲａ上 | 11 | E | E | e | Ⅲ | 0.99 | 0.34 | 0.32 | 0.14 | 1.04 | | SK21 | 後期前葉以降 | | S0090 |
| SP4 | A | F | 2 | Ⅳａ上 | 11 | B | B | e | Ⅱ | 1.60 | 1.14 | 1.16 | 0.89 | 0.91 | SK48 | | 後期前葉以降 | | S0235 |
| SP5 | A | F | 2 | Ⅳａ上 | 7 | B | A | e | Ⅳ | 1.20 | 0.88 | 0.65 | 0.56 | 0.95 | | | 後期前葉以降 | SI1下部土坑 | S0238 |
| SP6 | A | F | 2-3 | SK47埋土下 | 10 | E | E | e | Ⅱ | 1.74 | (0.66) | (0.50) | 0.50 | 1.41 | SK47,SK46 | | 不明 | | S0245 |
| SP7 | A | F-G | 2-3 | Ⅳａ上 | 6 | E | E | e | Ⅶ | 1.78 | (1.26) | 0.74 | (0.48) | 1.00 | SK53 | | 後期前葉以降 | | S0125 |
| SP8 | A | G | 2 | Ⅳａ上 | 9 | A | B | e | Ⅱ | 1.74 | 1.44 | 1.22 | 0.80 | 0.92 | SI2,SK61 | SP9 | 後期中葉以降 | | S0221 |
| SP9 | A | G | 2-3 | Ⅳａ上 | 5 | E | E | e | Ⅱ | 1.44 | 0.88 | 0.78 | 0.46 | 0.74 | SI2,SK61,SP8 | | 不明 | | S0255 |
| SP10 | A | G | 2 | Ⅳａ上 | 6 | D | D | e | Ⅱ | 1.17 | 1.15 | 0.93 | 0.80 | 0.27 | SI3,SK65 | SK64 | 後期前葉以降 | | S0218 |
| SP11 | B | G | 2 | Ⅲｂ上 | 3 | B | A | d | Ⅵ | 0.69 | 0.65 | 0.30 | 0.29 | 0.30 | | | 後期前葉以降 | | S0100 |
| SP12 | A | G | 3 | Ⅳａ上 | 4 | B | B | e | Ⅳ | 1.45 | 1.04 | 0.90 | 0.58 | 0.83 | SK66 | | 不明 | | S0227 |
| SP13 | A | H-I | 2 | Ⅳａ上 | 6 | E | E | e | Ⅶ | － | 1.10 | － | 0.68 | 0.58 | SK91 | | 後期前葉以降 | | S0197 |
| SP14 | A | N | 3 | Ⅳａ上 | 5 | E | E | e | Ⅶ | 1.64 | (0.51) | (0.20) | 0.21 | 0.71 | SP14 | | 不明 | | S0199 |
| SP15 | A | N | 2 | Ⅳａ上 | 7 | D | A | e | Ⅲ | 1.70 | 1.37 | 0.62 | 0.55 | 0.89 | SI10,SK145,SK146 | | 後期前葉以降 | | S0129 |
| SP16 | A | N | 2 | Ⅳａ上 | 7 | E | E | e | Ⅲ | 1.14 | 0.42 | 0.42 | 0.15 | 1.05 | | | 後期前葉以降 | | S0133 |
| SP17 | B | O | 2-3 | Ⅳａ上 | 2 | E | A | e | Ⅲ | 0.76 | (0.62) | 0.26 | 0.25 | 0.36 | | | 不明 | | S0147 |
| SP18 | B | P | 2-3 | Ⅳａ上 | 3 | E | E | e | Ⅶ | 0.50 | 0.53 | 0.36 | 0.31 | 0.23 | SK162,SK166 | | 不明 | | S0159 |
| SZ1 | － | F | 2 | Ⅲｂ | 3 | E | E | d | Ⅳ | 0.98 | 0.62 | 0.42 | 0.32 | 0.46 | | | 後期後葉～晩期前半 | | S0015 |
| SZ2 | － | F | 2 | Ⅳａ上 | 7 | A | B | d | Ⅵ | 0.90 | 0.83 | 0.35 | 0.18 | 0.20 | | SK45 | 中期後半 | | S0123 |
| SZ3 | － | G | 2 | Ⅲｂ | 1 | E | E | a | Ⅶ | (0.53) | 0.63 | (0.33) | 0.34 | 0.42 | SK50,TP3 | SK54 | 中期後半 | | S0050 |
| SZ4 | － | G | 2 | Ⅲｂ上 | 13 | E | E | b | Ⅶ | 1.14 | 0.91 | 0.20 | 0.19 | 0.62 | SK54,SK55 | | 中期後半 | | S0098 |
| SK1 | A3 | C | 2 | Ⅳｂ上 | 2 | A | A | b | Ⅱ | 0.63 | 0.58 | 0.52 | 0.47 | 0.11 | | | 不明 | | S0024 |
| SK2 | A3 | C | 2 | Ⅳｂ上 | 1 | A | A | a | Ⅱ | 0.55 | 0.48 | 0.48 | 0.40 | 0.09 | | | 不明 | | S0002 |
| SK3 | B2 | C | 2 | Ⅳｂ上 | 3 | B | B | b | Ⅳ | (0.42) | 0.45 | (0.25) | 0.20 | 0.36 | | | 不明 | | S0004 |
| SK4 | B2 | C | 2 | Ⅳｂ上 | 2 | A | A | b | Ⅳ | 0.38 | 0.37 | 0.25 | 0.22 | 0.25 | | | 不明 | | S0025 |
| SK5 | A2 | C | 2 | Ⅳｂ上 | 1 | B | B | a | Ⅰ | 0.36 | 0.31 | 0.28 | 0.22 | 0.07 | | | 不明 | | S0005 |
| SK6 | B2 | C | 2 | Ⅳｂ上 | 3 | D | D | d | Ⅴ | 0.72 | 0.72 | 0.50 | 0.45 | 0.40 | | | 不明 | | S0006 |
| SK7 | B2 | C | 2 | Ⅳｂ上 | 1 | A | A | a | Ⅰ | 0.86 | 0.83 | 0.67 | 0.58 | 0.16 | | | 不明 | | S0007 |
| SK8 | B1b | D | 2 | Ⅲａ上 | 2 | B | B | d | Ⅶ | 0.51 | 0.44 | 0.27 | 0.26 | 0.28 | SP2 | | 不明 | | S0062 |
| SK9 | B2 | D | 2 | Ⅲａ上 | 2 | E | E | c | Ⅰ | (0.28) | 0.40 | (0.18) | 0.22 | (0.09) | | | 後期初頭以降 | | S0065 |
| SK10 | B2 | F | 2 | Ⅲｂ上 | 1 | A | B | a | Ⅰ | 0.52 | 0.47 | 0.35 | 0.24 | 0.21 | | | 不明 | | S0063 |
| SK11 | B2 | D | 2 | Ⅲａ上 | 1 | A | A | a | Ⅰ | 0.60 | 0.55 | 0.43 | 0.40 | 0.11 | | | 不明 | | S0064 |
| SK12 | B2 | D | 2 | Ⅲａ上 | 2 | B | B | d | Ⅳ | 0.43 | 0.41 | 0.27 | 0.22 | 0.20 | | | 不明 | | S0068 |
| SK13 | B2 | D | 2 | Ⅲａ上 | 3 | E | A | d | Ⅳ | 0.78 | (0.62) | 0.29 | 0.28 | 0.50 | SK16 | | 後期初頭以降 | | S0069 |
| SK14 | B2 | D | 2 | Ⅲａ上 | 2 | D | B | d | Ⅱ | 0.48 | 0.41 | 0.33 | 0.30 | 0.21 | | | 不明 | | S0070 |
| SK15 | B2 | D | 2 | Ⅲａ上 | 1 | E | E | a | Ⅱ | (0.32) | 0.49 | (0.27) | 0.39 | 0.18 | SK21 | | 不明 | | S0071 |
| SK16 | B2 | D | 2 | Ⅲａ上 | 2 | D | B | d | Ⅳ | 0.54 | 0.45 | 0.36 | 0.31 | 0.23 | | SK13 | 後期初頭以降 | | S0072 |
| SK17 | B2 | D | 2 | Ⅲａ上 | 1 | B | A | a | Ⅳ | 0.73 | 0.44 | 0.29 | 0.29 | 0.11 | | | 不明 | | S0074 |
| SK18 | B2 | D | 2 | Ⅲａ上 | 1 | B | A | a | Ⅰ | 0.37 | 0.18 | 0.18 | 0.18 | 0.16 | | | 不明 | | S0075 |
| SK19 | B2 | D | 2 | Ⅳａ上 | 2 | A | A | c | Ⅳ | 0.42 | 0.34 | 0.18 | 0.16 | 0.36 | | | 不明 | | S0246 |
| SK20 | B2 | D | 2 | Ⅲａ上 | 1 | B | B | a | Ⅳ | 0.54 | 0.47 | 0.40 | 0.21 | 0.10 | | SK13 | 後期前半以降 | | S0073 |
| SK21 | A1 | D | 2 | Ⅲａ下 | 7 | E | E | d | Ⅳ | (2.80) | (1.18) | (2.69) | (0.86) | 0.42 | SP3 | SK15 | 後期前葉以降 | | S0196 |
| SK22 | B2 | D | 2 | Ⅳｂ上 | 2 | A | B | c | Ⅵ | 0.44 | 0.41 | 0.32 | 0.13 | 0.03 | | | 不明 | | S0251 |
| SK23 | B2 | D | 2 | Ⅳｂ上 | 2 | A | A | a | Ⅰ | 0.48 | 0.40 | 0.36 | 0.32 | 0.15 | | | 不明 | | S0252 |
| SK24 | B1b | D | 2 | Ⅳａ上 | 2 | E | E | b | Ⅱ | 0.36 | 0.19 | 0.22 | 0.12 | 0.50 | | | 不明 | | S0248 |
| SK25 | B2 | D | 2 | Ⅳｂ上 | 2 | A | A | d | Ⅰ | 0.53 | 0.43 | 0.38 | 0.32 | 0.13 | | | 不明 | | S0253 |
| SK26 | B2 | D | 2 | Ⅲａ上 | 2 | A | A | b | Ⅳ | 0.67 | 0.64 | 0.54 | 0.49 | 0.16 | | | 不明 | | S0076 |
| SK27 | B2 | E | 2 | Ⅳａ上 | 1 | B | B | a | Ⅲ | 0.44 | 0.35 | 0.25 | 0.16 | 0.12 | | | 不明 | | S0249 |
| SK28 | B2 | E | 2 | Ⅳａ上 | 1 | B | B | a | Ⅰ | 0.56 | 0.41 | 0.40 | 0.30 | 0.19 | | | 不明 | | S0250 |
| SK29 | A2 | E | 2 | Ⅲａ下 | 1 | E | E | a | Ⅳ | 0.68 | 0.65 | 0.61 | 0.44 | 0.23 | | | 不明 | | S0119 |
| SK30 | B2 | E | 2 | Ⅳａ上 | 4 | A | A | d | Ⅱ | 0.70 | 0.65 | 0.58 | 0.45 | 0.13 | SF1 | | 後期中葉以前 | | S0216 |
| SK31 | B2 | E | 2 | Ⅳａ上 | 2 | E | E | f | Ⅶ | 0.35 | 0.46 | 0.27 | 0.29 | 0.32 | | | 不明 | | S0228 |
| SK32 | B1a | E-F | 2 | Ⅳａ上 | 3 | A | A | c | Ⅳ | 1.16 | 0.99 | 0.64 | 0.51 | 0.97 | | | 後期前葉以降 | | S0229 |
| SK33 | B2 | F | 2 | Ⅳａ上 | 1 | B | B | a | Ⅶ | 0.76 | 0.30 | 0.60 | 0.19 | 0.09 | | | 不明 | | S0233 |
| SK34 | B2 | F | 2 | Ⅳａ上 | 1 | B | B | a | Ⅳ | 0.44 | 0.38 | 0.24 | 0.13 | 0.25 | | | 不明 | | S0230 |
| SK35 | B2 | E-F | 2 | Ⅳａ上 | 1 | B | B | a | Ⅶ | 0.61 | 0.32 | 0.51 | 0.19 | 0.13 | | | 不明 | | S0231 |
| SK36 | B2 | F | 2 | Ⅳａ上 | 1 | D | D | a | Ⅰ | 0.61 | 0.40 | 0.44 | 0.20 | 0.22 | | | 不明 | | S0232 |
| SK37 | B1a | F | 2-3 | Ⅳａ上 | 6 | A | A | d | Ⅳ | 1.09 | 1.02 | 0.67 | 0.62 | 0.95 | | SK38 | 不明 | | S0121 |
| SK38 | B2 | F | 2 | Ⅳａ上 | 1 | E | E | a | Ⅳ | 0.54 | (0.32) | 0.33 | (0.14) | 0.38 | | SK37 | 不明 | | S0243 |
| SK39 | B2 | E | 2-3 | Ⅳａ上 | 1 | E | E | f | Ⅶ | 1.40 | (0.44) | － | (0.30) | － | | SK40,SK41 | 不明 | | S0120 |

## 第５表　遺構一覧表（２）

| 遺構№ | 分類 | グリッド | | 検出面 | 埋土 | 平面形状 | 底面形状 | 堆積状況 | 断面形状 | 大きさ（m） | | | | | 重複関係 | | 所属時期 | 備考 | 調査№ |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 南北 | 東西 | | | | | | | 上端 | | 下端 | | 深さ | ＜（切られる） | ＞（切る） | | | |
| | | | | | | | | | | 長軸 | 短軸 | 長軸 | 短軸 | | | | | | |
| SK40 | B1b | E | 2-3 | SK39埋土下 | 1 | E | E | a | Ⅱ | 0.50 | 0.44 | 0.45 | 0.32 | 0.40 | SK39 | SK41 | 不明 | | S0120 |
| SK41 | B2 | E | 2-3 | SK39埋土下 | 2 | E | E | f | Ⅶ | — | — | — | — | 0.16 | SK39,SK40 | SK42 | 不明 | | S0120 |
| SK42 | B1b | E | 2-3 | SK41埋土下 | 1 | E | E | a | Ⅳ | (0.32) | 0.38 | (0.18) | 0.20 | 0.53 | SK39 | | 不明 | | S0120 |
| SK43 | B2 | F | 2 | Ⅳａ上 | 2 | A | A | b | Ⅳ | 0.84 | 0.82 | 0.40 | 0.40 | 0.37 | SK46 | | 不明 | | S0122 |
| SK44 | B2 | F | 2 | Ⅲｂ下 | 1 | E | E | a | Ⅶ | 0.75 | 0.37 | 0.43 | 0.30 | 0.13 | | | 不明 | | S0234 |
| SK45 | B2 | F | 2 | SZ2埋土下 | 1 | B | B | a | Ⅱ | 0.63 | 0.35 | 0.41 | 0.23 | 0.18 | SZ1 | | 中期後半以前 | | S0254 |
| SK46 | B2 | F | 2-3 | Ⅳａ上 | 11 | E | E | b | Ⅶ | 2.07 | (1.29) | 1.79 | (0.86) | 0.18 | SP6,SK47 | SK43 | 不明 | | S0124 |
| SK47 | A2 | F | 2-3 | Ⅳａ上 | 1 | E | E | a | Ⅳ | — | — | — | — | 0.41 | | SK46,SP6 | 不明 | | S0245 |
| SK48 | A2 | F | 2 | Ⅳａ上 | 1 | B | A | a | Ⅶ | 1.14 | 0.75 | 0.48 | 0.41 | 0.81 | | SP4 | 後期前葉以降 | | S0236 |
| SK49 | B1a | E | 2 | Ⅲａ上 | 7 | B | B | e | Ⅱ | 1.50 | 1.06 | 0.86 | 0.52 | 1.11 | | | 不明 | | S0102 |
| SK50 | B2 | F | 2 | Ⅲｂ上 | 1 | B | A | a | Ⅳ | 0.96 | 0.70 | 0.45 | 0.41 | 0.24 | | SZ3 | 後期前葉以降 | | S0088 |
| SK51 | B2 | G | 2 | Ⅲａ上 | 1 | A | A | a | Ⅱ | 0.77 | 0.69 | 0.50 | 0.45 | 0.30 | SK52 | | 不明 | | S0092 |
| SK52 | B2 | F | 2 | Ⅲａ | 3 | D | A | d | Ⅱ | 0.82 | 0.75 | 0.45 | 0.39 | 0.57 | | SK51 | 不明 | | S0017 |
| SK53 | B2 | G | 2 | SP7埋土上 | 1 | A | A | a | Ⅳ | 0.64 | 0.57 | 0.51 | 0.32 | 0.16 | | SP7 | 後期前葉以降 | | S0096 |
| SK54 | B1a | G | 2 | Ⅲｂ上 | 6 | E | E | d | Ⅵ | (1.03) | 1.40 | (0.80) | 0.53 | 1.11 | SZ3 | SK55,SZ4 | 中期後半以降 | | S0098 |
| SK55 | B2 | G | 2 | Ⅲａ | 4 | E | B | d | Ⅳ | 1.11 | 0.77 | 0.52 | 0.40 | 0.34 | | SK54 | 中期後半以降 | | S0018 |
| SK56 | B2 | G | 2 | Ⅲｂ上 | 1 | E | E | a | Ⅱ | 0.87 | (0.47) | 0.67 | (0.35) | 0.21 | | | 不明 | | S0060 |
| SK57 | B2 | G | 2 | Ⅳａ上 | 2 | C | A | d | Ⅳ | 0.86 | 0.69 | 0.48 | 0.44 | 0.65 | | | 不明 | | S0219 |
| SK58 | B2 | G | 2 | Ⅳａ上 | 1 | A | A | a | Ⅳ | 0.72 | 0.69 | 0.48 | 0.39 | 0.33 | | SK59 | 不明 | | S0226 |
| SK59 | B2 | G | 2-3 | Ⅳａ上 | 2 | E | E | f | Ⅶ | (0.60) | 0.63 | (0.39) | 0.45 | 0.40 | SK58 | | 不明 | | S0224 |
| SK60 | B2 | G | 2 | Ⅳａ上 | 2 | D | B | d | Ⅰ | 0.86 | 0.48 | 0.45 | 0.22 | 0.23 | | | 不明 | | S0220 |
| SK61 | B2 | G | 3 | Ⅳａ上 | 1 | E | E | a | Ⅶ | — | — | — | — | 0.16 | | SP8 | 後期中葉以降 | SI2下部土坑 | S0221 |
| SK62 | B2 | G | 2 | SP8埋土下 | 2 | E | E | c | Ⅲ | — | — | — | — | 0.47 | SI2,SK61,SP8,SP9 | | 後期中葉以降 | | S0255 |
| SK63 | B2 | G | 2 | Ⅲｂ上 | 2 | E | E | d | Ⅶ | 0.99 | (0.62) | 0.75 | (0.37) | 0.37 | | | 不明 | | S0104 |
| SK64 | B2 | G | 2 | SP10埋土下 | 1 | A | A | a | Ⅳ | 0.59 | 0.58 | 0.44 | 0.37 | 0.20 | SP10 | | 後期前葉以前 | | S0218 |
| SK65 | — | G | 2 | Ⅳａ上 | 1 | E | E | a | Ⅰ | — | — | — | — | 0.26 | | SP10 | 後期中葉以降 | SI3下部土坑 | S0218 |
| SK66 | B2 | G | 2-3 | Ⅳａ上 | 1 | B | B | a | Ⅲ | (1.28) | 0.78 | 0.91 | 0.41 | 0.76 | | SP12 | 不明 | | S0222 |
| SK67 | B2 | G | 2 | Ⅲａ | 2 | B | B | d | Ⅳ | 1.04 | 0.81 | 0.75 | 0.64 | 0.22 | | | 不明 | | S0022 |
| SK68 | B2 | G-H | 2 | Ⅲｂ上 | 2 | E | B | c | Ⅵ | (0.47) | 0.35 | 0.39 | 0.22 | 0.26 | | | 不明 | | S0126 |
| SK69 | B2 | H | 2 | SK70埋土上 | 1 | C | C | a | Ⅱ | 0.97 | 0.67 | 0.82 | 0.56 | 0.18 | | | 不明 | | S0077 |
| SK70 | B1a | H | 2 | Ⅳａ上 | 2 | D | B | d | Ⅵ | 1.47 | 1.32 | 0.26 | 0.20 | 1.00 | | SK74 | 不明 | | S0111 |
| SK71 | B2 | G | 2 | Ⅳａ上 | 1 | D | D | a | Ⅳ | 0.45 | 0.37 | 0.31 | 0.21 | 0.20 | | | 不明 | | S0106 |
| SK72 | B2 | G-H | 3 | Ⅳａ上 | 1 | A | D | a | Ⅱ | 0.49 | 0.43 | 0.29 | 0.11 | 0.15 | | | 不明 | | S0114 |
| SK73 | B2 | G | 3 | Ⅳａ上 | 1 | B | A | a | Ⅰ | 0.51 | 0.42 | 0.24 | 0.22 | 0.26 | | | 不明 | | S0107 |
| SK74 | B2 | H | 2 | Ⅳａ上 | 1 | E | A | a | Ⅱ | (0.36) | 0.53 | 0.16 | 0.12 | 0.26 | SK70 | | 不明 | | S0240 |
| SK75 | B2 | H | 3 | Ⅳａ上 | 2 | E | E | d | Ⅳ | (0.51) | (0.58) | (0.16) | (0.49) | 0.50 | SK76 | | 不明 | | S0109 |
| SK76 | B2 | H | 3 | Ⅳａ上 | 1 | E | B | a | Ⅶ | 0.95 | 1.11 | 0.52 | 0.44 | 0.43 | | SK77,SK76 | 不明 | | S0110 |
| SK77 | B2 | H | 2 | Ⅳａ上 | 1 | E | E | a | Ⅳ | (0.77) | (0.58) | (0.71) | (0.49) | 0.19 | SK76 | | 不明 | | S0108 |
| SK78 | B2 | H | 2 | Ⅳａ上 | 1 | A | B | a | Ⅰ | 0.45 | 0.40 | 0.23 | 0.16 | 0.14 | | | 不明 | | S0187 |
| SK79 | B2 | H | 2 | Ⅳａ上 | 3 | B | B | d | Ⅰ | 1.42 | 0.86 | 0.91 | 0.35 | 0.29 | | SK80,SK81 | 不明 | | S0189 |
| SK80 | B2 | H | 2 | Ⅳａ上 | 2 | B | B | c | Ⅳ | 0.84 | 0.67 | 0.58 | 0.34 | 0.35 | SK79 | | 不明 | | S0190 |
| SK81 | B2 | H | 2 | Ⅳａ上 | 2 | B | B | d | Ⅱ | (0.76) | 0.64 | (0.61) | 0.34 | 0.24 | SK79 | | 不明 | | S0188 |
| SK82 | B2 | H | 2-3 | Ⅳａ上 | 1 | C | B | a | Ⅳ | 0.82 | 0.68 | 0.42 | 0.37 | 0.13 | | | 不明 | | S0113 |
| SK83 | B2 | H | 2 | Ⅳａ上 | 1 | A | A | a | Ⅰ | (0.40) | 0.56 | (0.22) | 0.30 | 0.15 | SK84 | | 中期後葉以降 | | S0193 |
| SK84 | B2 | H | 2 | Ⅳａ上 | 1 | B | B | a | Ⅶ | 0.74 | 0.57 | 0.55 | 0.36 | 0.11 | | SK83 | 中期後葉以降 | | S0194 |
| SK85 | B2 | H | 2-3 | Ⅳａ上 | 1 | A | A | a | Ⅳ | 0.85 | 0.86 | 0.51 | 0.48 | 0.28 | | | 中期後葉以降 | | S0116 |
| SK86 | B2 | H | 2 | Ⅳａ上 | 1 | A | D | a | Ⅳ | 0.60 | 0.59 | 0.44 | 0.35 | 0.10 | | | 不明 | | S0115 |
| SK87 | B2 | H | 2 | Ⅲｂ上 | 1 | A | A | a | Ⅰ | 0.92 | 0.83 | 0.50 | 0.49 | 0.30 | | | 不明 | | S0057 |
| SK88 | B2 | H | 3 | Ⅳａ上 | 2 | B | B | c | Ⅳ | 1.10 | 0.82 | 0.90 | 0.47 | 0.62 | | | 不明 | | S0117 |
| SK89 | B2 | I | 3 | Ⅳａ上 | 1 | E | E | a | Ⅳ | 0.62 | (0.28) | 0.28 | (0.18) | 0.20 | | | 不明 | | S0118 |
| SK90 | B2 | H | 2-3 | Ⅳａ上 | 1 | B | B | a | Ⅳ | 0.85 | 0.65 | 0.45 | 0.36 | 0.27 | | | 不明 | | S0195 |
| SK91 | A2 | H-I | 2 | Ⅳａ上 | 2 | E | E | d | Ⅳ | (1.26) | 1.40 | (0.96) | 0.67 | 0.38 | | SP13 | 後期中葉以降 | SI5下部土坑 | S0197 |
| SK92 | B2 | I | 2 | Ⅳａ上 | 2 | A | A | c | Ⅱ | 1.10 | 0.95 | 0.75 | 0.65 | 0.55 | | | 不明 | | S0026 |
| SK93 | B2 | I | 2 | Ⅳａ上 | 1 | D | A | a | Ⅳ | 0.55 | 0.41 | 0.19 | 0.19 | 0.17 | | | 不明 | | S0177 |
| SK94 | B2 | I | 3 | Ⅳａ上 | 1 | A | A | a | Ⅶ | 0.79 | 0.68 | 0.40 | 0.34 | 0.10 | | | 不明 | | S0180 |
| SK95 | B2 | I | 2 | Ⅳａ上 | 1 | B | A | a | Ⅲ | 0.39 | 0.27 | 0.15 | 0.14 | 0.18 | | | 不明 | | S0217 |
| SK96 | B2 | I | 2 | Ⅳａ上 | 3 | A | A | d | Ⅱ | 0.48 | 0.41 | 0.30 | 0.25 | 0.39 | | | 不明 | | S0027 |
| SK97 | B2 | I | 3 | Ⅳａ上 | 1 | E | E | a | Ⅶ | — | 0.62 | — | 0.37 | 0.42 | SK101 | SK98 | 不明 | | S0178 |
| SK98 | B2 | I | 3 | Ⅳａ上 | 1 | E | E | a | Ⅱ | (0.27) | 0.40 | (0.17) | 0.34 | 0.36 | SK97 | | 不明 | | S0244 |
| SK99 | B2 | I | 2 | Ⅳａ上 | 1 | B | B | a | Ⅲ | 0.42 | 0.35 | 0.15 | 0.10 | 0.19 | | | 不明 | | S0161 |
| SK100 | B1b | I | 2 | Ⅳａ上 | 2 | B | B | d | Ⅲ | 0.28 | 0.22 | 0.17 | 0.15 | 0.18 | | SK95 | 不明 | | S0037 |
| SK101 | B2 | I | 2-3 | Ⅳａ上 | 1 | E | E | a | Ⅶ | 1.41 | (0.56) | 0.88 | (0.34) | 0.24 | SK102 | SK97,SK108 | 不明 | | S0181 |
| SK102 | B2 | I | 3 | Ⅳａ上 | 1 | D | A | a | Ⅵ | 0.89 | 0.71 | 0.24 | 0.18 | | | SK101 | 不明 | | S0182 |
| SK103 | B1b | I | 2 | Ⅳａ上 | 2 | A | A | c | Ⅲ | 0.35 | 0.35 | 0.19 | 0.18 | 0.38 | | | 不明 | | S0039 |
| SK104 | B2 | I | 2 | Ⅳａ上 | 1 | A | A | a | Ⅳ | 0.46 | 0.40 | 0.23 | 0.21 | 0.08 | | | 不明 | | S0040 |
| SK105 | B2 | I | 2 | Ⅲｂ上 | 1 | D | D | a | Ⅳ | 0.58 | 0.50 | 0.39 | 0.17 | 0.14 | | | 不明 | | S0041 |
| SK106 | B2 | I | 2 | Ⅲｂ上 | 1 | D | B | a | Ⅳ | 0.54 | 0.45 | 0.39 | 0.27 | 0.27 | | | 不明 | | S0042 |
| SK107 | B2 | I | 2 | Ⅲｂ上 | 1 | A | A | a | Ⅰ | 0.25 | 0.24 | 0.15 | 0.14 | 0.17 | | | 不明 | | S0044 |
| SK108 | B2 | I | 2 | Ⅳａ上 | 1 | B | B | a | Ⅰ | 1.21 | (0.68) | 0.90 | (0.62) | 0.27 | SK101 | SK114 | 不明 | | S0183 |
| SK109 | B2 | I | 2 | Ⅳａ上 | 2 | E | B | b | Ⅳ | (0.90) | 0.54 | (0.70) | 0.41 | 0.31 | | | 不明 | | S0038 |
| SK110 | B2 | I | 2 | Ⅲｂ上 | 2 | A | A | d | Ⅰ | 0.30 | 0.29 | 0.11 | 0.13 | 0.15 | | | 不明 | | S0046 |
| SK111 | B2 | I | 2 | Ⅲｂ上 | 1 | D | B | a | Ⅰ | 0.44 | 0.45 | 0.22 | 0.15 | 0.19 | | | 不明 | | S0045 |
| SK112 | B1b | I | 2 | Ⅲｂ上 | 2 | B | B | d | Ⅵ | 0.43 | 0.37 | 0.27 | 0.16 | 0.24 | | | 不明 | | S0043 |

## 第６表　遺構一覧表（３）

| 遺構№ | 分類 | グリッド | | 検出面 | 埋土 | 平面形状 | 底面形状 | 堆積状況 | 断面形状 | 大きさ（m） | | | | | 重複関係 | | 所属時期 | 備考 | 調査№ |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 南北 | 東西 | | | | | | | 上端 | | 下端 | | 深さ | ＜（切られる） | ＞（切る） | | | |
| | | | | | | | | | | 長軸 | 短軸 | 長軸 | 短軸 | | | | | | |
| SK113 | B2 | I | 2 | Ⅳａ上 | 2 | A | A | c | Ⅲ | 0.50 | 0.45 | 0.12 | 0.10 | 0.18 | | | 不明 | | S0028 |
| SK114 | B2 | I | 2 | Ⅳａ上 | 1 | B | B | a | Ⅶ | 0.74 | 0.50 | 0.62 | 0.38 | 0.07 | SK108 | | 不明 | | S0185 |
| SK115 | B2 | I | 3 | Ⅳａ上 | 2 | E | E | d | Ⅳ | (0.35) | (0.32) | (0.25) | (0.21) | 0.19 | | | 不明 | | S0184 |
| SK116 | B1b | I | 2 | Ⅳａ上 | 2 | A | D | d | Ⅲ | 0.32 | 0.31 | 0.20 | 0.16 | 0.37 | | | 不明 | | S0029 |
| SK117 | B2 | I | 2 | Ⅳａ上 | 1 | B | D | a | Ⅳ | 0.52 | 0.41 | 0.29 | 0.27 | 0.13 | | | 不明 | | S0033 |
| SK118 | B2 | I | 2 | Ⅳａ上 | 1 | A | D | a | Ⅰ | 0.32 | 0.24 | 0.22 | 0.13 | 0.19 | | | 不明 | | S0030 |
| SK119 | B2 | I | 2 | Ⅳａ上 | 1 | B | A | a | Ⅳ | 0.45 | 0.40 | 0.26 | 0.24 | 0.34 | | | 不明 | | S0032 |
| SK120 | B2 | I | 2 | Ⅲｂ上 | 1 | B | B | a | Ⅰ | 0.32 | 0.29 | 0.16 | 0.05 | 0.22 | | | 不明 | | S0047 |
| SK121 | B2 | L | 3 | Ⅲｂ上 | 2 | B | B | b | Ⅳ | 0.89 | 0.80 | 0.58 | 0.48 | 0.14 | | | 不明 | | S0078 |
| SK122 | B2 | L | 2-3 | Ⅲｂ上 | 3 | B | B | d | Ⅳ | 0.73 | 0.66 | 0.58 | 0.48 | 0.32 | SK124 | | 後期初頭以前 | | S0080 |
| SK123 | B2 | L | 2 | Ⅲｂ上 | 6 | E | E | f | Ⅶ | (0.54) | 0.48 | 0.65 | 0.40 | 0.15 | SK124 | | 後期初頭以前 | | S0082 |
| SK124 | A2 | L | 3 | Ⅲｂ上 | 4 | B | D | d | Ⅳ | 1.72 | (1.19) | 0.83 | 0.72 | 0.38 | | SK122,SK123 | 後期初頭以降 | SI6下部土坑 | S0081 |
| SK125 | B2 | L | 2 | Ⅲｂ上 | 2 | E | E | d | Ⅶ | (0.58) | 0.54 | (0.52) | 0.54 | 0.23 | SK127 | | 不明 | SI7下部土坑 | S0083 |
| SK126 | B2 | L | 2 | Ⅳａ上 | 1 | B | D | a | Ⅲ | 1.10 | 0.61 | 0.66 | 0.24 | 0.78 | SK125,SK127 | SK128 | 不明 | | S0223 |
| SK127 | B2 | L | 2 | Ⅲｂ上 | 2 | A | B | d | Ⅵ | 0.95 | 0.90 | 0.23 | 0.10 | 0.38 | | SK125,SK126,SK132 | 不明 | | S0084 |
| SK128 | B2 | L | 2 | Ⅳａ上 | 2 | E | E | f | Ⅶ | － | 0.48 | － | 0.15 | 0.52 | SK126 | | 不明 | | S0200 |
| SK129 | B2 | L | 2-3 | Ⅳａ上 | 3 | B | B | d | Ⅲ | 0.69 | 0.50 | 0.29 | 0.19 | 0.36 | | | 不明 | | S0201 |
| SK130 | A2 | N | 3 | Ⅳａ上 | 1 | E | E | a | Ⅲ | － | － | － | － | 0.30 | | SP14 | 不明 | | S0199 |
| SK131 | B2 | L | 2 | Ⅳａ上 | 2 | A | A | d | Ⅰ | 0.55 | 0.48 | 0.35 | 0.29 | 0.23 | | | 後期前葉以降 | | S0204 |
| SK132 | B2 | L | 2 | Ⅳａ上 | 1 | B | B | a | Ⅳ | 0.65 | 0.50 | 0.42 | 0.23 | 0.24 | | | 不明 | | S0202 |
| SK133 | A2 | L-M | 2 | Ⅳａ上 | 2 | E | E | f | Ⅶ | (0.75) | 0.72 | (0.46) | 0.26 | 0.58 | | SK134 | 晩期前半以降 | SI8の下部土坑か？ | S0206 |
| SK134 | B2 | M | 2 | Ⅳａ上 | 2 | E | E | f | Ⅶ | (0.63) | (0.48) | 0.36 | 0.30 | 0.87 | SK133 | | 晩期前半以前 | SI8の下部土坑か？ | S0208 |
| SK135 | A3 | L-M | 2-3 | Ⅳａ上 | 1 | A | A | a | Ⅳ | 0.78 | 0.70 | 0.43 | 0.30 | 0.43 | | SK136 | 後期前葉以降 | | S0207 |
| SK136 | B2 | M | 3 | Ⅳａ上 | 1 | E | A | a | Ⅳ | 0.51 | 0.48 | 0.29 | 0.24 | 0.34 | SK136,SK137 | | 不明 | | S0225 |
| SK137 | B2 | M | 2-3 | Ⅳａ上 | 2 | D | D | c | Ⅳ | 1.21 | 0.86 | 0.91 | 0.67 | 0.37 | SK140,SK141 | SK136 | 不明 | | S0211 |
| SK138 | B2 | M | 2 | Ⅳａ上 | 1 | A | A | a | Ⅶ | (0.38) | 0.42 | (0.24) | 0.17 | 0.19 | | | 不明 | | S0212 |
| SK139 | A3 | M | 2 | Ⅳａ上 | 4 | A | D | c | Ⅳ | 1.16 | 0.95 | 0.65 | 0.49 | 0.63 | | | 後期中葉以降 | | S0213 |
| SK140 | B2 | M | 2 | Ⅳａ上 | 1 | E | E | a | Ⅶ | 0.96 | (0.73) | 0.43 | (0.29) | 0.24 | | SK141 | 晩期前半以降 | | S0214 |
| SK141 | B2 | M | 2 | Ⅳａ上 | 1 | E | E | a | Ⅶ | (1.41) | (1.35) | (0.69) | (0.63) | 0.19 | SK140 | | 晩期前半以降 | | S0214 |
| SK142 | B2 | M | 2 | Ⅳａ上 | 1 | E | E | a | Ⅶ | (0.50) | (0.41) | (0.16) | 0.26 | 0.33 | | | 不明 | | S0215 |
| SK143 | B2 | M | 2 | Ⅳａ上 | 2 | E | A | d | Ⅲ | (0.77) | 0.69 | 0.60 | 0.51 | 0.58 | | | 不明 | | S0242 |
| SK144 | B2 | N | 2 | Ⅳａ上 | 1 | E | E | a | Ⅰ | － | － | － | － | 0.33 | SI10,SK146 | SP15 | 後期前葉以降 | SI9下部土坑 | S0130 |
| SK145 | B2 | N | 2 | Ⅳａ上 | 1 | A | C | a | Ⅳ | 0.45 | 0.41 | 0.33 | 0.27 | 0.04 | | SK144,SP15 | 後期前葉以降 | | S0131 |
| SK146 | B2 | N | 3 | Ⅳａ上 | 1 | E | E | a | Ⅶ | (1.25) | 1.10 | (1.14) | 1.02 | 0.17 | | SP15 | 後期前葉以降 | SI10下部土坑 | S0128 |
| SK147 | B2 | N | 3 | Ⅳａ上 | 1 | A | A | a | Ⅰ | 0.45 | 0.40 | 0.22 | 0.21 | 0.10 | | | 不明 | | S0134 |
| SK148 | B2 | O | 3 | Ⅳａ上 | 1 | B | A | a | Ⅰ | 0.47 | 0.37 | 0.31 | 0.26 | 0.08 | | | 不明 | | S0137 |
| SK149 | B2 | O | 3 | Ⅳａ上 | 2 | A | B | d | Ⅲ | 0.58 | 0.55 | 0.18 | 0.14 | 0.22 | SK150 | | 不明 | | S0136 |
| SK150 | B2 | O | 3 | Ⅳａ上 | 1 | E | E | a | Ⅶ | 1.17 | (0.79) | 0.98 | (0.72) | 0.18 | | SK149 | 不明 | | S0139 |
| SK151 | B2 | O | 2 | Ⅳａ上 | 2 | E | E | b | Ⅵ | (2.00) | (0.64) | (0.74) | (0.49) | 0.25 | | | 後期前葉以降 | | S0138 |
| SK152 | B2 | O | 3 | Ⅳａ上 | 1 | A | A | a | Ⅰ | 0.40 | 0.34 | 0.15 | 0.22 | 0.10 | | | 不明 | | S0140 |
| SK153 | B2 | O | 3 | Ⅳａ上 | 3 | A | A | b | Ⅳ | 0.65 | 0.61 | 0.37 | 0.35 | 0.47 | | | 不明 | | S0141 |
| SK154 | B2 | O | 2 | Ⅳａ上 | 1 | E | B | a | Ⅳ | (0.78) | 0.34 | 0.44 | 0.12 | 0.34 | | | 不明 | | S0143 |
| SK155 | A2 | O | 3 | Ⅳａ上 | 3 | B | A | c | Ⅰ | 0.82 | 0.55 | 0.27 | 0.24 | 0.50 | | | 後期後葉以降 | | S0142 |
| SK156 | A2 | O | 3 | Ⅳａ上 | 5 | E | E | d | Ⅵ | (0.72) | (0.53) | (0.28) | 0.24 | 0.30 | SK158 | | 後期以降か | | S0144 |
| SK157 | B2 | O | 3 | Ⅳａ上 | 1 | B | B | a | Ⅳ | 0.62 | 0.34 | 0.24 | 0.18 | 0.21 | | | 不明 | | S0146 |
| SK158 | A2 | O-P | 3 | Ⅳａ上 | 3 | E | E | d | Ⅳ | (0.35) | (0.51) | (0.14) | (0.21) | 0.26 | | SK156 | 不明 | | S0145 |
| SK159 | B2 | P | 3 | Ⅳａ上 | 1 | E | D | a | Ⅶ | (0.74) | 0.57 | 0.49 | 0.36 | 0.32 | | | 不明 | | S0151 |
| SK160 | B2 | P | 2 | Ⅳａ上 | 4 | E | E | d | Ⅵ | (0.26) | (0.24) | (0.29) | 0.16 | 0.81 | | | 不明 | | S0150 |
| SK161 | B2 | P | 3 | Ⅳａ上 | 1 | B | A | a | Ⅱ | 0.45 | 0.35 | 0.23 | 0.22 | 0.32 | | | 不明 | | S0149 |
| SK162 | B2 | P | 2 | Ⅳａ上 | 3 | E | E | d | Ⅶ | (0.39) | (0.46) | (0.32) | 0.35 | 0.07 | | SP18 | 不明 | | S0156 |
| SK163 | B2 | P | 3 | Ⅳａ上 | 2 | B | B | d | Ⅳ | 0.97 | 0.79 | 0.65 | 0.48 | 0.21 | | SK164 | 不明 | | S0154 |
| SK164 | B2 | P | 3 | Ⅳａ上 | 1 | E | E | a | Ⅶ | 0.54 | (0.41) | 0.28 | (0.25) | 0.18 | SK163 | | 不明 | | S0155 |
| SK165 | B2 | P | 3 | Ⅳａ上 | 1 | B | D | a | Ⅲ | 0.44 | 0.34 | 0.29 | 0.24 | 0.07 | | | 後期初頭以降 | | S0157 |
| SK166 | A2 | P | 2 | Ⅳａ上 | 7 | E | E | d | Ⅵ | (0.53) | 0.61 | (0.42) | 0.38 | 0.43 | | SP18 | 不明 | | S0160 |
| SK167 | B2 | P | 2 | Ⅳａ上 | 2 | E | B | a | Ⅳ | 1.09 | 0.76 | 0.74 | 0.40 | 0.34 | | SK168 | 不明 | | S0162 |
| SK168 | B2 | P | 2 | Ⅳａ上 | 2 | E | E | a | Ⅶ | (0.92) | 1.19 | 0.62 | 0.95 | 0.17 | SK167 | | 不明 | | S0162 |
| SK169 | B1b | P | 3 | Ⅳａ上 | 1 | A | B | a | Ⅱ | 0.52 | 0.49 | 0.34 | 0.28 | 0.68 | | | 不明 | | S0164 |
| SK170 | B2 | Q | 3 | Ⅳａ上 | 2 | E | B | d | Ⅶ | (0.44) | 0.48 | 0.35 | 0.21 | 0.18 | SK171,SK173 | | 晩期前半以前 | | S0166 |
| SK171 | B2 | P | 3 | Ⅳａ上 | 2 | E | E | b | Ⅱ | 0.93 | 0.70 | 0.82 | 0.43 | 0.33 | SK176 | SK170 | 晩期前半以降 | | S0165 |
| SK172 | B1b | P-Q | 2 | Ⅳａ上 | 1 | E | E | a | Ⅳ | 0.56 | (0.44) | 0.38 | (0.35) | 0.24 | | | 不明 | | S0175 |
| SK173 | B2 | P-Q | 3 | Ⅳａ上 | 2 | E | E | f | Ⅶ | (0.51) | 0.90 | (0.42) | 0.63 | 0.37 | | | 不明 | | S0168 |
| SK174 | B2 | Q | 3 | Ⅳａ上 | 2 | B | B | d | Ⅳ | 0.63 | 0.42 | 0.32 | 0.20 | 0.19 | | | 不明 | | S0167 |
| SK175 | B2 | Q | 2-3 | Ⅳａ上 | 1 | E | E | a | Ⅵ | － | 0.61 | － | 0.46 | 0.19 | SK177 | | 不明 | | S0170 |
| SK176 | B2 | Q | 3 | Ⅳａ上 | 1 | B | B | a | Ⅳ | 1.31 | 0.67 | 1.07 | 0.56 | 0.47 | | SK171,SK170,SK175 | 晩期前半以降 | | S0169 |
| SK177 | B2 | Q | 3 | Ⅳａ上 | 1 | E | E | f | Ⅶ | 1.86 | 1.14 | 1.51 | 0.97 | 0.16 | | | 不明 | | S0169 |
| SK178 | A3 | Q | 3 | Ⅳａ上 | 1 | A | A | a | Ⅱ | 0.51 | 0.47 | 0.45 | 0.38 | 0.15 | | | 不明 | | S0171 |
| SK179 | B2 | Q | 2 | Ⅳａ上 | 1 | B | B | a | Ⅶ | 0.74 | 0.56 | 0.52 | 0.35 | 0.46 | | | 不明 | | S0172 |
| SX1 | － | A-B | 2 | Ⅳｂ上 | 14 | E | E | f | Ⅶ | (5.06) | (1.30) | (3.78) | (1.28) | (0.73) | | | 後期前葉以降 | | S0001 |

## 第７表　縄文土器観察表（１）

| 掲載№ | 地区遺構 | 層位 | 器種 | 分類 | 口縁部残存率 x/12 | 底径等（cm）括弧内は残存値 | 胎土 | 焼成 | 色調 | | | 成形・調整 | 文様 | 備考 | 挿図 | 写真図版 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | | | | | 内面 | 外面 | 断面 | 外面 / 内面 | | | | |
| 3 | SK124 | 5 | 土器円板 | 4 | — | — | 密、径1mm 以下の長石・石英・雲母をいくつか含む | 普通 | 7.5YR7/4 | 7.5YR6/3 | N4/0 | ナデ / ナデ | 沈線（幅2mm･1mm） | 斜格子文 | 10 | 5 |
| 4 | SK124 | — | 深鉢 | 1 | — | — | やや粗、径2.5mm 以下の長石・石英・雲母を多く含む | 普通 | 10YR4/2 | 10YR6/4 | N3/0 | ナデ / ナデ | 沈線（幅2.5mm） 刺突（幅4mm） | | 10 | 5 |
| 6 | SI8 | 1 | 土器円板 | 4 | — | — | 密、径1mm 以下の長石・石英・雲母を多く含む | 普通 | 10YR8/4 | 7.5YR7/4 | N3/0 | ナデ / ナデ | 沈線（幅2mm･3mm） 刺突（竹管文：幅4mm） LR 磨消縄文 | | 10 | 5 |
| 7 | SI9 | 1 | 鉢 | 4 | 0.4 | — | 密、径4mm 以下の長石・石英をいくつか含む | 普通 | 7.5YR4/1 | 7.5YR4/1 | N3/0 | ナデ / ナデ | 沈線（幅2mm･3mm） | 外面煤付着 | 10 | 5 |
| 19 | SI10 | 1 | 深鉢 | 4 | 0.3 | — | 密、径4mm 以下の長石・石英をいくつか含む | 良好 | 7.5YR6/6 | 7.5YR6/6 | 7.5YR6/6 | ナデ / ナデ | 沈線（幅3mm） | | 11 | 5 |
| 20 | SF1 | — | 深鉢 | 5 | 0.3 | — | 密、径2mm 以下の長石・石英・雲母を多く含む | 普通 | 7.5YR4/2 | 7.5YR6/3 | 7.5YR3/1 | ナデ / ナデ | 沈線（幅2mm） | | 12 | 5 |
| 21 | SF1 | — | 深鉢 | 5 | 0.3 | — | 密、径1mm 以下の長石・石英・雲母を多く含む | 普通 | 7.5YR6/3 | 7.5YR6/3 | N3/0 | ナデ+縄文？ / ナデ | 沈線（幅2.5mm） | | 12 | 5 |
| 22 | SF1 | — | 深鉢 | 5 | 0.8 | — | 密、径2mm 以下の長石・石英をいくつか含む | 普通 | 7.5YR6/4 | 7.5YR5/6 | 7.5YR4/2 | ナデ / ナデ | 沈線（幅3mm） RL 縄文 | 外面炭化物付着 | 12 | 5 |
| 25 | SF2 | 5～7 | 深鉢 | 1 | — | — | 密、径1mm 以下の長石をわずかに含む | 普通 | 7.5YR8/3 | 7.5YR8/3 | 7.5YR6/1 | ナデ / ナデ | 沈線（幅2mm） | | 12 | 5 |
| 26 | SF2 | — | 深鉢 | 3 | — | — | 密、径1mm 以下の長石をわずかに含む | 普通 | 10YR7/3 | 10YR7/2 | 10YR4/1 | ナデ / ナデ | 沈線（幅4mm） LR 磨消縄文 | | 12 | 5 |
| 28 | SP1 | 2 | 深鉢 | 1 | — | — | 密、径2.5mm 以下の長石・石英・雲母をいくつか含む | 普通 | 10YR6/3 | 10YR4/3 | 10YR4/2 | ナデ / ナデ | 沈線（幅4mm） | | 18 | 5 |
| 32 | SP3 | 17 | 深鉢 | 5 | 0.4 | — | 密、径1mm 以下の長石・石英・雲母をいくつか含む | 普通 | 10YR5/3 | 10YR5/3 | 10YR4/2 | ナデ / ナデ | なし | 内外面煤付着 | 18 | 5 |
| 33 | SP3 | 3 | 深鉢 | 4 | 0.9 | — | やや粗、径4mm 以下の長石・石英・雲母を多く含む | 普通 | 7.5YR6/4 | 7.5YR4/2 | 7.5YR5/4 | ナデ / ナデ | なし | | 18 | 5 |
| 34 | SP3 | 3 | 深鉢 | 1 | 0.6 | — | 密、径1mm 以下の長石・石英・雲母をわずかに含む | 普通 | 10YR7/2 | 10YR5/1 | 10YR4/1 | ナデ / ナデ | 沈線（幅1mm） 刺突（幅3mm） 隆帯（剥がれ痕、幅不明） | | 18 | 5 |
| 36 | SP4 | — | 深鉢 | 4 | 0.8 | — | 密、径3mm 以下の長石・石英・雲母を多く含む | 普通 | 7.5YR7/4 | 7.5YR7/4 | 7.5YR5/1 | ナデ / ナデ | 沈線（幅3mm･3.5mm） 刺突（幅4mm） | | 19 | 5 |
| 37 | SP4 | — | 深鉢 | 4 | — | — | 密、径1mm 以下の長石・雲母をいくつか含む | 普通 | 7.5YR4/2 | 7.5YR6/3 | 10YR4/2 | ナデ / ナデ | 沈線（幅2mm） 刺突（幅4mm） | | 19 | 5 |
| 38 | SP4 | — | 深鉢 | 2 | 0.3 | — | 密、径1.5mm 以下の長石・石英・雲母をいくつか含む | 普通 | 10YR7/3 | 5YR7/4 | 10YR4/1 | ナデ / ナデ | 押引（幅2mm） | | 19 | 5 |
| 39 | SP5 | — | 深鉢 | 4 | 0.5 | — | 密、径1mm 以下の長石・石英・雲母を多く含む | 普通 | 10YR6/3 | N3/0 | N4/0 | ナデ / ナデ | なし | | 19 | 5 |
| 40 | SP5 | — | 深鉢 | 4 | 0.7 | — | 密、径2mm 以下の長石・石英・雲母を多く含む | 普通 | 10YR7/4 | 10YR7/4 | 10YR5/1 | ナデ / ナデ | 沈線（幅3.5mm） LR 縄文 | | 19 | 5 |
| 41 | SP5 | — | 深鉢 | 7 | 0.8 | — | やや粗、径2.5mm 以下の長石・石英・雲母を多く含む | 普通 | 10YR7/4 | 7.5YR5/3 | 10YR5/1 | ナデ / ナデ | なし | 外面煤付着 | 19 | 5 |
| 42 | SP5 | — | 深鉢 | 4 | 0.9 | — | 密、径1.5mm 以下の長石・石英・雲母を多く含む | 普通 | 7.5YR6/4 | 7.5YR3/1 | 7.5YR7/4 | RL 縄文 / ナデ | 押引（幅3mm） 沈線（幅3.5） | 内外面煤付着 | 19 | 5 |
| 43 | SP5 | — | 深鉢 | 4 | 1.1 | — | 密、径2mm 以下の長石・石英・雲母をいくつか含む | 良好 | 7.5YR6/4 | 5YR6/6 | 7.5YR5/3 | ナデ / ナデ | 沈線（幅3mm） 刻み（幅3mm） | 内外面炭化物付着 | 19 | 5 |
| 44 | SP5 | — | 深鉢 | 4 | 0.3 | — | やや粗、径2mm 以下の長石・石英を多く含む | 普通 | 7.5YR7/4 | 7.5YR7/4 | 7.5YR4/1 | ナデ / ナデ | 刺突（幅5mm） | | 19 | 5 |
| 45 | SP5 | — | 深鉢 | 4 | — | — | 密、径1mm 以下の長石をいくつか含む | 普通 | 5YR4/1 | 5YR4/3 | 5YR5/4 | ナデ / ナデ | 条線（幅1mm） | | 19 | 5 |
| 46 | SP5 | — | 深鉢 | 1 | — | — | 密、径4mm 以下の長石・石英・雲母を多く含む | 良好 | 2.5YR5/4 | 2.5YR6/6 | 2.5YR4/4 | ナデ / ナデ | 沈線（幅2mm） 条線（幅1mm） | | 19 | 5 |
| 48 | SP7 | — | 深鉢 | 7 | 1.0 | — | 密、径3mm 以下の長石・石英をわずかに含む | 普通 | 7.5YR7/1 | 7.5YR7/1 | 7.5YR3/1 | ナデ / ナデ | 沈線（幅2mm） 刻み（幅3mm） 粘土粒（幅10mm） | 内外面炭化物付着 | 19 | 5 |
| 49 | SP7 | — | 深鉢 | 4 | — | — | 密、径1mm 以下の長石・石英・雲母をいくつか含む | 普通 | 7.5YR4/4 | 7.5YR6/4 | 7.5YR4/1 | ナデ / ナデ | 沈線（幅2mm） 隆帯（剥がれ痕、幅11mm） LR 磨消縄文 | | 19 | 5 |
| 50 | SP7 | — | 深鉢 | 4 | 0.5 | — | 密、径1mm 以下の長石・雲母をわずかに含む | 普通 | 10YR5/2 | 10YR6/3 | 10YR4/1 | ナデ / ナデ | 沈線（幅2mm） 刺突（幅4mm） | | 19 | 5 |
| 51 | SP7 | — | 深鉢 | 4 | 0.4 | — | 密、径2mm 以下の長石・石英・雲母をいくつか含む | 良好 | 10YR6/3 | 7.5YR6/4 | 10YR4/1 | ナデ / ナデ | 沈線（幅3mm） 刻み（幅7mm） | | 19 | 5 |
| 52 | SP7 | — | 小型双耳壺 | 3 | — | — | 密、径1.5mm 以下の長石・石英を多く含む | 普通 | 7.5YR7/4 | 7.5YR7/4 | N2/0 | 不明 / 不明 | 刺突（幅5mm） 貫通孔（幅11mm） | | 19 | 5 |
| 53 | SP7 | — | 深鉢 | 2 | — | — | 密、径2mm 以下の長石・石英・雲母をいくつか含む | 普通 | 7.5YR5/6 | 7.5YR5/6 | 7.5YR5/4 | ナデ / ナデ | 櫛描条線（幅0.5mm） | 内面炭化物付着 | 19 | 5 |
| 54 | SP8 | — | 鉢 | 4 | — | — | 密、径1mm 以下の長石・石英・雲母をいくつか含む | 普通 | 7.5YR6/4 | 7.5YR6/4 | 7.5YR2/1 | ナデ / ナデ | 沈線（幅4mm） 刻み（幅4mm） LR 縄文 | | 19 | 5 |
| 55 | SP8 | — | 深鉢 | 5 | 0.3 | — | 密、径2.5mm 以下の長石・石英・雲母を多く含む | 普通 | 7.5YR6/4 | 7.5YR4/2 | 7.5YR4/1 | ナデ / ナデ | 沈線（幅2mm･2.5mm） 刻み（幅1mm） | 外面炭化物付着 | 19 | 5 |
| 57 | SP10 | — | 深鉢 | 4 | — | — | 密、径3mm 以下の長石・石英をいくつか含む | 普通 | 7.5YR4/2 | 7.5YR6/4 | 7.5YR6/4 | LR 縄文 / ナデ | 隆帯（幅4mm） 刻み（幅2mm） | | 19 | 5 |
| 58 | SP10 | — | 深鉢 | 1 | — | — | 密、径2mm 以下の長石・石英をいくつか含む | 良好 | 7.5YR3/2 | 7.5YR2/2 | 7.5YR2/1 | ナデ / ナデ | 沈線（幅4mm） LR 縄文 | 内面炭化物付着 | 19 | 5 |
| 59 | SP10 | — | 鉢 | 9D | 0.3 | — | 密、径1mm 以下の長石・石英・雲母をいくつか含む | 良好 | 10YR5/1 | 10YR3/1 | 10YR4/1 | ナデ / ナデ | 刻み（幅3mm） | 外面炭化物付着 | 19 | 5 |
| 61 | SP11 | 1 | 深鉢 | 4 | — | — | 密、径1mm 以下の長石・石英・雲母をいくつか含む | 普通 | 7.5YR5/4 | 7.5YR5/6 | 7.5YR6/3 | ナデ / ナデ | 条線（幅1mm） | | 19 | 5 |
| 62 | SP11 | — | 深鉢 | 4 | 0.3 | — | 密、径1mm 以下の長石・石英・雲母をいくつか含む | 普通 | 5YR5/6 | 5YR5/4 | 5YR5/4 | ナデ / ナデ | 櫛描条線（幅1mm） | | 19 | 5 |
| 63 | SP13 | — | 深鉢 | 5 | — | — | 密、径1mm 以下の長石・石英・雲母をいくつか含む | 普通 | 10YR7/2 | 10YR7/3 | N4/0 | ナデ / ナデ | 隆帯（幅8mm） 刻み（幅4mm） 刺突（幅4mm） | | 20 | 5 |
| 64 | SP13 | — | 深鉢 | 4 | — | — | やや粗、径3mm 以下の長石・石英・雲母を多く含む | 普通 | 10YR7/4 | 2.5YR5/2 | 10YR4/1 | ナデ / ナデ | 櫛描条線（幅１mm） | | 20 | 5 |
| 65 | SP13 | — | 深鉢 | 3 | 0.5 | — | 密、径1mm 以下の長石・石英をいくつか含む | 普通 | 5YR5/3 | 5YR5/4 | 5YR5/3 | ナデ+縄文 / ナデ | 沈線（幅5mm） RL 磨消縄文 | | 20 | 5 |
| 66 | SP13 | — | 深鉢 | 3 | 0.3 | — | 密、径3mm 以下の長石・石英・雲母をいくつか含む | 良好 | 5YR5/6 | 7.5YR4/3 | 5YR6/8 | ナデ / ナデ | 沈線（幅3.5mm） LR 磨消縄文 | | 20 | 5 |
| 67 | SP13 | — | 深鉢 | 3 | — | — | 密、径1mm 以下の長石・石英・雲母をいくつか含む | 普通 | 10YR6/4 | 7.5YR5/3 | 2.5YR4/1 | ナデ / ナデ | 沈線（幅6mm） オオバコ原体による撚縄文 | 外面煤付着 | 20 | 5 |

## 第８表　縄文土器観察表（２）

| 掲載No. | 地区遺構 | 層位 | 器種 | 分類 | 口縁部残存率 x/12 | 底径等（cm）括弧内は残存値 | 胎土 | 焼成 | 色調 | | | 成形・調整 | 文様 | 備考 | 挿図 | 写真図版 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | | | | | 内面 | 外面 | 断面 | 外面 / 内面 | | | | |
| 69 | SP15 | — | 深鉢 | 4 | 0.3 | — | 密、径2mm 以下の長石・石英をいくつか含む | 普通 | 10YR6/3 | 10YR2/1 | 10YR4/1 | ナデ / ナデ | 沈線（幅3mm） | 外面炭化物付着 | 20 | 5 |
| 70 | SP15 | — | 深鉢 | 4 | 0.6 | — | 密、径2mm 以下の長石をいくつか含む | 普通 | 7.5YR6/4 | 7.5YR7/4 | 7.5YR7/4 | ナデ / ナデ | 沈線（幅1mm） | | 20 | 5 |
| 71 | SP15 | — | 土器円板 | 1 | — | — | やや粗、径3mm 以下の長石・石英・雲母を多く含む | 普通 | 10YR8/1 | 7.5YR7/4 | 10YR8/1 | RL 縄文 / ナデ | なし | | 20 | 5 |
| 72 | SP16 | 9 | 深鉢 | 4 | — | — | 密、径2mm 以下の長石をいくつか含む | 普通 | 10YR7/2 | 7.5YR4/2 | 7.5YR5/1 | ナデ / ナデ | 沈線（幅1mm・3mm）<br>オオバコ原体による擬縄文 | | 20 | 5 |
| 73 | SP16 | 9 | 深鉢 | 3 | 0.5 | — | 密、径2mm 以下の長石・石英・雲母をいくつか含む | 普通 | 10YR6/2 | 10YR6/2 | 10YR5/1 | ナデ / ナデ | 沈線（幅3mm） RL 充填縄文 | | 20 | 5 |
| 74 | SP16 | 1 | 深鉢 | 1 | — | — | やや粗、径2mm 以下の長石・石英・雲母を多く含む | 普通 | 2.5YR2/1 | 2.5YR3/1 | 2.5YR4/1 | ナデ / ナデ | 隆帯（幅10.2mm）<br>沈線（幅2.5mm） | 内外面煤付着 | 20 | 5 |
| 75 | SZ1 | — | 深鉢 | 7 | — | 底径 7.2 | 密、径2mm 以下の長石をいくつか含む | 普通 | 10YR4/1 | 10YR4/1 | 10YR6/3 | ナデ / ナデ | 条線（幅0.5mm・幅2mm） | 内外面炭化物付着 | 22 | 6 |
| 76 | SZ1 | 8 | 深鉢 | 1 | — | — | 密、径1mm 以下の長石・石英・雲母を多く含む | 普通 | 10YR5/2 | 10YR4/2 | 10YR2/1 | ナデ / ナデ | 隆帯（幅12mm）<br>沈線（幅4mm・2mm） | | 22 | 6 |
| 77 | SZ1 | 8 | 深鉢 | 1 | — | — | 密、径1mm 以下の長石・石英・雲母を多く含む | 普通 | 10YR5/2 | 10YR4/2 | 10YR2/1 | ナデ / ナデ | 隆帯（幅12mm）<br>沈線（幅5mm・2mm） | | 22 | 6 |
| 78 | SZ1 | 8 | 深鉢 | 1 | — | — | 密、径2mm 以下の長石・雲母をいくつか含む | 普通 | 5YR5/2 | 5YR5/4 | 5YR5/2 | ナデ / ナデ | 沈線（幅4mm） | | 22 | 6 |
| 79 | SZ2 | 3 | 深鉢 | 4 | 0.3 | — | やや粗、径2mm 以下の長石・石英・雲母を多く含む | 普通 | 7.5YR6/6 | 7.5YR4/3 | 7.5YR5/6 | ナデ / ナデ | 沈線（幅2mm） LR 充填縄文 | 外面煤付着 | 22 | 6 |
| 80 | SZ2 | — | 深鉢 | 1 | — | — | やや粗、径3mm 以下の長石・石英・雲母をいくつか含む | 普通 | 10YR3/3 | 7.5YR6/4 | 10YR4/1 | ナデ / ナデ | 隆帯（幅4mm） 沈線（幅3mm） | 外面炭化物付着 | 22 | 6 |
| 82 | SZ3 | — | 深鉢 | 1 | — | 底径 (12.2) | 密、径5mm 以下の長石・石英・雲母を多く含む | 普通 | 10YR7/4 | 10YR6/4 | 10YR2/1 | ナデ / ナデ | 沈線（幅2mm・5mm） | 内外面煤付着 | 23 | 6 |
| 83 | SZ4 | — | 深鉢 | 3 | 0.3 | — | 密、径2mm 以下の長石・石英を多く含む | 普通 | 5YR7/4 | 10YR7/3 | 10YR3/2 | ナデ＋ LR 磨消縄文 / ナデ | 沈線（幅4mm） | | 23 | 6 |
| 84 | SZ4 | — | 深鉢 | 1 | 0.5 | — | 密、径2mm 以下の長石・石英・雲母をいくつか含む | 普通 | 7.5YR7/6 | 10YR6/4 | 10YR5/1 | ナデ / ナデ | 沈線（幅4.5mm） | | 23 | 6 |
| 85 | SZ4 | 1 | 深鉢 | 1 | — | — | 密、径1mm 以下の長石・石英・雲母を多く含む | 普通 | 10YR7/4 | 7.5YR4/2 | N3/0 | ナデ＋ LR 磨消縄文 / ナデ | 隆帯（幅9mm） 沈線（幅3.5mm） | 外面煤付着 | 23 | 6 |
| 86 | SZ4 | — | 深鉢 | 1 | 0.3 | — | 密、径2mm 以下の長石・石英・雲母をいくつか含む | 良好 | 7.5YR5/3 | 10YR3/2 | 10YR3/1 | RL 縄文 / ナデ | 沈線（幅2.5mm） | 外面炭化物付着 | 23 | 6 |
| 87 | SZ4 | — | 深鉢 | 1 | — | — | 密、径2mm 以下の長石・石英・雲母をいくつか含む | 良好 | 7.5YR5/3 | 10YR3/2 | 10YR3/1 | RL 縄文 / ナデ | 沈線（幅2.5mm） | 外面炭化物付着 | 23 | 6 |
| 88 | SZ4 | 8～17 | 深鉢 | 1 | — | 底径 16.2 | 密、径2mm 以下の長石・石英・雲母をいくつか含む | 普通 | 7.5YR6/4 | 7.5YR5/4 | 7.5YR5/3 | ナデ / ナデ | 隆帯（幅4mm・9mm）<br>沈線（幅1mm・5mm） | | 24 | 6 |
| 92 | D2 | Ⅱ～Ⅲ | 深鉢 | 4 | 0.3 | — | 密、径1mm 以下の長石・石英をいくつか含む | 普通 | 7.5YR6/4 | 7.5YR6/4 | 7.5YR4/1 | ナデ / ナデ | 沈線（幅4mm） 刻み（幅4.5mm） | | 29 | 5 |
| 93 | D2 | Ⅱ～Ⅲ | 深鉢 | 4 | 0.3 | — | 密、径1mm 以下の長石・石英・雲母をいくつか含む | 普通 | 7.5YR5/2 | 7.5YR4/2 | N5/0 | ナデ＋ LR 縄文 / ナデ | 沈線（幅3mm） | 内外面煤付着 | 29 | 5 |
| 94 | D2 | Ⅱ～Ⅲ | 深鉢 | 7 | 0.3 | — | 密、径2mm 以下の長石・石英をいくつか含む | 普通 | 5YR4/3 | 5YR4/4 | 7.5YR6/4 | ナデ＋ケズリ / ナデ＋ケズリ | 沈線（幅2mm） | | 29 | 5 |
| 102 | SK133 | — | 深鉢 | 8 | — | — | やや粗、径2mm 以下の長石・石英をいくつか含む | 普通 | 7.5YR4/2 | 10YR3/1 | 7.5YR5/3 | ナデ / ナデ | 沈線（幅4mm・3mm） | | 29 | 5 |
| 103 | SK135 | 1 | 深鉢 | 7 | 0.3 | — | やや粗、径2mm 以下の長石・石英を多く含む | 普通 | 7.5YR7/3 | 7.5YR5/3 | 10YR6/1 | ナデ / ナデ | 沈線（幅1mm） | | 29 | 5 |
| 104 | SK139 | — | 深鉢 | 5 | — | — | やや粗、径2mm 以下の長石・石英を多く含む | 普通 | 2.5YR5/1 | 2.5YR4/6 | N4/0 | ナデ / ナデ | 隆帯（幅7mm）沈線（幅1.5mm・3mm） 刻み（幅3mm） | | 29 | 5 |
| 105 | SK139 | — | 深鉢 | 4 | — | — | 密、径1mm 以下の長石・石英・雲母をいくつか含む | 普通 | 2.5YR4/8 | 7.5YR5/3 | 7.5YR5/2 | ナデ＋ LR 縄文 / ナデ | 沈線（幅5mm） 刺突（幅5mm） | | 29 | 5 |
| 106 | SK32 | — | 深鉢 | 4 | 1.0 | — | 密、径2mm 以下の長石・石英・雲母をいくつか含む | 良好 | 7.5YR6/4 | 7.5YR7/4 | 10YR5/2 | ナデ / ナデ | 櫛条痕（幅1mm） | | 30 | 5 |
| 107 | SK32 | — | 深鉢 | 4 | 0.3 | — | 密、径1mm 以下の長石・石英・赤色酸化土をわずかに含む | 普通 | 7.5YR6/4 | 7.5YR5/1 | 7.5YR4/1 | ナデ / ナデ | 隆帯（幅17mm） 沈線（幅3mm）<br>刺突（幅3mm・5mm） | 内外面炭化物付着 | 30 | 5 |
| 108 | SK32 | — | 深鉢 | 1 | 0.5 | — | 密、径1mm 以下の長石・石英・雲母をいくつか含む | 普通 | 10YR6/4 | 10YR5/2 | N3/0 | ナデ / ナデ | 沈線（幅2.5mm） 刻み（幅6mm） | 外面煤付着 | 30 | 5 |
| 112 | SK9 | 1 | 深鉢 | 2 | 0.3 | — | 密、径2mm 以下の長石・石英をいくつか含む | 普通 | 10YR7/3 | 10YR5/2 | 10YR6/1 | ナデ / ナデ | 沈線（幅2mm） 刺突（幅3mm） | | 31 | 7 |
| 113 | SK13 | 4 | 深鉢 | 1 | — | — | 密、径1mm 以下の長石・石英をいくつか含む | 普通 | 10YR7/3 | 10YR6/3 | 10YR5/1 | ナデ / ナデ | 隆帯（幅10mm） 沈線（幅2mm） | | 31 | 7 |
| 114 | SK20 | 1 | 深鉢 | 7 | — | — | 密、径1mm 以下の長石・石英・雲母をいくつか含む | 普通 | 7.5YR6/4 | 7.5YR6/3 | 7.5YR3/1 | ナデ / ナデ | 隆帯（幅5mm） 沈線（幅5mm） | | 31 | 7 |
| 115 | SK50 | 5 | 深鉢 | 4 | — | — | 密、径1mm 以下の長石・石英をわずかに含む | 普通 | 10YR6/2 | 10YR7/2 | 10YR5/1 | ナデ / ナデ | 刺突（幅4mm） | | 31 | 7 |
| 117 | SK55 | 1 | 深鉢 | 4 | — | — | やや粗、径2mm 以下の長石・石英・雲母をいくつか含む | 普通 | 10YR4/1 | 10YR3/2 | N3/0 | ナデ / ナデ | 刺突（幅2mm）<br>櫛描条痕（幅1mm） | | 31 | 7 |
| 119 | SK69 | — | 鉢 | 5 | 0.6 | — | 密、径2mm 以下の長石・石英・雲母をいくつか含む | 良好 | 7.5YR6/4 | 7.5YR6/4 | 7.5YR4/1 | ナデ＋ LR 縄文 / ナデ | 沈線（幅3mm） | | 31 | 7 |
| 120 | SK69 | — | 鉢 | 4 | — | — | 密、径1mm 以下の長石をわずかに含む | 普通 | 10YR6/2 | 10YR7/3 | 10YR2/1 | ナデ＋ LR 縄文 / ナデ | 沈線（幅3mm）<br>刺突（幅13mm） | | 31 | 7 |
| 121 | SK85 | — | 深鉢 | 1 | 0.3 | — | 密、径1mm 以下の長石・石英をいくつか含む | 普通 | 7.5YR5/4 | 7.5YR5/3 | 7.5YR3/1 | ナデ / ナデ | 隆帯（幅3mm） 押引（幅4mm） | | 31 | 7 |
| 122 | SK140 -141 | — | 浅鉢 | 7 | — | — | 密、径2mm 以下の長石・石英・雲母を多く含む | 良好 | 10YR2/1 | 7.5YR4/3 | 10YR3/1 | ミガキ＋ LR 縄文 / ナデ | 沈線（幅2mm・4mm） | 外面赤色顔料付着 | 31 | 7 |
| 123 | SK140 -141 | — | 深鉢 | 5 | 0.5 | — | 密、径1mm 以下の長石・雲母をいくつか含む | 普通 | 10YR7/4 | 10YR7/4 | 10YR7/3 | ナデ / ナデ | 沈線（幅1.5mm・3mm）<br>刺突（幅2mm・5mm） | | 31 | 7 |
| 124 | SK140 -141 | — | 深鉢 | 5 | 0.3 | — | 密、径1mm 以下の長石・石英・雲母をいくつか含む | 普通 | 10YR7/4 | 10YR7/4 | 10YR7/3 | ナデ＋ LR 縄文 / ナデ | 沈線（幅3mm） | | 31 | 7 |
| 128 | SK151 | — | 注口土器 | 4 | 0.3 | — | やや粗、径2mm 以下の長石・石英・雲母を多く含む | 普通 | 7.5YR6/4 | 7.5YR5/4 | 7.5YR4/1 | ナデ / ナデ | 沈線（幅3mm） | | 32 | 7 |
| 129 | SK171 | — | 蓋 | 8 | — | — | 密、径1mm 以下の長石・石英・雲母をいくつか含む | 普通 | 10YR5/2 | 10YR3/1 | 10YR4/1 | ナデ＋ LR 磨消縄文 / ナデ | 沈線（幅3mm） | 外面赤色顔料付着 | 32 | 7 |
| 130 | SX 1 | 10 | 深鉢 | 7 | — | — | 密、径3mm 以下の長石・石英・雲母をわずかに含む | 普通 | 10YR4/1 | 10YR5/1 | N4/0 | ナデ / ナデ | 隆帯（幅12mm） | | 34 | 7 |

## 第９表　縄文土器観察表（３）

| 掲載№ | 地区遺構 | 層位 | 器種 | 分類 | 口縁部残存率 x/12 | 底径等（cm）括弧内は残存値 | 胎土 | 焼成 | 色調 | | | 成形・調整 | 文様 | 備考 | 挿図 | 写真図版 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | | | | | 内面 | 外面 | 断面 | 外面 / 内面 | | | | |
| 131 | SX1 | 2 | 深鉢 | 5 | 0.5 | — | 密、径2mm 以下の長石・石英・雲母をいくつか含む | 普通 | 7.5YR5/4 | 7.5YR5/3 | 7.5YR4/1 | ナデ＋ LR 磨消縄文 / ナデ | 隆帯 ( 幅7mm) 刻み ( 幅2mm･3mm) 刺突 ( 幅4mm) | | 34 | 7 |
| 132 | SX 1 | 4 | 深鉢 | 4 | 0.3 | — | 密、径2mm 以下の長石・石英・雲母を多く含む | 普通 | 7.5YR7/4 | 7.5YR7/3 | 10YR4/1 | ナデ / ナデ | 刻み ( 幅4mm) 刺突 ( 幅4mm) | | 34 | 7 |
| 133 | SX 1 | — | 深鉢 | 4 | 1.0 | — | 密、径3mm 以下の長石・石英・雲母をいくつか含む | 普通 | 5YR6/6 | 7.5YR5/6 | 5YR6/6 | ナデ＋ RL 磨消縄文 / ナデ | 隆帯 ( 幅13mm･9mm) 沈線 ( 幅2.5mm･3mm) 刺突 ( 幅6mm)　穿孔 (7.5mm) | 外面煤付着 | 34 | 7 |
| 134 | SX1 | 10 | 深鉢 | 4 | 0.3 | — | 密、径2mm 以下の長石・石英・雲母をいくつか含む | 普通 | 10YR7/3 | 10YR5/2 | 10YR7/2 | ナデ＋ RL 磨消縄文 / ナデ | 隆帯 ( 幅13mm)　沈線 ( 幅5mm) 刺突 ( 幅2mm) | 外面煤付着 | 34 | 7 |
| 135 | SX 1 | 6 | 深鉢 | 3 | 0.5 | — | 密、径3mm 以下の長石・石英・雲母をいくつか含む | 普通 | 7YR7/3 | 5YR7/6 | N3/0 | ナデ / ナデ | 沈線 ( 幅4mm)　LR 充填縄文 | | 34 | 7 |
| 136 | SX 1 | — | 深鉢 | 3 | — | — | 密、径2mm 以下の長石・雲母をいくつか含む | 普通 | 7.5YR5/4 | 7.5YR3/1 | 7.5YR5/4 | ナデ＋ LR 磨消縄文 / ナデ | 沈線 ( 幅4mm･2mm) | | 34 | 7 |
| 137 | SX 1 | 8 | 深鉢 | 3 | 0.6 | — | 密、径2mm 以下の長石・石英・雲母をいくつか含む | 普通 | 5YR5/4 | 5YR4/4 | 5YR5/4 | ナデ / ナデ | 沈線 ( 幅4mm)　充填縄文 | | 34 | 7 |
| 138 | SX1 | 6 | 深鉢 | 3 | 0.6 | — | 密、径2mm 以下の長石・石英・雲母・赤色酸化土をいくつか含む | 普通 | 7.5YR6/1 | 7.5YR6/2 | 7.5YR6/1 | ナデ＋ LR 磨消縄文 / ナデ | 沈線 ( 幅4mm) | | 34 | 7 |
| 139 | SX 1 | 6 | 深鉢 | 2 | — | — | 密、径1mm 以下の長石・石英・雲母をいくつか含む | 普通 | 10YR7/4 | 10YR6/2 | 10YR7/2 | ナデ＋ LR 縄文 / ナデ | 沈線 ( 幅5mm) 刺突 ( 幅5.5mm) | | 34 | 7 |
| 140 | SX1 | 10 | 深鉢 | 2 | — | — | 密、径1mm 以下の長石をいくつか含む | 普通 | 10YR7/3 | 10YR2/1 | 10YR7/3 | ナデ / ナデ | 沈線 ( 幅1mm･1.5mm) | 外面炭化物付着 | 34 | 7 |
| 141 | SX1 | 7 | 深鉢 | 1 | — | — | 密、径1mm 以下の長石・石英・雲母をいくつか含む | 普通 | 10YR5/3 | 10YR7/2 | 10YR7/4 | ナデ / ナデ | 隆帯 ( 幅6mm･10mm) 刺突 ( 幅1mm) | 脚台付 | 34 | 7 |
| 142 | SX1 | 6 | 深鉢 | 1 | — | — | 密、径2mm 以下の長石・石英を多く含む | 普通 | 10YR7/4 | 10YR7/4 | 10YR6/1 | ナデ＋ LR 磨消縄文 / ナデ | 沈線 ( 幅3mm) 刺突 ( 幅2mm) | | 34 | 7 |
| 143 | SX1 | 8 | 深鉢 | 1 | 0.3 | — | 密、径1.5mm 以下の長石・石英・雲母を多く含む | 普通 | 7.5YR8/4 | 5YR7/6 | N3/0 | ナデ / ナデ | 素麺状隆帯 ( 幅2mm)　LR 撚糸文 | | 34 | 7 |
| 144 | SX1 | 7 | 深鉢 | 1 | — | — | 密、径1mm 以下の長石・石英を多く含む | 普通 | 10YR8/3 | 10YR8/2 | N4/0 | ナデ / ナデ | 隆帯 ( 幅7mm)　沈線 ( 幅2mm) | | 34 | 7 |
| 145 | SX 1 | 4 | 深鉢 | 1 | — | — | 密、径2mm 以下の長石・石英・雲母をいくつか含む | 普通 | 7.5YR6/4 | 10YR6/4 | 10YR6/3 | ナデ / ナデ | 沈線 ( 幅3mm)　撚糸文 | | 34 | 7 |
| 146 | SX 1 | 1 | 深鉢 | 9D | — | — | 密、径1mm 以下の長石・雲母をいくつか含む | 普通 | 10YR4/1 | 10YR7/2 | 10YR3/1 | ナデ / ナデ | 刻み ( 幅4mm) | 外面煤付着 | 34 | 7 |
| 152 | F2 | — | 深鉢 | 1 | 0.5 | — | 密、径2mm 以下の長石・石英・雲母をいくつか含む | 良好 | 7.5YR5/3 | 7.5YR5/6 | 7.5YR3/1 | ナデ / ナデ | 沈線 ( 幅3mm) | TP3埋土内 | 35 | 8 |
| 153 | F2 | — | 深鉢 | 1 | 0.5 | — | 密、径2.5mm 以下の長石・石英・雲母を多く含む | 普通 | 5YR6/6 | 7.5YR5/4 | 2.5YR3/1 | ナデ / ナデ | なし | TP3埋土内 内外面煤付着 | 35 | 8 |
| 154 | O3① | Ⅱ | 深鉢 | 1 | 0.5 | — | 密、径4mm 以下の長石・石英・雲母を多く含む | 良好 | 10YR8/2 | 10YR8/3 | 10YR3/1 | ナデ / ナデ | 沈線 ( 幅3mm)　刻み ( 幅3mm) 条線 ( 幅0.5mm) | | 35 | 8 |
| 155 | N3③ -O3① | Ⅱ～Ⅲ | 深鉢 | 1 | 0.5 | — | 密、径1mm 以下の長石・石英・雲母をいくつか含む | 普通 | 10YR7/3 | 10YR6/2 | N3/0 | ナデ / ナデ | 沈線 ( 幅1mm･2mm･3mm) 隆帯 ( 幅12mm) | | 35 | 8 |
| 156 | F2 | — | 深鉢 | 1 | — | — | 密、径2mm 以下の長石・石英・雲母をいくつか含む | 普通 | 7.5YR5/4 | 7.5YR4/1 | 7.5YR5/1 | ナデ / ナデ | 沈線 ( 幅3mm･5mm) RL 縄文 | TP3(H16県試掘) 出土遺物 | 35 | 8 |
| 157 | H2② | Ⅱ～Ⅲ | 深鉢 | 1 | — | — | 密、径1.5mm 以下の長石・石英・雲母を多く含む | 普通 | 7.5YR5/3 | 7.5YR5/4 | 7.5YR5/3 | ナデ / ナデ | 隆帯 ( 幅12mm)　沈線 ( 幅3.5mm) 櫛描条線 ( 幅1mm) | 外面煤付着 | 35 | 8 |
| 158 | F2 | Ⅱ～Ⅲ | 深鉢 | 2 | 0.8 | — | 密、径1.5mm 以下の長石・石英・雲母をいくつか含む | 普通 | 5YR6/6 | 5YR5/4 | 2.5YR3/1 | ナデ / ナデ | なし | 内外面煤付着 | 35 | 8 |
| 159 | F2 | Ⅱ～Ⅲ | 深鉢 | 2 | — | — | 密、径1mm 以下の長石・石英・雲母をいくつか含む | 良好 | 7.5YR3/1 | 7.5YR5/4 | 10YR4/2 | ナデ / ナデ | 沈線 ( 幅4mm) | | 35 | 8 |
| 160 | P3① | Ⅱ | 深鉢 | 3 | 0.5 | — | 密、径2mm 以下の長石・石英・雲母をいくつか含む | 良好 | 10YR7/3 | 7.5YR6/4 | 10YR7/3 | ナデ＋ LR 縄文 / ナデ | 沈線 ( 幅4mm) | 外面炭化物付着 | 35 | 8 |
| 161 | Q3① | Ⅱ | 深鉢 | 3 | 0.8 | — | 密、径3.5mm 以下の長石・石英・雲母をいくつか含む | 普通 | 7.5YR7/6 | 5YR5/6 | 7.5YR7/3 | ナデ / ナデ | 沈線 ( 幅4mm)　RL 充填縄文 | 外面煤付着 | 35 | 8 |
| 162 | O3① | Ⅱ | 深鉢 | 3 | 0.6 | — | 密、径1mm 以下の長石・石英・雲母を多く含む | 普通 | 2.5YR5/6 | 5YR5/3 | 2.5YR5/6 | ナデ+磨消縄文 / ナデ | 沈線 ( 幅2.5mm) | 内外面煤付着 撚り戻し縄文 | 35 | 8 |
| 163 | O3① | Ⅱ | 深鉢 | 4 | — | — | 密、径1mm 以下の長石・石英・雲母を多く含む | 良好 | 10YR5/3 | 7.5YR4/2 | 10YR4/1 | ナデ / ナデ | 櫛条痕 ( 幅1mm) | | 35 | 8 |
| 164 | O2 | — | 深鉢 | 4 | 0.5 | — | 密、径1mm 以下の長石・石英・雲母をいくつか含む | 普通 | 7.5YR6/4 | 7.5YR6/3 | 7.5YR5/1 | ナデ / ナデ | 沈線 ( 幅2mm･5mm) | TP7(H17県試掘) 出土遺物 | 35 | 8 |
| 165 | O3① | Ⅱ | 深鉢 | 4 | 0.3 | — | 密、径1.5mm 以下の長石・石英・雲母を多く含む | 普通 | 10YR6/4 | 7.5YR7/6 | N2/0 | ナデ / ナデ | 沈線 ( 幅3mm) | 内外面煤付着 | 35 | 8 |
| 166 | O3① | Ⅱ | 深鉢 | 4 | 0.3 | — | 密、径2mm 以下の長石・石英・雲母をいくつか含む | 良好 | 7.5YR6/4 | 7.5YR4/2 | 7.5YR6/4 | ナデ / ナデ | 沈線 ( 幅4mm) | | 35 | 8 |
| 167 | O3④ | Ⅱ | 深鉢 | 4 | 0.3 | — | 密、径2mm 以下の長石・石英・雲母をいくつか含む | 良好 | 10YR7/3 | 7.5YR7/4 | 10YR7/3 | ナデ＋ RL 縄文 / ナデ | 沈線 ( 幅3.5mm) | 外面炭化物付着 | 35 | 8 |
| 168 | N3③ O2② O3① | Ⅱ | 深鉢 | 4 | 2.0 | — | 密、径3mm 以下の長石・石英・雲母をいくつか含む | 良好 | 7.5YR5/3 | 5YR5/4 | 7.5YR4/1 | ナデ / ナデ | 沈線 ( 幅4mm)　刻み ( 幅4mm) | | 35 | 8 |
| 169 | E2-F2 | Ⅱ～Ⅲ | 深鉢 | 4 | 0.5 | — | やや粗、径7mm 以下の長石・石英・雲母を多く含む | 普通 | 5YR5/6 | 5YR6/6 | 10YR4/1 | ナデ / ナデ | 沈線 ( 幅5mm) | | 35 | 8 |
| 170 | Q3① | Ⅱ | 深鉢 | 4 | 1.0 | — | 密、径3mm 以下の長石・石英・雲母をいくつか含む | 良好 | 2.5YR5/6 | 2.5YR5/6 | 2.5YR5/6 | ナデ＋ RL 縄文 / ナデ | なし | | 35 | 8 |
| 171 | M2④ | Ⅱ | 深鉢 | 4 | 1.0 | — | やや粗、径4mm 以下の長石・石英・雲母を多く含む | 普通 | 10YR7/4 | 10YR7/3 | 2.5YR5/1 | ナデ / ナデ | 沈線 ( 幅3mm)　刺突 ( 幅14mm) | | 35 | 8 |
| 172 | E2-F2 | Ⅱ～Ⅲ | 注口土器 | 5 | — | — | 密、径1.5mm 以下の長石・石英・雲母を多く含む | 普通 | 7.5YR8/4 | 5YR5/6 | 7.5YR8/4 | ナデ / ナデ | 沈線 ( 幅2mm) | | 36 | 8 |
| 173 | E2-F2 | Ⅱ～Ⅲ | 深鉢 | 5 | 0.5 | — | 密、径3mm 以下の長石・石英をいくつか含む | 普通 | 7.5YR7/4 | 7.5YR4/2 | 7.5YR3/1 | ナデ / ナデ | 沈線 ( 幅2mm) | 外面炭化物付着 | 36 | 8 |
| 174 | H2-I2 | Ⅱ～Ⅲ | 注口土器 | 5 | — | — | 密、径1mm 以下の長石・石英をいくつか含む | 普通 | 10YR5/3 | 10YR6/2 | 10YR4/1 | LR 磨消縄文 / ナデ | 沈線 ( 幅2mm･3mm) 刺突 ( 幅4mm) | TP2(H16県試掘) 出土遺物 | 36 | 8 |
| 175 | O3① | Ⅱ | 深鉢 | 5 | 0.5 | — | 密、径2mm 以下の長石・石英をいくつか含む | 良好 | 10YR6/3 | 10YR4/2 | 10YR4/1 | ナデ / ナデ | 沈線 ( 幅4mm) | | 36 | 8 |
| 176 | O3③ | Ⅱ | 深鉢 | 5 | 0.7 | — | 密、径2mm 以下の長石・石英・雲母を多く含む | 普通 | 5YR6/8 | 5YR6/6 | 5YR6/6 | ナデ / ナデ | 沈線 ( 幅3mm) 刺突 ( 幅2.5mm･5mm) | | 36 | 8 |
| 177 | P3① | Ⅱ～Ⅲ | 注口土器 | 5 | — | — | 密、径2mm 以下の長石・石英・雲母を多く含む | 普通 | 7.5YR3/1 | 7.5YR4/3 | 7.5YR4/1 | ナデ / ナデ | なし | 外面炭化物付着 | 36 | 8 |

## 第10表　縄文土器観察表（４）

| 掲載No. | 地区遺構 | 層位 | 器種 | 分類 | 口縁部残存率 x/12 | 底径等（cm）括弧内は残存値 | 胎土 | 焼成 | 色調 | | | 成形・調整 | 文様 | 備考 | 挿図 | 写真図版 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | | | | | 内面 | 外面 | 断面 | 外面／内面 | | | | |
| 178 | E2 | Ⅱ～Ⅲ | 深鉢 | 6 | 0.5 | － | 密、径1mm 以下の長石・石英をいくつか含む | 普通 | 10YR7/2 | 10YR6/2 | 10YR6/1 | ナデ／ナデ | 沈線（幅1mm･3mm）刺突（幅3mm） | | 36 | 8 |
| 179 | E2 | Ⅱ～Ⅲ | 注口土器 | 6 | － | － | 密、径2mm 以下の長石・石英・雲母をいくつか含む | 良好 | 7.5YR7/4 | 7.5YR6/4 | 7.5YR7/4 | ナデ／ナデ | 沈線（幅3mm）刺突（幅3mm） | 外面炭化物付着 | 36 | 8 |
| 180 | O3① | Ⅱ | 深鉢 | 7 | － | － | 密、径2mm 以下の長石・石英・雲母をいくつか含む | 良好 | 10YR5/2 | 10YR6/4 | 10YR4/1 | ナデ／ナデ | 沈線（幅2mm･3mm）刻み（幅4mm）刺突（幅5mm） | | 36 | 8 |
| 181 | P3① | Ⅱ | 深鉢 | 7 | 0.5 | － | 密、径3mm 以下の長石・石英・雲母をいくつか含む | 普通 | 7.5YR7/4 | 7.5YR7/4 | 10YR5/1 | ナデ／ナデ | 沈線（幅4.5mm） | | 36 | 8 |
| 182 | O3① | Ⅱ | 深鉢 | 7 | 0.8 | － | 密、径2mm 以下の長石・石英をいくつか含む | 普通 | 10YR5/2 | 10YR6/3 | 10YR5/1 | ナデ／ナデ | なし | 外面煤付着 | 36 | 8 |
| 183 | P3③ | Ⅱ | 深鉢 | 7 | － | 底径（8.9） | やや粗、径4.5mm 以下の長石・石英・雲母を多く含む | 普通 | 7.5YR4/2 | 10YR5/3 | 10YR3/1 | ナデ／ナデ | 不明 | 内面炭化物付着 | 36 | 8 |
| 184 | P3① | Ⅱ | 深鉢 | 7 | － | － | 密、径3mm 以下の長石・石英・雲母をいくつか含む | 良好 | 7.5YR5/4 | 7.5YR6/6 | 7.5YR6/6 | ナデ／ナデ | 櫛描条線（幅1mm） | | 36 | 8 |
| 185 | E2 | Ⅱ～Ⅲ | 深鉢 | 8 | － | － | やや粗、径5mm 以下の長石・石英・雲母を多く含む | 普通 | 5YR7/6 | 7.5YR4/2 | 10YR4/1 | ナデ／ナデ | 沈線（幅1mm･3mm）条痕（二枚貝） LR 充填縄文 | 外面炭化物付着 | 36 | 8 |
| 186 | P2④ | Ⅰb | 不明 | 9C | － | － | 密、径5mm 以下の長石を多く含む | 普通 | - | 7.5YR5/3 | 7.5YR5/1 | - | 網代痕（幅4mm） | | 36 | 8 |
| 187 | O3① | Ⅱ | 深鉢 | 9C | － | 底径（12.0） | 密、径2mm 以下の長石・石英・雲母をいくつか含む | 普通 | 10YR7/4 | 10YR7/4 | N4/0 | ナデ／ナデ | 網代痕（幅4mm） | | 36 | 8 |
| 188 | O2 | Ⅱ～Ⅲ | 深鉢 | 9C | － | 底径（10.2） | 密、径2mm 以下の長石・石英・雲母をいくつか含む | 普通 | 5YR6/6 | 7.5YR6/6 | 2.5YR5/6 | ナデ／ナデ | 網代痕（幅4mm） | 内外面煤付着 | 36 | 8 |
| 189 | N3① | Ⅱ | 不明 | 9C | － | 底径 8.2 | 密、径1mm 以下の長石・石英・雲母をいくつか含む | 普通 | 10YR5/1 | 7.5YR6/4 | 10YR4/1 | ナデ／ナデ | RL 縄文 | 内面煤付着 | 36 | 8 |
| 190 | O3① | Ⅱ | 不明 | 9C | － | 底径 5.8 | 密、径1mm 以下の長石・石英・雲母をいくつか含む | 普通 | 5YR5/6 | 7.5YR5/4 | 5YR4/6 | ナデ／ナデ | 網代痕（幅2mm） | | 36 | 8 |

## 第11表　石鏃観察表

| 掲載No. | 地区遺構 | 層位 | 石材 | 長さ（cm） | 幅（cm） | 厚さ（cm） | 質量（g） | 抉深（mm） | 先端角（°） | 平面形 | | 遺存状況 | 備考 | 挿図 | 写真図版 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | | | | | | 基部 | 側縁部 | | | | |
| 9 | SI8 | 1 | チャート | (2.0) | (1.0) | 0.4 | (0.6) | 4.5 | 不明 | A | 1 | 先端部折損 | | 10 | 9 |
| 10 | SI8 | Ⅱ下 | 下呂石 | 5.2 | 1.2 | 0.6 | 0.4 | 0.0 | 32 | B | 2 | 完 | | 10 | 9 |
| 60 | SP10 | － | 下呂石 | 2.1 | 1.4 | 0.3 | 1.4 | 4.0 | 38 | A | 3 | 完 | | 19 | 9 |
| 111 | SK70 | － | 下呂石 | (2.6) | (1.2) | (0.3) | 2.4 | 不明 | 29 | A | 1 | 脚部折損 | | 30 | 9 |
| 116 | SK52 | － | 下呂石 | (1.7) | (1.1) | 0.2 | 3.4 | 不明 | 44 | A | 1 | 脚部折損 | | 31 | 9 |
| 118 | SK68 | － | 下呂石 | (2.2) | (1.6) | 0.3 | 4.4 | 4.0 | 45 | A | 1 | 脚部折損 | | 31 | 9 |
| 125 | SK140 | － | チャート | 2.2 | 1.2 | 0.3 | 5.4 | 5.5 | 25 | A | 2 | 完 | SK141所属か | 31 | 9 |
| 191 | E2 | Ⅱ～Ⅲ | チャート | (2.0) | (1.7) | (0.4) | 6.4 | 1.0 | 49 | A | 1 | 脚部欠損 | | 37 | 9 |
| 192 | G2② | Ⅱ～Ⅲ | 下呂石 | 3.2 | (1.6) | 0.4 | 7.4 | 2.0 | 34 | A | 1 | 脚部欠損 | | 37 | 9 |
| 193 | B2①② | Ⅰb | チャート | 1.3 | 1.0 | 0.3 | 8.4 | 2.5 | 59 | A | 1 | 完 | | 37 | 9 |
| 194 | F2② | Ⅱ | 下呂石 | (1.5) | 0.9 | 0.2 | 9.4 | 3.0 | 42 | A | 1 | 先端部欠損 | | 37 | 9 |
| 195 | P3① | Ⅱ | チャート | (1.3) | (1.3) | (0.3) | 10.4 | 1.5 | 不明 | A | 3 | 先端部折損 | | 37 | 9 |
| 196 | Q3 | Ⅱ下 | 下呂石 | 4.0 | 1.4 | 0.6 | 11.4 | 0.0 | 30 | B | 2 | 完 | | 37 | 9 |

## 第12表　石錐観察表

| 掲載No. | 地区遺構 | 層位 | 石材 | 長さ（cm） | 幅（cm） | 厚さ（cm） | 質量（g） | 形状 | 断面 | 備考 | 挿図 | 写真図版 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 23 | SF2 | － | チャート | 3.3 | 0.9 | 0.5 | 1.5 | 棒状 | 菱形 | 基部折損 | 12 | 9 |
| 89 | SZ4 | － | チャート | 2.5 | 1.7 | 0.7 | 3.2 | 五角 | 三角形 | SK54に所属か | 23 | 9 |
| 147 | A2③-B2① | Ⅱ | 下呂石 | 2.1 | 1.4 | 0.5 | 1.2 | 三角 | 三角形 | | 34 | 9 |
| 197 | E2-F2 | Ⅱ～Ⅲ | チャート | 5.5 | 3.0 | 1.0 | 9.8 | 有頭 | 菱形 | | 37 | 9 |
| 198 | H2③ | Ⅱ | チャート | 3.8 | 1.5 | 0.6 | 2.5 | 有頭 | 三角形 | | 37 | 9 |

## 第13表　楔形石器観察表

| 掲載No. | 地区遺構 | 層位 | 石材 | 長さ（cm） | 幅（cm） | 厚さ（cm） | 質量（g） | 備考 | 挿図 | 写真図版 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 95 | SK21 | － | 下呂石 | 3.2 | 1.7 | 0.8 | 4.1 | 上層から出土 | 29 | 9 |
| 148 | SX1 | 1 | 下呂石 | 3.1 | 1.5 | 1.2 | 6.8 | 上層から出土 | 34 | 9 |
| 149 | SX1 | 6 | 下呂石 | 3.6 | 2.2 | 0.7 | 5.9 | | 34 | 9 |
| 199 | N3③ | Ⅱ | チャート | 4.2 | 3.0 | 1.0 | 15.4 | | 37 | 9 |

### 第14表　スクレイパー観察表

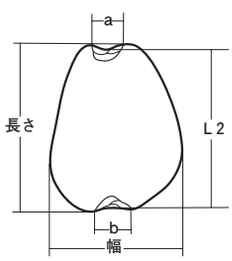
| 掲載№ | 地区遺構 | 層位 | 石材 | 長さ(cm) | 幅(cm) | 厚さ(cm) | 質量(g) | 素材形状 | 遺存状況 | 刃部 | | | | 備考 | 挿図 | 写真図版 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | | | | | | 位置 | 形態 | 長さ(cm) | 刃角(°) | | | |
| 68 | SP10 | － | 下呂石 | 5.5 | 4.5 | 1.2 | 32.4 | 縦長 | 完 | 側辺 | 直線 | 3.8 | 65 | | 68 | 9 |
| 200 | F2-3 | Ⅱ～Ⅲ | チャート | 5.7 | 1.9 | 0.9 | 11.4 | 縦長 | 完 | 側辺 | 直線 | 4.9 | 38 | | 37 | 9 |
| 201 | N3① | Ⅱ | 下呂石 | 5.9 | 3.1 | 1.0 | 17.9 | 横長 | 完 | 側辺 | 抉り状 | 0.8 | 71 | | 37 | 9 |
| 202 | L2 | Ⅱ下 | チャート | 8.3 | 4.8 | 1.7 | 59.4 | 縦長 | 完 | 両側辺 | 外彎 | 7.9 | 47 | | 37 | 9 |

### 第15表　石核観察表

| 掲載№ | 地区遺構 | 層位 | 石材 | 長さ(cm) | 幅(cm) | 厚さ(cm) | 質量(g) | 備考 | 挿図 | 写真図版 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 11 | SI8 | 1 | 流紋岩 | 12.9 | 10.6 | 6.8 | 897.0 | 横刃型刃器転用の可能性あり | 11 | 9 |

### 第16表　石錘観察表

| 掲載№ | 地区遺構 | 層位 | 石材 | 長さ(cm) | 幅(cm) | 厚さ(cm) | 質量(g) | 紐掛部計測(cm) | | | 分類 | 挿図 | 写真図版 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | | | | a | b | L2 | | | |
| 47 | SP5 | － | 砂岩 | 5.5 | 4.7 | 1.4 | 54.9 | 0.3 | 0.2 | 5.2 | 切目 | 19 | 9 |
| 90 | SZ4 | － | 砂岩 | 4.3 | 4.4 | 1.8 | 45.7 | 1.1 | 0.9 | 4.1 | 打欠 | 23 | 9 |
| 97 | SK21 | － | 砂岩 | 6.0 | 1.7 | 1.0 | 14.5 | 0.2 | 0.2 | 5.7 | 切目 | 29 | 9 |
| 110 | SK39-42 | － | 泥岩 | 8.0 | 3.1 | 1.6 | 58.3 | 2.3 | 0.2 | 7.3 | 打欠 | 30 | 9 |
| 126 | SK140-141 | － | 流紋岩質凝灰岩 | 3.1 | 2.3 | 2.0 | 12.7 | 0.3 | 0.3 | 2.7 | 切目 | 31 | 9 |
| 150 | SX1 | 8～17 | 砂岩 | 8.7 | 2.8 | 1.7 | 57.0 | 0.3 | 0.2 | 8.5 | 打・切 | 34 | 9 |
| 204 | F2-3 | Ⅱ～Ⅲ | 砂岩 | 10.6 | 5.0 | 2.1 | 173.4 | 0.3 | 2.1 | 10.4 | 打欠 | 38 | 9 |
| 205 | N3① | Ⅱ上 | 流紋岩質凝灰岩 | (2.7) | (2.3) | (1.0) | (7.4) | 0.3 | 0.3 | 2.3 | 切目 | 38 | 9 |
| 206 | G2④ | Ⅱ | 流紋岩質凝灰岩 | 3.3 | 2.4 | 1.3 | 11.6 | 0.2 | 0.3 | 3.0 | 有溝 | 38 | 9 |
| 207 | F2②-F3① | Ⅱ～Ⅲ | 泥岩 | 6.9 | 2.2 | 3.1 | 70.5 | 0.5 | 0.3 | 6.6 | 有溝 | 27 | 9 |




**第45図　石錘計測部位**

渡辺誠氏の提唱（渡辺ほか 1985）を参考とした。

### 第17表　打製石斧観察表

| 掲載№ | 地区 | 層位 | 石材 | 長さ(cm) | 幅(cm) | 厚さ(cm) | 質量(g) | 分類 | 遺存状況 | 刃角(°) | 刃部 | | | | 装着痕 | 自然面 | 挿図 | 写真図版 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | | | | | | | 幅(cm) | 摩耗 | 刃こぼれ | 擦痕 | | | | |
| 5 | SI6 | Ⅱ | 砂岩 | (15.5) | (9.6) | (4.2) | (627.0) | 撥型 | 刃部折損 | － | － | － | － | － | 無 | 有 | 10 | 10 |
| 8 | SI8 | Ⅱ | 砂岩 | 16.5 | 8.7 | 4.1 | 634.0 | 撥型 | 完 | 65 | 8.4 | 無 | 無 | 無 | 無 | 有 | 10 | 10 |
| 27 | SF1 | － | 流紋岩 | 10.7 | 5.7 | 1.5 | 105.2 | 短冊型 | 完 | 47 | 4.3 | 有 | 無 | 無 | 無 | 有 | 12 | 10 |
| 109 | SK37 | － | 流紋岩 | 11.2 | 5.1 | 1.5 | 101.8 | 短冊型 | 完 | 73 | 4.3 | 有 | 無 | 無 | 無 | 有 | 30 | 10 |
| 127 | SK150 | － | 安山岩 | (10.6) | (6.4) | (2.8) | (187.8) | － | 刃部折損 | － | － | － | － | － | 無 | 有 | 32 | 10 |
| 203 | O2② | Ⅱ | 砂岩 | 14.4 | 6.5 | 2.6 | 285.2 | 短冊型 | 完 | 48 | 5.2 | 無 | 無 | 無 | 無 | 有 | 37 | 10 |

### 第18表　磨製石斧観察表

| 掲載№ | 地区 | 層位 | 石材 | 長さ(cm) | 幅(cm) | 厚さ(cm) | 質量(g) | 遺存状況 | 刃角(°) | 刃部 | | | | | 装着痕 | 自然面 | 挿図 | 写真図版 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | | | | | | 形態 | 幅 | 摩耗 | 刃こぼれ | 擦痕 | | | | |
| 12 | SI8 | 1 | 蛇紋岩 | 6.7 | 3.1 | 1.1 | 36.2 | 完 | 43 | 直 | 3.0 | 無 | 無 | 有 | 無 | 無 | 11 | 10 |
| 13 | SI8 | Ⅱ下 | 蛇紋岩 | 10.2 | 5.5 | 2.9 | 301.7 | 完 | － | 円 | 5.5 | 有 | 有 | 有 | 無 | 無 | 11 | 10 |
| 14 | SI8 | 1 | 安山岩 | (11.9) | (4.9) | (3.6) | (365.8) | 刃部折損 | － | － | － | － | － | － | 無 | 無 | 11 | 10 |
| 208 | P3① | Ⅱ | 蛇紋岩 | (9.6) | 4.4 | 2.6 | (157.8) | 完 | 61 | 円 | 4.4 | 無 | 有 | 有 | 無 | 無 | 38 | 10 |
| 209 | M3① | Ⅱ | 蛇紋岩 | 5.7 | 3.9 | 1.0 | 31.9 | 完 | 47 | 円 | 3.9 | 無 | 有 | 有 | 無 | 無 | 38 | 10 |
| 210 | P3① | Ⅱ～Ⅲ | 蛇紋岩 | 8.0 | 3.7 | 1.6 | 76.4 | 完 | 51 | 直 | (3.7) | 無 | 無 | 有 | 無 | 無 | 38 | 10 |
| 211 | O3③ | Ⅱ | 蛇紋岩 | (10.3) | (6.2) | (1.7) | (114.2) | 基部欠損 | － | 円 | (5.1) | 有 | 有 | 有 | 無 | 無 | 38 | 10 |

### 第19表　粗製石器観察表

| 掲載№ | 地区 | 層位 | 石材 | 長さ(cm) | 幅(cm) | 厚さ(cm) | 質量(g) | 遺存状況 | 刃部 | | | | 挿図 | 写真図版 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | | | | | 位置 | 形態 | 長さ(cm) | 刃角(°) | | |
| 35 | SP4 | － | 流紋岩 | 8.6 | 6.2 | 1.9 | 81.3 | 完 | 側辺～末端部 | 外彎 | 5.8 | 30 | 18 | 10 |
| 96 | SK21 | 8 | 泥岩 | 5.2 | 6.8 | 0.7 | 29.0 | 完 | 両側辺 | 内彎 | 5.1 | 33 | 26 | 10 |
| 151 | SX1 | 5～7 | 安山岩 | 5.9 | 9.6 | 1.4 | 90.1 | 完 | 側辺～末端部 | 外彎 | 8.9 | 59 | 34 | 10 |

### 第20表　石皿・台石類観察表

| 掲載№ | 地区遺構 | 層位 | 石材 | 長さ（cm） | 幅（cm） | 厚さ（cm） | 質量（g） | 備考 | 挿図 | 写真図版 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 2 | SK124 | 1 | 安山岩 | 31.7 | 26.8 | 7.1 | 9280.0 | 被熱痕あり | 10 | 11 |
| 15 | SI8 | 1 | 安山岩 | (17.8) | (18.8) | 5.6 | 2253.0 | 被熱痕あり | 11 | 11 |
| 29 | SP1 | － | 流紋岩 | 20.1 | 16.9 | 4.3 | 2571.0 | 柱痕直上で出土 | 18 | 11 |
| 81 | SZ1 | 3 | 流紋岩 | 21.7 | 15.0 | 11.2 | 3792.0 | 断面は逆三角形状を呈す | 22 | 11 |
| 98 | SK21 | 1 | 安山岩 | (19.8) | (27.1) | (9.2) | (5563.0) | 上層から出土 | 29 | 11 |

### 第21表　磨・敲・凹石類観察表

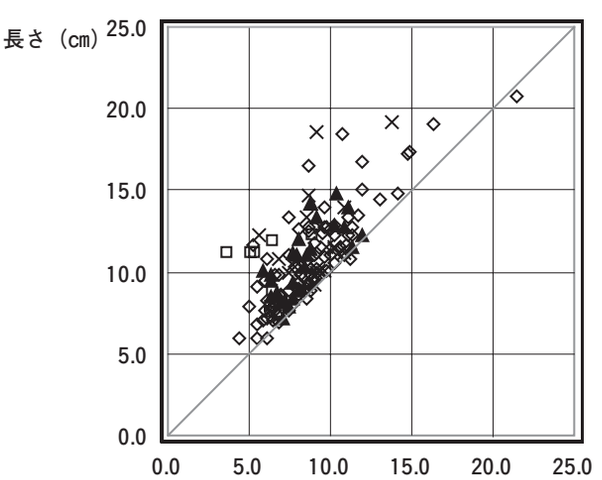
| 掲載№ | 地区遺構 | 層位 | 石材 | 長さ（cm） | 幅（cm） | 厚さ（cm） | 質量（g） | 使用痕 | 備考 | 挿図 | 写真図版 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 16 | SI8 | 1 | 安山岩 | 11.5 | 10.2 | 6.1 | 1001.0 | 凹・磨 | 被熱痕あり | 11 | 10 |
| 17 | SI8 | 1 | 砂岩 | (9.2) | (6.4) | (4.1) | (372.5) | 凹 | | 11 | 10 |
| 18 | SI8 | 1 | 安山岩 | 11.2 | 7.7 | 4.1 | 415.4 | 凹 | | 11 | 10 |
| 24 | SF2 | － | 安山岩 | 13.4 | 11.1 | 6.7 | 1408.0 | 磨 | | 12 | 10 |
| 30 | SP1 | － | 安山岩 | 11.0 | 10.0 | 6.7 | 947.0 | 磨 | | 18 | 10 |
| 31 | SP2 | － | 安山岩 | 9.2 | 9.0 | 3.9 | 474.6 | 凹・磨・敲 | | 18 | 10 |
| 56 | SP8 | － | 安山岩 | 8.8 | 8.8 | 4.1 | 564.7 | 磨 | SI2か SK61に所属か | 19 | 10 |
| 99 | SK21 | 1 | 安山岩 | 17.7 | (9.3) | 5.0 | (1385.0) | 磨 | 上層から出土 | 29 | 10 |
| 212 | L2④ | Ⅲ | 安山岩 | 12.8 | 9.4 | 4.0 | 710.0 | 磨・凹・敲 | | 38 | 10 |

### 第22表　砥石観察表

| 掲載№ | 地区 | 層位 | 石材 | 長さ（cm） | 幅（cm） | 厚さ（cm） | 質量（g） | 備考 | 挿図 | 写真図版 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 215 | F2 | － | 砂岩 | 14.8 | 7.0 | 2.7 | 453.3 | 撹乱坑出土、近現代のものか | 39 | 9 |

### 第23表　石製品観察表

| 掲載№ | 地区 | 層位 | 石材 | 長さ（cm） | 幅（cm） | 厚さ（cm） | 質量（g） | 器種 | 備考 | 挿図 | 写真図版 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 221 | F3① | － | 流紋岩 | 8.1 | 5.7 | 4.3 | 246.8 | 石冠 | 撹乱坑出土 | 39 | 9 |
| 101 | SK155 | － | 砂岩 | 10.2 | 7.0 | 6.5 | 643.0 | 石冠 | 全面に赤錆状付着物あり | 29 | 9 |
| 1 | SI4 | 1 | 流紋岩 | 58.1 | 16.2 | 12.9 | 15000.0 | 石棒状自然石 | 柱状節理原石　摩滅あり　被熱痕あり | 10 | 11 |
| 91 | SZ4 | 土器内 | 流紋岩 | (33.8) | (15.1) | (12.6) | (7120.0) | 石棒状自然石 | タール状付着物あり　被熱痕あり | 24 | 11 |
| 100 | SK21 | 1 | 安山岩 | 60.2 | 21.7 | 16.3 | 35660.0 | 石棒 | 折損あり　被熱痕あり | 29 | 11 |
| 216 | M3 | Ⅰb | 珪化木 | 40.6 | 7.1 | 6.6 | 2631.0 | 石棒 | 表採 | 39 | 11 |
| 217 | M3 | Ⅰb | 流紋岩 | 45.3 | 11.4 | 8.5 | 4787.0 | 石棒 | 表採　摩滅なし | 39 | 11 |
| 218 | M2②④-M3①③ | Ⅱ下 | 緑泥変岩 | (10.2) | 3.2 | 2.5 | (103.3) | 石刀 | 刻文入り　折損あり　SI8に所属か | 39 | 9 |
| 219 | E2 | － | 泥岩 | (4.2) | (1.2) | (1.0) | (6.2) | 石刀 | 撹乱坑出土 刃関あり 折損あり SF2に所属か | 39 | 9 |
| 220 | H2④ | Ⅱ | 泥岩 | (5.8) | (2.2) | (1.9) | (31.4) | 石刀 | 折損あり | 39 | 9 |




◇ **磨**：磨痕のみ確認できるもの
□ **敲**：敲き痕及び叩き痕が確認できるもの
▲ **凹**：凹みのみ確認できるもの
× **複合**：磨・敲（叩き）・凹みが複合するもの

**第46図　磨・敲・凹石類**
**長幅相関図**

# 第５章　総括

今回の調査では、縄文時代中期後半から晩期前半の遺構と遺物を確認した。遺構の時期決定は出土した遺物で行ったが、遺構の時期を判断する良好な資料に恵まれなかったため、遺構の変遷も十分に解明できなかった。また、前章で述べたように、調査区の制約もあり、集落域や墓域といった領域の全容を十分に解明できなかったが、炉跡や大型の柱穴跡など、遺構の性格が明らかになったものもあり、発掘調査事例の少ない郡上地域で、こうした遺構が確認できたことは成果として挙げられる。出土した石器には、石棒や石刀など、祭祀・儀礼的な石製品が比較的多く、それらの多様な出土状況を確認できたことも成果として挙げられる。本章では、検出した遺構の中から、配石遺構を中心に、祭祀・儀礼的な遺構や遺物の様相を述べる。さらに、ＳＩ４・ＳＫ155・ＳＫ21・ＳＺ４で確認した、石棒及び石棒状自然石（以下「石棒類」と略す。）の多様な出土状況を述べ、総括とする。

## １　祭祀・儀礼的な意味を持つ配石遺構と出土遺物

Ｍ２－３グリッドでは、石棒・石刀・磨製石斧の出土量が比較的多く、特にＳＩ８とその周辺でまとまって出土している（第47図・第24表）。

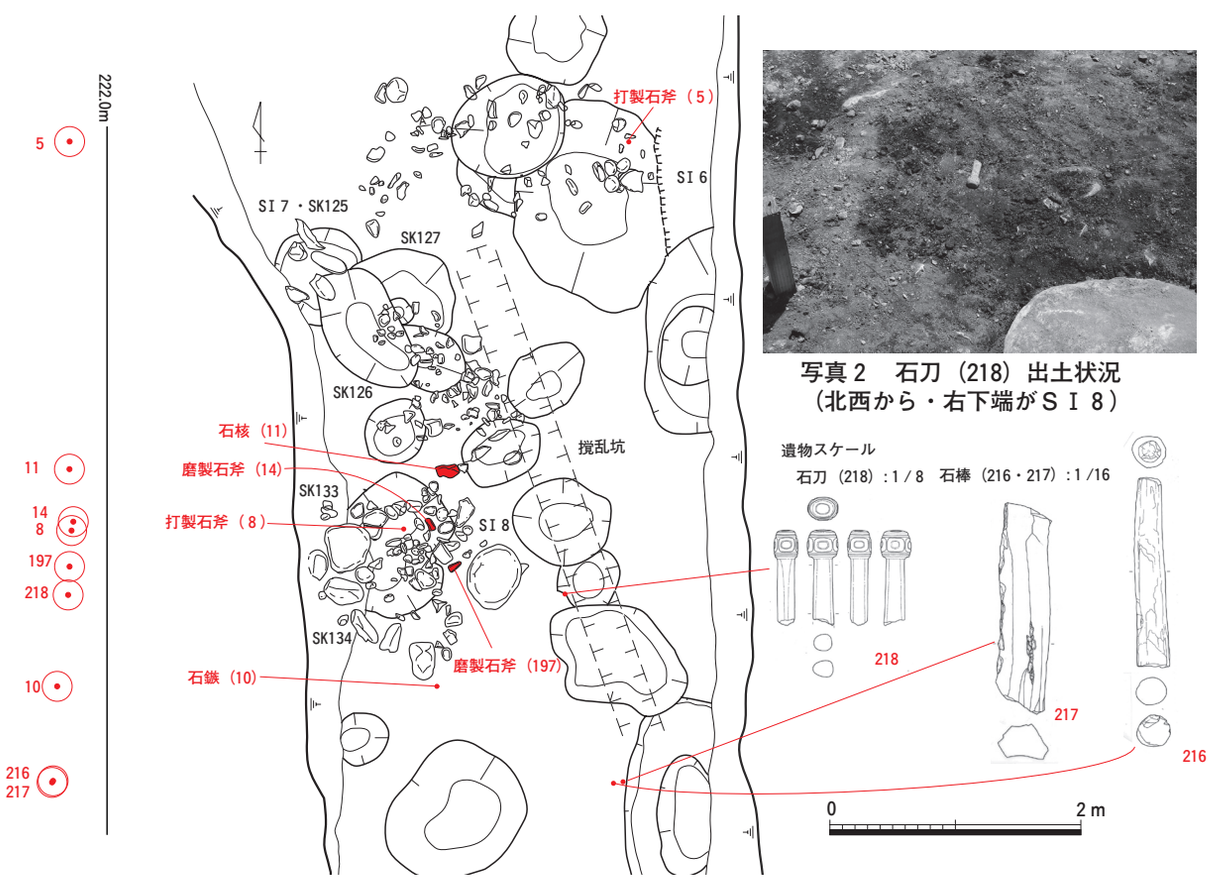



写真２　石刀（218）出土状況
（北西から・右下端がＳＩ８）

第47図　Ｌ２－３・Ｍ２－３グリッド遺構平面図・主要遺物出土状況図（S=１/60）

**第24表　調査区画別石器類出土点数**

| 地区 | 区画 | 石鏃 | 石錐 | 楔形石器 | スクレイパー | 石核 | ＲＦ | ＭＦ | 石錘 | 打製石斧 | 磨製石斧 | 粗製石器 | 石製品 | 石皿・台石類 | 砥石 | 磨・敲・凹石類 | 剥片 | その他 | 合計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 北 | A | | 1 | 4 | | | 2 | 1 | | | | 4 | | | | 3 | 28 | | 43 |
| | B | 3 | | 5 | 4 | 1 | 2 | 3 | 1 | | 1 | 5 | | 2 | | 5 | 35 | | 67 |
| | C | | | | | | | | | | | | | 2 | | 3 | 7 | | 12 |
| | D | 3 | | 8 | 1 | 3 | 3 | 8 | 1 | 2 | 1 | 5 | 1 | 5 | | 14 | 55 | | 110 |
| | E | 5 | 2 | 4 | 1 | | 3 | 5 | 2 | 1 | | 5 | 3 | 9 | | 35 | 74 | | 149 |
| | F | 4 | | 6 | 6 | | 4 | 8 | 5 | 1 | | 6 | 1 | 5 | 2 | 32 | 81 | | 161 |
| | G | 5 | 1 | 7 | 2 | 1 | 2 | 5 | 6 | | 1 | 2 | 3 | 1 | | 5 | 77 | | 118 |
| | H | 1 | 1 | 2 | | | | | | | | | 1 | | | 14 | 35 | | 54 |
| | I | 1 | | 1 | | | | 1 | | | | | | | | 1 | 3 | | 7 |
| 南 | L | 1 | | 1 | 1 | | 1 | | | 1 | | | 1 | 5 | | 5 | 11 | | 27 |
| | M | 4 | | | | 1 | 1 | 1 | 3 | 2 | 4 | | 4 | 6 | | 19 | 41 | | 86 |
| | N | 3 | 1 | 3 | 1 | | 1 | 1 | 2 | 3 | | 4 | | 2 | | 9 | 47 | 1 | 78 |
| | O | 2 | 1 | 3 | 2 | 1 | 1 | | 2 | 2 | 2 | 4 | | 2 | | 5 | 52 | | 79 |
| | P | 4 | | 2 | 1 | 1 | 1 | 3 | | | 3 | | 1 | 2 | | 5 | 47 | | 70 |
| | Q | 2 | | 1 | | | 1 | | 3 | 1 | 1 | 1 | | 1 | | 4 | 19 | | 34 |
| その他（排土置き場） | | | | 1 | | 2 | | | 1 | 3 | | 12 | | 1 | | 13 | 36 | | 69 |
| 合計 | | 38 | 7 | 48 | 19 | 10 | 22 | 36 | 26 | 16 | 13 | 48 | 15 | 43 | 2 | 172 | 648 | 1 | 1,164 |

ＳＩ８と重複するＳＫ133・134は、第４章で述べたようにＳＩ８の下部土坑である可能性が高い。ＳＫ133は土坑Ａ２類で、礫の出土状況から墓坑の可能性も考えられるため、ＳＩ８は墓坑の上面配石の可能性がある。弧状に配置した礫とその内側や外側における石器類の出土状況は、死者を弔う儀礼と解釈することもできよう。ＳＩ８周辺で出土した石刀（218）・石棒（216・217）も、こうした儀礼と無関係ではないと考える。石刀の出土地点はＳＫ136の検出面から約0.2m高い位置であり、ＳＩ８に属する可能性も考えられる。石棒（216・217）は、表土掘削時に重機のバケットに引っかかり、掘り返された状態で出土したことから、本来は遺構に伴うものであった可能性も考えられる。

## ２　石棒類の多様な出土状況

遺構における石棒類の出土状況は、第48図のとおりである。

ＳＩ４のように配石遺構から出土した事例は、高山市寺東遺跡（石原ほか1988）にもあるが、当遺跡では、長楕円形状に寄せて置いた多量の礫の北東端で出土している。石棒状自然石（１）は比較的長く、端部は平旦なため、本来は立てて置き、周囲を礫で固定していた可能性もある。

ＳＫ155 のように土坑内に立石状で出土した事例は、下呂市湯屋遺跡（上嶋ほか1998）にもあるが、円磨度の高い棒状の川原石を使用する点は当遺跡と類似する。当遺跡では共伴した石冠（101）が縄文時代後晩期と見られるため、湯屋遺跡の時期よりやや下る可能性がある。

ＳＫ21のような出土事例は中期の遺跡に多く見られるが、高山市堂之上遺跡では焼失住居である22号住居跡で柱状大型自然石が出土している。また、石棒と共伴する石皿（98）の出土状況は、堂之上遺跡20号敷石住居跡（戸田1997）で出土したものに類似し、中期最末期における住居廃絶時の廃棄儀礼として報告されている。ＳＫ21は遺構の全容が不明であり、時期もやや下るが、土坑内への廃棄という点では、堂之上遺跡におけるいくつかの事例と類似する。

ＳＺ４の出土状況は、長野県下伊那郡瑠璃寺前遺跡の事例と類似する。瑠璃寺前遺跡では、３号住居跡の入口付近における埋甕から出土している（神村ほか1971）。当遺跡の埋設土器（88）は、曾利Ⅱ併行の信州系土器で、口縁部を打ち欠き、底部付近にわずかな欠損部が確認できる。この欠損部を穿孔と見るか否かは判断が難しいが、百瀬氏の中・南信地方における埋甕の形態分類（百瀬1987）

によると、埋設土器（88）はｂ－１類に相当する[1)]。これらの事例から、ＳＺ４は竪穴住居に伴う埋甕と見ることもでき、口縁部にもたれるようにして出土した石棒状自然石（91）は、土器との関連性が非常に高いと考えられる。

## ３　結語

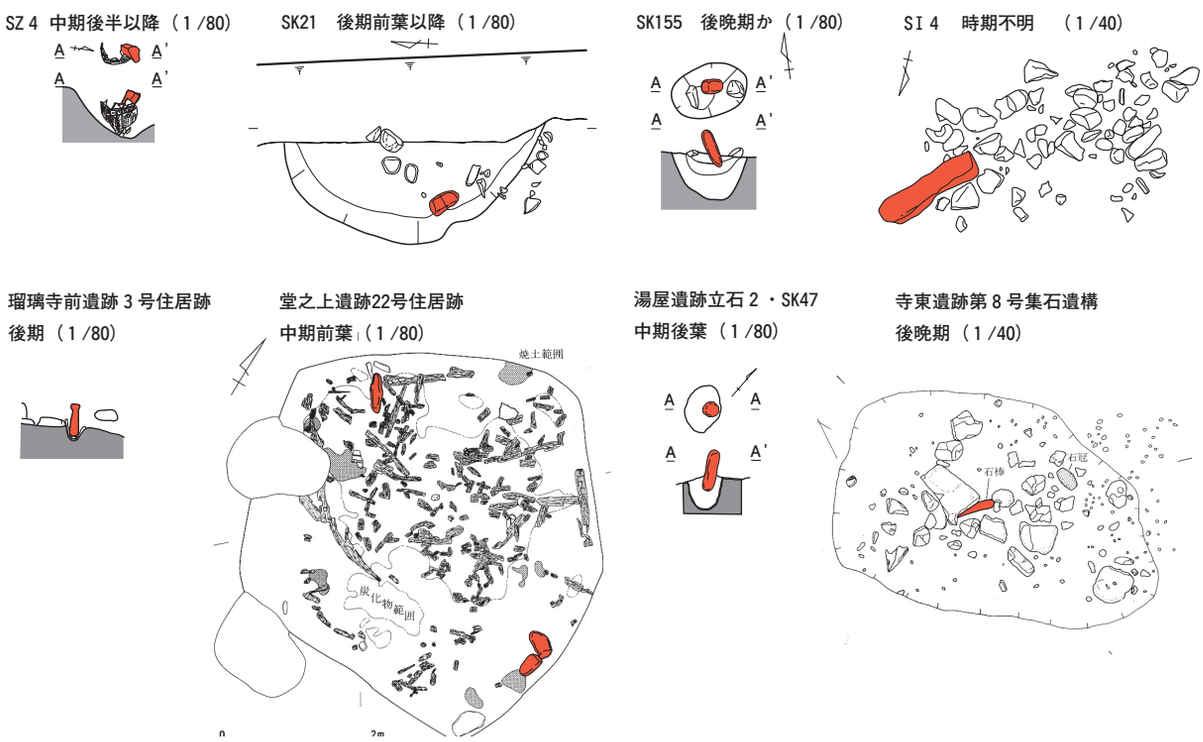
これまでに述べたことを、以下にまとめ、結語とする。

・縄文時代中期後半から後期前半の在地系土器について、まとまった量を確認することができた。

・配石遺構や石棒類の多様な出土状況の確認から、当遺跡は、断続的ではあるが縄文時代中期後半から晩期前半にかけて長い期間、祭祀･儀礼的な空間として利用された可能性があることが判明した。

今回の調査では、長良川上流域の微高地における土地利用の変遷や在地系土器の型式検討については十分できなかったが、遺構や遺物の在り方から、飛騨や信州との文化交流の一端が確認できた。郡上地域における文化とその交流の解明のため、今後の調査事例の増加を待ちたい。

1）　百瀬氏は埋甕の形態をａ～ｃに分類し、ｂ形態を「底部および胴部下半部を人為的に打ち欠いているもの。破損の程度により三者に細分した。」とし、ｂ－１類を「底部ないし底部付近のみ打ち欠いているもの。」としている。




**第48図　石棒類出土状況比較図（上段：有坂薬師堂遺跡、下段：他遺跡※各報告書に一部加筆）**

## 参考文献


宇野隆夫1992「食器計量の意義と方法」『国立歴史民俗博物館研究報告』第40集、国立歴史民俗博物館

大塚昌彦1998「土屋根をもつ竪穴住居－焼失家屋の語るもの－」『先史日本の住居とその周辺』（奈良国立文化財研究所シンポジウム報告）、同成社

大野政雄ほか1983『門端縄文遺跡発掘調査報告書』、清見村教育委員会

小野木学ほか2006『大杉西遺跡』、財団法人岐阜県教育文化財団文化財保護センター

春日井恒2003『尾元遺跡』、財団法人岐阜県教育文化財団文化財保護センター

神村透ほか1971『長野県中央道埋蔵文化財包蔵地発掘調査報告書－下伊那郡高森町地内その１－』、長野県教育委員会

河合洋尚ほか2007『東野遺跡』、財団法人岐阜県教育文化財団文化財保護センター

川添和暁2003「棺の構造からみた縄文晩期葬法研究について－近畿・東海・中部高地・北陸地方を中心に－」『関西縄文時代の集落・墓地と生業』（関西縄文論集１）、関西縄文文化研究会

川添和暁2007「東海地方の諸遺跡」『季刊　考古学』第101号、雄山閣

木下哲夫2006「福井県･岐阜県の様相」『桜町遺跡縄文土器検討会資料集－縄文時代中期末･後期初頭について－』、小矢部市教育委員会

河野典夫ほか2002『宮ノ前遺跡Ⅲ』『塩屋島遺跡』、宮川村教育委員会

紅村弘・増子康真・山口克・水野寛之1977『東海先史文化の諸段階』（資料編１）

小林達雄編1988『縄文土器大観』３（中期Ⅱ）、小学館

小林達雄編1989『縄文土器大観』４（後期　晩期　続縄文）、小学館

上嶋善治ほか1998『湯屋遺跡』、財団法人岐阜県文化財保護センター

菅原章太2003「近畿「集石」研究素描」『関西縄文時代の集落・墓地と生業』（関西縄文論集１）、関西縄文文化研究会

高橋健太郎2004「神明式土器の地域相－深鉢の系統整理に向けて－」『美濃の考古学』第７号、美濃の考古学刊行会

高山純2007「配石遺構」『季刊　考古学』第99号、雄山閣

田中彰ほか1988『寺東遺跡、西保木(対岸)遺跡』（高山市埋蔵文化財発掘調査報告書第13号）、高山市教育委員会

田中彰ほか1991『垣内遺跡』（高山市埋蔵文化財調査報告書第19号）、高山市教育委員会

戸田哲也1997『堂之上遺跡』、大野郡久々野町教育委員会

中田良三ほか1979『中村遺跡』、中津川市教育委員会

長屋幸二1995『西乙原遺跡　勝更白山神社周辺遺跡』、財団法人岐阜県文化財保護センター

長屋幸二 2003「東海・関西地域における打製石斧の選択」『第５回関西縄文文化研究会 縄文時代の石器Ⅱ』、関西縄文文化研究会

新津健2007「石棒の信仰」『季刊　考古学』第99号、雄山閣

野村宗作ほか1993『荒城神社遺跡』、財団法人岐阜県文化財保護センター

長谷川幸志1998『高見遺跡』、財団法人岐阜県文化財保護センター

林直樹ほか1997『家ノ下遺跡』、宮川村教育委員会

林直樹ほか2000『塩屋金清神社遺跡（Ａ地点）』、宮川村教育委員会

林直樹2007「石棒製作のムラ－塩屋金清神社遺跡－」『縄文時代の考古学』６（ものづくり－道具製作の技術と組織）、同成社

林直樹・増子誠1995「飛騨の石棒」『石棒の謎をさぐる』（飛騨宮川シンポジウム）、宮川村教育委員会

町田勝則1996「石器の研究法－報告書作成に伴う観察・記録法①－」『長野県の考古学』、（財）長野県埋蔵文化財センター研究論集Ⅰ

松田典人1990『店町遺跡』、明方村教育委員会

三島誠ほか2007『櫨原村平遺跡』、財団法人岐阜県教育文化財団文化財保護センター

三輪晃三ほか2007『塚奥山遺跡』、財団法人岐阜県教育文化財団文化財保護センター

百瀬忠幸1987「埋甕と境界性について」『長野県埋蔵文化財センター紀要１』、（財）長野県埋蔵文化財センター

大和村史編纂委員会1984『大和村史』（通史編上巻）

渡辺誠ほか1985『阿曽田遺跡発掘調査報告書－阿木川ダム建設に伴う埋蔵文化財発掘調査－』、中津川市教育委員会

北地区近景（西から）

南地区近景（西から）

配石遺構検出状況（東から）ＳＩ６（右下）ＳＩ７（中央上）ＳＩ８（左上端）

写真図版２

ＳＩ２・ＳＫ61土層断面（南から）

ＳＩ４（北から）

ＳＩ５（東から）

ＳＩ８（北東から）

ＳＩ10（南西から）

ＳＦ１（北から）

ＳＦ２（東から）

ＳＦ１下部礫出土状況（南から）

ＳＰ１下部礫出土状況（南から）

ＳＰ２礫出土状況（東から）

ＳＰ３完掘状況・ＳＫ64土層断面（東から）

ＳＰ６土層断面状況（西から）

ＳＺ１土器出土状況（南西から）

ＳＺ２土器出土状況（西から）

ＳＺ３土器出土状況（東から）

ＳＺ４・ＳＫ54土層断面状況（北東から）

写真図版４

ＳＫ21礫出土状況（北西から）

ＳＫ21完掘状況（南西から）

ＳＫ29礫出土状況（南から）

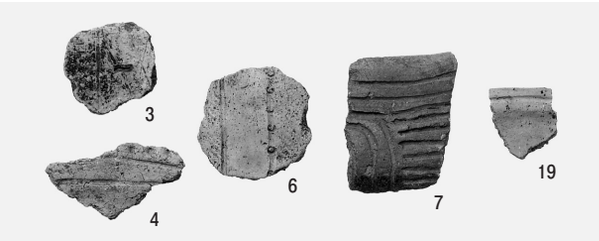
ＳＫ124石皿出土状況（南から）

ＳＫ139礫出土状況（東から）

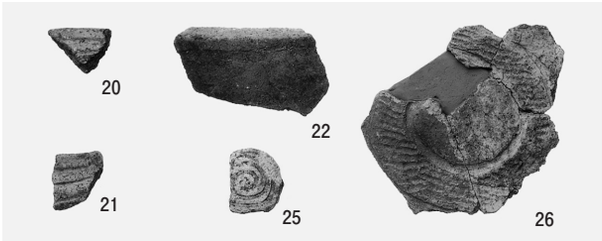
ＳＫ155礫出土状況（北東から）

ＳＫ156・158礫出土状況（西から）

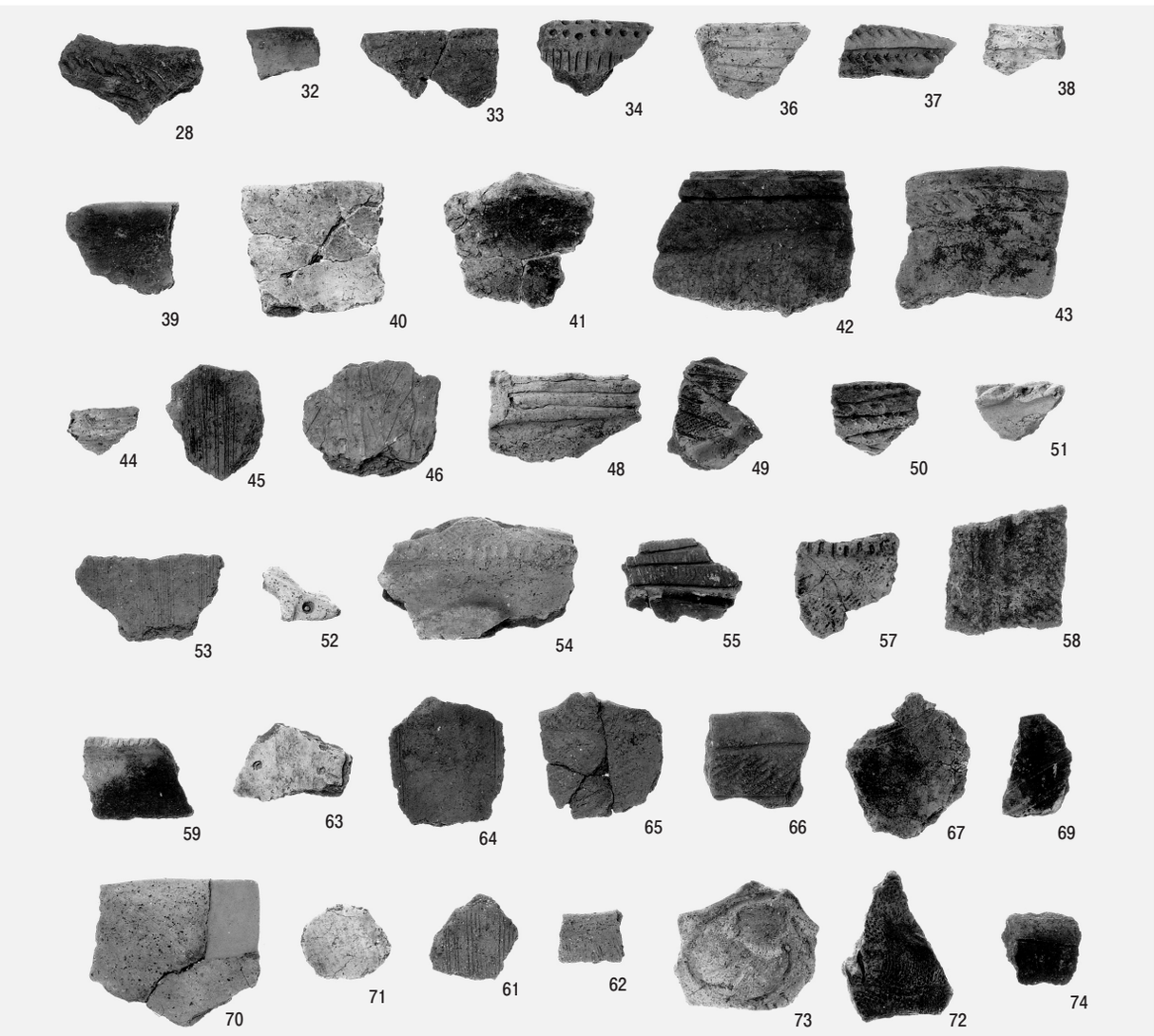
ＳＸ１礫出土状況（南西から）



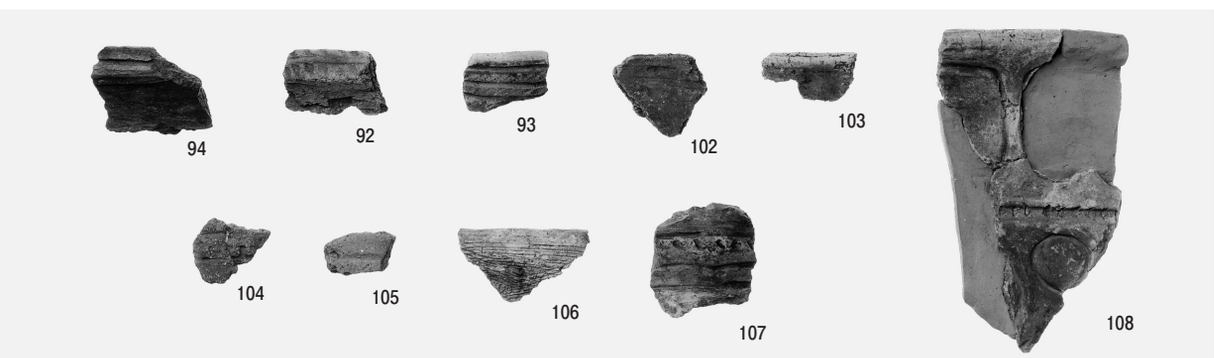

配石遺構（ＳＩ）出土土器




炉跡（ＳＦ）出土土器




柱穴跡（ＳＰ）出土土器




土坑（ＳＫ）出土土器

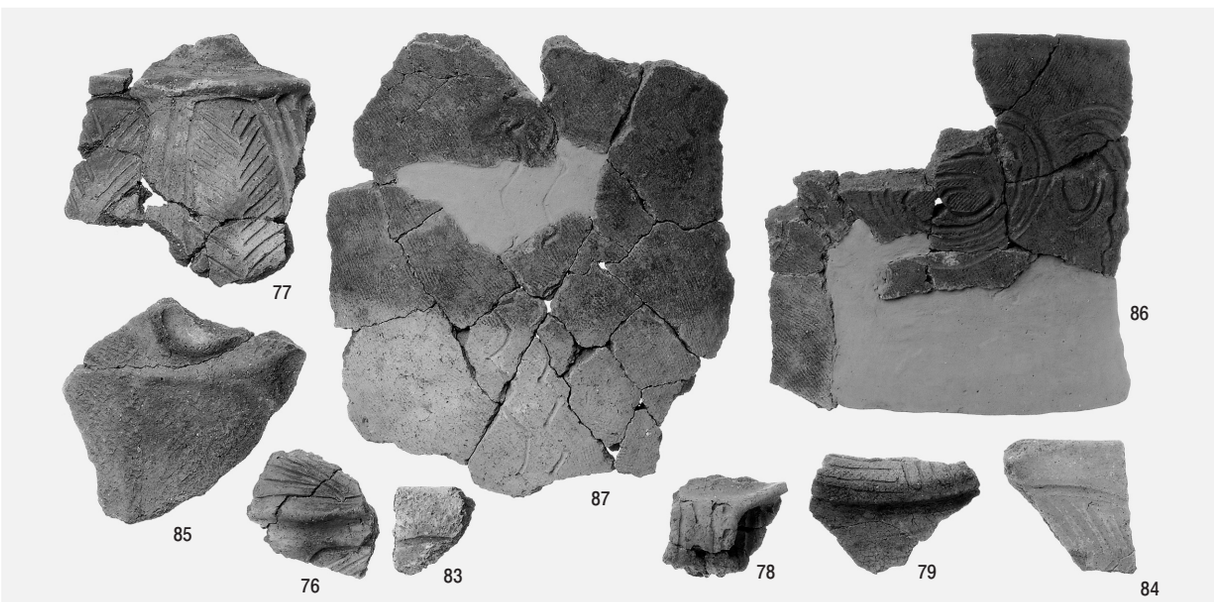
写真図版６

ＳＺ１出土土器

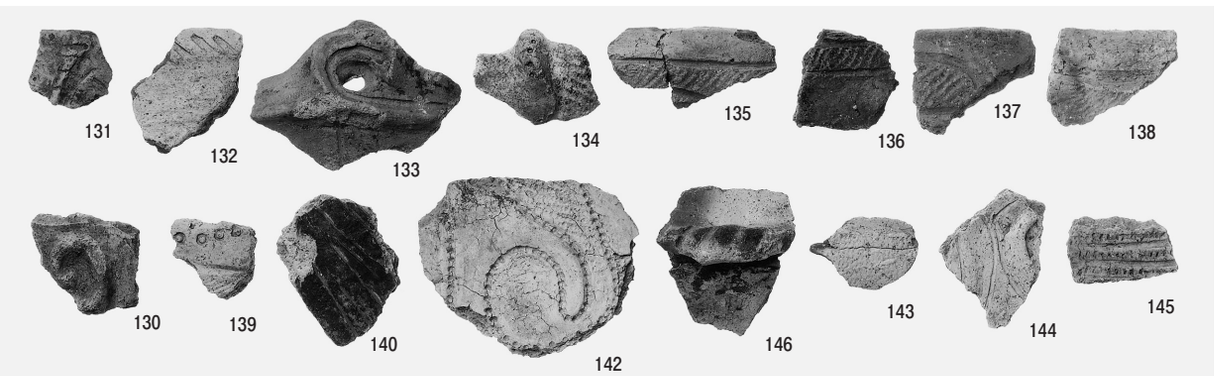
ＳＺ２出土土器

ＳＺ３出土土器

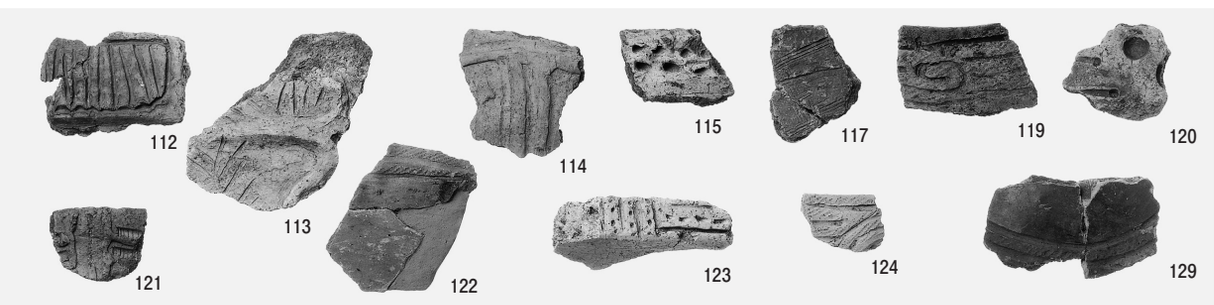
ＳＺ４出土土器




土器埋設遺構（ＳＺ）出土土器

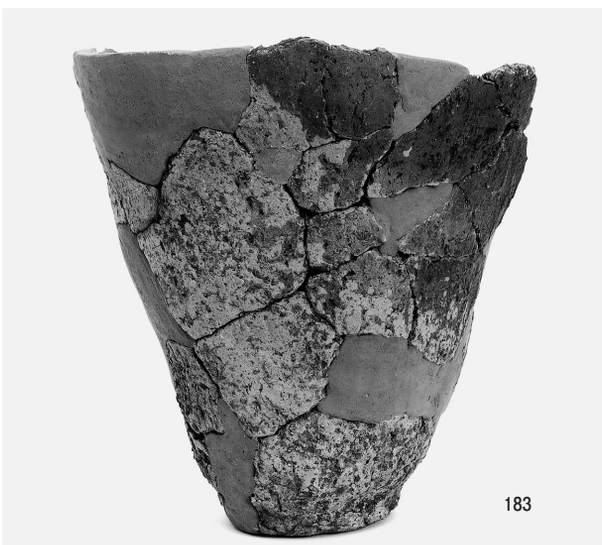



不明遺構（ＳＸ１）出土土器



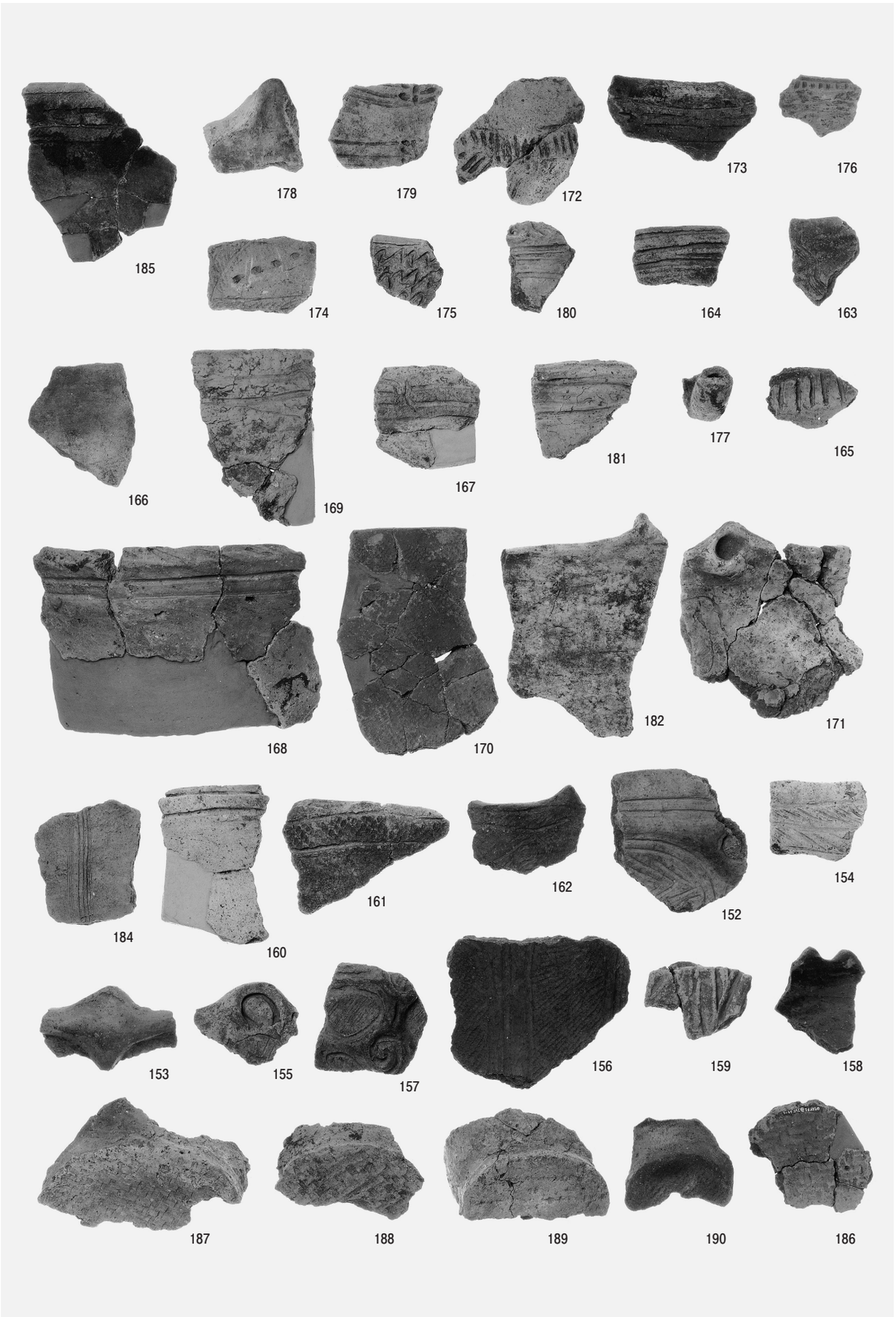

その他の土坑出土土器

ＳＫ151出土土器

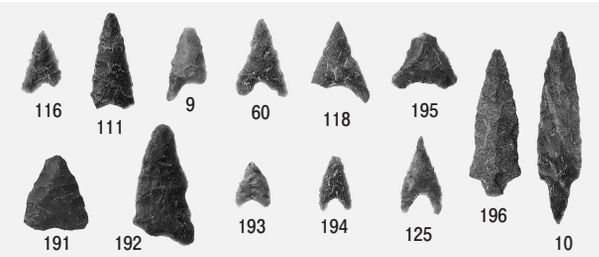



遺物包含層出土土器

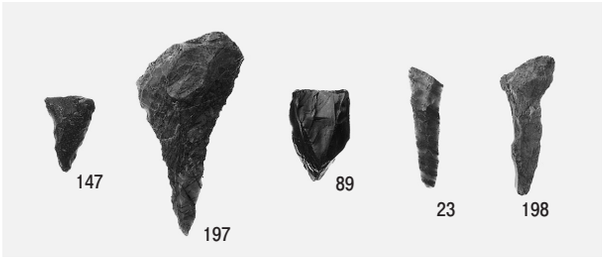
写真図版８



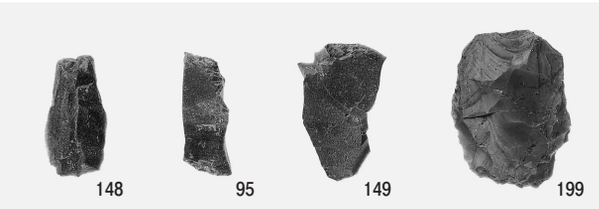

遺物包含層出土土器



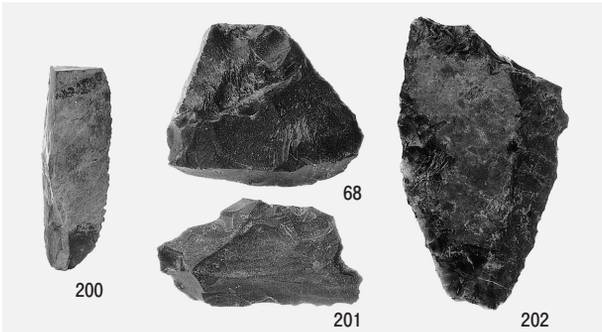

石鏃



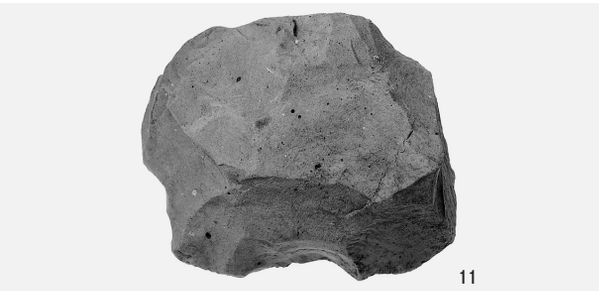

石錐




楔形石器

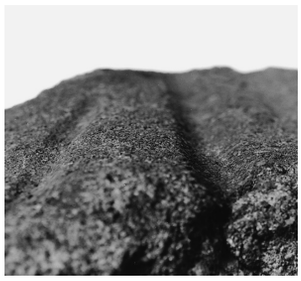



スクレイパー

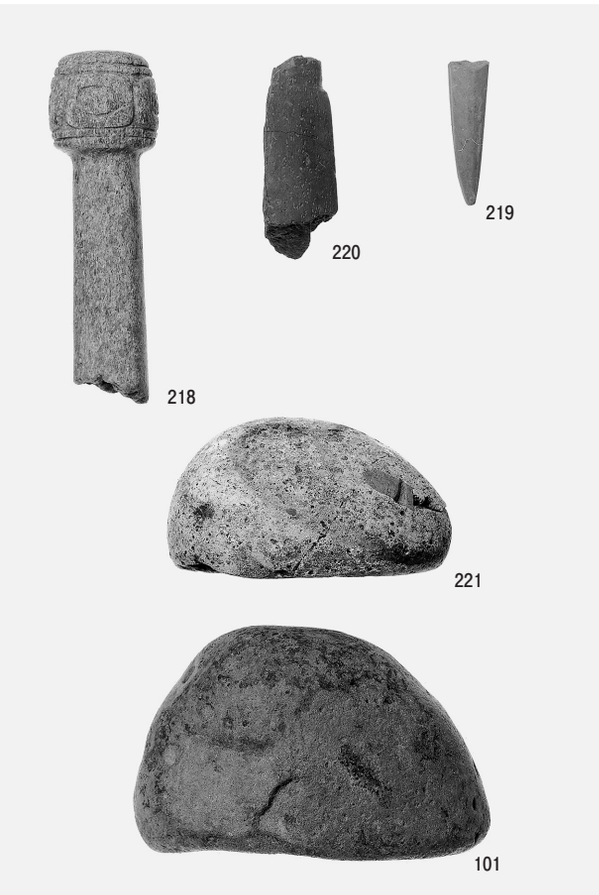



石核

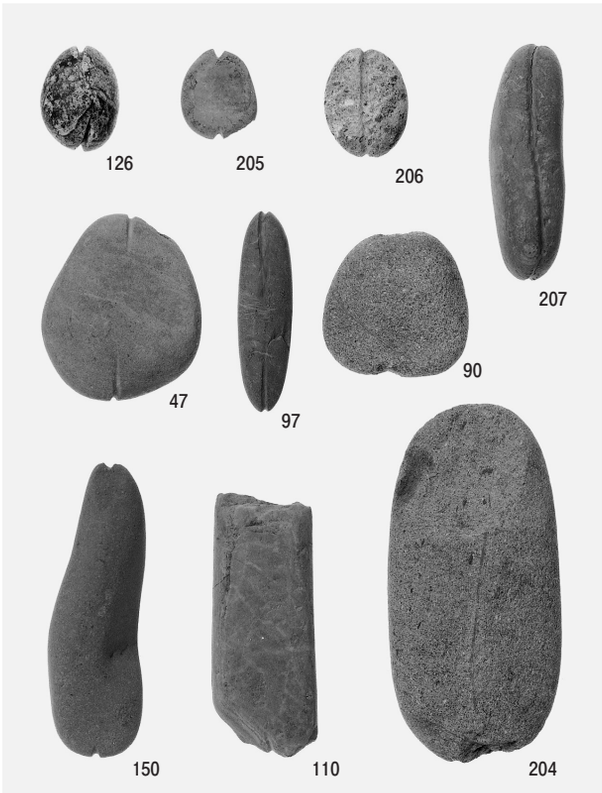
砥石



砥面拡大

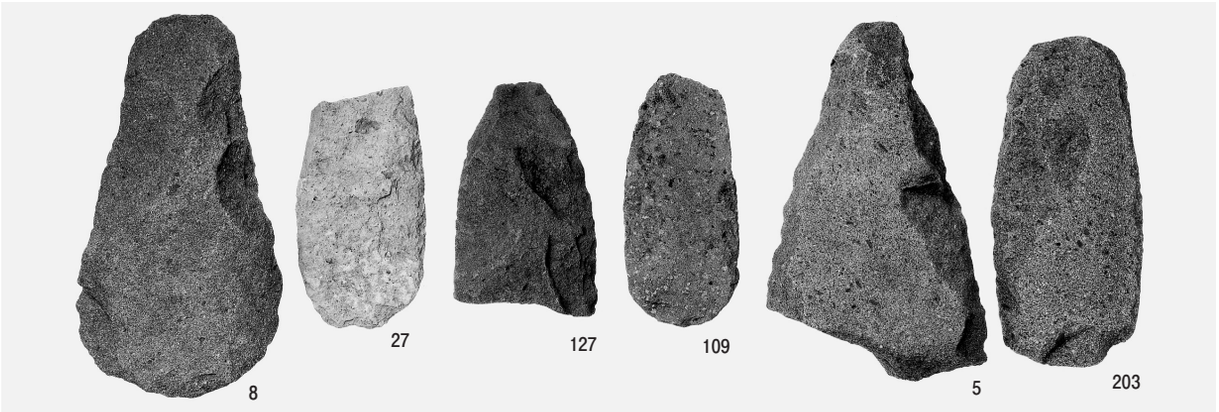



石刀・石冠

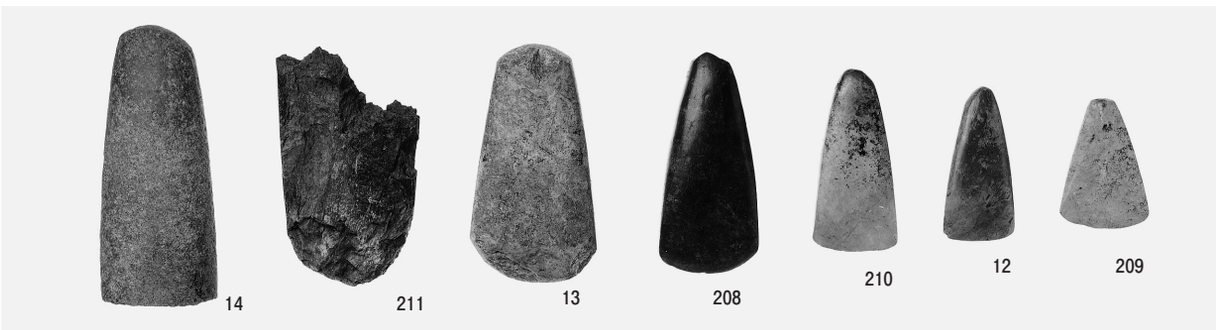



石錘

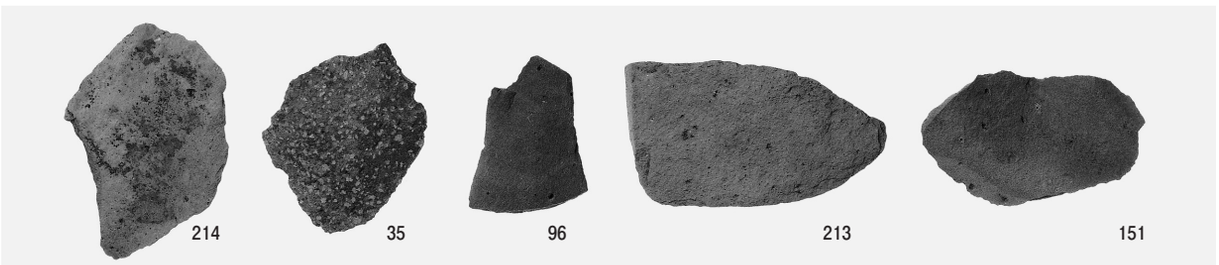
写真図版10



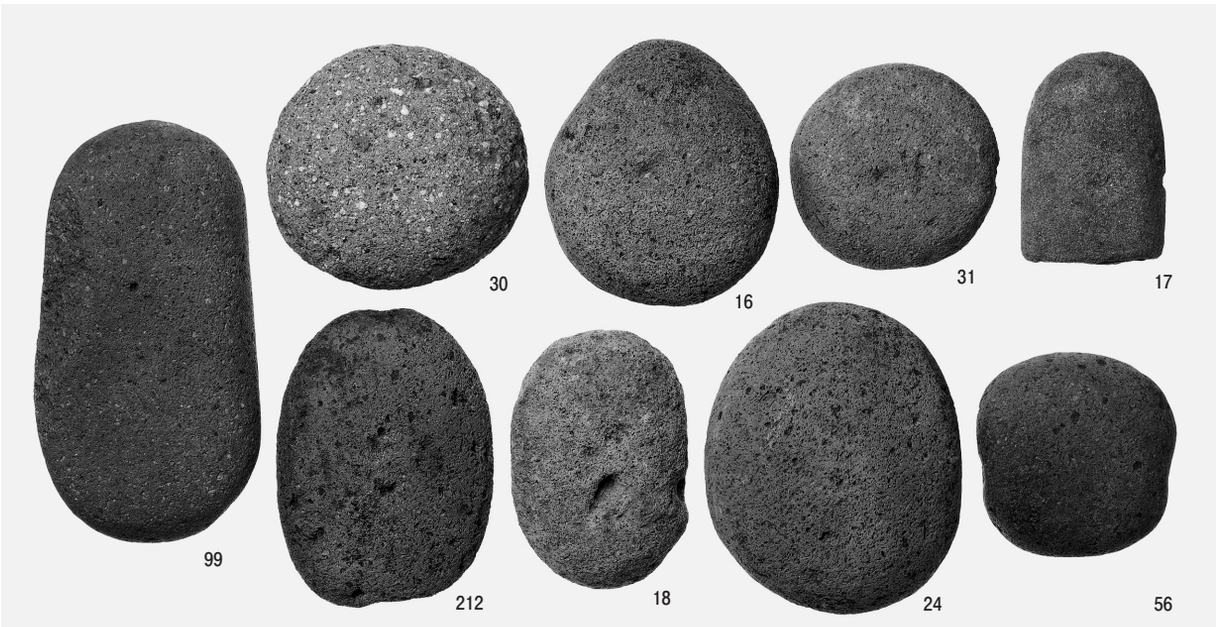

打製石斧



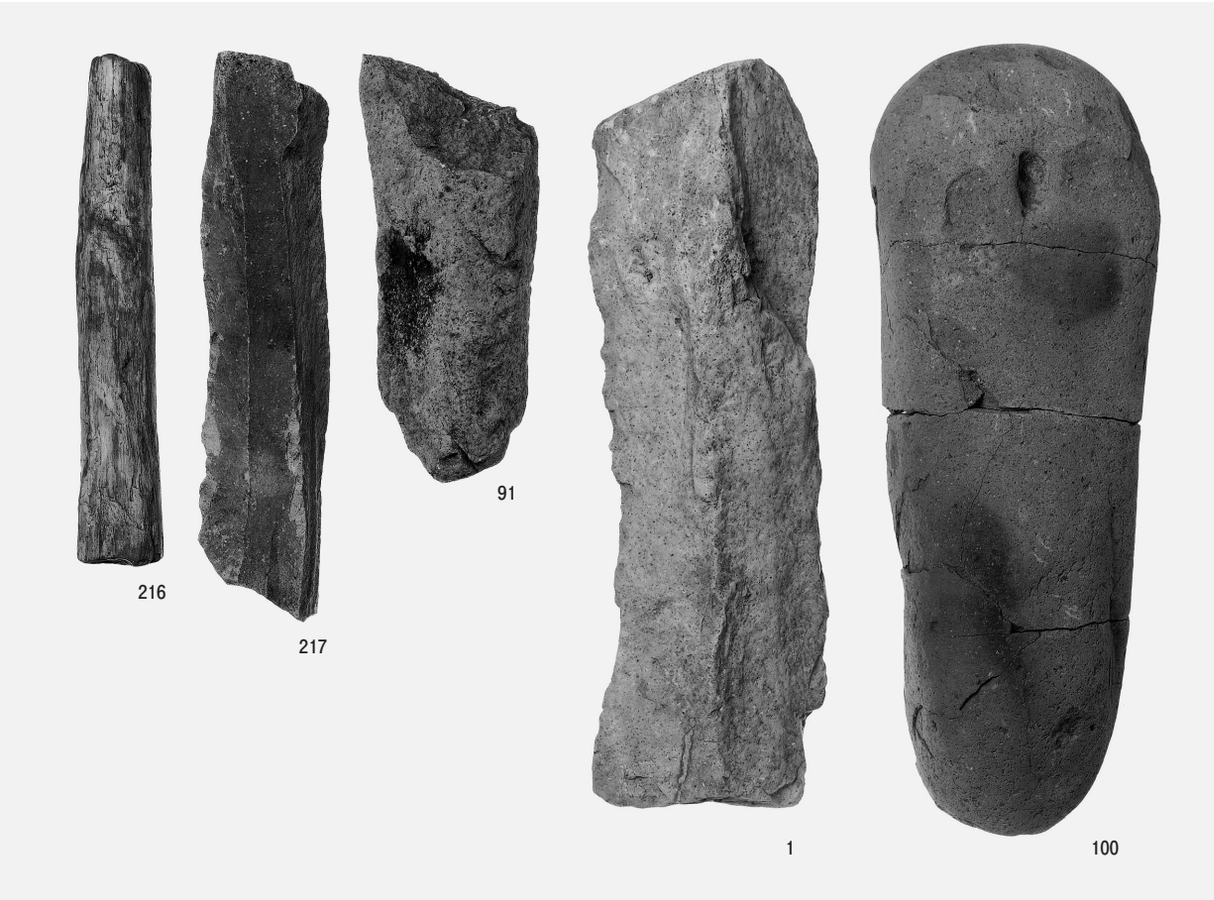

磨製石斧



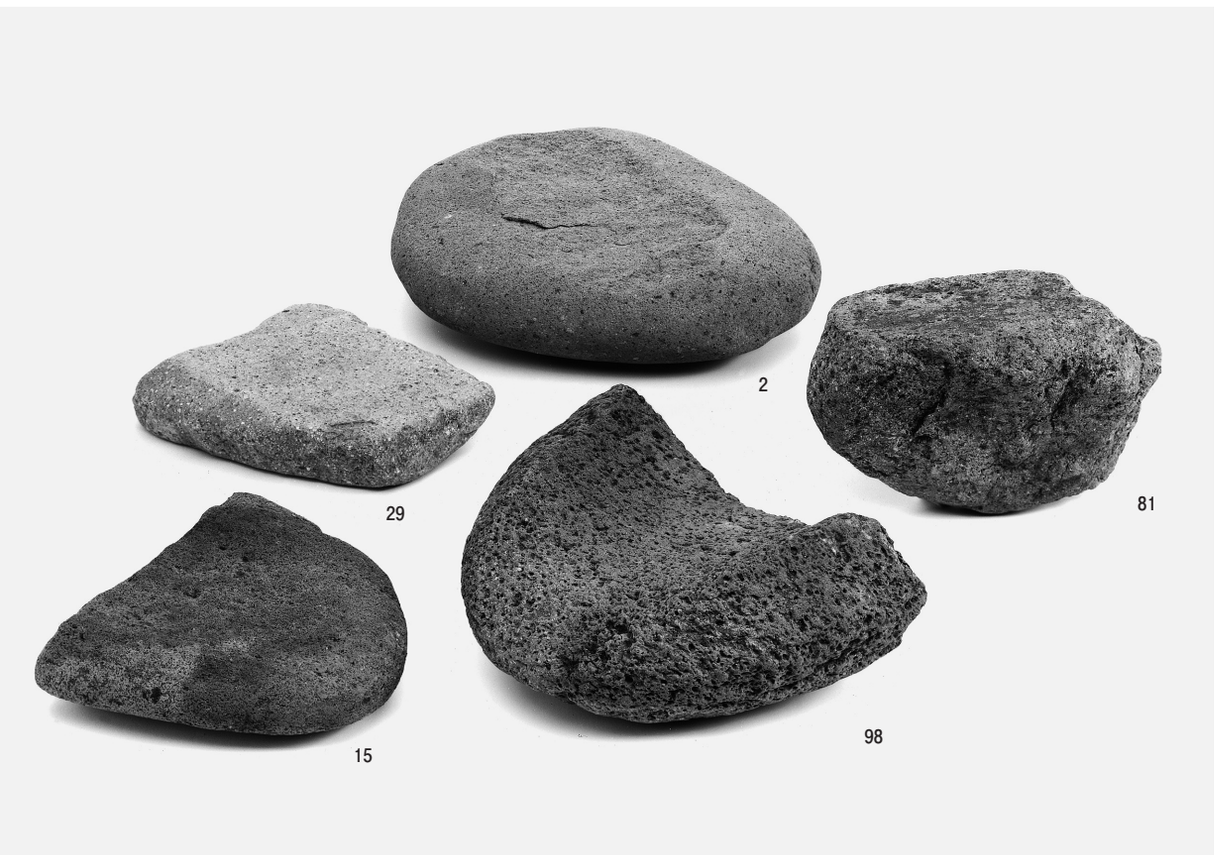

粗製石器




磨・敲・凹石類




石棒




石皿

# 報 告 書 抄 録

| | |
|---|---|
| ふりがな | ありさかやくしどういせき |
| 書名 | 有坂薬師堂遺跡 |
| シリーズ名 | 岐阜県教育文化財団文化財保護センター調査報告書 |
| シリーズ番号 | 第110集 |
| 編著者名 | 吉田　靖 |
| 編集機関 | 財団法人岐阜県教育文化財団文化財保護センター |
| 所在地 | 〒502-0003　岐阜市三田洞東1-26-1　℡058（237）8550 |
| 発行年月日 | 西暦2009年３月１日 |

| ふりがな<br>所収遺跡名 | ふりがな<br>所在地 | コード<br>市町村 | コード<br>遺跡番号 | 北緯 | 東経 | 調査期間<br>調査面積 | 調査原因 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 有坂薬師堂遺跡<br>（ありさかやくしどういせき） | 岐阜県郡上市<br>（ぎふけんぐじょうし）<br>八幡町有坂<br>（はちまんちょうありさか） | 21218 | 06768 | 35°<br>45’<br>21” | 136°<br>56’<br>27” | 20070423<br>～<br>20070706<br>455㎡ | 県単地方特定道路整備工事に伴う |

| 所収遺跡名 | 種別 | 主な時代 | 主な遺構 | 主な遺物 | 特記事項 |
|---|---|---|---|---|---|
| 有坂薬師堂遺跡 | 集落跡 | 縄文時代 | 配石遺構　10基<br>炉跡　２基<br>柱穴跡　18基<br>土器埋設遺構　４基<br>土坑　179基<br>不明遺構　１基 | 縄文土器　5,009点<br>石器　1,164点 | 縄文時代後晩期の配石遺構を確認。<br>縄文時代中期後半から晩期前半の土器埋設遺構を確認。 |


| | |
|---|---|
| 要約 | 今回の調査では、縄文時代中期後半から晩期前半の遺構・遺物を確認した。特筆すべきは、縄文時代中期後半から晩期において、石棒及び石棒状自然石が各種遺構から様々な状況で出土したことである。このことから、当遺跡は断続的ではあるが長期間、墓域若しくは祭祀・儀式的な空間として利用された可能性が考えられる。また、このような石棒の多様な出土状況は、飛騨や信州における出土事例と類似することが判明した。 |

岐阜県教育文化財団文化財保護センター調査報告書　第110集

# 有坂薬師堂遺跡

2009年３月１日

編集・発行　財団法人岐阜県教育文化財団文化財保護センター
岐阜市三田洞東1-26-1
印　　刷　株式会社 太洋社